

令和6年度

主要な施策の成果説明書

一般会計
国民健康保険特別会計

令和6年度 主要な施策の成果説明書

目 次

一	般	会	計 ……	1						
			概要 ……	1						
			決算状況 ……	4						
総	務	部 ……		9						
	庶務課/企画財政課/税務課/情報交通課/危機管理課/ 八坂支所/美麻支所									
民	生	部 ……		45						
	市民課/生活環境課/福祉課/子育て支援課									
地	域	振	興	部 ……	82					
	まちづくり産業課/産業立地戦略室/観光文化課/農林水産課									
建	設	水	道	部 ……	107					
	建設課/上下水道課									
教	育	委	員	会 ……	123					
	学校教育課/生涯学習課/スポーツ課/国民スポーツ大会準備室/ 山岳博物館									
国	民	健	康	保	険	特	別	会	計 ……	154

主要な施策の成果「事業別一覧表」

No.	款	款名称	項	目	事業名称	主管課名称	掲載頁
1	2	総務費	1	1	職員研修事業	庶務課	9
2	2	総務費	1	8	市民活動促進事業	庶務課	10
3	2	総務費	1	8	ひとが輝くまちづくり事業	庶務課	12
4	2	総務費	1	1	人権政策費	庶務課	13
5	2	総務費	1	10	男女共同参画推進費	庶務課	14
6	2	総務費	1	3	アルプス囲碁村推進事業	企画財政課	15
7	2	総務費	1	3	ふるさと応援団事業	企画財政課	16
8	2	総務費	1	3	SDG s 推進事業	企画財政課	17
9	2	総務費	2	1	賦課徴収費	税務課	19
10	9	消防費	1	2	消防団運営経費	危機管理課	20
11	9	消防費	1	3	消防施設整備事業	危機管理課	21
12	9	消防費	1	5	防災対策一般経費	危機管理課	22
13	9	消防費	1	5	防災施設整備事業	危機管理課	23
14	2	総務費	1	2	広聴広報事業	情報交通課	24
15	2	総務費	1	9	D X 推進事業	情報交通課	25
16	2	総務費	1	9	電算処理委託事業	情報交通課	26
17	2	総務費	1	9	八坂・美麻CATV網光化対策事業	情報交通課	27
18	2	総務費	1	9	ケーブルテレビ運営事業	情報交通課	28
19	2	総務費	1	6	市民バス運行事業	情報交通課	29
20	2	総務費	1	6	公共交通対策事業	情報交通課	31
21	2	総務費	1	11	八坂地域振興事業	八坂支所	33
22	7	商工費	1	3	八坂観光施設管理費	八坂支所	34
23	2	総務費	1	11	八坂定住促進事業	八坂支所	35
24	2	総務費	1	11	明日香荘管理運営費	八坂支所	36
25	2	総務費	1	12	美麻地域振興事業	美麻支所	37
26	2	総務費	1	12	メンドシーノ交流事業	美麻支所	39
27	2	総務費	1	12	美麻定住促進事業	美麻支所	41
28	2	総務費	1	12	ぽかぽかランド美麻管理運営費	美麻支所	42
29	6	農林水産業費	1	5	ふたえ市民農園管理費	美麻支所	43
30	6	農林水産業費	1	5	おおしお市民農園管理費	美麻支所	44
31	4	衛生費	1	1	後期高齢者健診事業	市民課	45
33	4	衛生費	1	3	母子保健事業	市民課	46
34	4	衛生費	1	3	子育て世代包括支援センター事業	市民課	47
35	4	衛生費	1	4	健康増進事業	市民課	48
36	4	衛生費	1	4	がん検診事業	市民課	49
37	4	衛生費	1	4	精神保健事業	市民課	51
38	4	衛生費	1	2	予防接種費	市民課	52
39	4	衛生費	2	4	生ごみ等資源化推進事業	生活環境課	53

No.	款	款名称	項	目	事業名称	主管課名称	掲載頁
40	4	衛生費	3	1	環境調査事業	生活環境課	54
41	4	衛生費	3	1	環境保全事業	生活環境課	56
42	4	衛生費	3	1	自然エネルギー活用推進事業	生活環境課	57
43	3	民生費	1	1	総合福祉センター管理事業	福祉課	58
44	3	民生費	1	1	市社会福祉協議会助成事業	福祉課	59
45	3	民生費	1	2	その他障害者福祉サービス事業	福祉課	60
46	3	民生費	1	3	高齢者福祉一般経費	福祉課	61
47	3	民生費	1	3	高齢者福祉事業費	福祉課	62
48	3	民生費	1	7	介護予防包括的支援事業	福祉課	63
49	3	民生費	1	7	通所型介護予防事業	福祉課	65
50	3	民生費	1	7	訪問型介護予防事業	福祉課	66
51	3	民生費	1	7	介護予防普及啓発事業	福祉課	67
52	3	民生費	1	7	家族介護支援事業	福祉課	68
53	3	民生費	1	7	成年後見制度支援事業	福祉課	69
54	3	民生費	1	7	地域自立生活支援事業	福祉課	70
55	3	民生費	1	7	地域包括ケア実践事業	福祉課	71
56	3	民生費	1	7	認知症総合支援事業	福祉課	73
57	3	民生費	2	1	子育て応援一般経費	子育て支援課	74
58	3	民生費	2	1	児童福祉扶助費	子育て支援課	75
59	3	民生費	2	1	子育て支援等総合相談事業	子育て支援課	76
60	3	民生費	2	1	療育事業	子育て支援課	78
61	3	民生費	2	2	児童クラブ運営事業	子育て支援課	79
62	3	民生費	2	1	病児・病後児保育事業	子育て支援課	80
63	3	民生費	2	3	保育所管理運営事業	子育て支援課	81
64	5	労働費	1	1	創業支援事業	まちづくり産業課	82
65	7	商工費	1	1	中小企業支援事業	まちづくり産業課	84
66	7	商工費	1	1	特産品振興事業	まちづくり産業課	85
67	7	商工費	1	1	中心市街地活性化事業	まちづくり産業課	87
68	2	総務費	1	3	定住促進事業	まちづくり産業課	88
69	6	農林水産業費	1	3	農業マーケティング事業	農林水産課	90
70	6	農林水産業費	1	3	有害鳥獣対策事業	農林水産課	91
71	6	農林水産業費	3	1	農業振興一般経費	農林水産課	92
72	6	農林水産業費	3	1	森林環境譲与税事業	農林水産課	93
73	6	農林水産業費	1	3	中山間地域等直接支払事業	農林水産課	94
74	6	農林水産業費	1	3	多面的機能支払事業	農林水産課	95
75	6	農林水産業費	1	3	園芸振興事業	農林水産課	96
76	7	商工費	1	2	工業振興・企業誘致事業	産業立地戦略室	97
77	7	商工費	1	2	工場等誘致振興助成事業	産業立地戦略室	98

No.	款	款名称	項	目	事業名称	主管課名称	掲載頁
78	7	商工費	1	3	観光資源活用事業	観光文化課	99
79	7	商工費	1	3	2次交通対策事業	観光文化課	100
80	7	商工費	1	3	仁科三湖振興事業	観光文化課	101
81	7	商工費	1	3	広域観光推進事業	観光文化課	102
82	7	商工費	1	3	山岳観光推進事業	観光文化課	103
83	7	商工費	1	3	滞在型観光推進事業	観光文化課	104
84	2	総務費	1	13	芸術文化振興事業	観光文化課	105
85	8	土木費	4	1	おたんじょ桜事業	建設課	107
86	8	土木費	4	2	コンパクトシティ形成事業	建設課	108
87	8	土木費	4	3	まちなかの緑地整備事業	建設課	109
88	8	土木費	2	4	雪害対策事業	建設課	110
89	8	土木費	4	3	公園管理事業	建設課	111
90	8	土木費	2	2	道路維持管理事業	建設課	112
91	8	土木費	2	2	交通安全施設整備事業	建設課	113
92	8	土木費	2	3	道路新設改良事業	建設課	114
93	8	土木費	4	3	仁科三湖周辺整備事業	建設課	115
94	6	農林水産業費	2	1	農業用施設管理事業	建設課	116
95	8	土木費	3	1	水路維持改良事業	建設課	117
96	8	土木費	4	4	住宅・建築物耐震化推進事業	建設課	118
97	8	土木費	4	4	ゼロカーボン住宅推進リフォーム支援事業	建設課	119
98	8	土木費	5	1	住宅管理費	建設課	120
100	7	商工費	1	4	温泉供給事業	上下水道課	121
104	4	衛生費	2	1	合併処理浄化槽設置推進事業	上下水道課	122
106	10	教育費	1	2	コミュニティ・スクール推進事業	学校教育課	123
107	10	教育費	1	2	ICT活用推進事業	学校教育課	124
108	10	教育費	2	2	小学校教育振興一般経費	学校教育課	125
109	10	教育費	3	2	中学校教育振興一般経費	学校教育課	126
110	10	教育費	2	3	小学校再編環境整備事業	学校教育課	127
111	10	教育費	4	1	エネルギー博物館運営費助成事業	生涯学習課	128
112	10	教育費	4	1	公民館分館整備助成事業	生涯学習課	129
113	10	教育費	4	2	補導見守り・環境整備事業	生涯学習課	130
114	10	教育費	4	2	青少年育成事業	生涯学習課	131
115	10	教育費	4	6	文化財保護一般経費	生涯学習課	132
116	10	教育費	4	1	人権教育推進事業	生涯学習課	133
117	10	教育費	4	3	大町公民館活動費	生涯学習課	134
118	10	教育費	4	5	文化会館公演事業	生涯学習課	135
119	10	教育費	4	3	平公民館活動費	生涯学習課	136
120	5	労働費	1	2	女性未来館ピュア運営事業	生涯学習課	137

No.	款	款名称	項	目	事業名称	主管課名称	掲載頁
121	10	教育費	4	3	常盤公民館活動費	生涯学習課	138
122	10	教育費	4	3	社公民館活動費	生涯学習課	140
123	10	教育費	1	2	山村留学支援事業	生涯学習課	142
124	10	教育費	4	3	八坂公民館活動費	生涯学習課	143
125	10	教育費	4	3	美麻公民館活動費	生涯学習課	144
126	10	教育費	4	4	図書資料購入事業	生涯学習課	145
127	10	教育費	5	1	体育大会運営事業	スポーツ課	146
128	10	教育費	5	1	スポーツ振興事業	スポーツ課	147
129	10	教育費	5	2	体育施設整備事業	スポーツ課	148
130	10	教育費	5	2	国民スポーツ大会施設整備事業	国民スポーツ大会準備室	149
131	10	教育費	6	1	山岳博物館教育普及事業	山岳博物館	150
132	10	教育費	6	1	山岳博物館調査研究事業	山岳博物館	151
133	10	教育費	6	1	動植物飼育栽培繁殖事業	山岳博物館	152
134	10	教育費	6	1	ライチョウ飼育事業	山岳博物館	153

No.	款	款名称	項	目	事業名称	主管課名称	掲載頁
32	6	保健事業費	1	1	特定健診・保健指導事業	市民課	157

一 般 会 計

はじめに

【令和6年度の経済動向】

国における令和6年度の経済状況は、緩やかな回復を続け、実質国内総生産（実質GDP）成長率は0.4%程度、消費者物価（総合）は2.5%程度の上昇率が見込まれる中、長きにわたったコストカット型経済から脱却し、デフレに後戻りせず、「賃金と投資が牽引する成長型経済」への移行を確実なものとするため、日本経済・地方経済の成長、物価高の克服及び国民の安心・安全の確保を三つの柱とする「国民の安心・安全と持続的な成長に向けた総合経済対策」を策定し、総合経済対策の効果を広く波及させていく取組みが進められました。

県内の経済状況は、令和7年1月の景気動向によると、エネルギー・原材料価格高騰等の影響により依然として厳しい状況が続いているものの、一部で持ち直しの動きが見られます。製造業の業況は、精密・機械の一部が好調であるものの、エネルギー・原材料価格の高騰等により収益率に低下が見られるとともに、一部自動車メーカーの生産の落ち込みにより自動車関連の受注、生産に弱さが見られることなどから、全体では11期連続でマイナス水準となりました。非製造業の業況は、情報化投資の増加や堅調なインバウンド需要等により、情報サービス業、飲食業、宿泊業でプラス水準となっているものの、全体では原材料価格の高騰や賃上げ等に伴う経費の増加に加え、消費者の節約志向等も影響し5期連続のマイナス水準となりました。

当市では、本格的なアフターコロナを迎える中で、大町らしさを活かした新しい人の流れを構築すべく、3回目となる「北アルプス国際芸術祭 2024」を開催し、観光分野を中心に国内外から人を呼び込み、交流人口や関係人口の創出を図ることで、地域経済の活性化の取組みを進めてきました。

取組みにより少しずつ景気回復は進んでいますが、依然として、長引く物価高等の影響を受け厳しい状況は続いていることから、今後も市民ニーズ的確に応え、安全・安心な暮らしをはじめ持続可能な地域社会の実現に向けた取組みを進めていくことが求められています。

以下、令和6年度の主要な施策の成果について報告いたします。

決算の概要

令和6年度一般会計決算は、歳入総額 19,113,558,343 円、歳出総額 18,601,227,461 円、差し引き形式収支は 512,330,882 円となりました。

このうち翌年度に繰り越すべき財源 184,730,000 円を差し引いた実質収支は 327,600,882 円の黒字となっています。

【 歳 入 】

歳入では、市税の収入済額は4,352,148,081円で、前年度比1.2%減、54,870,497円の減収となっています。物価等高騰の影響はあるものの、最低賃金の引上げをはじめ、賃金水準の改善や企業の業績も回復傾向にあるため、市民税等は増収となる一方で、償却資産は見込みより大きく減となり、全体としては減収となっています。

地方譲与税は223,151,000円で、森林環境譲与税の増額により4.7%の増、地方消費税交付金はコロナ禍を脱し消費等回復傾向にあるものの、0.1%微減の687,311,000円、地方特例交付金は住民税の定額減税に伴う減収対応により530.2%と大幅増で123,235,000円となっています。

地方交付税は6,507,267,000円で5.0%増となっています。その内訳は、普通交付税が再算定により当該年度に限り措置された「臨時経済対策費」「給与改定費」による基準財政需要額の伸び等で4.8%増の5,301,521,000円、特別交付税が除排雪経費や地域おこし協力隊の増員などにより5.8%増の1,205,746,000円であります。使用料は233,366,844円で県の多子世帯や低所得世帯の無償化等の制度化による保育所使用料の減等により、10,375,994円の減となっています。

国庫支出金は1,892,231,704円で、エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響に対する物価高騰対応重点支援助地方創生臨時交付金や、こども・子育て対策の強化による児童手当負担金の拡充と費用負担割合の改正により8.6%増となっています。財産収入は32.5%増の35,850,298円で、主な要因は不用となったボンネットバスなど公用車の売払い収入であります。

繰入金は751,510,000円で、庁舎空調設備改修工事等に活用した公共施設等整備基金149,000,000円などが主なものであります。繰越金は470,551,278円で42.0%減となっています。

市債は868,111,000円で14.2%増、八坂・美麻地区CATV網光化整備などに活用した辺地対策事業債280,400,000円、学校再編環境整備事業などに活用した過疎対策事業債359,700,000円などが主なものであります。

【 歳 出 】

歳出で主なものは、総務費では市制70周年を迎え記念事業や実行委員会負担金に2,264,584円、本庁舎の老朽している空調設備改修工事に138,600,000円、八坂・美麻地区CATV網光化整備事業に485,243,000円、3回目の開催となった北アルプス国際芸術祭2024に127,700,000円などの事業を実施しました。このほか、定額減税による調整給付金事業は193,130,197円となりました。

民生費では、児童手当給付が高校生への支給拡大や所得上限の撤廃、第3子への支給額増額などにより304,530,500円、障害者自立支援給付事業に673,595,626円、福祉医療費の給付に190,729,073円、認定こども園改築整備への補助等に22,437,675円

などの事業を実施しました。このほか、物価高騰による低所得者支援及びこども加算の給付金事業は併せて 344,157,105 円となりました。

衛生費では、北アルプスエコパークの運転費用など広域ごみ処理に係る負担金に 453,365,000 円、病院事業会計への繰出金は重点支援地方交付金を活用した光熱費価格高騰支援と併せて 815,000,000 円、国民健康保険特別会計直診勘定運営費への繰出金は八坂診療所移転新築の繰越事業を含め 174,024,381 円のほか、出産・子育て応援給付金事業に 12,359,168 円などの事業を実施しました。

農林水産業費では、農業者担い手確保をはじめ、農業マーケティングによる販売促進、中山間地域の農地保全や多面的機能の維持増進など農業振興事業に 219,161,028 円、遊休荒廃農地等の地域資源を活用し地域振興及び活性化を図る市民農園では 27,742,476 円などの事業を実施しました。このほか、森林環境譲与税事業では森林づくり事業補助金を拡充するなど森林整備を進めながら基金積立を含め 67,704,334 円となりました。

商工費では、引き続きコロナ禍後の景気回復を図るため、中小企業支援事業の市制度融資資金の原資預託金 650,000,000 円をはじめ、県・市制度資金保証料補給金 23,964,769 円や制度融資資金利子補給金として 3,200,259 円の補助などの事業を実施しました。物価高騰対策では重点支援地方交付金を活用し、市内での消費喚起を促すため、プレミアム付大町商品券事業 69,627,775 円を実施しました。

土木費では、交通事故防止や安全確保、施設の長寿命化のための交通安全施設の整備や道路維持管理に繰越事業を含め 269,535,044 円、緊急車両の通行確保や利便性の向上のための道路新設改良に 23,316,092 円、雪害対策経費に 401,783,209 円などの事業を実施し、建築費では、住宅・建築物の耐震化推進事業やゼロカーボン住宅推進リフォーム支援事業に 47,888,000 円などの事業を実施しました。

消防費では、常備消防への負担金 376,271,000 円、消防団の機能強化など消防団運営費に 69,889,990 円などを実施し、災害に対する市民生活の安全の確保を図るとともに、ハザードマップデータ更新など安心して暮らせるまちを実現するための事業に取り組みました。

教育費では、学校再編による旧第一中学校大規模改修工事や南小学校劣化度調査など小学校再編環境整備事業として 173,681,500 円、教育環境の充実を図るため山村留学支援事業に 21,950,000 円、学校給食事業に 113,831,858 円などの事業を実施したほか、生涯学習、スポーツ振興の分野では、図書館やサン・アルプス大町の照明設備 LED 化、第一屋内運動場照明設備 LED 化など施設整備を実施しました。

公債費は前年度比 0.2%、3,171,771 円減の 1,446,245,370 円となりました。内訳は、償還元金が 1,408,776,605 円、償還利子が 37,468,765 円となっています。

一般会計決算対前年度比較

歳入

(単位：円)

款 項	令和6年度 収入済額	令和5年度 収入済額	前年度差額	増減率 (%)
1 市税	4,352,148,081	4,407,018,578	-54,870,497	-1.2
1 市民税	1,450,509,249	1,447,151,400	3,357,849	0.2
2 固定資産税	2,451,295,567	2,524,172,225	-72,876,658	-2.9
3 軽自動車税	124,041,481	122,397,920	1,643,561	1.3
4 市たばこ税	183,691,996	179,129,035	4,562,961	2.5
5 入湯税	48,080,550	38,771,450	9,309,100	24.0
6 都市計画税	94,529,238	95,396,548	-867,310	-0.9
2 地方譲与税	223,151,000	213,045,000	10,106,000	4.7
1 地方揮発油譲与税	44,313,000	45,050,000	-737,000	-1.6
2 自動車重量譲与税	135,613,000	135,815,000	-202,000	-0.1
3 地方道路譲与税	0	0	0	-
4 森林環境譲与税	43,225,000	32,180,000	11,045,000	34.3
3 1 利子割交付金	1,237,000	907,000	330,000	36.4
4 1 配当割交付金	22,264,000	16,631,000	5,633,000	33.9
5 1 株式等譲渡所得割交付金	29,620,000	16,523,000	13,097,000	79.3
6 1 法人事業税交付金	64,914,000	60,000,000	4,914,000	8.2
7 1 地方消費税交付金	687,341,000	687,887,000	-546,000	-0.1
8 1 ゴルフ場利用税交付金	2,361,100	1,569,925	791,175	50.4
9 1 環境性能割交付金	20,575,000	16,230,000	4,345,000	26.8
10 地方特例交付金	123,235,000	19,554,000	103,681,000	530.2
1 地方特例交付金	123,235,000	19,554,000	103,681,000	530.2
11 1 地方交付税	6,507,267,000	6,198,911,000	308,356,000	5.0
12 1 交通安全対策特別交付金	2,053,000	2,283,000	-230,000	-10.1
13 分担金及び負担金	68,623,945	71,163,726	-2,539,781	-3.6
2 負担金	68,623,945	71,163,726	-2,539,781	-3.6
14 使用料及び手数料	269,911,572	279,403,988	-9,492,416	-3.4
1 使用料	233,366,844	243,742,838	-10,375,994	-4.3
2 手数料	36,544,728	35,661,150	883,578	2.5
15 国庫支出金	1,892,231,704	1,742,739,568	149,492,136	8.6
1 国庫負担金	996,502,763	989,613,258	6,889,505	0.7
2 国庫補助金	885,583,106	741,866,603	143,716,503	19.4
3 国庫委託金	10,145,835	11,259,707	-1,113,872	-9.9
16 県支出金	1,008,910,766	991,008,952	17,901,814	1.8
1 県負担金	487,218,673	474,017,222	13,201,451	2.8
2 県補助金	449,624,965	459,550,849	-9,925,884	-2.2
3 県委託金	72,067,128	57,440,881	14,626,247	25.5
17 財産収入	35,850,298	27,052,678	8,797,620	32.5
1 財産運用収入	25,731,574	24,194,240	1,537,334	6.4
2 財産売払収入	10,118,724	2,858,438	7,260,286	254.0
18 1 寄附金	193,174,997	172,159,989	21,015,008	12.2
19 1 繰入金	751,510,000	673,204,000	78,306,000	11.6
20 1 繰越金	470,551,278	811,340,394	-340,789,116	-42.0
21 諸収入	1,518,516,602	1,449,655,759	68,860,843	4.8
1 延滞金加算金及び過料	3,887,003	5,028,630	-1,141,627	-22.7
3 貸付金元利収入	806,737,376	806,110,899	626,477	0.1
4 受託事業収入	134,095,279	147,777,845	-13,682,566	-9.3
5 雑入	573,796,944	490,738,385	83,058,559	16.9
22 1 市債	868,111,000	760,156,000	107,955,000	14.2
合計	19,113,558,343	18,618,444,557	495,113,786	2.7

歳出（目的別）

（単位：円）

款 項	令和6年度 支出済額	令和5年度 支出済額	前年度差額	増減率 (%)	
1	議会費	152,686,403	145,661,025	7,025,378	4.8
1	議会費	152,686,403	145,661,025	7,025,378	4.8
2	総務費	4,345,324,871	3,576,355,532	768,969,339	21.5
1	総務管理費	3,914,495,892	3,309,389,145	605,106,747	18.3
2	徴税費	358,656,972	180,639,996	178,016,976	98.5
3	戸籍住民基本台帳費	33,791,455	35,987,363	-2,195,908	-6.1
4	選挙費	26,696,420	40,797,690	-14,101,270	-34.6
5	統計調査費	9,293,366	7,298,892	1,994,474	27.3
6	監査委員費	2,390,766	2,242,446	148,320	6.6
3	民生費	4,519,012,169	4,516,602,952	2,409,217	0.1
1	社会福祉費	2,749,714,810	2,891,954,077	-142,239,267	-4.9
2	児童福祉費	1,488,254,578	1,371,147,480	117,107,098	8.5
3	生活保護費	281,042,781	253,471,395	27,571,386	10.9
4	災害救助費	0	30,000	-30,000	皆減
4	衛生費	2,568,189,148	2,802,627,535	-234,438,387	-8.4
1	保健衛生費	1,739,014,471	1,657,603,154	81,411,317	4.9
2	清掃費	779,170,480	1,089,807,142	-310,636,662	-28.5
3	環境保全費	50,004,197	55,217,239	-5,213,042	-9.4
5	労働費	116,566,919	122,082,762	-5,515,843	-4.5
1	労働諸費	116,566,919	122,082,762	-5,515,843	-4.5
6	農林水産業費	673,997,913	705,200,631	-31,202,718	-4.4
1	農業費	381,701,500	393,504,722	-11,803,222	-3.0
2	耕地整備事業費	186,378,832	206,041,281	-19,662,449	-9.5
3	林業費	96,434,070	96,255,778	178,292	0.2
4	水利対策費	9,483,511	9,398,850	84,661	0.9
7	商工費	1,257,980,069	1,516,040,279	-258,060,210	-17.0
1	商工費	1,257,980,069	1,516,040,279	-258,060,210	-17.0
8	土木費	1,571,570,018	1,541,665,035	29,904,983	1.9
1	土木管理費	33,372,700	28,617,220	4,755,480	16.6
2	道路橋梁費	776,262,229	713,029,220	63,233,009	8.9
3	河川費	17,458,268	16,797,910	660,358	3.9
4	都市計画費	695,229,410	659,754,467	35,474,943	5.4
5	住宅費	49,247,411	123,466,218	-74,218,807	-60.1
9	消防費	511,718,021	513,178,325	-1,460,304	-0.3
1	消防費	511,718,021	513,178,325	-1,460,304	-0.3
10	教育費	1,379,548,560	1,226,422,912	153,125,648	12.5
1	教育総務費	146,734,536	144,365,534	2,369,002	1.6
2	小学校費	436,458,070	296,957,836	139,500,234	47.0
3	中学校費	84,833,333	85,848,289	-1,014,956	-1.2
4	社会教育費	289,766,443	302,964,868	-13,198,425	-4.4
5	保健体育費	347,545,697	308,670,973	38,874,724	12.6
6	山岳博物館費	74,210,481	87,615,412	-13,404,931	-15.3
11	災害復旧費	58,388,000	32,639,150	25,748,850	78.9
1	農林施設等災害復旧費	58,388,000	25,072,300	33,315,700	132.9
2	土木施設等災害復旧費	0	7,566,850	-7,566,850	皆減
12	公債費	1,446,245,370	1,449,417,141	-3,171,771	-0.2
1	公債費	1,446,245,370	1,449,417,141	-3,171,771	-0.2
13	予備費	0	0	0	-
1	予備費	0	0	0	-
合計		18,601,227,461	18,147,893,279	453,334,182	2.5

歳出（性質別）

（単位：千円）

	令和6年度 支出済額	令和5年度 支出済額	前年度差額	増減率 (%)
人件費	3,514,937	3,228,765	286,172	8.9
扶助費	2,644,661	2,503,535	141,126	5.6
公債費	1,446,245	1,449,417	-3,172	-0.2
物件費	2,213,466	2,356,004	-142,538	-6.0
維持補修費	606,251	582,902	23,349	4.0
補助費等	4,001,305	4,126,724	-125,419	-3.0
うち一部事務組合に対するもの	980,458	1,204,610	-224,152	-18.6
繰出金	1,312,260	1,525,094	-212,834	-14.0
積立金	312,822	524,583	-211,761	-40.4
投資・出資・貸付金	755,588	755,244	344	0.0
投資的経費	1,793,693	1,095,625	698,068	63.7
普通建設事業費	1,735,305	1,062,986	672,319	63.2
補助事業費	958,756	277,622	681,134	245.3
単独事業費	776,549	785,314	-8,765	-1.1
災害復旧費	58,388	32,639	25,749	78.9
合計	18,601,228	18,147,893	453,335	2.5

一 般 会 計 決 算 比 較

歳入

(単位：円)

款	令和6年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度
1 市税	4,352,148,081	4,407,018,578	4,277,887,784	4,118,584,560
2 地方譲与税	223,151,000	213,045,000	211,590,000	207,717,000
3 利子割交付金	1,237,000	907,000	1,136,000	2,056,000
4 配当割交付金	22,264,000	16,631,000	13,731,000	15,893,000
5 株式等譲渡所得割交付金	29,620,000	16,523,000	9,903,000	17,041,000
6 法人事業税交付金	64,914,000	60,000,000	74,139,000	63,231,000
7 地方消費税交付金	687,341,000	687,887,000	713,412,000	687,887,000
8 ゴルフ場利用税交付金	2,361,100	1,569,925	1,705,900	1,710,450
9 環境性能割交付金	20,575,000	16,230,000	12,952,000	13,466,000
10 地方特例交付金	123,235,000	19,554,000	18,805,000	113,200,000
11 地方交付税	6,507,267,000	6,198,911,000	6,244,232,000	6,492,235,000
12 交通安全対策特別交付金	2,053,000	2,283,000	2,532,000	3,178,000
13 分担金及び負担金	68,623,945	71,163,726	62,773,156	58,012,953
14 使用料及び手数料	269,911,572	279,403,988	270,539,582	264,885,715
15 国庫支出金	1,892,231,704	1,742,739,568	2,208,927,147	2,348,884,209
16 県支出金	1,008,910,766	991,008,952	1,072,111,221	1,029,765,789
17 財産収入	35,850,298	27,052,678	31,228,637	29,721,710
18 寄附金	193,174,997	172,159,989	133,843,921	130,790,852
19 繰入金	751,510,000	673,204,000	255,656,000	356,076,000
20 繰越金	470,551,278	811,340,394	995,046,585	780,316,130
21 諸収入	1,518,516,602	1,449,655,759	1,411,396,572	1,417,302,126
22 市債	868,111,000	760,156,000	492,543,000	809,572,000
合 計	19,113,558,343	18,618,444,557	18,516,091,505	18,961,526,494

歳出（目的別）

(単位：円)

款	令和6年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度
1 議会費	152,686,403	145,661,025	144,751,997	144,987,038
2 総務費	4,345,324,871	3,576,355,532	3,186,209,903	2,799,629,377
3 民生費	4,519,012,169	4,516,602,952	4,573,717,193	4,887,630,441
4 衛生費	2,568,189,148	2,802,627,535	2,262,231,687	2,426,974,091
5 労働費	116,566,919	122,082,762	126,196,173	125,631,441
6 農林水産業費	673,997,913	705,200,631	623,654,631	679,737,180
7 商工費	1,257,980,069	1,516,040,279	1,785,596,549	1,715,473,963
8 土木費	1,571,570,018	1,541,665,035	1,404,753,579	1,815,349,799
9 消防費	511,718,021	513,178,325	517,269,461	565,753,957
10 教育費	1,379,548,560	1,226,422,912	1,493,590,798	1,326,838,592
11 災害復旧費	58,388,000	32,639,150	13,433,250	34,195,090
12 公債費	1,446,245,370	1,449,417,141	1,573,345,890	1,463,799,940
13 予備費	0	0	0	0
合 計	18,601,227,461	18,147,893,279	17,704,751,111	17,986,000,909

歳出（性質別）

(単位：千円)

	令和6年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度
人件費	3,514,937	3,228,765	3,215,734	3,158,835
扶助費	2,644,661	2,503,535	2,448,843	2,754,988
公債費	1,446,245	1,449,417	1,573,346	1,463,800
物件費	2,213,466	2,356,004	2,453,481	2,305,621
維持補修費	606,251	582,902	456,554	713,906
補助費等	4,001,305	4,126,724	3,986,478	4,127,702
繰出金	1,312,260	1,525,094	1,310,135	1,307,773
積立金	312,822	524,583	418,728	330,178
投資・出資・貸付金	755,588	755,244	755,085	756,824
投資の経費	1,793,693	1,095,625	1,086,367	1,066,374
合 計	18,601,228	18,147,893	17,704,751	17,986,001

他会計等への繰出金・負担金前年比較

(単位：円、%)

繰出金	令和6年度	令和5年度	差引	伸び率
国民健康保険特別会計	327,250,126	308,483,676	18,766,450	6.1
事業勘定	218,079,126	226,941,676	-8,862,550	-3.9
八坂診療所直診勘定	95,006,000	72,404,000	22,602,000	31.2
美麻診療所直診勘定	14,165,000	9,138,000	5,027,000	55.0
後期高齢者医療特別会計	109,841,532	100,407,478	9,434,054	9.4
公営簡易水道事業会計/特別会計	196,944,000	274,681,000	-77,737,000	-28.3
水道事業会計	36,888,320	10,888,510	25,999,810	238.8
温泉引湯事業会計	60,000	240,000	-180,000	-75.0
公共下水道事業会計	526,470,000	492,636,000	33,834,000	6.9
農業集落排水事業会計	85,777,000	87,806,000	-2,029,000	-2.3
病院事業会計	815,000,000	810,000,000	5,000,000	0.6
合計	2,098,230,978	2,085,142,664	13,088,314	0.6

※水道事業は、消火栓新設及び維持経費を含む

北アルプス広域連合負担金	1,432,141,000	1,634,941,000	-202,800,000	-12.4
介護保険事業費	469,775,000	455,627,000	14,148,000	3.1
広域ごみ処理施設関係	453,365,000	731,656,000	-278,291,000	-38.0
常備消防費	376,271,000	332,979,000	43,292,000	13.0
広域経常費（人件費等）	47,083,000	42,598,000	4,485,000	10.5
その他の負担金	85,647,000	72,081,000	13,566,000	18.8

地方消費税交付金社会保障財源分の充当先一覧

社会保障財源分決算額 379,164 千円

(単位：千円)

区分	決算額	特定財源		一般財源		
		国県支出金	その他	社会保障財源分	その他	
社会福祉	社会福祉総務費	334,909	133,262	11,121	21,527	168,999
	障害者福祉費	745,599	498,766	7,716	47,925	191,192
	高齢者福祉費	171,735	838	23,588	11,039	136,270
	福祉医療給付費	216,024	73,154	5,588	13,885	123,397
	地域支援事業費	122,872	1,551	103,351	2,898	15,072
	児童福祉費	1,466,713	699,977	78,675	99,276	588,785
	生活保護費	281,043	160,945	9,029	18,065	93,004
	小計	3,338,895	1,568,493	239,068	214,615	1,316,719
社会保険	国民健康保険	327,250	114,022	60,100	21,035	132,093
	後期高齢者医療	499,997	81,625	0	32,138	386,234
	介護保険	455,309	0	0	29,266	426,043
	小計	1,282,556	195,647	60,100	82,439	944,370
保健衛生	保健総務費	1,004,965	0	20,455	64,596	919,914
	予防費	215,590	645	15,812	13,857	185,276
	母子保健費	36,258	13,058	4,562	2,331	16,307
	保健事業費	20,635	2,041	3,166	1,326	14,102
	小計	1,277,448	15,744	43,995	82,110	1,135,599
合計	5,898,899	1,779,884	343,163	379,164	3,396,688	

主要な施策の成果説明書

						前年度評価	継続				
						事務事業No.	1				
担当課	総務部	庶務課	職員係								
事務事業名	職員研修事業					実施方法	市が直接実施				
会計	一般会計		款	2	項	1	目	1	決算書	71	頁
総合計画	まちづくりのテーマ 第5章 市民の参画と協働でつくるまち					後期計画掲載頁		93		頁	
	施策目標 【3】市民との情報共有と持続的なサービス提供体制の構築										
	施策項目 ⑦職員の資質向上と育成										
個別計画	大町市人財育成基本方針、大町市人財育成推進計画										頁

対象と目的	<p>時代の変化に向き合い、自ら考え、行動し、成長する職員の育成を目指し、「学び、共感、挑戦」をキーワードに組織として、能力開発（職員研修、派遣研修等）、人事評価、人財活用（人事異動、職員採用等）の取組を進める。</p> <p>また、職員それぞれの取組として、組織内対話の充実と自己啓発を推進する。</p>										
-------	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

主な実施内容	<p>(1) 能力開発 年間研修計画に基づき職場外研修（庁内一般研修、対話研修、楽々講座）や派遣研修（年間、随時）を進める。</p> <p>(2) 人事評価 人事評価制度の手引きに基づき人事評価を適正に実施し、人財育成につなげる。</p> <p>(3) 人財活用 研修参加実績、人事評価結果、資格取得状況等を人事給与システムで一元的に管理し、適材適所の職員配置に努める。</p> <p>(4) 組織内対話の充実 対話研修の実施により、対話の重要性を職員に理解してもらい、組織内対話の充実を図る。</p> <p>(5) 自己啓発 自己研修費助成制度を活用し、自己研修、資格取得を奨励する。</p>										
--------	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業費	決算額		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	総事業費（決算額）		10,985,861 円		8,820,976 円		7,590,062 円	
	財源内訳	特定財源	86,000 円		156,000 円		260,000 円	
一般財源		10,899,861 円		8,664,976 円		7,330,062 円		
予算	R6当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額	
	9,768,000	-1,100,000	0	20,000	8,688,000	7,590,062	0	
	不用額	特定財源	細節名	統一テーマ合同職員研修事業	北アルプス連携自立圏事業負担金			
1,097,938		金額	72,000	188,000				

事業の実績・成果				前年度（令和5年度）からの改善点等		あり
◆ 施策目標に資する活動						
1 職員研修						
(1) 庁内研修						
<ul style="list-style-type: none"> 一般研修（eラーニング含む）21講座、877人 対話研修（組織風土を考える対話）115人 楽々講座 7講座、190人 						
(2) 派遣研修						
<ul style="list-style-type: none"> 年間派遣研修 3か所、3人 随時派遣研修 41講座、101人 						
(3) 自主研修助成						
<ul style="list-style-type: none"> 2講座、22人 						
2 人事評価						
実施率100%						
◆ 事業の成果						
<p>研修後の職員アンケートから、研修内容及び資料の満足度はいずれも約8割と高い。実務研修は、職位に応じた業務に直結するため、受講した内容をすぐに役立てることができる。また楽々講座についても、約9割の職員が、今後の業務の参考になったと回答している。</p> <p>心理的安全性の確保された職場づくりに関し、組織内対話は重要な要素であるため、今後も対話研修や組織風土を考える職員対話を通じて、組織内対話の活性化を推進するとともに、対話を通じ、自ら考え、行動できる職員を育成する。</p>						
◆ 前年度からの改善点						
健全な職場環境を維持するため、コンプライアンス研修やハラスメント研修を実施した。						

主要な施策の成果説明書

						前年度評価	継続				
						事務事業No.	2				
担当課	総務部	庶務課	市民活動支援係								
事務事業名	市民活動促進事業					実施方法	市が直接実施				
会計	一般会計		款	2	項	1	目	8	決算書	87	頁
総合計画	まちづくりのテーマ 第5章 市民の参画と協働でつくるまち					後期計画掲載頁		86	頁		
	施策目標 【1】市民の参画・協働と市民の視点に立った市政の推進										
	施策項目 ①市民参画と協働によるまちづくりの推進										
個別計画	市民参加と協働のまちづくり推進基本指針										頁
対象と目的	<p>市民参画と協働のまちづくりの推進を図るため、市民活動団体の自主的なまちづくり活動が、より活発でスムーズに行えるよう支援環境を整え、併せて団体の育成と団体相互の連携強化を図る。また、自治会においては、高齢化による役員のみならず、加入率の低下など様々な課題を抱えている。</p> <p>自治会活動は、協働によるまちづくりの推進や災害発生時の対応などにおいて、重要な役割を担っていることから、今後も継続して自治会運営への支援を行うとともに、役員の負担軽減への見直しにも協力を行っていく。</p>										
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 市連合自治会、大町地区連合自治会事務局 地縁団体登録、証明 まちづくりセミナーの開催 まちづくりフォーラムの開催 										

決算額		令和4年度	令和5年度	令和6年度			
総事業費（決算額）		25,124,000 円	38,024,000 円	20,734,270 円			
財源内訳	特定財源	8,500,000 円	22,000,000 円	20,266,000 円			
	一般財源	16,624,000 円	16,024,000 円	468,270 円			
予算	R6当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額
	16,250,000	4,500,000	0	0	20,750,000	20,734,270	0
	不用額	特定財源	細節名	自治総合センターコミュニティ助成金	市町村振興協会のコミュニティ助成金	ふるさと応援基金繰入金	
15,730	金額	3,500,000	2,000,000	14,766,000			

事業の実績・成果	前年度（令和5年度）からの改善点等	あり
◆ 施策目標に資する活動		
<ul style="list-style-type: none"> ○ 防災研修 市自主防災会との共催により、日本防災士会長野県支部を講師にお招きし、研修を実施。 令和6年6月8日（土） 参加者52人 ○ 防災先進地視察研修 「富山県防災危機管理センター」「四季防災館」 令和6年10月29日（火） 参加者11人 ○ まちづくりセミナーの開催 普通救命（AED）講習会 令和6年11月14日（木） 自治会、自主防災会、市民活動団体より 参加者15人 ○ 「つながるマルシェ」(実行委員会との共催) ・「つながるマルシェ」令和6年9月7日（土）開催 出展26団体 参加者600人 市民活動団体の活動発表、交流の機会の創出 ・市民活動セミナー「新たな仲間の巻き込み方」 令和7年3月22日（土） 参加者18人 		
◆ 事業の成果		
<ul style="list-style-type: none"> ・連合自治会では、市民の関心の高い防災に関する研修を開催し、防災意識の向上を図るとともに、災害時における地域の繋がりの重要性を再認識した。 ・「つながるマルシェ」では、約600人の参加があり、活動発表により日頃の活動を知っていただくとともに交流の場が広がり、市民活動の意欲向上に繋がった。 ・市民活動セミナーでは、団体から要望の多い仲間を増やすための講座を開催し、団体運営の考え方や、仲間を増やすための具体的な手段を学んだ。 		
◆ 前年度からの改善点		
<ul style="list-style-type: none"> ・連合自治会の研修は、関心の高い防災についての研修を企画し、多くの自治会長に参加いただき、災害時における避難所の課題や必要な備蓄品などについて理解を深めた。また、コロナ禍で実施できなかった先進地視察研修をR6は実施し、富山県の防災関連施設の見学を実施。能登半島地震の教訓を踏まえた講義を受講し、日頃の備えの大切さや「自助・共助」の重要性を再確認できた。 		

事業の実績・成果

・「つながるマルシェ」は昨年好評だった屋外での開催を継続し、新たに学生・福祉・スポーツ・動物など多種多様な団体に参加していただき、スタンプラリー等を行い来場者との交流するきっかけとした。

主要な施策の成果説明書

						前年度評価	継続				
						事務事業No.	3				
担当課	総務部	庶務課	市民活動支援係								
事務事業名	ひとが輝くまちづくり事業					実施方法	補助金				
会計	一般会計		款	2	項	1	目	8	決算書	87	頁
総合計画	まちづくりのテーマ 第5章 市民の参画と協働でつくるまち					後期計画掲載頁		86	頁		
	施策目標 【1】市民の参画・協働と市民の視点に立った市政の推進										
	施策項目 ①市民参画と協働によるまちづくりの推進										
個別計画											

対象と目的	自主的かつ主体的な活動により、公益性のあるまちづくり事業を行う市民活動団体への支援及び自治会等における花づくりを通じた地域コミュニティの促進を図るとともに、市民活動団体の育成及び市民参画と協働によるまちづくりの推進を図る。									
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ひとが輝くまちづくり事業 <ul style="list-style-type: none"> ・伝統文化の継承事業 ・まちづくり事業（はじめようまちづくり活動、ひろげようまちづくり活動、地域創生活動） ・活動継続支援事業 ○花づくり活動事業 									

決算額		令和4年度	令和5年度	令和6年度			
総事業費（決算額）		12,885,901 円	12,991,856 円	12,045,382 円			
財源内訳	特定財源	10,000,000 円	0 円	12,000,000 円			
	一般財源	2,885,901 円	12,991,856 円	45,382 円			
予算	R6当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額
	13,686,000	-1,000,000	0	0	12,686,000	12,045,382	0
	不用額	特定財源	細節名	地域振興基金繰入金	ふるさと応援基金繰入金		
640,618		金額	10,000,000	2,000,000			

事業の実績・成果	前年度（令和5年度）からの改善点等	なし
◆ 施策目標に資する活動		
○ 公開審査会		
4月13日（土）ひろげようまちづくり活動 7団体		
地域創生活動 4団体		
7月16日（火）地域創生活動 1団体		
○ 補助団体数		
はじめようまちづくり活動 3団体		
活動継続支援事業 0団体		
ひろげようまちづくり活動 7団体		
地域創生活動 5団体		
○ 花づくり活動団体 19団体		
・7月下旬から8月上旬に中間調査実施		
○ 最終報告会 令和7年3月15日（土）		
・各団体の1年間の活動報告		
◆ 事業の成果		
ひとが輝くまちづくり事業補助金では、まちづくり活動の推進に繋がるとともに、団体同士がお互いの活動を知ることによって交流が生まれ、市民参画と協働のまちづくりの推進において、プラスアルファの効果が生じた。また、本年は市制施行70周年や北アルプス国際芸術祭2024を市民参画の力で盛り上げる活動に補助金を活用する団体が複数あり、市内外に当市の魅力を伝えることに寄与した。		
◆ 前年度からの改善点		
無し		

主要な施策の成果説明書

前年度評価						継続			
事務事業No.						4			
担当課	総務部	庶務課	男女共同参画・人権政策係			実施方法			市が直接実施
事務事業名	人権政策費					目 1			決算書 73 頁
会計	一般会計		款	2	項	1	後期計画登載頁		89 頁
総合計画	まちづくりのテーマ 第5章 市民の参画と協働でつくるまち					後期計画登載頁 89 頁			
	施策目標 【2】多様性に満ちた共生社会の実現								
	施策項目 ①人権教育・啓発の推進								
個別計画	大町市人権教育及び人権啓発に関する基本方針								
対象と目的	<p>様々な人権問題を解決するために、市民一人ひとりが人権を身近な問題として捉え、人権について正しく理解し、人権意識を高めていくことで、「人権を尊重し差別のない明るい大町市づくり」の実現を目指す。</p>								
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 人権擁護委員と連携した人権啓発（街頭啓発、幼稚園、保育園での啓発など） 人権を考える市民の集い開催（教育委員会 人権教育担当と共催） 人権擁護委員の推薦 								
事業費	決算額		令和4年度		令和5年度		令和6年度		
	総事業費（決算額）		254,348 円		530,000 円		332,000 円		
	財源内訳	特定財源	0 円		0 円		0 円		
		一般財源	254,348 円		530,000 円		332,000 円		
予算	R6当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額		
	364,000	0	0	0	364,000	332,000	0		
	不用額	特定財源	細節名						
	32,000	金額							
事業の実績・成果						前年度（令和5年度）からの改善点等		あり	
<p>◆ 施策目標に資する活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 第61回長野県部落解放研究集会への参加 ○ 人権啓発活動 <ul style="list-style-type: none"> ・街頭啓発（文化祭）、人権教室の開催（どんぐり保育園、大町東小学校、八坂小中学校） ・人権を考える市民の集い開催（教育委員会と共催） 市内6地区 ○ 人権擁護委員の推薦 3人 ○ 犯罪被害者等支援条例の策定 <p>◆ 事業の成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 第61回長野県部落解放研究集会への参加 12月19日（木） 参加人数 510人 ○ 人権啓発活動 <ul style="list-style-type: none"> ・人権を考える市民の集いでは、市内6地区の小中学校を会場に、それぞれ会場ごとに、異なる人権課題をテーマにした講演会等を行い、児童や一般市民（参加者延べ1,291人）への人権意識の普及に繋がった。 ○ 人権擁護委員による人権相談（常設：毎月第3木曜日、特設：6月3日、9月2日、12月2日） ○ 犯罪被害者等支援条例などによる支援 0件 <p>◆ 前年度からの改善点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権課題の一つでもある犯罪被害者等支援について、市町村における支援の必要性が高いことから、県内でも条例制定の動きが活発化しており、当市においても条例制定し10月施行した。 ・大町の裁判所の充実を求める協議会を令和7年2月に設立し、活動を始めている。 									

主要な施策の成果説明書

						前年度評価	継続				
						事務事業No.	5				
担当課	総務部	庶務課	男女共同参画・人権政策係								
事務事業名	男女共同参画推進費					実施方法	市が直接実施				
会計	一般会計		款	2	項	1	目	10	決算書	93	頁
総合計画	まちづくりのテーマ 第5章 市民の参画と協働でつくるまち					後期計画掲載頁		89	頁		
	施策目標					【2】多様性に満ちた共生社会の実現					
	施策項目					①人権教育・啓発の推進					
個別計画	大町市第4次男女共同参画計画										

対象と目的
 急速な人口減少と少子高齢化、頻発する自然災害や感染症の流行など、社会情勢が大きく変化するなかで、活力ある社会を維持するためには、男女がお互いの人権を尊重しつつ責任を分かち合い、性別に関わりなく、その個性と能力を十分に発揮することができる男女共同参画社会の実現が必要となる。
 幼児から高齢者まで幅広い世代に対し、身近で関心の高い分野を取り入れながら男女共同参画社会について学習の機会を設け、誰もが個性を發揮できる男女共同参画社会の実現を目指す。

主な実施内容

- 男女共同参画フォーラムの開催
- 男女共同参画学習会の開催（市内6地区）
- 女性団体連絡協議会への支援
- 女性相談・男性相談
- 大町市第4次男女共同参画計画の周知と施策の推進

事業費		決算額		令和4年度	令和5年度	令和6年度	
		総事業費（決算額）		835,664 円	841,216 円	423,000 円	
財源内訳	特定財源			0 円	0 円	0 円	
	一般財源			835,664 円	841,216 円	423,000 円	
予算	R6当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額
	666,000	0	0	0	666,000	423,000	0
	不用額	特定財源	細節名				
243,000		金額					

事業の実績・成果 前年度（令和5年度）からの改善点等 あり

◆ 施策目標に資する活動

- 男女共同参画フォーラム
 令和7年3月20日（木）サンアルプス大町にて開催 参加者100人
 講演：「今さら聞けない男女共同参画～何のため？どんな社会に？どうやって？～」
 講師：千金亭 値千金さん
- 男女共同参画学習会の開催（各地区公民館）
 - ・大町地区 10月～3月 外国人のための日本語教室との交流 参加者延べ14人
 - ・平地区 3/16 講演会「災害に備える」～いざというときのために～ 参加者15人
 - ・常盤地区 3/16 「ポッチャを楽しもう！」 参加者30人
 - ・社地区 8/4 「松本山雅健康運動教室」 参加者20人
 - ・八坂地区 2/16 「スパイス料理に男女で挑戦」 参加者12人
 - ・美麻地区 9/7 「災害でも美味しい食事を お湯ポチャレシピ」参加者8人
- 大町市女性団体連絡協議会の活動支援
 - ・ 総会・講演会 令和6年4月20日（土）開催 参加者20人
 講演「天気上手で防災上手～大町の気象災害から身を守るために～」
 講師 気象予報士 鈴木智恵さん
 - ・ 理事会 毎月1回 計12回開催
- 女性相談・男性相談の実施 毎月第2、4木曜日 相談件数延べ11件

◆ 事業の成果

- ・フォーラムや学習会を行い、男女共同参画への理解促進や啓発を行った。
 これまでの取組みにより徐々にではあるが、市民の男女共同参画に対する意識が向上している。また、フォーラムや各地区の学習会におけるアンケートの結果からも、男女共同参画に関心をもつ契機となったことがうかがえた。

◆ 前年度からの改善点


- ・フォーラムや学習会では、多くの参加者を確保するために、それぞれの実行委員会でアイデアを出し合い、どうすれば参加者が増えるか検討し、男女共同参画をわかりやすく説明いただける講師である男女共同参画落語創作・口演家の千金亭 値千金を招き実施した。

主要な施策の成果説明書

						前年度評価	継続			
						事務事業No.	6			
担 当 課	総務部	企画財政課	企画調整係			実施方法	市が直接実施			
事 務 事 業 名	アルプス囲碁村推進事業					目	3	決算書	77	頁
会 計	一般会計		款	2	項	1	目	3	決算書	77
総合計画	まちづくりのテーマ 第1章 ふるさとに誇りを持つひとを育むまち					後期計画掲載頁		45	頁	
	施策目標 【2】生きがいに満ちた生涯学習の機会の提供									
	施策項目 ③多様な分野の学習活動の促進									
個別計画	アルプス囲碁村計画									

対象と目的	<p>幼児から高齢者までの幅広い年齢層の市民が、「まちづくりはひとづくり」という視点に立ち、囲碁を通じた「ひとの和づくり」をコンセプトとした魅力あるまちづくりを行う。 風光明媚な当市の豊かな自然環境の中で、囲碁を楽しんでいただけるよう滞在型観光に結び付けるとともに、囲碁愛好者の拡大を図り、囲碁通じた人財育成を図る。</p>									
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 幼保育園、小学校への囲碁普及員の派遣 ・ 囲碁十段戦第3局歓迎レセプション及び大盤解説会開催 ・ アルプス囲碁ポンヌキ大会（市内幼保育園年長児） ・ 各種大会、イベント共催協力等 ・ アルプス囲碁村十段戦の開催 ・ 第22回アルプス囲碁村まつりの開催 ・ 保育園囲碁交流会 ・ 囲碁村会館の維持管理 									

事業費	決算額		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	総事業費（決算額）		2,511,247 円		5,510,400 円		2,815,400 円	
	財源内訳	特定財源	0 円		0 円		0 円	
一般財源		2,511,247 円		5,510,400 円		2,815,400 円		
予算	R6当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額	
	2,818,000	0	0	0	2,818,000	2,815,400	0	
	不用額	特定財源	細節名					
2,600		金額						

事業の実績・成果		前年度（令和5年度）からの改善点等	あり
◆ 施策目標に資する活動			
◇令和6年4月～令和7年3月（市内保育園、小学校、児童クラブ、囲碁村会館）			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 普及員7名 ・ 派遣施設数14施設 ・ 指導時間合計 242時間 			
◇子ども囲碁教室・こどもと大人の囲碁入門講座			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 第1期 4月13日～7月20日 参加者延べ144名 ・ 第2期 8月24日～11月30日 参加者延べ88名 ・ 第3期 12月14日～3月15日 参加者延べ118名 			
			
◆ 事業の成果			
<p>コロナ禍が明けて、少しずつ以前の活動を取り戻すため、産経新聞社主催の十段戦の開催や、囲碁村まつりの開催を通じ多くの囲碁愛好者に交流の機会を創出した。 また囲碁の普及活動においては、「囲碁を学ぶ」のではなく、「囲碁に学ぶ、囲碁で学ぶ」という基本的な考え方を基に、「囲碁によるまちづくり」、「囲碁によるひとづくり」を推進することができた。</p>			
◆ 前年度からの改善点			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 囲碁普及活動において使用している囲碁用品の更新を行った。 ・ 囲碁村会館で使用する消耗品を更新し、快適に囲碁を打てる環境を整備した。 ・ 新たな囲碁普及活動先として、市内の児童通所支援施設（キッズウィル）での囲碁普及活動を行った。 			

主要な施策の成果説明書


						前年度評価	やり方改善		
						事務事業No.	7		
担当課	総務部	企画財政課	企画調整係			実施方法	その他		
事務事業名	ふるさと応援団事業					後期計画掲載頁	77	頁	
会計	一般会計		款	2	項	1	目	3	決算書
総合計画	まちづくりのテーマ 第5章 市民の参画と協働でつくるまち					後期計画掲載頁	92	頁	
個別計画	【3】市民との情報共有と持続的なサービス提供体制の構築								
個別計画	⑤健全で持続可能な財政運営								

対象と目的	<ul style="list-style-type: none"> 都市部と地方における税収の地域間格差の是正と大町市を「ふるさと」として全国から広く支援いただくことを目的に、平成20年10月からふるさと寄附（納税）の受け入れを開始し、当市のまちづくりを応援いただいている。 寄附金を事業の財源として充当、活用が可能となり、自主財源の確保が図られる。 寄附特典として地域特産品等を返礼品としており、地域産業の活性化へと繋げる。
-------	---

主な実施内容	<p>12項目の寄附金使途メニューを設け、寄附者の意向に沿った事業へと充当、活用している。</p> <p>①協働のまちづくり ②自然環境保全 ③未来を担う子ども達 ④高齢者の生きがい ⑤山岳観光都市の振興 ⑥山村留学事業推進 ⑦芸術文化振興 ⑧起業創業支援 ⑨移住定住促進 ⑩市立大町病院の支援 ⑪市長におまかせ ⑫その他</p> <p>令和6年度充当事業（R5寄附分）：寄附者指定の使途に従い、ひとが輝くまちづくり事業や環境保全事業など30事業</p>
--------	--

決算額		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
総事業費（決算額）		193,904,857 円		234,966,809 円		278,600,839 円	
財源内訳	特定財源	128,230,274 円		154,247,701 円		188,904,000 円	
	一般財源	65,674,583 円		80,719,108 円		89,696,839 円	
予算	R6当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額
	188,790,000	92,212,000	0	0	281,002,000	278,600,839	0
	不用額	特定財源	細節名	ふるさと応援基金利子収入	ふるさと寄付金		
2,401,161		金額	52,000	188,852,000			

事業の実績・成果	前年度（令和5年度）からの改善点等	あり
----------	-------------------	----

<p>◆ 施策目標に資する活動</p> <p>市ホームページやポータルサイト等による情報発信 寄附額を寄附者指定の使途に従い翌年度事業に充当 寄附件数：5,641件（ふるさと寄付金） 寄附額：188,852,000円</p>	
<p>◆ 事業の成果</p> <p>ふるさとや地方自治体の様々な取組みを応援する納税者の気持ちを橋渡しして、支えあう仕組みであるとともに地方自治体自らが財源を確保し、様々な施策を展開、実現するために有効な手段である。</p> <p>一方、自治体間の過熱化する返礼品競争など制度運用の課題も多いが、特産品を含め当市をPRする機会でもあることから、返礼品を通じて市の魅力の周知に努めている。</p>	
<p>◆ 前年度からの改善点</p> <ul style="list-style-type: none"> 宿泊施設やアクティビティの利用の際に、その場で寄付の申込を行い、返礼品の電子クーポンで支払いができる「ふるさと応援納税」を導入。 高単価の返礼品（ラ・カスタのヘアケア商品等）の新規提供開始 返礼品事業者との調整による経費率削減の取組み（梱包資材の変更による送料の削減） 農作物（ぶどう・りんご）の「訳あり」返礼品の新規提供開始 	

主要な施策の成果説明書

						前年度評価	やり方改善				
						事務事業No.	8				
担当課	総務部	企画財政課	企画調整係								
事務事業名	SDGs推進事業					実施方法	その他				
会計	一般会計		款	2	項	1	目	3	決算書	79	頁
総合計画	まちづくりのテーマ	第2章 活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち					後期計画掲載頁	60	頁		
	施策目標	【4】移住・定住促進策等の充実強化									
	施策項目	④信濃大町ブランドの戦略的な展開									
個別計画	大町市SDGs未来都市計画										
対象と目的	<p>SDGs未来都市計画により、至高の地域資源である「水」に焦点をあて、新たな観光商品や地域ブランドの振興、環境保全活動の促進を図るとともに「水」に関わるひと・しごとを主役とする経済、社会、環境の三側面から、水を起点としたまちづくりに向けた取組みを進める。</p> <p>また、水と人と地域の関わりの歴史や水に関する施設を後世に伝えていくため、生活や産業の礎である水の価値を再認識していくとともに、市民や次代を担う子供たちと共に、先人たちが大切に維持してきた水資源の保全に対する思いを再度振り返り、水資源を保全する意識の醸成を図るための取組みを進め、100年先の未来においても今と変わらない「水が生まれる信濃おおまち」を目指す。</p>										
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> SDGs普及推進（SDGsみずのわ月間、市内事業者対象研修会等の開催） 次世代環境教育「水育」、「森と水の学校」の推進 水を活用したレシピ開発とPR 水の歴史、資源のデジタルアーカイブ化 ポータルサイトによる情報発信及びECサイトによる特産品等の販売 SDGs学習旅行誘致協議会との連携 										

決算額		令和4年度	令和5年度	令和6年度			
総事業費（決算額）		8,288,570 円	10,385,047 円	7,776,760 円			
財源内訳	特定財源	4,656,336 円	6,509,680 円	957,000 円			
	一般財源	3,632,234 円	3,875,367 円	6,819,760 円			
予算	R6当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額
	8,507,000	0	0	0	8,507,000	7,776,760	0
	不用額	特定財源	細節名	総務費寄附金			
730,240	金額	957,000					

事業の実績・成果	前年度（令和5年度）からの改善点等	あり
----------	-------------------	----

◆ 施策目標に資する活動	
◇SDGs普及推進事業	
①SDGsみずのわ月間による普及啓発（9月13日～11月4日）	
<ul style="list-style-type: none"> 市街地水巡りプロモーション（みずの音マップ作成、水の音ナビ作成ほか） 水路とアートを巡る街並み探訪ツアー 9月21日、10月12日開催 参加者34名 100年の歴史を刻む水源地見学ツアー 10月26日、27日開催 参加者30名 八十二銀行大町支店でのみずのわパネル展（10月1日～30日） 北アルプス天然水コラボ商品の開発（頂ベーカリー、ユナイトコーヒー） 	
②地域企業対象SDGs研修及び交流会	
<ul style="list-style-type: none"> 2月12日開催 参加者37社、55名 講演①大町市の水が生まれる自然環境 講演②「水環境施策と良好な環境の創出」 	
③水資源のデジタルアーカイブ化	
<ul style="list-style-type: none"> 水に関する文化財講座の動画撮影 パンフレット「水が生まれるまちのキセキ」作成 	
④次世代環境教育事業	
<ul style="list-style-type: none"> サントリーが行う水育出張授業を市内全小学校で実施 	
⑤地域ポータルサイト事業	
<ul style="list-style-type: none"> 地域ポータルサイト及びSNSによる情報発信 	
⑥SDGs連携・支援事業	
<ul style="list-style-type: none"> 大町市SDGs学習旅行誘致協議会による探究学習プログラム等の作成 「川に学ぶ体験活動全国大会in信濃大町」共催 	
⑦「水が生まれる信濃おおまち」地域ブランド振興事業	
<ul style="list-style-type: none"> 信濃おおまちオリジナルかき氷新レシピ開発 開発アドバイザー：ANAホリデー・インリゾート信濃おおまちくろよん 製菓責任者：白澤 朋子氏 開発テーマ「掘ると見つかる大町の魅力 雪下かき氷」 開発参加店舗 市内飲食店4店舗 	



事業の実績・成果

◆ 事業の成果

SDGs未来都市計画に基づく、「水」を起点とした持続可能なまちづくりの取組みについて市民をはじめ、多くの方々に理解を深めてもらうため、みずのわ月間や、水育の活動を通じて普及啓発活動を実施した。水を巡るツアーでは市内外からの参加者があり、信濃おおまちの認知度・魅力度の向上に繋がる取組みとなった。

◆ 前年度からの改善点

「信濃おおまちみずのわプロジェクト」では、参画団体間の連携強化に取り組み、新たなかき氷開発やPR動画集の作成・放映、パネル展の実施まで、マネジメント・パートナーからの参画を得た具体的な事業展開となり、官民連携が大きく進展した。

また、大町市の水と地下水を将来にわたり安定的に利活用できるよう、産学官連携による適正かつ持続可能な利活用と環境保全の取組みを推進しながら、自然と共生する地域産業の発展を図ることを目的とした協議会の設立に向け、骨子案の作成、市内事業者への説明、規約の検討等を行い、令和7年度の協議会の設立に向け準備を行った。

主要な施策の成果説明書

						前年度評価	継続				
						事務事業No.	9				
担当課	総務部	税務課	管理収納係								
事務事業名	賦課徴収費					実施方法	市が直接実施				
会計	一般会計		款	2	項	2	目	1	決算書	99	頁
総合計画	まちづくりのテーマ 第5章 市民の参画と協働でつくるまち					後期計画掲載頁		92	頁		
	施策目標 【3】 市民との情報共有と持続的なサービス提供体制の構築										
	施策項目 ⑤健全で持続可能な財政運営										
個別計画											

対象と目的

課税客体の適正な把握に基づき、市税の適正かつ公平な課税、並びに効果的な収納業務の推進により、自主財源である市税の確保に努める

主な実施内容

地方税法に基づく各種市税の課税・調定・徴収・収納管理の諸業務
 ○市民税（個人・法人）、固定資産税、軽自動車税、市たばこ税、入湯税、都市計画税の課税・調定業務
 ○各市税の徴収・収納管理業務（各種税額収入金を含む）及び滞納者に対する納税相談・滞納処分の実施
 ○市民税不申告者に対する調査の実施（訪問・電話・文書）
 ○土地評価の時点修正等業務
 ○啓蒙啓発活動

事業費	決算額		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	総事業費（決算額）		43,190,431 円		35,868,667 円		18,143,310 円	
	財源内訳	特定財源	6,457,913 円		7,347,105 円		6,313,436 円	
一般財源		36,732,518 円		28,521,562 円		11,829,874 円		
予算	R6当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額	
	26,399,000	-6,000,000	0	0	20,399,000	18,143,310	0	
	不用額	特定財源	細節名	督促手数料	所得証明等諸証明手数料	延滞金及び遅延損害金	弁償金ほか	
2,255,690		金額	691,943	1,680,740	3,887,003	53,750		

事業の実績・成果 前年度（令和5年度）からの改善点等 なし

◆ 施策目標に資する活動

課税客体の適正な把握と調査に基づく課税を実施するとともに、徴収強化の徹底や滞納処分の実施に取り組み、折衝困難等の長期・高額案件については、長野県地方税滞納整理機構への移管を行うなどして税収の確保に努めた。

- 課税客体の適正な把握と調査に基づく課税の実施
 - ・市民税不申告調査の実施 589 件
 - ・土地評価の時点修正の実施 85 地点
- 徴収強化の徹底や滞納処分の実施等
 - ・県地方税滞納整理機構への移管 22 件

◆ 事業の成果

○ 収納実績

	収入額（千円）			収納率（％）		
	6年度	5年度	比較	6年度	5年度	比較
現年課税分	4,309,964	4,350,282	△ 40,318	99.58	99.00	0.58
滞納繰越分	42,184	56,737	△ 14,553	62.05	66.30	△ 4.25
合計	4,352,148	4,407,019	△ 54,871	99.00	98.37	0.63

（収納率増減の主な要因）

現年課税分：固定資産税特例減額措置等に伴う徴収猶予申請数の減少による徴収率の増加

滞納繰越分：昨年度大口滞納案件が解消されたことにより滞納繰越分の徴収率が向上したため今年度の徴収率が減少

◆ 前年度からの改善点

主要な施策の成果説明書

前年度評価						継続	
事務事業No.						10	
担当課	総務部	危機管理課	危機管理係				
事務事業名	消防団運営経費					実施方法	市が直接実施
会計	一般会計	款	9	項	1	目	2
総合計画	第3章 だれもが健康で安心して暮らせるまち					後期計画掲載頁	72
個別計画	【4】市民生活の安全の確保						
	①災害に対する市民生活の安全の確保						
							頁

対象と目的	<ul style="list-style-type: none"> 地域防災力の中核的な存在である消防団員の資質向上 市民の防災意識、知識の高揚 災害現場における消防団活動時の安全確保の観点から、消防団装備品の充実を図る 各種訓練の開催により災害対応への強化を図る 地域での活動を通じて、地域住民との連携強化を図る
-------	---

主な実施内容	消防団 <ul style="list-style-type: none"> 地域防災力向上のための各種訓練の実施 火災現場での消火活動、豪雨時の警戒巡視、行方不明の捜索 ポンプ操法大会、ラッパ吹奏大会 春と秋の演習型訓練や地区の防災訓練 消防フェスタ 団員への補償（公務災害報償、退職報償）掛金の支払い
--------	--

決算額		令和4年度	令和5年度	令和6年度			
総事業費（決算額）		43,022,065 円	70,245,866 円	43,547,340 円			
財源内訳	特定財源	2,032,988 円	31,298,000 円	43,547,340 円			
	一般財源	40,989,077 円	38,947,866 円	0 円			
予算	R6当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額
	53,975,000	-7,000,000	0	-421,643	46,553,357	43,547,340	0
	不用額	特定財源	細節名	金額	金額	金額	金額
3,006,017		消防団設備整備費補助金	2,520,000	公務災害障害補償金	1,543,500	退職報償金	38,483,840
						市町村振興協会コミュニティー助成金	1,000,000

事業の実績・成果	前年度（令和5年度）からの改善点等	あり
----------	-------------------	----

- ◆ 施策目標に資する活動
- ◆ 施策目標に資する活動
 - ◇ポンプ操法大会、ラッパ吹奏大会（市大会：6月9日、大北大会：6月23日、県大会：7月7日）
 - ◇消防団総合訓練（サンアルプス大町） 実施日：5月12日 参加人数：約200名
 - ◇消防フェスタ2024おおまち（文化会館） 実施日：11月3日 参加人数：約1,500名
 - ◇秋季火災予防運動演習型訓練（大町ダム下緑地公園） 実施日：11月10日 参加人数：約90名
 - ◇消防団年末警戒 実施日：12月25日～29日 参加人数：延べ約300名
 - ◇消防出初式 実施日：1月12日 参加人数：450名
 - ◇文化財防火デー消防訓練（美麻地区） 実施日：1月26日 参加人数：約60名
 - ◇春季火災予防運動演習型訓練（カインズ大町店） 実施日：3月2日 参加人数：約110名
 - ◇県消防学校入校 操法講習13名 訓練礼式科2名 指揮幹部科7名 ラッパ科1名 ドローン科1名
 - ◇消防団装備品の充実強化（ヘッドライト250台、高視認性雨具550着）

【ヘッドライト】



【高視認性雨具】



- ◆ 事業の成果
 - ◇ポンプ操法及びラッパ吹奏大会の実施により、各団員の技術向上が図れた。
 - ◇演習型訓練の実施により、発災時の対応能力の向上が図れた。
 - ◇消防フェスタの実施により、消防団活動の広報が図れた。
 - ◇消防学校の講習により、専門的で高度な技術を習得し、災害対応技術の向上が図れた。
 - ◇装備品の充実により、夜間出動時の照明対策と安全確保が図れた。
- ◆ 前年度からの改善点
 - ◇装備品の充実にあたり、新たに消防団設備整備費補助金の採択を受けたことで、財政負担を抑えることができた。

主要な施策の成果説明書

						前年度評価	継続				
						事務事業No.	11				
担当課	総務部	危機管理課	危機管理係								
事務事業名	消防施設整備事業					実施方法	市が直接実施				
会計	一般会計		款	9	項	1	目	3	決算書	209	頁
総合計画	まちづくりのテーマ	第3章 だれもが健康で安心して暮らせるまち					後期計画掲載頁	72		頁	
	施策目標	【4】市民生活の安全の確保									
	施策項目	①災害に対する市民生活の安全の確保									
個別計画										頁	

対象と目的	<ul style="list-style-type: none"> 市内の消防施設及び消防団車両等を計画的に配備、更新 施設等の計画的な更新により、火災時等の素早い初期対応が可能な状況を維持し、地域防災力の向上を図ることを目的とする 消防設備等の適正な管理及び施設の耐震化を推進し、消防団が災害時に迅速な活動が展開できるようにする 									
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 消防施設の耐震化、不要な消防施設の解体、撤去 老朽化した消防団車両の更新 									

事業費	決算額		令和4年度	令和5年度	令和6年度		
	総事業費（決算額）		3,365,560 円	2,279,200 円	271,700 円		
	財源内訳	特定財源	0 円	0 円	0 円		
一般財源		3,365,560 円	2,279,200 円	271,700 円			
予算	R6当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額
	1,239,000	0	0	0	1,239,000	271,700	0
	不用額	特定財源	細節名				
967,300		金額					


事業の実績・成果			前年度（令和5年度）からの改善点等	なし
◆ 施策目標に資する活動				
◇ 消防団車両の更新				
<ul style="list-style-type: none"> 消防団組織の再編に伴い更新の年次計画を見直し。（更新基準は導入後20年経過を目安） 				
◇ 消防施設の改廃等				
<ul style="list-style-type: none"> カラーホース、巻取器等の整備。 				
【カラーホース】		【巻取器】		
				
◆ 事業の成果				
<ul style="list-style-type: none"> 各部ごとに配色を分けて管理運用している消防用ホースを追加配備したことで、水利確保の利便性が向上した。 応援隊車用にホース巻取機を配備したことで、現場でのホース撤収作業等の利便性が向上した。 				
◆ 前年度からの改善点				
無し				

主要な施策の成果説明書

前年度評価						継続						
事務事業No.						12						
担当課	総務部	危機管理課	危機管理係			実施方法			市が直接実施			
事務事業名	防災対策一般経費											
会計	一般会計			款	9	項	1	目	5	決算書	211	頁
総合計画	まちづくりのテーマ	第3章 だれもが健康で安心して暮らせるまち						後期計画掲載頁			72	頁
総合計画	施策目標	【4】市民生活の安全の確保										
総合計画	施策項目	①災害に対する市民生活の安全の確保										
個別計画												頁

対象と目的	<ul style="list-style-type: none"> 自主防災組織等が購入する防災資機材について補助を実施し、自助、共助を基本とした地域防災組織の強化を図る 自治会等への補助により、災害時に必要となる資機材の確保と地域防災力の強化を図る 周辺住民に悪影響を及ぼす恐れのある危険な空家の改善を図る 危険空き家等の解消 											
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 自主防災組織への補助（資機材補助、運営費補助） 情報伝達手段の確保（衛星携帯電話、防災行政無線） 危険空き家等の所有者等へ適正な管理のお願い 特措法に基づく特定空き家等への措置（助言、指導、勧告、命令、代執行） 											

事業費	決算額		令和4年度	令和5年度	令和6年度		
	総事業費（決算額）		3,906,658 円	6,812,570 円	6,461,828 円		
	財源内訳	特定財源	円	361,786 円	445,418 円		
一般財源		3,906,658 円	6,450,784 円	6,066,410 円			
予算	R6当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額
	7,499,000	0	0	266,200	7,765,200	6,461,828	0
	不用額	特定財源	細節名	自動販売機売上手数料	ふるさと応援基金		
	1,303,372		金額	395,418	50,000		



事業の実績・成果				前年度（令和5年度）からの改善点等	あり
<p>◆ 施策目標に資する活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇自主防災会、自治会への資機材購入補助 ◇戸別受信機購入補助 ◇空家等対策 <ul style="list-style-type: none"> ・危険空家の報告、相談 ・報告案件の状況調査 ・特定空家等認定案件（2件）の取組 ・危険空家等所有者と接触、適正な管理のお願い 					
<p>◆ 事業の成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇資機材購入補助 21件（19自主防災会） ◇戸別受信機購入補助 4件 ◇危険空家 <ul style="list-style-type: none"> ・危険空家等報告件数 累計 156件（R6：5件） ・危険空家等売却 累計 3件 ・危険空家等改善 累計 32件 					
<p>【大新田町自主防災会が補助を活用して購入した資機材】</p>					
					
<p>◆ 前年度からの改善点</p> <p>空き家対策について、令和6年度、各自治会長の協力により、危険な状態にある空き家アンケート調査を実施。その調査結果とこれまでに市に相談・報告があった空き家情報を整理し、市内危険空家等のリストを作成。</p> <p>今後、そのリストを基に所有者情報等を最新化し、適正な管理に向けた助言、指導、勧告に繋げていく。</p>					

主要な施策の成果説明書

前年度評価						拡大					
事務事業No.						13					
担当課	総務部	危機管理課	危機管理係								
事務事業名	防災施設整備事業					実施方法	市が直接実施				
会計	一般会計		款	9	項	1	目	5	決算書	213	頁
総合計画	まちづくりのテーマ	第3章 だれもが健康で安心して暮らせるまち					後期計画掲載頁	72	頁		
	施策目標	【4】市民生活の安全の確保									
	施策項目	①災害に対する市民生活の安全の確保									
個別計画											頁

対象と目的	<ul style="list-style-type: none"> 市民に対して、災害に関する情報提供を行うために防災無線を整備 被災時における防災備蓄物資、資機材の充実 防災無線を適正に管理することで、非常時に迅速かつ正確な情報提供を行う 備蓄物資、防災資機材の更新 										
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 備蓄物資の管理。消費（使用）期限を過ぎた備蓄物資は随時更新 災害対応に必要な資機材の整備及び備蓄管理 										

事業費	決算額		令和4年度	令和5年度	令和6年度		
	総事業費（決算額）		5,923,895 円	6,094,399 円	6,330,354 円		
	財源内訳	特定財源	円	円	330,000 円		
一般財源		5,923,895 円	6,094,399 円	6,330,354 円			
予算	R6当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額
	6,251,000	0	0	830,500	7,081,500	6,330,354	0
	不用額	特定財源	細節名				
751,146		金額	自然エネルギー活用事業寄付金				
			330,000				

事業の実績・成果		前年度（令和5年度）からの改善点等	あり
◆ 施策目標に資する活動			
◇ 同報系防災行政無線			
<ul style="list-style-type: none"> 保守管理、定期検査 消防指令システムとの連動 			
◇ 防災備蓄物資			
<ul style="list-style-type: none"> 備蓄食料品の期限切れに伴う購入（アルファ化米、カロリーメイト、乳児用ミルク） 簡易トイレ（袋、消臭凝固剤）を県アクションプランの方針に基づき購入 			
【備蓄食料品】		【簡易トイレ】	
			
◆ 事業の成果			
<ul style="list-style-type: none"> 避難所における良好な生活環境を確保。 有事の際の迅速な情報手段の確保。 			
◆ 前年度からの改善点			
令和6年9月に策定された「長野県地震防災対策強化アクションプラン」で示されている防災備蓄品の整備に関する考え方に基づき、簡易トイレ等を購入した。			

主要な施策の成果説明書


前年度評価						継続					
事務事業No.						14					
担 当 課	総務部	情報交通課	広聴広報係								
事 務 事 業 名	広聴広報事業					実施方法	市が直接実施				
会 計	一般会計		款	2	項	1	目	2	決算書	75	頁
総合計画	まちづくりのテーマ 第5章 市民の参画と協働でつくるまち					後期計画掲載頁		86	頁		
施 策 目 標	【1】市民の参画・協働と市民の視点に立った市政の推進										
施 策 項 目	①市民参画と協働によるまちづくりの推進										
個 別 計 画											

対 象 と 目 的	<p>・広聴活動として、市民参加による「市民により身近な市政のまちづくり」をめざす。また、「市長への手紙・メール」などにより、市民等から市政への意見・提言をいただく。</p> <p>・広報活動では、「広報おおまち」などにより、市民等へ行政情報等の提供を行い、市民と行政が情報を共有により、お互いの信頼と協調のもと、協働による市政の運営を図り、市民により身近な市政のまちづくりをめざす。</p>										
-----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

主 な 実 施 内 容	<p>(広聴活動) ・市長への手紙、メールの受領、返信 ・行政懇談会の受付、開催</p> <p>(広報活動) ・広報の発行(月1回) ・報道機関への情報提供</p> <p>・声の広報の提供:市広報を録音して届ける、行政情報の有線放送告知</p> <p>・行政情報をメールマガジン登録者へ送信(毎週金曜日配信)</p> <p>・くらしのガイドブック(電子版)の発行と更新</p>										
-------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

決算額		令和4年度	令和5年度	令和6年度			
総事業費(決算額)		7,946,438 円	7,742,142 円	7,612,963 円			
財源内訳	特定財源	136,830 円	78,630 円	109,100 円			
	一般財源	7,809,608 円	7,663,512 円	7,503,863 円			
予 算	R6当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額
	8,061,000	0	0	0	8,061,000	7,612,963	0
	不用額	特定財源	細節名	複写機等使用料	広告掲載料		
448,037	金額		33,100	76,000			

事業の実績・成果	前年度(令和5年度)からの改善点等	あり
----------	-------------------	----

◆ 施策目標に資する活動	<ul style="list-style-type: none"> ○広聴活動 <ul style="list-style-type: none"> ・市長への手紙・メールの周知、受領、発信 ・行政懇談会の開催 ○広報活動 <ul style="list-style-type: none"> ・広報おおまちの発行 ・メールマガジンの配信 ・定例記者会見の開催 ・報道機関等への情報提供書の提供 	
◆ 事業の成果	<p>【令和6年12月号 表紙】</p>  <ul style="list-style-type: none"> ○広聴活動 <ul style="list-style-type: none"> ・市長への手紙37件、メール39件、合計76件 ・行政懇談会の開催 4回 27名参加 ○広報活動 <ul style="list-style-type: none"> ・広報おおまちの発行(毎月) ・メールマガジンの配信(毎週金曜日) ・定例記者会見(毎月) ・情報提供書 随時 	
◆ 前年度からの改善点	<p>毎年掲載する記事を要約して掲載するなどページの削減を図った。また、見やすく手に取ってもらいやすいよう写真を多く入れるレイアウトとした。</p>	

主要な施策の成果説明書

						前年度評価	継続				
						事務事業No.	15				
担当課	総務部	情報交通課	DX推進係								
事務事業名	DX推進事業					実施方法	委託				
会計	一般会計		款	2	項	1	目	9	決算書	87	頁
総合計画	まちづくりのテーマ	第4章 豊かな自然を守り快適に生活できるまち				後期計画掲載頁		84	頁		
	施策目標	【3】快適な生活環境の形成									
	施策項目	⑥高度情報化社会への対応・DX推進									
個別計画	大町市DX推進計画								12-29	頁	

対象と目的

- ・情報端末機器や共同利用を含めた各種情報システム等の整備により、情報通信技術を活用した市民等への情報提供の充実を図るとともに、行政手続のオンライン化や証明書のコンビニ交付など行政サービスの充実により、市民の利便性の向上を図る。
- ・情報通信技術の活用し、行政内部事務の効率化による市民サービスの向上を図るとともに、情報セキュリティ対策の強化を図る。

主な実施内容

- ・情報通信機器整備事業 : 情報系サーバー及び各種システム、情報系端末、プリンター等のリース
- ・ネットワーク利用事業 : 総合行政ネットワークシステム利用料、県高速ネットワーク運営負担金、県セキュリティクラウド運営負担金、自治体中間サーバープラットフォーム利用負担金
- ・システム運用事業 : 電子申請・届出システム運営負担金、公共施設予約システム利用料、コンビニ交付運営負担金、統合型校務支援システム負担金、学校徴収金管理システム負担金
- ・窓口決済端末導入事業 : 市民課、税務課の窓口に加えて、体育館・公民館・山岳博物館等の施設に決済端末を導入し、クレジットカード・QRコード決済等に対応
- ・コンビニ交付拡張 : 所得証明書のコンビニ交付に対応

決算額		令和4年度	令和5年度	令和6年度			
総事業費（決算額）		57,573,272 円	50,104,629 円	65,523,079 円			
財源内訳	特定財源	14,249,638 円	3,305,000 円	12,071,000 円			
	一般財源	43,323,634 円	46,799,629 円	53,452,079 円			
予算	R6当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額
	72,162,000	-2,220,000	0	-1,573,000	68,369,000	65,523,079	0
	不用額	特定財源	細節名	LGWAN機器広域設置負担金	デジ田都市国家構想推進交付金	情報化推進等負担金	社会保障・税番号活用推進補助金
2,845,921		金額	411,000	5,684,000	2,100,000	3,876,000	

事業の実績・成果 前年度（令和5年度）からの改善点等 あり

◆ 施策目標に資する活動

- キャッシュレス端末を公民館・体育館・山岳博物館等10カ所に設置。QRやクレジットカードによる決済に対応
- 所得証明について、コンビニ交付に対応



*キャッシュレス端末

◆ 事業の成果

- QR決済やクレジットカード決済可能な施設を増やすことにより、市民の利便性を高めた。
- *キャッシュレス利用率・山岳博物館11% 総合体育館9.8% 情報センター9%など（導入施設全体では5.2%）

○所得証明について15.3%(58件)がコンビニで取得しており、内6.6%が市役所の開庁時間外の取得。
*所得証明については、1月～3月の3カ月間の実績

◆ 前年度からの改善点

- キャッシュレス端末対応実施及びコンビニ交付証明書の拡充
- 市ホームページの更新に向けた情報発信手段の見直し検討（住民アプリ導入検討）

主要な施策の成果説明書

						前年度評価	継続				
						事務事業No.	16				
担当課	総務部	情報交通課	DX推進係								
事務事業名	電算処理委託事業					実施方法	委託				
会計	一般会計		款	2	項	1	目	9	決算書	89	頁
総合計画	まちづくりのテーマ	第4章 豊かな自然を守り快適に生活できるまち					後期計画掲載頁		84	頁	
	施策目標	【3】快適な生活環境の形成									
	施策項目	⑥高度情報化社会への対応・DX推進									
個別計画	大町市DX推進計画								26	頁	

対象と目的	住民記録・税・国保・福祉等の基幹系業務の電算化により、事務処理の適正化、迅速化、効率化を図るとともに、市民サービスの向上を図る。									
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・業務のデータ処理 ・各種制度改正に伴うシステムの改修 ・標準システム及びガバメントクラウドへの移行のための文字同定作業の実施 ・戸籍システムクラウド化 ・機器保守等の委託業務及びシステム機器のリース 									

決算額		令和4年度	令和5年度	令和6年度			
総事業費（決算額）		150,388,603 円	124,801,171 円	140,944,991 円			
財源内訳	特定財源	20,694,835 円	20,703,000 円	19,237,000 円			
	一般財源	129,693,768 円	104,098,171 円	121,707,991 円			
予算	R6当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額
	138,132,000	1,780,000	7,008,100	0	146,920,100	140,944,991	4,783,000
	不用額	特定財源	細節名	社会保障・税番号活用推進補助金	デジタル基盤改革支援補助金	情報化推進等負担金	子ども・子育て支援交付金等
1,192,109		金額	11,265,000	3,806,000	2,004,000	2,162,000	

事業の実績・成果		前年度（令和5年度）からの改善点等	あり
◆ 施策目標に資する活動			
○ 業務のデータ処理関係 電算処理業務 住民記録、税、年金、国保等のデータ処理、帳票等発行及びシステム保守 申告受付データe-Tax連携・・・確定申告システムからe-Taxへの情報連携			
○ システム改修等 ・戸籍システムへの振り仮名機能追加対応 ・手当範囲拡充に伴う児童手当システム改修 ・標準システム移行に向けた文字同定 ・データ連携レイアウト改版に伴うシステム改修 ・法改正に伴う生活保護システム改修 ・電子申告・申請の手続き拡充に係る対応			
◆ 事業の成果 基幹業務のデータ処理及びシステム保守を行うとともに、制度改正に伴うシステム改修により事務処理の適正化 効率化が図られ、住民サービスの向上に寄与している。			
◆ 前年度からの改善点 システム標準化に伴う基幹系ネットワークの構成及びシステム接続回線の県共同調達の検討			

主要な施策の成果説明書

						前年度評価	継続				
						事務事業No.	17				
担当課	総務部	情報交通課	DX推進係								
事務事業名	八坂・美麻CATV網光化対策事業					実施方法	委託				
会計	一般会計		款	2	項	1	目	9	決算書	91	頁
総合計画	まちづくりのテーマ 第5章 市民の参画と協働でつくるまち					後期計画掲載頁		91		頁	
	施策目標 【3】市民との情報共有と持続的なサービス提供体制の構築										
	施策項目 ②情報通信技術を活用した市民サービスの向上										
個別計画	大町市DX推進計画								21	頁	

対象と目的	<p>・八坂地区、美麻地区のケーブルテレビ設備について、災害時等の確実かつ安定的な情報伝達を確保し、4K・8K放送の視聴環境を構築するため、現行の設備をF T T H（光回線）に更改するとともに、共聴施設によりテレビ放送を受信している鹿島地区へ市ケーブルテレビ網を延伸する。</p>									
主な実施内容	<p>・八坂地区、美麻地区の伝送路の光回線化 ・センター設備の整備 ・鹿島地区光伝送路の整備、接続切替</p>									

決算額		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
総事業費（決算額）		0 円		32,313,600 円		485,243,000 円	
財源内訳	特定財源	0 円		32,313,600 円		425,394,000 円	
	一般財源	0 円		0 円		59,849,000 円	
予算	R6当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額
	529,200,000	-39,045,000	0	-4,455,000	485,700,000	485,243,000	0
	不用額	特定財源	細節名	ケーブルテレビ事業債	放送ネットワーク整備支援事業補助金		
457,000		金額	279,300,000	146,094,000			

事業の実績・成果			前年度（令和5年度）からの改善点等	
◆ 施策目標に資する活動			なし	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 光伝送路（幹線）敷設 L=100km ○ 引込工事世帯633世帯（八坂地区261 美麻地区363 鹿島地区9） ○ 宅内切替工事世帯 鹿島地区9 *八坂・美麻地区は令和7年度の切替予定 ○ 光増幅器・光送信機・BSアンテナ等の整備 				
◆ 事業の成果				
<ul style="list-style-type: none"> ○ 八坂・美麻地区のケーブルテレビ幹線の光化 センター設備整備 ○ 鹿島地区の光ケーブル移行（9世帯）により、共聴施設の維持管理に係る住民負担の軽減 				
◆ 前年度からの改善点				
無し				

主要な施策の成果説明書

										前年度評価	継続	
										事務事業No.	18	
担 当 課	総務部	情報交通課	DX推進係									
事 務 事 業 名	ケーブルテレビ運営事業									実施方法	委託	
会 計	一般会計			款	2	項	1	目	9	決算書	91	頁
総合計画	まちづくりのテーマ	第5章 市民の参画と協働でつくるまち							後期計画掲載頁		91	頁
総合計画	施策目標	【3】市民との情報共有と持続的なサービス提供体制の構築										
総合計画	施策項目	②情報通信技術を活用した市民サービスの向上										
個別計画	大町市DX推進計画										19・21	頁
対象と目的	<p>ケーブルテレビ網によるテレビ放送の再送信により、市民に安定した視聴環境を提供するとともに、自主放送番組による地域に密着した情報発信により、地域の一体感の醸成を図るとともに、県内外へコンテンツを提供することにより、市の情報発信を行う。</p>											
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> テレビ放送の再送信 自主放送番組による情報発信 週刊情報番組「きらり☆ステーション」51本、シャイニング・キッズ23本、きらり特番70本、議会（本会議、一般質問）の生中継、やまびこまつり・王子神社例大祭生中継 放送設備等の維持管理、更新 											
事業費	決算額		令和4年度			令和5年度			令和6年度			
	総事業費（決算額）		77,094,969 円			79,814,729 円			75,584,758 円			
	財源内訳	特定財源	77,094,969 円			79,814,729 円			75,584,758 円			
		一般財源	0 円			0 円			0 円			
予算	RG当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額					
	76,599,000	-666,000	0	2,145,000	78,078,000	75,584,758	0					
	不用額	特定財源	細節名	ケーブルテレビ使用料	NHK受信料団体納付負担金ほか							
	2,493,242		金額	58,443,510	17,141,248							
事業の実績・成果						前年度（令和5年度）からの改善点等			あり			
<p>◆ 施策目標に資する活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 自主放送番組による情報発信 <ul style="list-style-type: none"> ・週刊情報番組「きらり☆ステーション」51本、シャイニングキッズ23本、きらり特番70本 ・議会生中継（本会議、一般質問）、王子例大祭生中継 やまびこまつり生中継 ・高校野球大会特別番組 ○ 県内他局への番組配信 <ul style="list-style-type: none"> ・週刊情報番組「きらり☆ステーション」の一部は、県内CATV局が放送している「まるごと信州情報ネット」で毎週放送 ・白馬村、小谷村で「きらり☆ステーション」を放送 ○ CATV伝送路及び放送設備の管理による安定した視聴環境の確保 ○ 引込工事負担金の無料キャンペーンの実施 												
<p>◆ 事業の成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・週間情報番組を放送し、地域イベントや学校行事等の身近な話題を提供することで地域情勢に対する関心を高めた。 ・本会議については、すべてライブ放送することにより、市議会の活動に対する関心の向上に努めた。 ・やまびこまつりや王子神社例大祭については、生放送を行い好評を得た。 ・引込工事費負担金の無償キャンペーンの効果により加入者数が前年比165%（48件）の増加 												
<p>◆ 前年度からの改善点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長期取材による特別番組を制作し、高評価を得た（山岳博物館のライチョウ保全活動等）。 ・引込工事負担金の無料キャンペーンの実施 												

主要な施策の成果説明書

						前年度評価	継続				
						事務事業No.	19				
担当課	総務部	情報交通課	交通政策係								
事務事業名	市民バス運行事業					実施方法	委託				
会計	一般会計		款	2	項	1	目	6	決算書	83	頁
総合計画	まちづくりのテーマ	第4章 豊かな自然を守り快適に生活できるまち				後期計画掲載頁		78	頁		
	施策目標	【2】暮らしやすい都市基盤の整備									
	施策項目	①移動しやすい公共交通網の整備									
個別計画	大町市地域公共交通総合連携計画									頁	

対象と目的	<p>誰もが安心・安全に主要な場所へ出掛けることができる、移動手段の維持・確保を目的とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業対象は、特に高齢者や障がい者、学生等の交通弱者（市民でなくても乗車可） ・通院や買い物、通学等、市民の暮らしを支える移動手段 										
主な実施内容	<p>市民バス「ふれあい号」の運行</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運行路線：市内9コース（11路線） ・運行形態：定時定路線型8コース（10路線）、デマンド方式1コース ・運行は、市内の交通事業者3者へ業務委託 										

決算額		令和4年度	令和5年度	令和6年度			
総事業費（決算額）		97,060,554 円	97,015,941 円	103,636,332 円			
財源内訳	特定財源	220,200 円	201,000 円	195,700 円			
	一般財源	96,840,354 円	96,814,941 円	103,440,632 円			
予算	R6当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額
	104,362,000	0	0	0	104,362,000	103,636,332	0
	不用額	特定財源	細節名				
725,668		金額	市民バス回数乗車券窓口販売収入	195,700			

事業の実績・成果	前年度（令和5年度）からの改善点等	あり										
<p>◆ 施策目標に資する活動</p> <p>【市民バス「ふれあい号」の運行】</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 運行日数：243日（土日祝、年末年始除き毎日運行。） <p>【広報活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 市民バス「ふれあい号」時刻表作成 <ul style="list-style-type: none"> ・広報おおまち3月号で全戸配布 ・関係各所へ配布（庁内関係部署、観光団体、商業施設、医療機関、上原の湯や明日香荘等施設など） ・市ホームページ、ケーブルテレビへの時刻表掲載 <p>【見直しに関する協議】</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 大町市地域公共交通会議 1回（ルート、ダイヤ改正等について） ▶ 運行事業者との連絡・調整 												
<p>◆ 事業の成果</p> <p>【市民バス「ふれあい号」運行（運行実績）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 利用者数：67,208人／年（前年比 Δ1,329人 1.9%減） <p>《コース別利用者数》</p> <table border="0"> <tr> <td>・青木 … 8,217人：前年比 Δ1,106人 11.9%↘</td> <td>・社 … 4,290人：前年比 +437人 11.3%↗</td> </tr> <tr> <td>・源汲 … 5,369人：前年比 Δ504人 8.6%↘</td> <td>・循環線… 4,877人：前年比 Δ250人 4.9%↘</td> </tr> <tr> <td>・高瀬入… 6,635人：前年比 +153人 2.4%↗</td> <td>・常盤西… 5,359人：前年比 +9人 0.2%↗</td> </tr> <tr> <td>・八坂 … 17,003人：前年比 +754人 4.6%↗</td> <td>・常盤東… 1,080人：前年比 +279人 34.8%↗</td> </tr> <tr> <td>・美麻 … 14,378人：前年比 Δ1,101人 7.1%↘</td> <td>(利用登録者93人)</td> </tr> </table>			・青木 … 8,217人：前年比 Δ1,106人 11.9%↘	・社 … 4,290人：前年比 +437人 11.3%↗	・源汲 … 5,369人：前年比 Δ504人 8.6%↘	・循環線… 4,877人：前年比 Δ250人 4.9%↘	・高瀬入… 6,635人：前年比 +153人 2.4%↗	・常盤西… 5,359人：前年比 +9人 0.2%↗	・八坂 … 17,003人：前年比 +754人 4.6%↗	・常盤東… 1,080人：前年比 +279人 34.8%↗	・美麻 … 14,378人：前年比 Δ1,101人 7.1%↘	(利用登録者93人)
・青木 … 8,217人：前年比 Δ1,106人 11.9%↘	・社 … 4,290人：前年比 +437人 11.3%↗											
・源汲 … 5,369人：前年比 Δ504人 8.6%↘	・循環線… 4,877人：前年比 Δ250人 4.9%↘											
・高瀬入… 6,635人：前年比 +153人 2.4%↗	・常盤西… 5,359人：前年比 +9人 0.2%↗											
・八坂 … 17,003人：前年比 +754人 4.6%↗	・常盤東… 1,080人：前年比 +279人 34.8%↗											
・美麻 … 14,378人：前年比 Δ1,101人 7.1%↘	(利用登録者93人)											

事業の実績・成果

- ▶ 人口減少等により利用者の大幅な増加が見込めない中、現状維持は図れている。
- ▶ 各地区と中心市街地を結ぶ交通手段の維持・確保。
- ▶ 山あいまである広い地形において、公共交通徒歩圏カバー率では各地区とも約90%と概ね市全域を網羅。
- ▶ 日常的に交通手段を必要とする者にとっては、安価で主要な場所へ出掛けることができる移動手段として生活を支える重要な事業。
- ▶ 令和5年度から、中学校の再編に伴い生徒の通学に利用できるよう改正。スクールバスの対象とならない生徒の移動手段として利用されている。

◆ 前年度からの改善点

【運行方法】

- ▶ 地域や市民からの意見・要望及び運行実績やJRとの接続等を考慮し、一部の路線においてルート・ダイヤ改正等を実施。
 - ・源汲コース：停留所新設、運行経路、ダイヤ
 - ・常盤西コース：運行順路、ダイヤ
 - ・八坂コース：予約運行便の設定、ダイヤ

【利用促進・利便性向上等】

- ▶ 市民バス回数乗車券の販売場所変更
 - ・令和6年7月から市総合情報センターで販売開始（第一交通での販売が令和6年6月末をもって終了。）
- ▶ 経路検索への対応
 - ・GTFSデータ整備（時刻やバス停の位置情報等オープンデータ化）
 - …乗り換えアプリで経路検索が可能

（令和7年度運行に向けた改善）

- ▶ 時刻表改善
 - ・新たに乗車方法や使い方例等を記載
 - ・見やすさ向上のため、3色刷からフルカラーへ変更
 - ・並製本から中綴じ製本へ変更し経費を削減
- ▶ バス車両「ふれあい号」ステッカーの改善
 - ・コース名、路線番号表示に加え、コースごとに色分けし、色でも何コースか分かるよう改善

主要な施策の成果説明書

前年度評価						継続					
事務事業No.						20					
担当課	総務部	情報交通課	交通政策係								
事務事業名	公共交通対策事業					実施方法	負担金				
会計	一般会計		款	2	項	1	目	6	決算書	85	頁
総合計画	まちづくりのテーマ	第4章 豊かな自然を守り快適に生活できるまち				後期計画掲載頁	78	頁			
	施策目標	【2】暮らしやすい都市基盤の整備									
	施策項目	①移動しやすい公共交通網の整備									
個別計画	大田市地域公共交通総合連携計画										頁

対象と目的	<p>公共交通における利便性向上及び輸送力強化の対応等について、大系線利用促進輸送強化期成同盟会や各種協議会を組織し、地域公共交通の充実に向けた取組みを進めるとともに、地域公共交通の維持・確保を図る。</p> <p>地域住民の移動手手段のほか、観光誘客の促進等により、地域の活性化を図る。</p>										
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 大系線利用促進輸送強化期成同盟会〔事務局〕 大系線の利用促進・利便性向上に向け、利用促進事業の取組及びJRへの要望行動等を実施 大町-長野間特急バス利用促進協議会〔事務局〕 特急バス長野-大町線の通年運行確保に向けた取組、冬期運行に関する事業者等との協議・調整等 大田市地域公共交通活性化協議会〔事務局〕 市地域公共交通計画の策定及び実施に関する協議等（法定協議会） その他、大系線活性化協議会や中央東線及び北陸新幹線に係る協議会等への参画 										
--------	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

決算額		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
総事業費（決算額）		3,708,150 円		10,365,340 円		6,185,100 円	
財源内訳	特定財源	121,000 円		2,066,313 円		0 円	
	一般財源	3,587,150 円		8,299,027 円		6,185,100 円	
予算	R6当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額
	6,859,000	-588,000	0	0	6,271,000	6,185,100	0
	不用額	特定財源	細節名				
85,900		金額					

事業の実績・成果	前年度（令和5年度）からの改善点等	あり
----------	-------------------	----

◆ 施策目標に資する活動		
【大系線利用促進輸送強化期成同盟会】		
▶ 利便性向上・輸送力強化に向けた要望活動		
○ JR各社に対して、輸送力強化及び利便性向上・輸送の安全確保・利用促進対策の連携等について要望		
<ul style="list-style-type: none"> ・JR東日本長野支社への要望書提出（1/17） ・JR西日本金沢支社への要望行動実施（3/17） 		
▶ 利用促進事業		
○ 大系線プロモーション事業		
<ul style="list-style-type: none"> ・特設サイト「いとしの大系線」開設（7/19～） ・謎解きイベント「大系線9つの物語」開催（7/26～10/31） ・着地型旅行商品の造成販売（9/10～） ・プロモーション事業と併せ利便性向上のため、JR西区間でバス増便事業を実施（6/1～3/31） ・情報発信はSNSによるほか、JR各社の協力を得ながら駅や車内広告等を実施 		
○ えちごトキめきリゾート雪月花の大系線乗り入れ運行（11/10）		
○ 2025版 大系線カレンダー作成（2,500部）		
○ 信濃毎日新聞「あずさ2号復活への思いを込めて」広告掲載（3/20）		
▶ 会議		
<ul style="list-style-type: none"> ・幹事会 1回 ・総会 1回 ・振興部会 3回 ・長野県JR連絡調整会議 1回 		

事業の実績・成果

【大町・長野間特急バス利用促進協議会】

- ▶ 通年運行確保に向けた取組み
 - ・夏期運行の繁忙期（7～9月）の運行確保に向け、他運行事業者への協力依頼、調整等
 - ・冬期運行（12月～4月中旬）の維持・確保
- ▶ 広報及び利用促進
 - 時刻表作成
 - ・夏期時刻表 2,000枚、冬期時刻表2,000枚
 - ・市内関連施設へ配布（庁内関係部署、観光団体・商工団体、医療機関等）
 - ・市ホームページへの掲載
 - ・ケーブルテレビでの発信
 - 利用促進・利便性向上の取組み
 - ・冬期運行のキャッシュレス決済の試行導入

【大町市地域公共交通活性化協議会】

- 大町市地域公共交通計画の作成等を目的とした法定協議会
 - ・協議会 3回
 - ・パブコメ 2/6～3/7（意見26件：個人…7人、団体…2団体）

◆ 事業の成果

【大系線】

- ・事業による乗車人数 約61,131人（目標達成率101.4%）
- ・事業による5年度の乗車人数7,161人を大幅に更新

【特急バス】

- ・通年運行を維持、確保
- ・運行便数：3,453便〔夏期 2,643便（5.5往復/日）、冬期 810便（3往復/日）〕
- ・利用人数：52,109人（前年比 +9,663人 22.75%↗）
 - 夏期：49,706人（前年比 +9,213人 22.76%↗）
 - 冬期： 2,403人（前年比 +450人 23.0%↗）
- ・冬期運行のキャッシュレス決済試行導入：クレジット支払割合 36.22%

【大町市地域公共交通活性化協議会】

- ・協議会として、交通計画（案）を作成、承認

◆ 前年度からの改善点

【大系線】

- ・本格的な利用促進・利便性向上策に取り組むとして「大系線プロモーション事業」を実施
- 事業実施にあたり、新潟・長野両県、沿線市町村の負担金を増額

【特急バス】

- ・冬期運行のキャッシュレス決済の試行導入を実施

【大町市地域公共交通活性化協議会】

- ・7年度以降、計画に基づく施策を効果的に推進するため、交通会議と協議会を統合
- …協議会設置要綱改正（R7.4.1施行）

主要な施策の成果説明書

						前年度評価	継続				
						事務事業No.	21				
担当課	総務部	八坂支所	総務係								
事務事業名	八坂地域振興事業					実施方法	その他				
会計	一般会計		款	2	項	1	目	11	決算書	95	頁
総合計画	まちづくりのテーマ 第5章 市民の参画と協働でつくるまち					後期計画掲載頁		87	頁		
	施策目標 【1】市民の参画・協働と市民の視点に立った市政の推進										
	施策項目 ②過疎地域での地域づくりの推進										
個別計画	大町市過疎地域持続的発展計画										頁

対象と目的	<ul style="list-style-type: none"> 定住人口が減少し、少子高齢化が急速に進むなか、住民が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、地域活力の持続性を高め愛着をもてる地域づくりを推進する。 地域で自主的、主体的に活動する特色ある団体への支援を行い、活気と魅力あふれる地域づくりを推進する。
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 地域づくり協議会を開催し、地域内の振興や諸問題への対応を検討する。 地域振興バスを運行し、ふれあいバス路線区域外の交通弱者の足の確保を図る。また、診療所の送迎診療バス、たけのこ保育園の通園バスを運行し、施設利用者の利便性の向上と交通弱者の足の確保を図る。 地域づくり協議会、八坂青竜太鼓保存会等へ補助金を交付し、地域振興と特色ある地域団体の支援を行う。

決算額		令和4年度	令和5年度	令和6年度			
総事業費（決算額）		9,289,263 円	8,856,872 円	8,660,778 円			
財源内訳	特定財源	5,000,000 円	4,000,000 円	6,500,000 円			
	一般財源	4,289,263 円	4,856,872 円	2,160,778 円			
予算	R6当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額
	9,520,000	0	0	0	9,520,000	8,660,778	0
	不用額	特定財源	細節名	総務費寄付金	ふるさと応援基金繰入金		
859,222		金額	500,000	6,000,000			

事業の実績・成果	前年度（令和5年度）からの改善点等	あり		
<p>◆ 施策目標に資する活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 地域振興バスの運行状況 <ul style="list-style-type: none"> 運行日数 243日 利用者数 967人 ○ 送迎診療バスの運行状況 <ul style="list-style-type: none"> 運行日数 60日 利用者数 213人 ■ 補助金 <ul style="list-style-type: none"> 地域づくり事業 公共土木施設愛護事業 地域間交流事業（八坂秋まつり） 八坂青竜太鼓保存会事業 			<ul style="list-style-type: none"> ○ 道路愛護事業（年4回） <ul style="list-style-type: none"> 作業実施延長 1回：約68km 参加者数 1,010人 	
<p>◆ 事業の成果</p> <p>地域振興バスを市民バスふれあい号（八坂コース）に接続するよう運行しているため、通院や通学、買い物などで大町市街に行く高齢者や学生等の移動手段が確保され、住み慣れた地域で安心して暮らすことができる。</p>				
<p>◆ 前年度からの改善点</p> <p>公共土木施設愛護事業について、八坂地域づくり協議会との事前協議により延長を見直した。</p>				



八坂秋まつり(10月26日開催)

主要な施策の成果説明書

				前年度評価		継続	
担 当 課		総務部	八坂支所	産業建設係		事務事業No.	22
事 務 事 業 名		八坂観光施設管理費				実施方法	指定管理
会 計		一般会計		款	7 項	1 目	3 決算書 189 頁
総合計画	まちづくりのテーマ	第2章 活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち				後期計画掲載頁	57 頁
	施策目標	【3】観光を主体に国内外からひとを呼び込む交流の促進					
	施策項目	①魅力ある観光地づくりの推進					
個別計画							頁
対象と目的	<p>大町市ふれあいセンターさざなみ、鷹狩山展望施設（エコハウスたかがり、鷹狩山展望台）、八坂ふるさと体験館は、地域間交流の促進や観光振興及び地域産業の振興、市民福祉の増進を図るための施設である。</p> <p>現在、民間におけるサービス提供能力や優れた経営ノウハウを活用し、サービスの向上と経費の削減を図ることを目的に、指定管理制度による施設の維持管理及び運営をしている。また、八坂地区には、その他、唐花見湿原や大姥山、大姥の滝など多くの観光資源があり、施設等の清掃・管理を目的とした委託契約を実施している。</p>						
主な実施内容	<p><指定管理> 大町市ふれあいセンターさざなみ：指定管理者（株）ホップ 鷹狩山展望施設（エコハウスたかがり、鷹狩山展望台）：指定管理者（株）ピュアハウス 八坂ふるさと体験館：指定管理者 八坂元氣会</p> <p><委託> トイレ清掃（相川、大姥山、大姥の滝） 唐花見湿原保護巡視、休憩施設清掃</p>						

決算額		令和4年度	令和5年度	令和6年度			
総事業費（決算額）		4,502,502 円	8,171,870 円	7,771,667 円			
財源内訳	特定財源	126,728 円	102,067 円	97,085 円			
	一般財源	4,375,774 円	8,069,803 円	7,674,582 円			
予算	R6当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額
	6,680,000	500,000	0	949,800	8,129,800	7,771,667	0
	不用額	特定財源	細節名				
358,133		金額	体験館電気料等管理者負担金	97,085			

事業の実績・成果		前年度（令和5年度）からの改善点等	なし
◆ 施策目標に資する活動			
指定管理施設			
○鷹狩山展望施設 利用者数：9,468人（展望台7,845人、レストラン1,623人） イベント協力：1回（北アルプス山麓グランフォンド）			
○八坂ふるさと体験館 利用者数：932人 イベント協力：3回（芸術祭・文化祭・秋祭）			
○ふれあいセンターさざなみ 利用者数：18,743人			
指定管理施設の光熱費（電気・ガス・灯油）対して物価高騰分を実績を踏まえて指定管理料に上乗せした。 ふれあいセンターさざなみボイラー修繕、エコハウスたかがりのり面補修工事を実施した。			
◆ 事業の成果			
鷹狩山展望施設及びふるさと体験館においては、北アルプス芸術祭に合わせて営業したことで、イベントを支え来場者の満足度をあげる効果があった。 また、ふれあいセンターさざなみにおいては、バスの運行規程の変更に伴い運転手の確保が難しくなったこともあり遠方からの団体利用者が減少したが、独自のPR活動によって集客を図れた。			
◆ 前年度からの改善点			
無し			

主要な施策の成果説明書

						前年度評価	継続					
						事務事業No.	23					
担当課	総務部		八坂支所		総務係・産業建設係							
事務事業名	八坂定住促進事業					実施方法	市が直接実施					
会計	一般会計			款	2	項	1	目	11	決算書	95	頁
総合計画	まちづくりのテーマ	第2章 活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち					後期計画掲載頁	60		頁		
総合計画	施策目標	【4】移住・定住促進策等の充実強化										
総合計画	施策項目	②過疎地域における移住・定住促進										
個別計画	大田市過疎地域持続的発展計画										頁	
対象と目的	<p>八坂地域は、定住人口が減少し少子高齢化が急激に進んでおり、拠点集落にUターン者等の定住促進を目的に定住促進住宅の整備を行う。また、地域に点在する空き家を有効活用し、移住希望者に紹介することで、さらに定住促進を進めるとともに、当地域を移住地として選定してもらえるよう、入居した世帯に奨励金を交付する。</p> <p>住み慣れた地域で安心して暮らしていけるよう、住宅の新增改築資金の借り入れ利子の一部を補給し、集落機能の維持と活性化につなげる。</p>											
主な実施内容	<p>◇建設 ・平成26年度 住宅建設3棟（切久保2・矢下1） ・平成27年度 住宅建設2棟（野平） ・平成28年度 住宅建設2棟（野平） ・平成29年度 住宅建設2棟（矢下） ・令和2年度 住宅建設2棟（栃沢） ・令和4年度 住宅編入1棟（切久保） ◇廃止 ・令和5年度 住宅譲渡1棟（野平） ・令和6年度 住宅譲渡1棟（野平） ◇助成 ・移住者との交流会、過疎対策重点地域における定住促進奨励金・住宅新築資金等利子補給金の交付</p>											
事業費	決算額		令和4年度			令和5年度			令和6年度			
	総事業費（決算額）		200,000 円			780,389 円			200,000 円			
	財源内訳	特定財源	0 円			0 円			0 円			
		一般財源	200,000 円			780,389 円			200,000 円			
予算	R6当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額					
	500,000	0	0	0	500,000	200,000	0					
	不用額	特定財源	細節名									
	300,000		金額									
事業の実績・成果						前年度（令和5年度）からの改善点等			なし			
<p>◆ 施策目標に資する活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ○定住促進住宅の入居者募集 <ul style="list-style-type: none"> ・退去後随時実施 ○定住促進住宅の廃止（譲渡） ○過疎対策重点地域定住促進奨励金の交付 ○空き家バンクの登録・紹介 ○イベントの開催 <p>◆ 事業の成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ○定住促進住宅 <ul style="list-style-type: none"> ・退去住宅5戸（16名） ・入居住宅1戸（4名） ・廃止（譲渡）件数 1戸 ○過疎対策重点地域定住促進奨励金 1件（200,000円） ○空き家バンク <ul style="list-style-type: none"> ・登録戸数5戸 ・紹介戸数5戸（9件） ・入居戸数1件（1名） <p>・地域づくり協議会に協力をいただき、野平ラベンダー祭りに合わせて移住希望者や前年に転入された方の交流会を企画した移住希望者は日程が合わず不参加となったが、転入者が参加し野平ラベンダー祭りを楽しむとともに地域の住民との交流を深めた。</p> <p>◆ 前年度からの改善点 無し</p>												

主要な施策の成果説明書

前年度評価						継続					
事務事業No.						24					
担当課	総務部	八坂支所	産業建設係								
事務事業名	明日香荘管理運営費					実施方法	指定管理				
会計	一般会計		款	2	項	1	目	11	決算書	95	頁
総合計画	まちづくりのテーマ	第2章 活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち					後期計画掲載頁	57	頁		
	施策目標	【3】観光を主体に国内外からひとを呼び込む交流の促進									
	施策項目	①魅力ある観光地づくりの推進									
個別計画											頁

対象と目的
 大町市交流促進センター明日香荘は、市民の健康増進に資するための保養施設であり、市の観光情報発信と地域以外の方が利用できる観光施設でもある。
 地域間交流の促進、観光振興を通じて地域の活性化を図ることが期待されており、民間におけるサービス提供能力や優れた経営ノウハウを活用し、サービスの向上と経費の削減を図ることを目的に、指定管理制度による施設の維持管理及び運営をしている。

主な実施内容
 <指定管理>
 明日香荘は、宿泊施設や温泉施設、レストランや宴会場等を完備しており、指定管理者は、これらを業務として運営するとともに、施設の維持管理を併せて行っている。また、自主的なイベントの開催により地域の活性化や集客を図る。
 <その他>
 レストランの空調設備が故障し復旧不能となったため、令和7年度で辺地対策事業債を活用し更新することとした。

決算額		令和4年度	令和5年度	令和6年度			
総事業費（決算額）		17,061,962 円	41,276,044 円	20,006,481 円			
財源内訳	特定財源	0 円	20,400,000 円	0 円			
	一般財源	17,061,962 円	20,876,044 円	20,006,481 円			
予算	R6当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額
	20,622,000	0	0	0	20,622,000	20,006,481	0
	不用額	特定財源	細節名				
615,519		金額					

事業の実績・成果	前年度（令和5年度）からの改善点等	あり	
◆ 施策目標に資する活動			
イベント開催数 9回（前年9回） 利用者数2,664人（前年度3,470人）			
【内訳】			
・やさか山菜そば祭り	829人	・おせち販売、入浴イベント	1,186人
・やさか淡竹まつり	331人		
・やさか新そば祭り	214人		
・11周年記念お客様感謝デー	104人		
◆ 事業の成果			
新型コロナウイルス感染症の影響で宴会が大きく減少し、コロナ後も団体での利用が減少したままで、回復の見通しが立たないが、宿泊の利用は増加したまま継続している。			
・宿泊	5,307人	（昨年4,754人）	
・レストラン	7,152人	（昨年6,502人）	
・バンケット（宴会）	3,070人	（昨年3,004人）	
・入浴	10,786人	（昨年11,014人）	
・デリバリー	110人	（昨年128人）	
・売店	8,536人	（昨年7,294人）	
◆ 前年度からの改善点			
指定管理者において、主収入であった宴会がコロナ後も回復しないことから宿泊客をターゲットとした販売促進を実施した結果、昨年より大きく数を伸ばすことができた。また、老朽化した施設の変電設備の一部を更新した。			

主要な施策の成果説明書

				前年度評価		継続			
担当課		総務部 美麻支所		総務係・産業建設係		事務事業No. 25			
事務事業名		美麻地域振興事業				実施方法		その他	
会計		一般会計		款 2 項 1		目 12		決算書 97 頁	
総合計画		まちづくりのテーマ 第5章 市民の参画と協働でつくるまち				後期計画掲載頁		87 頁	
		施策目標 【1】市民の参画・協働と市民の視点に立った市政の推進							
		施策項目 ②過疎地域での地域づくりの推進							
個別計画		大町市過疎地域持続的発展計画						57 頁	

対象と目的	住み慣れた地域で暮らし続けられる地域を維持して行くため、地域住民や自治組織及び運営組織や企業と、行政が共に地域課題の解決に取り組む協働のまちづくり								
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 美麻地域づくり委員会の開催 美麻診療所患者輸送業務 地域の環境維持支援 美麻地区公共施設周辺維持管理業務 美麻地域づくり会議の地域住民協働による事業推進及び運営支援 しなののおまちワーキングホリデー事業「むらの暮らしコース」の実施 小さな拠点の形成に向けた運営組織への支援 地域芸能文化の振興支援 地域振興支援員の配置 								

決算額		令和4年度	令和5年度	令和6年度			
総事業費（決算額）		25,243,843 円	4,491,490 円	7,479,571 円			
財源内訳	特定財源	24,862,000 円	4,000,000 円	6,000,000 円			
	一般財源	381,843 円	491,490 円	1,479,571 円			
予算	R6当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額
	8,274,000	0	0	0	8,274,000	7,479,571	0
	不用額	特定財源	細節名				
794,429		金額	ふるさと応援基金				
			6,000,000				

事業の実績・成果	前年度（令和5年度）からの改善点等	なし
----------	-------------------	----

◆ 施策目標に資する活動

- 美麻診療所患者輸送業務：運行数140日（前年141日）、運行回数261回（前年271回）、利用者数506人（前年548人）
- 地域の環境維持への支援：道路環境維持支援として道路愛護事業補助金の交付（美麻地区連合自治会）整備延長89.76km。
- 美麻地区公共施設周辺維持管理業務：公共施設（7カ所）周辺の草刈りをシルバー人材センターへ業務委託により実施。
- 美麻地域づくり会議事業及び運営支援：住民自治組織における地域課題解決に向けた取り組み。
 - ・地域情報発信事業 地域通信の発行、SNS（インスタ、美麻wiki）を活用した情報発信、先進地視察（山梨県小菅村）
 - ・道の駅活性化事業 定期的なイベント開催（12回）、地域環境整備活動（市道草刈り、有害鳥獣被害低減事業）
 - ・小さな拠点形成推進事業（一般社団法人地域づくり美麻への支援） 移住定住サポート活動、地域産材を活用した特産品開発
- しなののおまちワーキングホリデー事業「むらの暮らしコース」：受入数2件。
- 地域芸能文化支援：美麻源流太鼓へ補助金交付
- 地域振興支援員の配置（1人）

◆ 事業の成果

- 地域づくり会議活動事業
地域づくり活動を内外に発信し、団体間の情報交流、活動交流に取り組んだ。
道の駅活性化事業及び地域環境整備事業の実施により、地域間交流の更なる促進を図り、道の駅の活性化を図った。また、自治会との連携により集落周辺の環境整備を行い、地域の課題解決に取り組んだ。



道の駅活性化事業



道の駅活性化事業



地域環境整備事業

○しなのおおまちワーキングホリデー「むらの暮らしコース」は、美麻地域に滞在いただき、地域の産業や地域活動等を幅広く体験いただくことで、住民との交流や地域の魅力を知ってもらい将来の人口創出に繋げるため実施。（R6 2人の受入れ実施により、地域の活動等に従事。）

体験メニュー：ジビエ加工、林業体験、地域美化活動等



主要な施策の成果説明書

前年度評価		継続	
事務事業No.		26	
担当課	総務部	美麻支所	総務係・産業建設係
事務事業名	メンドシーノ交流事業		実施方法
実施方法	その他		
会計	一般会計	款	2 項 1 目 12
決算書	97	頁	
総合計画	まちづくりのテーマ 第1章 ふるさとに誇りを持つひとを育むまち		後期計画掲載頁
後期計画掲載頁	44		
総合計画	施策目標 【1】心豊かにたくましく生きる子どもの育成		
総合計画	施策項目 ⑧特色ある交流事業の推進		
個別計画	大町市過疎地域持続的発展計画		16 頁

対象と目的	<p>将来を担う若者に国際交流を体験させることにより、国際感覚を身に付け、積極性を養う機会とすることが期待されている。</p> <p>また、訪問団受入れの際には、子どもから高齢者まで多くの市民が参画し、市民レベルの国際交流を推進することで、地域の活性化に寄与する。</p>
主な実施内容	<p>アメリカ合衆国カリフォルニア州メンドシーノ訪問団の受入又は派遣（隔年）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・負担金：受入時 1,000千円 派遣時 7,000千円 ・旅費：派遣時 約900千円

決算額		令和4年度	令和5年度	令和6年度			
総事業費（決算額）		0 円	7,257,146 円	1,000,000 円			
財源内訳	特定財源	0 円	0 円	0 円			
	一般財源	0 円	7,257,146 円	1,000,000 円			
予算	R6当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額
	1,000,000	0	0	0	1,000,000	1,000,000	0
	不用額	特定財源	細節名				
0		金額					

事業の実績・成果	前年度（令和5年度）からの改善点等	なし
----------	-------------------	----

◆ 施策目標に資する活動

メンドシーノ訪問団受入れ
 期間 6月18日～7月2日
 訪問団 生徒27名、大人10名

- ・ウェルカムパーティー、美麻小中学校交流、市役所、議会訪問
- ・ホームステイ、さよならパーティー



事業の実績・成果

◆ 事業の成果

- ・ホストファミリーとコミュニケーションをとることで、外国語の言語力の向上にも寄与する。
- ・学校交流事業により、子供たちとの交流が深まり、異なる文化や価値感を理解し、国際的な視野が広がる。
- ・訪問団受入れにあたっては、子供から高齢者まで、多くの地域住民が交流事業に協力していただき、地域の繋がりがより深まり、地域の活性化に寄与している。



主要な施策の成果説明書

前年度評価	やり方改善
事務事業No.	27

担当課	総務部	美麻支所	総務係・産業建設係	実施方法	市が直接実施
事務事業名	美麻定住促進事業			後期計画掲載頁	60
会計	一般会計	款	2	項	1
目	12	決算書	97	頁	
総合計画	まちづくりのテーマ 第2章 活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち			後期計画掲載頁	60
施策目標	【4】移住・定住促進策等の充実強化				
施策項目	②過疎地域における移住・定住促進				
個別計画	大町市過疎地域持続的発展計画				12
					頁

対象と目的	美麻地区への移住定住を希望する者が、定住促進住宅を始めとした地域移行が円滑に進むよう、相談・支援を行うと共に、定住促進奨励金などの施策を講じ、新たな人口創出を促進させる。
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 過疎対策重点地域定住促進奨励金 過疎地域重点地域住宅新築資金等利子補給金 定住促進住宅維持管理等

事業費	決算額		令和4年度	令和5年度	令和6年度		
	総事業費（決算額）		41,574 円	409,964 円	210,500 円		
	財源内訳	特定財源	0 円	0 円	0 円		
一般財源		41,574 円	409,964 円	210,500 円			
予算	R6当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額
	499,000	0	0	0	499,000	210,500	0
	不用額	特定財源	細節名				
288,500		金額					

事業の実績・成果		前年度（令和5年度）からの改善点等	あり
◆ 施策目標に資する活動			
○ 過疎対策重点地域定住促進奨励金：地区内の指定する地域の空き家に入居する者への奨励金（1世帯20万円）			
○ 過疎地域重点地域住宅新築資金等利子補給金：住宅「新築」「増改築」「購入」者への借入金利子の一部補給			
◆ 事業の成果			
○ 美麻地区定住促進住宅			
総戸数 20戸（内、令和6年度募集2戸）			
団地名	入居戸数	入居者数（人口）	空棟数
川手団地	1	2	0
旭団地	8	26	0
桜台団地	3	11	0
新行団地	3	12	0
湯の海団地	2	4	0
二重団地	3	9	0
計	20	64	0



- 過疎地域定住促進奨励金：交付者 1件
- 過疎地域住宅新築資金等利子補給金：交付者2件

◆ 前年度からの改善点

地域自治組織（美麻地域づくり会議や小さな拠点運営組織）を通じ、地区内の空き家情報の把握や移住定住対策として活用可能な物件の調査を行い、空き家の利活用に向けての検討を行った。

主要な施策の成果説明書

						前年度評価	やり方改善				
						事務事業No.	28				
担当課	総務部	美麻支所	産業建設係								
事務事業名	ぼかぼかランド美麻管理運営費					実施方法	指定管理				
会計	一般会計		款	2	項	1	目	12	決算書	97	頁
総合計画	まちづくりのテーマ	第2章 活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち					後期計画掲載頁	57		頁	
	施策目標	【3】観光を主体に国内外からひとを呼び込む交流の促進									
	施策項目	①魅力ある観光地づくりの推進									
個別計画	大町市過疎地域持続的発展計画								18	頁	

対象と目的	市内唯一の道の駅として、市民及び観光客等を対象とし、地域間交流の促進や観光事業の振興・地域住民の福祉の向上などを図ることを目的とした施設。									
主な実施内容	地域間交流の促進 ・道の駅、温浴施設、飲食施設、宿泊施設としての機能 観光事業の振興 ・宿泊、温浴、売店を中心とした観光事業の振興 ・県内、国内、海外からの集客 地域住民の福祉の向上 ・温浴施設及び飲食施設としての機能を中心に、気軽に立ち寄れる機会の創出による市民福祉増進									


事業費	決算額		令和4年度	令和5年度	令和6年度		
	総事業費（決算額）		9,844,907 円	13,898,718 円	7,773,059 円		
	財源内訳	特定財源	42,969 円	41,969 円	790,430 円		
一般財源		9,801,938 円	13,856,749 円	6,982,629 円			
予算	R6当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額
	6,631,000	0	0	1,483,598	8,114,598	7,773,059	0
	不用額	特定財源	細節名	指定管理者納付金	ぼかぼかランド美麻EV充電器課金		
341,539		金額	785,000	45,502			

事業の実績・成果		前年度（令和5年度）からの改善点等	あり
◆ 施策目標に資する活動			
指定管理施設の維持管理			
<ul style="list-style-type: none"> 廊下タイル張替えほか修繕費（2,035千円） 防火設備定期検査手数料等（332千円） 美遊指定管理料（2,706千円） 使用料及び賃借料（1,063千円） 			
◆ 事業の成果			
美麻地域組織との協働により、様々な活動拠点としての支援。			
			
よっとくれイベント	よっとくれイベント	にくの日イベント	
◆ 前年度からの改善点			
道の駅ぼかぼかランドのあり方検討会を開催し、地域住民等から意見をいただきながら道の駅として、ぼかぼかランド美麻及び美遊について、一体的な利用方法等について検討を進めた。			

主要な施策の成果説明書

						前年度評価	継続				
						事務事業No.	29				
担当課	総務部	美麻支所	産業建設係								
事務事業名	ふたえ市民農園管理費					実施方法	委託				
会計	一般会計		款	6	項	1	目	5	決算書	169	頁
総合計画	まちづくりのテーマ	第2章 活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち				後期計画掲載頁		60		頁	
	施策目標	【4】移住・定住促進策等の充実強化									
	施策項目	③都市との交流の促進									
個別計画	大門市過疎地域持続的発展計画								12	頁	
対象と目的	遊休荒廃農地等の地域資源を活用し、都市住民等に「農業・土・自然」と交流や促進を図り、大門市への移住や定住促進につなげ、地域振興及び活性化を目的とする。										
主な実施内容	交流促進センター及び休憩施設（ラウベ）付き農園49区画の管理 ・交流促進センター、ラウベの管理業務委託（利用者の受付・日常清掃・農作業技術指導等を含む） ・市民農園内の草刈り、除雪業務委託										


事業費	決算額		令和4年度	令和5年度	令和6年度		
	総事業費（決算額）		20,670,735 円	18,857,121 円	20,754,883 円		
	財源内訳	特定財源	18,509,510 円	17,776,045 円	18,455,543 円		
一般財源		2,161,225 円	1,081,076 円	2,299,340 円			
予算	R6当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額
	20,998,000	0	0	0	20,998,000	20,754,883	0
	不用額	特定財源	細節名	金額	交流促進センター使用料	ラウベ使用料	施設利用料ほか
243,117		金額	658,800	15,775,500	2,021,243		

事業の実績・成果			前年度（令和5年度）からの改善点等	あり
◆ 施策目標に資する活動				
ふたえ市民農園休憩施設（ラウベ） 49棟（内、体験用ラウベ5棟）				
ラウベ給湯器ほか修繕（2,976千円）				
ふたえ市民農園管理業務ほか委託料（6,473千円）				
寝具等使用料及び土地賃借料（1,337千円）				
令和6年度 移住定住お試し体験ラウベ（4棟） 30世帯 63名				
令和6年度 市民農園体験用ラウベ利用者数（1棟） 29世帯 61名				
				
◆ 事業の成果				
ラウベ利用の問い合わせや見学者数は増加している。農業体験のみならず、移住を視野に入れた利用者も存在しているため、それぞれ丁寧な対応を心がけることで、「都市住民との交流や促進」「地域振興及び活性化」の推進に取り組んだ。				
◆ 前年度からの改善点				
利用者により施設利用の理解に相違があるため、統一した運用等について「利用者のしおり」を作成し周知を行った。				

主要な施策の成果説明書

						前年度評価	やり方改善		
						事務事業No.	30		
担当課	総務部	美麻支所	産業建設係						
事務事業名	おおしお市民農園管理費					実施方法	委託		
会計	一般会計		款	6	項	1	目	5	
総合計画	まちづくりのテーマ	第2章 活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち				後期計画掲載頁	60	頁	
	施策目標	【4】移住・定住促進策等の充実強化							
	施策項目	③都市との交流の促進							
個別計画	大門市過疎地域持続的発展計画							12	頁
対象と目的	遊休荒廃農地等の地域資源を活用し、都市住民等に「農業・土・自然」と交流や促進を図り、大門市への移住や定住促進につなげ、地域振興及び活性化を目的とする。								
主な実施内容	管理棟及び休憩施設（ラウベ）付き農園36区画の管理 ・管理棟、ラウベの管理業務委託（利用者の受付・日常清掃・農作業技術指導等を含む） ・市民農園内の草刈り、除雪業務委託								

事業費	決算額		令和4年度	令和5年度	令和6年度		
	総事業費（決算額）		5,845,277 円	6,407,945 円	6,602,000 円		
	財源内訳	特定財源	5,845,277 円	6,407,945 円	6,602,000 円		
一般財源		0 円	0 円	0 円			
予算	R6当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額
	7,233,000	0	0	0	7,233,000	6,602,000	0
	不用額	特定財源	細節名	ラウベ使用料	施設利用料	合併浄化槽管理費	
631,000		金額	12,003,000	37,228	390,000		

事業の実績・成果		前年度（令和5年度）からの改善点等	あり
◆ 施策目標に資する活動			
おおしお市民農園休憩施設（ラウベ） 36棟（内、体験用ラウベ1棟）			
ラウベ給湯器ほか修繕（1,532千円）			
ふたえ市民農園管理業務ほか委託料（3,143千円）			
寝具等使用料及び土地賃借料（696千円）			
令和6年度 市民農園体験用ラウベ利用者数（1棟） 26世帯 55名			
◆ 事業の成果			
ラウベ利用の問い合わせや見学者数は増加している。農業体験のみならず、移住を視野に入れた利用者も存在しているため、それぞれ丁寧な対応を心がけることで、「都市住民との交流や促進」「地域振興及び活性化」の推進に取り組んだ。			
◆ 前年度からの改善点			
利用者により施設利用の理解に相違があるため、統一した運用等について「利用者のしおり」を作成し周知を行った。			

主要な施策の成果説明書

前年度評価	やり方改善
事務事業No.	31

担当課	民生部	市民課	国保・年金係	実施方法	市が直接実施
事務事業名	後期高齢者健診事業			目	1
会計	一般会計	款	4	項	1
総合計画	まちづくりのテーマ 第3章 だれもが健康で安心して暮らせるまち			後期計画掲載頁	63
個別計画	【1】健康で長生きできる社会の実現			決算書	141
	③安心して受けられる医療の確保				頁

対象と目的
 後期高齢者医療加入者の、生活習慣病の重症化予防、介護予防を図り、高齢期における健康維持増進及び自立した生活を送るため、健康診査を自己負担なしで実施するとともに、人間ドック受診者には費用の一部を助成している。
 また、福祉課と保健センターが連携し、通いの場などでの生活改善指導、健康情報の分析結果に基づき、改善等が必要な方を抽出して保健指導を実施する。

主な実施内容
 (1) 健康診査（血圧測定、身体測定、血液検査、検尿、診察）を自己負担なしで実施
 (2) 人間ドックを受診した場合、費用の一部を助成（日帰り10,000円、1泊2日20,000円、追加脳ドック10,000円、単独脳ドック18,000円）
 (3) ポピュレーションアプローチの実施（高齢者の通いの場などで、血圧測定、尿中塩分量測定等を実施し、生活改善指導等を行う）
 (4) ハイリスクアプローチ（健診情報を分析し、基準に該当した者を対象に保健指導を実施）

決算額		令和4年度	令和5年度	令和6年度		
総事業費（決算額）		12,420,457 円	13,279,883 円	14,447,924 円		
財源内訳	特定財源	8,600,505 円	8,254,751 円	8,862,553 円		
	一般財源	3,819,952 円	5,025,132 円	5,585,371 円		
R6当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額
15,765,000	0	0	0	15,765,000	14,447,924	0
不用額	特定財源	細節名	後期高齢者広域連合委託料	後期高齢者広域連合補助金	後期高齢者健診事業徴収金	
1,317,076		金額	99,000	8,553,053	210,500	

事業の実績・成果

前年度（令和5年度）からの改善点等

あり

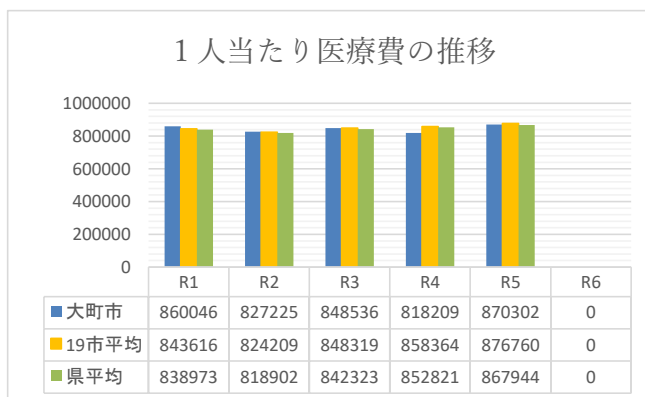
◆ 施策目標に資する活動

○健康診査及び人間ドック受診者数

(人)

種類	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
健康診査	724	659	659	750	813	850
人間ドック（日帰り）	239	223	201	266	296	356
人間ドック（1泊）	17	17	16	11	12	15
計	980	882	860	1,016	1,121	1,221

◆ 事業の成果



○ 後期高齢者健診 対象者・受診率

対象者数：R6 6,047人 R5 5,932人 +115人
 受診率：R6 20.2% R5 21.4% ▲1.2%

○ ポピュレーションアプローチ

通いの場との連携により、市内44カ所で医療専門職が関与する体制により、塩分摂取・野菜摂取について質問票などにより状況を把握し、指導を行った。
 健康教育・健康相談 参加者数 980人

○ ハイリスクアプローチ

HbA1c7.0以上・高血圧Ⅱ度以上の未治療者・治療中断者に対し訪問等により指導を実施
 HbA1c7.0以上の対象者24人について指導を実施
 高血圧Ⅱ度以上の対象者53人について指導を実施

◆ 前年度からの改善点

保健事業と介護予防の一体化実施事業では、ポピュレーションアプローチによる高齢者自主活動団体との連携による訪問指導場所を44ヶ所に拡大し健康教室・健康相談を行った。

主要な施策の成果説明書

前年度評価						継続		
事務事業No.						33		
担当課	民生部	市民課	健康推進係					
事務事業名	母子保健事業					実施方法	市が直接実施	
会計	一般会計		款	4	項	1	目	3
総合計画	第3章 だれもが健康で安心して暮らせるまち					後期計画掲載頁	63	頁
個別計画	第3次健康増進計画・第4次食育計画・大町市保健事業計画							37他 頁

対象と目的	<ul style="list-style-type: none"> 保護者に対する妊娠期から子育て期までの切れ目ない支援により、育児の悩みや不安の軽減を図るとともに、子どもの育つ力を支える育児力の向上を支援する。 小児期からの生活習慣病予防の取組みにより、成人後の生活習慣病を予防する。
-------	--

主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 母子健康手帳交付 2か月児相談 不妊、不育症治療助成事業 妊娠出産育児の切れ目ない支援事業 産後ケア事業 育児カウンセリング相談事業 妊産婦相談 離乳食教室 両親学級 10か月児相談 小児期からの生活習慣病予防事業 母乳相談等助成事業 育児支援ヘルパー派遣事業 妊産婦通院支援事業 新生児訪問 心理相談 育児相談
--------	--

事業費	決算額		令和4年度	令和5年度	令和6年度		
	総事業費（決算額）		8,200,340 円	8,174,779 円	8,242,071 円		
	財源内訳	特定財源	5,755,600 円	4,503,400 円	7,467,000 円		
一般財源		2,444,740 円	3,671,379 円	775,071 円			
予算	R6当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額
	12,886,000	-3,041,000	0	0	9,845,000	8,242,071	0
	不用額	特定財源	細節名	金額	金額	金額	金額
1,602,929		妊娠・出産包括支援事業補助金	2,286,000	ふるさと応援基金繰入金	4,000,000	北アルプス連携自立圏事業	845,000
						眼科屈折検査事業ほか	336,000

事業の実績・成果	前年度（令和5年度）からの改善点等	あり
----------	-------------------	----

◆ 施策目標に資する活動

【妊産婦～出産後への支援】 ○ 母子健康手帳交付 102件（+11）

○ 両親学級 2回×3コース実施 参加者延べ 妊婦 49人 家族 44人
 改善点 市立大町総合病院の助産師を講師に招き、臨場感ある内容で参加数の増加につながった。
 また、病院の母子ケア事業の周知の機会となり大町病院の母乳相談助成事業や産後ケア利用者が増加した。

○ 産前産後サポート

- 母乳相談等助成事業 利用実件数 27件 延べ37件
- 産後ケア事業 通所15人（34日） 宿泊5人（30日）
- 通院支援事業 11人 26枚利用
- 育児支援ヘルパー派遣事業 2人 延べ6回
- 産後健康診査 実人数88人 延べ166件
- 子育て相談事業 実人数 1人 延べ 1人

○ 相談事業、教室関係

	2か月児相談	離乳食教室（ごっくん初期）	離乳食教室（もぐもぐ後期）	10か月児相談
受診者（人）	78	52	40	88
参加率（%）	84	57	49	91

○ 個別相談

- 心理相談 実人数 12人（延べ件数12件）
- 新生児訪問 90件

	乳児（1歳未満）	幼児（1歳以上）	計
実人数	112	112	224
延べ人数	169	172	341

改善点 保健師単独で行っていた新生児訪問に助産師が同伴を開始し、母乳育児相談等の質向上につながっている。
 加えて7年度からは、助産師が妊娠後期に面談を行い出産・育児に係るニーズの把握を行う計画である。

【小児期からの生活習慣病予防事業】

学年	男性			女性			指導・受診状況
	対象	受診	受診率	対象	受診	受診率	
小5	79	70	89%	66	65	98%	小学生 個別指導15人 受診1人
中2	89	80	90%	79	60	76%	中学生 個別指導15人 受診3人

主要な施策の成果説明書

前年度評価	継続
事務事業No.	34
実施方法	市が直接実施
目	3
決算書	145
後期計画掲載頁	69
頁	頁

担当課	民生部	市民課	健康推進係
事務事業名	子育て世代包括支援センター事業		
会計	一般会計	款	4
		項	1
総合計画	まちづくりのテーマ 第3章 だれもが健康で安心して暮らせるまち		
施策目標	【3】結婚・出産・子育て支援の充実		
施策項目	②妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援		
個別計画	健康増進計画		

対象と目的	<p>妊娠・出産・子育て期にある者及び乳幼児を対象に、切れ目のない支援を提供する体制を構築することにより、悩みを抱える妊産婦等を早期に相談支援に繋げ、児童虐待の予防や早期発見に資する。 加えて、妊産婦及び乳幼児への、母子保健及び子育て支援施策との一体的な提供を通じ、健康保持増進に関する包括的な支援を行う。</p>
主な実施内容	<p>①妊産婦及び乳幼児等実情把握 ②妊婦・出産・育児に関する各種の相談に応じ、必要な情報提供・助言・保健指導 ③支援プランの策定 ④保健医療、福祉の関係機関との連絡調整</p>

事業費	決算額		令和4年度	令和5年度	令和6年度		
	総事業費（決算額）		921,600 円	110,761 円	357,748 円		
	財源内訳	特定財源	778,000 円	110,761 円	357,748 円		
一般財源		143,600 円	0 円	0 円			
予算	R6当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額
	810,000	0	0	0	810,000	357,748	0
	不用額	特定財源	細節名	妊娠・出産包括支援事業補助金	子ども・子育て支援交付金		
452,252		金額	50,000	307,748			

事業の実績・成果

前年度（令和5年度）からの改善点等 なし

◆ 施策目標に資する活動

●利用状況 (件数)					●支援プラン作成	
	電話相談	来所相談	訪問等	合計		件数
令和6年度	6	28	130	164	令和6年度	11
令和5年度	8	24	136	168	令和5年度	22
令和4年度	60	41	46	147	令和4年度	24

来所や電話による相談支援のほか、公民館及び幼保の子育て支援事業に出向き相談に対応。保護者の心情に寄り添い切れ目ない支援を実施。

●相談内容 (件数)

	身体発育	食事	育児	保育園等入所	その他	合計	
令和6年度	31	17	66	56	45	215	重複あり
令和5年度	30	20	62	61	49	222	重複あり
令和4年度	14	10	36	46	86	192	重複あり

- ◆ 事業の成果
- 毎週、子育て支援課との情報共有の機会を設け、切れ目ない支援を実施している。
 - 妊娠期から介入を行い、出産・子育て期の継続的な相談対応を実施している。

- ◆ 7年度に向けて
- 子育て世代包括支援センター（中央保健センター所管）と子ども家庭総合支援拠点（子育て支援課所管）を統合し、こども家庭センターを設置。

主要な施策の成果説明書

担当課						民生部	市民課	健康推進係	前年度評価	継続	
事務事業名						健康増進事業			事務事業No.	35	
実施方法						市が直接実施					
会計						一般会計	款	4	項	1	
目						4	決算書		145	頁	
総合計画						まちづくりのテーマ 第3章 だれもが健康で安心して暮らせるまち			後期計画掲載頁		63
施 策 目 標						【1】健康で長生きできる社会の実現					
施 策 項 目						④健康づくりの推進					
個別計画						第3次大町市健康増進計画					

対象と目的	市民の健康保持及び増進を図る。 市民に対し、疾病の早期発見と正しい知識の普及及び啓発を図る。
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 健康相談、健康教育 訪問指導、健康手帳（血圧手帳）の配布 健（検）診事業の実施 歯周病検診、骨粗鬆症検診、肝炎ウイルス検診、健康増進法健診、先取り健診

決算額		令和4年度	令和5年度	令和6年度			
総事業費（決算額）		4,338,940 円	4,307,367 円	3,974,342 円			
財源内訳	特定財源	1,893,200 円	3,589,000 円	2,416,000 円			
	一般財源	2,445,740 円	718,367 円	1,558,342 円			
予算	R6当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額
	5,602,000	-218,000	0	-346,755	5,037,245	3,974,342	0
	不用額	特定財源	細節名	健康増進事業費補助金	公衆衛生寄付金	検診事業徴収金	北アルプス連携自立圏事業ほか
1,062,903	金額	1,713,000	500,000	235,000	50,000		

事業の実績・成果	前年度（令和5年度）からの改善点等	あり
----------	-------------------	----

◆ 施策目標に資する活動

○健康教育の開催数			
年度	R4	R5	R6
開催数（回）	34	63	56
参加人数（人）	705	615	580

○健康相談の開催数			
年度	R4	R5	R6
開催数（回）	2	11	9
参加人数（人）	21	103	97

○健康増進法健診			
年度	R4	R5	R6
集団健診	3	6	3
個別健診	1	0	1

○先取り健診			
年度	R4	R5	R6
集団健診	61	64	63
個別健診	69	67	71

○骨粗しょう症検診(女性のみ) (40歳から70歳までの5歳刻み)			
年度	R4	R5	R6
受診者数（人）	206	188	192

○肝炎ウイルス検診 (40歳以上で1度も受けたことのない人)			
年度	R4	R5	R6
集団検診	54	36	43
個別検診	45	32	43

○特定年齢肝炎ウイルス検診 (40歳から70歳までの5歳刻み)			
年度	R4	R5	R6
集団検診	35	44	41
個別検診	136	121	127

◆ 事業の成果

徐々に集合形式での健康教育が行われるようになり、教育の機会が増えてきた。参加者は高齢者が多いため、若年者の対策は今後も課題。

ベジチェックを活用した野菜摂取量の測定を行い、併せてバランス食や減塩等の普及啓発につなげた。数値化することで食への関心を高め、生活習慣を見直すきっかけとなっている。

◆ 前年度からの改善点

歯周病検診において、6年度より対象に20歳を追加し実施。

30歳代の国保加入者に個別に受診勧奨を実施。（国保ヘルスアップ事業の活用）

主要な施策の成果説明書

前年度評価						継続	
事務事業No.						36	
担当課	民生部	市民課	健康推進係				
事務事業名	がん検診事業					実施方法	市が直接実施
会計	一般会計			款	4	項	1
目	4			決算書		頁	
総合計画	まちづくりのテーマ	第3章 だれもが健康で安心して暮らせるまち				後期計画掲載頁	63
実施目標	【1】健康で長生きできる社会の実現						
実施項目	④健康づくりの推進						
個別計画	第3次健康増進計画						頁
対象と目的	市民の健康保持増進を図る。 市民に対し、疾病の早期発見と正しい知識の普及及び啓発を行う。						
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 各種がん検診 <ul style="list-style-type: none"> 胃がん検診（バリウム・カメラ）、大腸がん検診、肺がん検診（レントゲン・CT） 乳がん検診（超音波・マンモグラフィ）、子宮頸がん検診、前立腺がん検診 						

事業費	決算額		令和4年度	令和5年度	令和6年度		
	総事業費（決算額）		14,980,525 円	15,115,240 円	16,301,523 円		
	財源内訳	特定財源	1,246,600 円	1,377,000 円	1,750,000 円		
一般財源		13,733,925 円	13,738,240 円	14,551,523 円			
予算	R6当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額
	16,234,000	0	0	346,755	16,580,755	16,301,523	0
	不用額	特定財源	細節名	検診事業徴収金	公衆衛生寄付金	新たなステージに入ったがん検診の総合支援事業	アピアランスケア助成事業
279,232		金額	1,170,000	317,000	171,000	92,000	

事業の実績・成果	前年度（令和5年度）からの改善点等	あり
----------	-------------------	----

◆ 施策目標に資する活動

● 検診受診者の推移（人間ドック含まず）

検診種別	対象者	受診者数(人)					
		R2	R3	R4	R5	R6	
胃がん	バリウム	35歳以上	234	281	274	246	240
	カメラ	41歳以上(隔年)	253	252	291	265	259
大腸がん		35歳以上	1,298	1,288	1,342	1,339	1,388
		無料クーポン(再掲)	36	24	21	16	27
乳がん	超音波	30歳以上	337	395	390	371	404
	マンモ	40~74歳(隔年)	176	153	177	170	192
子宮がん		無料クーポン(再掲)	31	30	22	30	32
		20歳以上(隔年)	263	280	268	258	259
		集団検診(再掲)	46	52	43	41	40
肺がん		無料クーポン(再掲)	30	22	13	20	30
	胸部レントゲン	40歳以上	1,792	1,978	1,965	1,849	1,902
	肺CT	41~75歳(隔年)	68	72	78	67	80
前立腺がん		50歳以上	461	510	574	559	556

● 検診受診率の推移

(単位：%)

	算出年齢(歳)	R2		R3		R4		R5		R6		市の目標	国の目標
		ドック含む		ドック含む		ドック含む		ドック含む		ドック含む			
胃がん(カメラ・バリウム)	40~69	13.5	16.0	12.0	22.0	12.9	22.5	11.7	21.4	9.5	24.2	40.0	60.0
大腸がん	40~69	15.3	22.4	14.9	22.0	17.7	23.8	16.0	23.6	16.6	24.1		
肺がん(肺がん・CT)	40~69	15.2	20.4	15.9	23.4	16.4	22.7	15.5	22.6	15.7	22.6		
子宮頸がん	20~69	17.4	20.4	17.4	19.7	18.7	20.4	17.8	19.1	19.1	21.5		
乳がん(視触診・マンモ)	40~69	27.2	30.2	24.3	26.5	24.0	26.4	24.3	26.7	23.1	26.7		

事業の実績・成果

● 健診申込者の受診率の推移（人間ドック含まず）

	R4			R5			R6		
	申込者	受診者	受診率	申込者	受診者	受診率	申込者	受診者	受診率
胃がん(カメラ・バリウム)	1,036	564	54.4%	982	512	52.1%	989	496	50.2%
大腸がん	2,058	1,344	65.3%	2,045	1,339	65.5%	2,023	1,388	68.6%
子宮頸がん	445	265	59.6%	488	257	52.7%	457	259	56.7%
乳がん(視触診・マンモ)	1,063	546	51.4%	1,069	541	50.6%	1,061	595	56.1%

● 受診勧奨

・ 勧奨通知作成及び発送

子宮頸がん	20代から30代 未申込者	504人	9月発送
無料クーポン検診	未受診者		10月発送
	・子宮頸がん	20歳 108人 30歳 86人	
	・乳がん	40歳 116人	
	・大腸がん	40歳 236人	
胃がん(バリウム)	申込済で未受診者(35歳から69歳)	158人	9月発送
胃がん(胃カメラ)	申込済で未受診者	247人	7月発送
大腸がん	申込済で未受診者(35歳から69歳)	578人	9月発送
乳がん	申込済で未受診者(40代から60代)	501人	9月発送

・ ホームページによる勧奨

・ 小中学校保護者用勧奨チラシ作成、配布 ・ 乳幼児健診時に勧奨チラシ配布

・ 包括連携協定を締結した生命保険会社に、事業所訪問時にパンフレット等での啓発を依頼
上記に加え、行政サービス情報の提供活動も行っていただいている。

・ 薬剤師会に協力依頼し、薬局でのチラシ配布。

・ 乳幼児健診時に乳房自己検診モデルを活用し、自己検診の重要性やがん検診の意識啓発を図る。

◆ 事業の成果

がん検診の受診率については、国の目標値である60%を達成していない状況である。受けやすい体制づくりや受診勧奨を行っているが、受診率の大幅な増加に繋げることが難しい。また、市の検診を受診していなくても人間ドックや職場健診、医療機関等で受診している場合も多いと考えられるが、その把握は難しい。

がんの予防には早期発見が不可欠であることから、引き続き受診勧奨及び意識啓発に努める。

がん検診により、毎年10名前後のがん発見者があり、早期治療につながっている。

◆ 前年度からの改善点

胸部レントゲン検診を秋に1日設定し、健康診査・胃バリウム検診との同時実施を行った。受診者数も多く、受診者増につながったが、レントゲン単独受診者が多く、待ち時間が長くなる等繁雑になったため、実施方法に検討が必要。

主要な施策の成果説明書

						前年度評価	継続
						事務事業No.	37
担 当 課	民生部	市民課	健康推進係			実施方法	市が直接実施
事 務 事 業 名	精神保健事業					後期計画掲載頁	63
会 計	一般会計	款	4	項	1	目	4
総 合 計 画	第3章 だれもが健康で安心して暮らせるまち					決算書	頁
施 策 目 標	【1】健康で長生きできる社会の実現						
施 策 項 目	④健康づくりの推進						
個 別 計 画	第3次大町市健康増進計画、第2次大町市いのちを守る推進計画						頁

対 象 と 目 的	<ul style="list-style-type: none"> ・自らの心の健康について関心を持ち、心の健康を維持するための取組みにつなげる。 ・関係機関と連携し、生きるための阻害要因を減らし、生きるための促進要因を増やすことにより、自殺対策につなげる。 ・市民に対し、精神保健に関する知識を広く普及・啓発する。 ・様々な関係機関が連携し、生きることの包括的支援を実施する。
-----------	--

主 な 実 施 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・相談指導及び訪問指導 ・健康教育 ・ゲートキーパー養成講座の開催 ・有線放送等を活用した啓発活動 ・「SOSの出し方教育」の実施 ・メンタルチェックシステム「こころの体温計」事業 ・こころ・法律・仕事の「なんでも相談会」開催（北アルプス連携自立圏事業）
-------------	---

事業費	決算額		令和4年度	令和5年度	令和6年度		
	総事業費（決算額）		306,011 円	261,448 円	359,119 円		
	財源内訳	特定財源	147,000 円	179,000 円	165,000 円		
一般財源		159,011 円	82,448 円	194,119 円			
予算	R6当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額
	515,000	114,000	0	0	629,000	359,119	0
	不用額	特定財源	細節名	地域自殺対策強化事業補助金	北アルプス連携自立圏事業	なんでも相談会開催事業	
269,881		金額	87,000	57,000	21,000		

事業の実績・成果	前年度（令和5年度）からの改善点等	あり
----------	-------------------	----

◆ 施策目標に資する活動

● 相談指導及び訪問指導事業

	来所相談			訪問			電話相談 (メール含む)
	実人数	延べ人数	一人に関わった回数	実人数	延べ人数	一人に関わった回数	延べ回数
R6年度	38	102	2.7	40	161	4.0	323
R5年度	36	87	2.4	77	228	3.0	289
R4年度	37	117	3.2	61	165	2.7	266

● こころの体温計

	本人モード	家族モード	妊婦・ママモード	ストレッチ	アルコール	合計①	大町市以外②	合計①+②
R6年度	3,260	803	259	902	617	5,841	2,857	8,698
R5年度	4,100	899	271	983	712	6,965	2,588	9,553
R4年度	3,408	771	199	886	570	5,834	2,532	8,366

● SOSの出し方に関する教育

- ・大町中 1年生140人
- ・八坂小中 5・7年生 11人
- ・美麻小中 5・7年生 27人
- ・東小 6年生 18人

● ゲートキーパー養成講座（市民・職員） 12月10日開催 24人参加

● こころ・法律・仕事のなんでも相談会（北アルプス連携自立圏事業）

（参加者内訳）

	30代以下	40代	50代	60代	70代	80代以上	合計
男性	0	0	0	0	2	0	2
女性	2	3	1	0	1	1	8

10月16日(水)開催 10人参加

（延相談件数）

保健師	精神科医	弁護士	まいさぼ	インテイクのみ
0	4	7	0	0

◆ 事業の成果

保健師が心に悩みや不安を持つ方に寄り添い、主治医と連携しながら支援を実施。

◆ 前年度からの改善点

SOSの出し方に関する教育については、養護教諭より小学生への実施希望があり、実施が増加した。

主要な施策の成果説明書

前年度評価	継続
事務事業No.	38

担当課	民生部	市民課	保健予防係	実施方法	市が直接実施
事務事業名	予防接種費			目	2
会計	一般会計	款	4	項	1
総合計画	まちづくりのテーマ 第3章 だれもが健康で安心して暮らせるまち			後期計画掲載頁	63
個別計画	【1】健康で長生きできる社会の実現			決算書	141
	④健康づくりの推進				頁

対象と目的

伝染病のおそれがある疾病の発生及びまん延を予防し、公衆衛生の増進に寄与する。

- ・ 予防接種法施行令に定める対象者
- ・ インフルエンザ任意予防接種の助成対象者は、中学3年生及び高校3年生相当の者

主な実施内容

- ・ A類疾病（ジフテリア、結核、百日せき、急性灰白髄炎、麻しん、風しん、日本脳炎、破傷風、水痘、Hib感染症、小児の肺炎球菌感染症、ヒトパピローマウイルス感染症、B型肝炎、ロタウイルス）の予防接種
- ・ B類疾病（インフルエンザ、高齢者の肺炎球菌、新型コロナウイルス）の予防接種
- ・ インフルエンザ任意予防接種の費用の一部助成
- ・ 風しんの追加的対策による対象者の接種期間延長に係る対応

事業費	決算額		令和4年度	令和5年度	令和6年度		
	総事業費（決算額）		58,134,476 円	61,064,876 円	101,792,819 円		
	財源内訳	特定財源	1,293,000 円	151,000 円	16,140,500 円		
		一般財源	56,841,476 円	60,913,876 円	85,652,319 円		
予算	R6当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額
	69,988,000	32,488,000	0	201,718	102,677,718	101,792,819	0
	不用額	特定財源	細節名	特定感染症検査等事業費補助金	新型コロナウイルスワクチン接種補助金		
884,899		金額	329,000	15,811,500			

事業の実績・成果 前年度（令和5年度）からの改善点等 あり

◆ 施策目標に資する活動

A類疾病予防接種実施状況

予防接種の種類	BCG	ポリオ	五種混合	四種混合	三種混合	二種混合	MR 1期	MR 2期	日本脳炎	水痘	ヒブ	小児肺炎球菌	HPV	B型肝炎	ロタ		
															1価	5価	
R6年度対象者数（延べ回数）	92		332	131		173	94	136	720	188	36	368	2577	276	(実人数) 92		
全接種者数（前年度以前の対象者も含む延べ人数）	88	0	211	158	0	123	81	114	519	177	130	341	906	253	141	45	
内訳	定期接種者	80	0	192	146	0	123	75	111	503	162	118	312	871	226	126	43
	相互乗り入れ	7	0	14	12	0	0	6	3	16	15	10	24	17	22	11	2
	契約外医療機関	1	0	5	0	0	0	0	0	0	0	2	5	18	5	4	0

B類疾病予防接種実施状況

予防接種の種類	高齢者肺炎球菌	高齢者インフルエンザ	新型コロナウィルス	
R6年度対象者数	351	9,937	9,937	
全接種者（延べ人数）	97	5,723	1,940	
内訳	定期接種者	97	5,615	1,889
	相互乗り入れ	0	108	51
	契約外医療機関	0	0	0
	他市依頼接種者	0	0	0
全接種率	27.6%	57.6%	19.5%	

風しんの追加的対策に係る抗体検査及び予防接種の実施状況

対象者	抗体検査	予防接種
R6年度対象接種者数	2,320	50
実施者	71	25
	大北管内	71
内訳	集合規約	0
実施率	3.1%	50.0%

◆ 事業の成果

おまち子育て応援アプリの新規登録者数は微増。毎月のプッシュ通知による受診勧奨、医療機関との連携強化もあり接種間隔誤りによる予防接種事故は0件であった。

また、高齢者インフルエンザ及び高齢者肺炎球菌の接種率は前年度より増加したが、今年度より開始された新型コロナウイルスの定期予防接種は、当初の見込みより低い結果となった。これは、コロナ禍を経て感染対策が常態化したことや、B類への移行により感染症に対する恐怖感がある程度薄れたこともあるが、依然として副反応や安全性などワクチン接種に対する不安感を持つ方が多いことも原因であると推察される。

◆ 前年度からの改善点

令和8年度からの予定であった自治体連携システムの本格稼働が延期（令和10年度から）されたことを受け、現在紙媒体で取り扱っている物や郵送している物について、より広い範囲でのDX化を視野に入れ検討を進めた。

主要な施策の成果説明書

						前年度評価	継続				
						事務事業No.	39				
担当課	民生部	生活環境課	環境衛生係								
事務事業名	生ごみ等資源化推進事業					実施方法	指定管理				
会計	一般会計		款	4	項	2	目	4	決算書	155	頁
総合計画	まちづくりのテーマ 第4章 豊かな自然を守り快適に生活できるまち					後期計画掲載頁		82	頁		
個別計画	【3】快適な生活環境の形成										
	①廃棄物の適正な処理とリサイクルの推進										
									82	頁	

対象と目的

・ごみの排出者自らが、生ごみの減量化と再資源化を行うことで、ごみの減量化と再資源化が図られ、循環型社会の形成が進み、快適な生活環境の基盤形成が図られるとともに市民意識の高揚を図る。

主な実施内容

- ・堆肥センターの指定管理者による施設の管理運営
(平成26年2月から10年間、令和6年度より新たに5年間の指定管理による管理運営)
- ・市内小中学校及び保育園、宿泊施設、協力自治会、福祉施設、飲食店等からの生ごみの回収と堆肥化
- ・製造した堆肥の市内学校等での花づくりや野菜作りに活用
- ・生ごみ堆肥化等処理容器を購入した市民への補助事業(購入費の1/2 限度額あり)
電気式：上限額30,000円、100ℓ以上の容器：上限3,000円、100ℓ未満の容器：上限2,000円

決算額		令和4年度	令和5年度	令和6年度			
総事業費(決算額)		18,100,517 円	18,583,625 円	18,334,115 円			
財源内訳	特定財源	512,500 円	715,000 円	666,000 円			
	一般財源	17,588,017 円	17,868,625 円	17,668,115 円			
予算	R6当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額
	18,849,000	0	0	0	18,849,000	18,334,115	0
	不用額	特定財源	細節名	堆肥販売金			
514,885	金額	666,000					

事業の実績・成果

事業の実績・成果	前年度(令和5年度)からの改善点等
<p>◆ 施策目標に資する活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 生ごみの分別収集及び堆肥化 ○ 生ごみ堆肥配布 ○ 生ごみ堆肥化等処理容器購入費補助 ○ 牛糞生ごみ堆肥販売 	なし
<p>◆ 事業の成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 生ごみの収集量 <ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度：199 t (前年度比14.4%増) ○ 生ごみ収集箇所(令和7年3月末現在) <ul style="list-style-type: none"> ・59箇所：自治体1件、保育園2園、小中学校5校、福祉施設7施設、宿泊施設9施設 工場1施設、飲食店33軒、行政施設1施設 ○ 生ごみ堆肥配布による啓発 <ul style="list-style-type: none"> ・保育園、小中学校への配布(はなのき、北小、東小、西小、大町中) ・不要食器回収事業時来場者へ無料配布 配布数100袋 ○ 生ごみ堆肥化等処理容器設置補助金 <ul style="list-style-type: none"> ・電気式生ごみ処理機 17台 補助金額 405,476円 ・コンポスター 31台 補助金額 91,389円 ○ 牛糞生ごみ堆肥販売 <ul style="list-style-type: none"> ・春の販売 令和6年4月13日(土)実施 軽トラ151台、2t車13台 販売金額 399,500円 ・秋の販売 令和6年9月28日(土)実施 軽トラ 77台、2t車15台 販売金額 266,500円 	
<p>◆ 前年度からの改善点</p> <p>無し</p>	



主要な施策の成果説明書

						前年度評価	継続					
						事務事業No.	40					
担当課	民生部	生活環境課	環境保全係									
事務事業名	環境調査事業					実施方法	その他					
会計	一般会計			款	4	項	3	目	1	決算書	155	頁
総合計画	まちづくりのテーマ 第4章 豊かな自然を守り快適に生活できるまち					後期計画掲載頁		75	頁			
総合計画	施策目標 【1】自然と共生した環境の創造											
総合計画	施策項目 ①自然環境の保全と共生											
個別計画												

対象と目的

当市の貴重な財産である良質な水や良好な大気等の環境等を適切に保全して快適な環境を未来へ引き継ぐため、環境に悪影響を及ぼす恐れのある事業所等の調査を行い、公害苦情の改善、解決に向けた指導、助言を行うとともに、生活環境の保全を目的とした環境調査（河川水質、自動車交通騒音、ダイオキシン類等）を実施する。

主な実施内容

下記環境調査の実施。定期的調査のほか苦情等が発生した場合は随時実施する。
 ○河川、湖沼の水質調査 ○地下水位連続観測 ○ダイオキシン類：大気、土壌
 ○低周波音：食品製造施設 ○自動車交通騒音調査
 ○臭気：堆肥製造施設、食品製造施設、畜産関係 ○特定悪臭物質：堆肥製造施設、畜産関係

決算額		令和4年度	令和5年度	令和6年度			
総事業費（決算額）		10,062,586 円	10,238,178 円	10,237,541 円			
財源内訳	特定財源	5,000,000 円	4,000,000 円	4,773,000 円			
	一般財源	5,062,586 円	6,238,178 円	5,464,541 円			
予算	R6当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額
	12,814,000	-2,000,000	0	0	10,814,000	10,237,541	0
	不用額	特定財源	細節名				
576,459		金額	ふるさと応援基金				
			4,773,000				

事業の実績・成果 前年度（令和5年度）からの改善点等 なし

◆ 施策目標に資する活動

○水質検査（52箇所）

- ・町川、平河川（17箇所） ・常盤、社河川（18箇所） ・八坂、美麻河川（4箇所）
- ・仁科三湖（6箇所） ・木崎湖流入河川（4箇所） ・昭和電工関係（3箇所）

○地下水位観測（4箇所）

常盤2号井戸 市立大町病院井戸 グリーンパーク井戸 常盤事業所井戸

○ダイオキシン類測定（大気2回、土壌1回）

- ・図書館付近(大町)、丹生子付近(社)、雇用促進住宅付近(社)、旧社駐在所付近

○低周波音測定（食品製造施設 敷地境界3箇所、近隣屋内2箇所）

○臭気測定 畜産関係12検体

その他61検体 堆肥製造施設 39検体

食品製造施設 22検体（うち2検体は天候不良により参考測定とした）

○自動車交通騒音常時監視

白馬美麻線（県道33号線）、美麻八坂線（県道497号線）



水質検査

◆ 事業の成果

○水質検査

河川、湖沼の水質検査については、気象条件による濁水などの場合を除き、基本環境基準値をクリアしている。また、市ホームページにおいて測定結果を公開している。（年1回更新）

事業の実績・成果

○地下水位観測（4箇所）

平成28年度より継続して水位観測をしている。各井戸ともに季節及び降水量により水位変動があるが、自然現象の範囲内の変動で大きな問題はない。

また、これらのデータはアルプス地域地下水保全対策協議会に提供し、他市町村分の結果と合わせオープンデータとして公開している。

○ダイオキシン類測定

大気、土壌ともに環境基準を大幅に下回っている。

また、市ホームページにおいて測定結果等を公表している。（年1回更新）

○低周波音測定（食品製造施設）

測定結果は、過去の測定数値と比べて大きな変化は見られない。

地元自治会からの要望により実施している近隣民家で行った宅内での測定結果については、環境省から示されている心身の苦情に関する参照値と比較しても問題となる状況ではない。

また、地元自治会に測定結果を報告している。（年1回報告会）

○臭気測定

・堆肥製造施設

工場建屋の修繕と薬液量の調整により、臭気指数は、気体排出口、敷地境界とも基準値を超えることはなく泉地区公害対策委員会からも以前より臭いの状況は良いとの意見をいただいている。市民からの苦情もほぼなく落ち着いた状況である。

令和7年7月までは、地元と事業者間の協定に基づき、試行的に受入量を増加している。（試行期間の状況などを参考に協議し、受入量増加について判断する）

また、臭気測定の結果は、毎月自治会にも共有し、地元の対策委員会の定例会でも報告している。（年3回）

・食品製造施設

新たな脱臭装置を整備するなど、事業者は臭気低減対策に取り組んでいる。気体排出口の臭気指数が規制基準値を超えることもあるが、敷地境界では基準値を超えることはなく、市民からの苦情もない。

また、測定結果については地元自治会に報告をしている。

・畜産関係

月1回の臭気測定結果では、規制基準値を超過する臭気指数の数値も低くなってきており、超過回数も減少傾向にある。特に市民からの苦情もなく状況としては落ち着いている。

また、臭気測定の結果については、地元自治会の運営委員会や学習会にて報告している。（年複数回）

○自動車交通騒音常時監視

調査した2か所ともに環境基準（幹線交通を担う道路に近接する空間の特例 昼間70db、夜間65db）を満たしている。また、測定結果については、環境省及び長野県に報告している。

◆前年からの改善点等

なし

主要な施策の成果説明書

						前年度評価	継続				
						事務事業No.	41				
担当課	民生部	生活環境課	環境保全係								
事務事業名	環境保全事業					実施方法	その他				
会計	一般会計		款	4	項	3	目	1	決算書	155	頁
総合計画	まちづくりのテーマ 第4章 豊かな自然を守り快適に生活できるまち					後期計画掲載頁		75	頁		
	施策目標 【1】自然と共生した環境の創造										
	施策項目 ①自然環境の保全と共生										
個別計画											

対象と目的

当市の貴重な財産である環境を適切に保全して、快適な生活環境や自然環境を維持するため、市民、事業者、行政がそれぞれの立場で自然、生活環境、生態系の保全に取り組む。

主な実施内容

環境保全推進員48名を委嘱し、パトロールによる不法投棄の防止やゴミの回収、外来植物の駆除など良好な生活環境の確保に努めている。
 外来植物の駆除については、委託による駆除作業のほか、自治会や地域振興局、建設事務所等との協力により駆除作業を実施したほか、個人や事業所の所有地については土地所有者に駆除を依頼した。
 事業用の井戸については、環境保全に関する条例に基づく井戸設置の届出制（令和3年度施行）に基づき地下水利用状況を把握している。

決算額		令和4年度	令和5年度	令和6年度			
総事業費（決算額）		4,120,427 円	4,168,894 円	4,132,480 円			
財源内訳	特定財源	2,000,000 円	3,000,000 円	3,000,000 円			
	一般財源	2,120,427 円	1,168,894 円	1,132,480 円			
予算	R6当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額
	4,442,000	0	0	0	4,442,000	4,132,480	0
	不用額	特定財源	細節名	ふるさと応援基金			
309,520	金額	3,000,000					

事業の実績・成果	前年度（令和5年度）からの改善点等	なし
----------	-------------------	----

◆ 施策目標に資する活動

○外来植物除去量	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	9,070 kg	8,370 kg	8,925 kg
○不法投棄物回収量	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	15 t	14 t	17 t
○事業用井戸の届出	井戸台帳 井戸数 66本		

自治会や県との連携による外来植物駆除実施

◆ 事業の成果

○外来植物除去
 前年度の繁殖地に加え、新たな繁殖地も確認されているが、自治会や事業所への呼びかけ、委託及び直営作業による除去により、前年を上回る量を除去することができた。

○不法投棄物回収
 不法投棄は絶えないため、これまでと同様に環境保全推進員によるパトロールを実施している。

◆前年からの改善点等
 無し

主要な施策の成果説明書

前年度評価	継続
事務事業No.	42
実施方法	市が直接実施
目	1
決算書	157
後期計画掲載頁	75
頁	

担当課	民生部	生活環境課	環境保全係
事務事業名	自然エネルギー活用推進事業		
会計	一般会計	款	4
		項	3
総合計画	まちづくりのテーマ 第4章 豊かな自然を守り快適に生活できるまち		
施策目標	【1】自然と共生した環境の創造		
施策項目	①自然環境の保全と共生		
個別計画			
頁			

対象と目的

温室効果ガスの排出削減と地域の特性を生かした再生可能エネルギーの普及促進により、2050年までにゼロカーボンシティの実現を目指す。
地球温暖化に起因する気候変動は自然環境や生活環境に影響を及ぼす懸念があり、将来にわたって良好な環境を維持するため、温室効果ガスの削減を進めるとともに自然エネルギー（水力）を活用した町川発電所の安定的な運転及び再生可能エネルギーの普及を促進する。

主な実施内容

- 町川発電所の維持管理、公共施設への再生可能エネルギー普及促進。
- 太陽光発電設備の設置管理等に関する条例に基づき、事業者が実施する太陽光発電事業の発電設備の設置、管理、撤去等が適切に行われるよう指導。
- 地球温暖化対策実行計画（区域施策編）及び（事務事業編）の進捗管理。

決算額		令和4年度	令和5年度	令和6年度			
総事業費（決算額）		14,861,663 円	25,368,654 円	11,828,714 円			
財源内訳	特定財源	6,568,000 円	6,449,100 円	9,630,506 円			
	一般財源	8,293,663 円	18,919,554 円	2,198,208 円			
予算	R6当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額
	7,537,000	2,096,000	2,200,000	0	11,833,000	11,828,714	0
	不用額	特定財源	細節名	小水力発電施設売電収入	地球温暖化防止基金利子		
4,286		金額	9,628,000	2,506			

事業の実績・成果 前年度（令和5年度）からの改善点等 あり

◆ 施策目標に資する活動

○町川発電所の管理業務

会計年度任用職員：施設点検業務 原則週3日
職員：除塵機清掃 週1回程度（秋期は週2回程度）

○自然エネルギーの活用

令和6年度太陽光発電事業 事前協議件数 4件
※ R6.6までの事前相談含む。（R6.7以降は事前協議）
※工事中1件、未着工3件



町川発電所

◆ 事業の成果

- 町川発電所発電量 1,011,880 kwh
- 町川発電所売電料 10,326,019 円
- クリーンプラント効果額 14,017,962 円
- 地球温暖化防止対策基金積立額 7,895,768 円

◆ 前年度からの改善点

○大町市太陽光発電設備の設置管理等に関する条例及び規則の施行
【施行：令和6年7月1日（一部令和6年4月1日施行）】

主要な施策の成果説明書

						前年度評価	継続				
						事務事業No.	43				
担当課	民生部		福祉課		庶務係						
事務事業名	総合福祉センター管理事業					実施方法	その他				
会計	一般会計		款	3	項	1	目	1	決算書	107	頁
総合計画	まちづくりのテーマ	第3章 だれもが健康で安心して暮らせるまち					後期計画掲載頁	68	頁		
	施策目標	【2】だれもがいきいきと暮らせる環境づくりの推進									
	施策項目	①地域福祉の推進									
個別計画	第4次大町市地域福祉計画								21	頁	
対象と目的	子どもから高齢者、障がいのある人もない人も、誰もが安心して利用できる施設の運営を進めるため、大町・八坂・美麻の3施設を一括して指定管理者に委ねたうえで、民間のノウハウと発想により、市民ニーズを的確にとらえた弾力的なサービスを提供するとともに、3施設の連携を強化することによる効果的・効率的な運営を図る。										
主な実施内容	指定管理者制度による下記3施設の管理・運営 大町市総合福祉センター 平成14年10月開設 平成18年度から指定管理導入 八坂総合福祉センター 平成9年4月開設 平成18年度から指定管理導入 美麻総合福祉センター 平成11年9月開設 平成24年度から指定管理導入										

事業費	決算額		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	総事業費（決算額）		62,200,227 円		49,296,781 円		51,713,521 円	
	財源内訳	特定財源	22,000,000 円		1,200,000 円		1,200,000 円	
一般財源		40,200,227 円		48,096,781 円		50,513,521 円		
予算	R6当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額	
	54,469,000	-1,868,000	0	0	52,601,000	51,713,521	0	
	不用額	特定財源	細節名	総合福祉センター使用料				
887,479		金額	1,200,000					

事業の実績・成果				前年度（令和5年度）からの改善点等	なし
◆ 施策目標に資する活動					
○ 利用者の声（意見箱）の設置や管理日誌で意見・要望を把握し、随時対応している。					
◆ 事業の成果					
○ 各施設の利用状況					
施設名	項目	開設日数	利用実績		
大町市総合福祉センター	公衆浴場	310日	延べ28,811人（92.9人/日）		
		年末年始臨時営業	12/29 84人	1/3 63人	計147人
	会議室等貸館	359日	延べ2,370団体（6.6団体/日） 延べ17813人（49.6人/日）		
八坂総合福祉センター	デイサービス	256日	延べ3,507人（13.7人/日）		
美麻総合福祉センター	デイサービス	256日	延べ4,925人（19.2人/日）		
	会議室等貸館	255日	延べ153団体（0.6団体/日） 延べ2,213人（8.7人/日）		
○ 自主事業実施状況					
◆ 障害福祉サービス事業 開設日数243日					
事業所名	ひまわりの家	たんぼぼ	すずらん		
延べ利用者数	5,993人（25人/日）	620人（3人/日）	1,541人（6人/日）		
◆ 障害者地域生活支援事業 開設日数 243日（⑥は242日）					
①大北圏域障害者相談支援事業（スクラム・ネット）	年度末登録者数331人 延べ利用者数1,007人				
②発達障がいサポート・マネージャー事業	年度末登録者数67人 延べ利用者数324人				
③療育支援事業（スクラム・ネット）	延べ相談件数1,550件				
④障害福祉サービス計画支援事業	年度末登録者数83人 延べ利用者数552人				
⑤障害者地域活動支援センター事業（H-E-C-R-L-M）	延べ利用者数 1,153人				
⑥日中一時支援事業	延べ利用時間数 107時間				

主要な施策の成果説明書

						前年度評価	継続				
						事務事業No.	44				
担当課	民生部	福祉課	庶務係								
事務事業名	市社会福祉協議会助成事業					実施方法	その他				
会計	一般会計		款	3	項	1	目	1	決算書	109	頁
総合計画	まちづくりのテーマ 第3章 だれもが健康で安心して暮らせるまち					後期計画掲載頁		68		頁	
	施策目標 【2】だれもがいきいきと暮らせる環境づくりの推進										
	施策項目 ①地域福祉の推進										
個別計画	第4次大町市地域福祉計画								12	頁	

対象と目的	社会福祉法人 大町市社会福祉協議会の組織体制の充実と事業運営の強化を図る									
主な実施内容	<p>大町市における社会福祉事業の遂行を総合的に担う社会福祉協議会へ補助金を交付し、大町市地域福祉活動計画の実施に向けた援助・支援を行う。</p> <p>対象：法人運営事業・ふれあい福祉センター運営事業・ボランティアセンター運営事業・心配ごと相談事業</p>									

事業費	決算額		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	総事業費（決算額）		20,780,000 円		20,801,000 円		19,602,000 円	
	財源内訳	特定財源	0 円		0 円		0 円	
一般財源		20,780,000 円		20,801,000 円		19,602,000 円		
予算	R6当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額	
	19,602,000	0	0	0	19,602,000	19,602,000	0	
	不用額	特定財源	細節名					
0		金額						

事業の実績・成果	前年度（令和5年度）からの改善点等	なし
----------	-------------------	----

◆ 施策目標に資する活動

○法人運営事業

- ◆第4次地域福祉活動計画の実行 計画年度 令和4年度～8年度
- ◆災害時支援体制の強化
 - 大町市社会福祉協議会事業継続計画（BCP）の作成
 - 大町市災害ボランティアセンター設置運営に係る大町市との協定締結
 - 災害時職員初動マニュアルに基づく参集訓練 8/31
 - DSAT運営委員会への参画 オンライン会議 4/18（能登半島地震への支援、DSATのあり方）
 - 令和6年能登半島地震への職員派遣 4/25～5/1 1名（能登町災害ボランティアセンター）
 - 義援金の募集・送金 4種（17,363円）

○ふれあい福祉センター運営事業

- ◆小地域福祉ネットワーク研修会の開催 「子どもの居場所セミナー」 6/12（26人）
- ◆広報紙「社協おおまち」 年6回発行
- ◆地区社協事業 共同募金・地区社協助成金等を交付し6地区社協の活動を支援

○ボランティアセンター運営事業

- 登録ボランティア団体 112団体 5,475人 / 小地域福祉ネットワーク数 40団体
- 貸出備品整備 プロジェクター及びワンタッチテント購入 / 備品貸出 24種 384件
- ◆ボランティア講座の開催
- ◆ボランティア研修会の開催
- ◆ボランティアニュース 年4回発行

○心配ごと相談事業（心配ごと相談・司法書士相談を毎月2回開設） 相談件数69件

区分	生計	土地家屋	家族	離婚	財産	金銭貸借	健康	近隣	苦情	その他	合計
件数	1	16	3	2	36	4	0	4	1	2	69

主要な施策の成果説明書

						前年度評価	継続		
						事務事業No.	45		
担当課	民生部		福祉課	福祉係					
事務事業名	その他障害者福祉サービス事業					実施方法	その他		
会計	一般会計		款	3	項	1	目	2	決算書 113 頁
総合計画	まちづくりのテーマ	第3章 だれもが健康で安心して暮らせるまち					後期計画掲載頁	67	頁
	施策目標	【2】だれもがいきいきと暮らせる環境づくりの推進							
	施策項目	②障がい者福祉の推進							
個別計画	第6期障害福祉計画							-	頁
対象と目的	<ul style="list-style-type: none"> 障害種別や程度に関わらず、希望する場所で安心して日常生活や社会活動を営むことが可能な地域整備 親亡き後も住み慣れた場所で安心して生活するための、障がい福祉サービスの継続的な支援 個々の意思が尊重され、自己決定や権利が擁護される地域社会や、自立した生活や社会参加が営める地域社会の推進 								
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 障がい者相談支援事業 成年後見制度利用支援事業 意思疎通支援事業 日常生活用具給付事業 移動支援事業 地域活動支援センター利用事業 日中一時支援支援事業 訪問入浴サービス事業 福祉タクシー券交付事業 など 								
事業費	決算額		令和4年度		令和5年度		令和6年度		
	総事業費（決算額）		57,344,768 円		55,629,740 円		56,216,867 円		
	財源内訳	特定財源	25,186,000 円		28,578,000 円		21,448,000 円		
一般財源		32,158,768 円		27,051,740 円		34,768,867 円			
予算	R6当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額		
	61,173,000	-1,325,000	0	0	59,848,000	56,216,867	0		
	不用額	特定財源	細節名	地域生活支援事業補助金（国庫支出金）	地域生活支援事業補助金・地域福祉総合助成金（県支出金）	地域福祉総合助成金	北アルプス連自立圏事業		
3,631,133		金額	8,919,000	4,459,000	354,000	7,716,000			
事業の実績・成果						前年度（令和5年度）からの改善点等		なし	
◆ 施策目標に資する活動									
○ 障害者総合支援法による地域生活支援事業									
<ul style="list-style-type: none"> 相談支援事業 障がい者の総合相談支援（大北圏障害者総合支援センター）を、北アルプス連携自立圏事業事で委託。大町市分相談支援件数 249件（圏域全体1,007件）。圏域内の課題解決に向け、自立支援協議会事務局運営も担っている。委託料 13,637,000円 訪問入浴サービス 延79回 987,500円 意思疎通支援事業 情報保障のための手話通訳、要約筆記者の派遣を実施。遠隔手話通訳システム使用料 21,450円 成年後見制度利用支援事業 後見人報酬 1人 264,000円 日常生活用具給付事業 在宅生活を継続するうえで必要な用具等を給付している。給付件数 740件 8,141,464円 地域活動支援センター 日中の場、社会適応訓練、入浴介助等を実施。市内事業所 2か所。延利用人数 539人 20,076,740円 移動支援事業 外出先での支援が必要な方に対し実施。延219時間 589,380円 日中一時支援事業 介護者の負担軽減 延利用人数 2,044人 7,534,430円 点字・声の広報等発行事業 100,000円（テープ図書作成、点字広報発行） 									
○ その他事業									
<ul style="list-style-type: none"> タイムケア事業 延1,326時間 638,010円 福祉タクシー券配布 利用枚数2,173枚 1,930,340円 除雪費支給 4人 136,512円 自動車改造 3件 225,630円 介護者慰労金 16人 1,600,000円 介護用品券 延58件 175,951円 支援員派遣（要約筆記）1件 36,540円 軽度、中等度難聴児補聴器購入助成 1件 70,000円 									
◆ 事業の成果									
<ul style="list-style-type: none"> 大北自立支援協議会による障害福祉事業所への地域課題の聞き取りを実施。今後課題の取りまとめを進める。 地域のだれもが安心した生活や、生きがいを持った自立生活に結び付ける支援向上に努めている。 									
◆ 前年度からの改善点									
なし									

主要な施策の成果説明書

前年度評価	継続
事務事業No.	46

担当課	民生部	福祉課	高齢者・包括支援係	実施方法	指定管理	
事務事業名	高齢者福祉一般経費			後期計画掲載頁	64	
会計	一般会計	款	3	項	1	
目	3	決算書	113	頁		
総合計画	まちづくりのテーマ 第3章 だれもが健康で安心して暮らせるまち				後期計画掲載頁	64
総合計画	施策目標 【1】健康で長生きできる社会の実現					
総合計画	施策項目 ⑤高齢者が住み慣れた場所で暮らし続けられる支援の構築					
個別計画	第9期大町市高齢者福祉計画				48	

対象と目的	高齢者が、敬愛され、生きがいをもって健康で安心した生活をおくることができるよう、地域全体で支えていくため、高齢者・児童並びに地域住民を対象に高齢者福祉、放課後児童健全育成事業及び三世交代事業を通じて、高齢者の生きがいや交流事業の場として環境整備を進める。
主な実施内容	指定管理者制度による下記施設の管理・運営 大町市ふれあいプラザ 平成13年4月開設 平成18年度から指定管理導入

事業費	決算額		令和4年度	令和5年度	令和6年度		
	総事業費（決算額）		6,739,105 円	5,908,641 円	6,391,269 円		
	財源内訳	特定財源	0 円	0 円	0 円		
一般財源		6,739,105 円	5,908,641 円	6,391,269 円			
予算	R6当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額
	6,333,000	0	0	279,000	6,612,000	6,391,269	0
	不用額	特定財源	細節名				
220,731		金額					

事業の実績・成果	前年度（令和5年度）からの改善点等	なし
----------	-------------------	----

◆ 施策目標に資する活動

- 多くの利用者が利用できるよう土日祝日も開館し、年間360日の開館実績となっている。
入浴施設は、毎週木曜日、年末年始（12月29日から1月3日）以外の午後1時から午後8時まで利用可能。
貸館業務は軽運動室、食堂等があり年末年始（12月29日から1月3日）以外の平日は午前9時30分から午後8時まで、土・日曜日、祝日は、午後1時から午後8時まで利用可能
南小児童クラブは、平日は下校時から午後6時まで（小学校の休日や長期休みは、午前8時から午後6時まで）
- 市が委託する南部地域包括支援センターを併設するほか、指定管理者の独自事業として訪問介護事業所を設置し、地域に密着したサービスを提供している。

◆ 事業の成果

○施設の利用状況（人）

	R6	R5	R4	R3	R2
公衆浴場	6,217	6,558	5,747	5,292	4,860
軽運動室等	858	878	699	783	814
南小児童クラブ	6,421	5,652	6,003	4,080	5,058

◆ 前年度からの改善点

なし

主要な施策の成果説明書

						前年度評価	継続				
						事務事業No.	47				
担当課	民生部		福祉課	高齢者・包括支援係							
事務事業名	高齢者福祉事業費					実施方法	市が直接実施				
会計	一般会計		款	3	項	1	目	3	決算書	115	頁
総合計画	まちづくりのテーマ	第3章 だれもが健康で安心して暮らせるまち					後期計画掲載頁	64		頁	
	施策目標	【1】健康で長生きできる社会の実現									
	施策項目	⑤高齢者が住み慣れた場所で暮らし続けられる支援の構築									
個別計画	第9期大町市高齢者福祉計画								23ほか	頁	
対象と目的	高齢者の社会参加や在宅生活を継続できる支援を行う										
主な実施内容	<p>高齢者の在宅生活支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 敬老祝金や介護者慰労金の支給 陶芸の家の開設 地区敬老会、シルバー人材センター、寝たきり高齢者等移送サービス支援、住宅改良助成、シニアクラブ、補聴器購入助成に対する補助金交付 福祉タクシー券、介護用品券、短期宿泊支援等 										
事業費	決算額		令和4年度		令和5年度		令和6年度				
	総事業費（決算額）		56,848,322 円		64,598,862 円		66,715,919 円				
	財源内訳	特定財源	5,367,058 円		5,988,574 円		7,169,795 円				
		一般財源	51,481,264 円		58,610,288 円		59,546,124 円				
予算	RG当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額				
	62,259,000	5,839,000	0	-17,000	68,081,000	66,715,919	0				
	不用額	特定財源	細節名	地域福祉総合助成金	生活管理短期宿泊利用者負担金	高齢者地域支え合い支援事業補助金	ふるさと応援基金ほか				
	1,365,081		金額	188,000	2,779,795	650,000	3,552,000				
事業の実績・成果						前年度（令和5年度）からの改善点等		あり			
<p>◆ 施策目標に資する活動</p> <ul style="list-style-type: none"> 敬老祝金の贈呈（88歳10,000円、99歳20,000円、100歳以上10,000円） 陶芸の家の開設 高齢者にやさしい住宅改良補助金の交付…介護認定を受けた高齢者の住宅改修への助成 シニアクラブへの活動支援 福祉タクシー券の交付…要支援から要介護2までの認定を受けた高齢者で、前年度所得税非課税世帯に対しタクシー券を交付して移動支援を行う。 介護用品引換券交付事業…在宅で介護が必要な人及びその介護者におむつ券の交付を行う。 補聴器購入助成事業…補聴器の装用が必要と医師が認めた高齢者の補聴器購入への助成 <p>◆ 事業の成果</p> <ul style="list-style-type: none"> 敬老祝金（88歳10,000円 239人、99歳20,000円 35人、100歳以上10,000円 65人） 陶芸の家会員；23人 親子陶芸教室；7/27 16人、7/28 15人 一般向け陶芸教室；10/19 10人 高齢者にやさしい住宅改良補助金件数 1件 シニアクラブ活動助成；連合会1団体、単位クラブ19団体（744人） 山雅健康運動教室 全12回 延参加者数259人 ノルディックウォーキング教室：全22回 延参加者数331人 ノルディックスキー教室：全8回 延参加者数47人 水中運動教室 全10回 延参加者数201人 福祉タクシー券交付 交付数193人 介護用品引換券交付事業 交付者数311人 補聴器購入助成事業 56人 <p>◆ 前年度からの改善点</p> <p>敬老祝金の対象者見直し（R7より）</p>											

主要な施策の成果説明書

前年度評価	継続
事務事業No.	48

担当課	民生部	福祉課	高齢者・包括支援係
事務事業名	介護予防包括的支援事業		
実施方法	一部委託		
会計	一般会計	款	3 項 1 目 7
決算書	121	頁	
後期計画掲載頁	64	頁	
総合計画	まちづくりのテーマ 第3章 だれもが健康で安心して暮らせるまち		
施策目標	【1】健康で長生きできる社会の実現		
施策項目	⑤高齢者が住み慣れた場所で暮らし続けられる支援の構築		
個別計画	第9期大町市高齢者福祉計画		17 頁

対象と目的
 高齢者及びその家族（元気高齢者、基本チェックリスト該当者(事業対象者含む)、要支援認定者、介護者家族等）の心身の健康維持、介護予防及び生活の安定のために必要な支援を行うとともに、高齢者の権利を擁護し、居宅において自立した生活を営むことができるよう支援する。

主な実施内容
 市内に2つの地域包括支援センターを設置（委託）し、それぞれ3職種（主任介護支援専門員・保健師・社会福祉士）を中心に、高齢者の保健・医療・福祉・介護の多様な面から生活を支える総合支援の窓口として事業を実施している。
 令和5年度より設置した、総合支援の一次窓口であるランチにおいても相談対応を行い、地域包括支援センターへ支援をつなぐ役割を担っている。
 引き続き当課では、総合的な案内と高齢者の自立支援に向けた取り組みを実施する。

事業費	決算額		令和4年度	令和5年度	令和6年度		
	総事業費（決算額）		37,548,730 円	45,923,520 円	46,313,520 円		
	財源内訳	特定財源	37,548,730 円	45,923,520 円	46,313,520 円		
一般財源		0 円	0 円	0 円			
予算	R6当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額
	46,437,000	-100,000	0	0	46,337,000	46,313,520	0
	不用額	特定財源	細節名	地域支援事業受託金			
23,480		金額	46,313,520				

事業の実績・成果 前年度（令和5年度）からの改善点等 あり

◆ 施策目標に資する活動

○総合相談支援業務
 家族介護者等への相談支援数 (件)

北部地域包括支援センター	2,014
南部地域包括支援センター	890
大町市福祉課高齢者・包括支援係	1,940

ランチから地域包括支援センターに相談を繋いだ件数：25件

○包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

実践力向上等研修会・法定外研修の開催	回数	参加者数(延べ)
成年後見制度実務者対象研修	4	133
実践力向上等研修会	5	161
地域ケア会議兼法定外研修	1	23

○地域ケア会議の開催

地域ケア会議の種類	回数	参加者数(延べ)
価値創造型	5	229
問題解決型	8	197
推進会議・ブラワー連絡会等	5	148

みんなで考えようプロジェクト Zoom、支援者懇話会

○権利擁護業務
 高齢者虐待対応件数（重複あり）

身体的虐待	3
放棄的虐待	1
心理的虐待	1
性的虐待	0
経済的虐待	2
虐待事実なし	14

○介護予防ケアマネジメント・介護予防支援委託する際のセンターの関与数（延べ）

北部地域包括支援センター	1,135
南部地域包括支援センター	1,103

◆ 事業の成果

○人口当たり新規認定率（1号被保険者） 単位：（%）

	北部	直営	南部	市全域
令和5年3月	2.4	2.1	2.2	2.2
令和6年3月	2.7	—	2.7	2.7
令和7年3月	2.2	—	2.7	2.4

○1号被保険者 要介護認定率

	市	県	全国
令和4年度	16.9	17.7	19.4
令和5年度	16.9	17.2	19.4
令和6年度	17.0	17.4	19.7

事業の実績・成果

◆ 前年からの改善点等

地域ケア会議の開催方法を、市と2つの地域包括支援センターにて協働で企画運営を行い、共通認識を持って取り組むことができ、定期開催したことにより、参加者同士の対話の機会を増やし、事例の検証や支援者支援など、多岐にわたり効果がみられた。

主要な施策の成果説明書

前年度評価						継続					
事務事業No.						49					
担当課	民生部	福祉課	高齢者・包括支援係								
事務事業名	通所型介護予防事業					実施方法	市が直接実施				
会計	一般会計		款	3	項	1	目	7	決算書	121	頁
総合計画	まちづくりのテーマ 第3章 だれもが健康で安心して暮らせるまち					後期計画掲載頁		64	頁		
	施策目標 【1】健康で長生きできる社会の実現										
	施策項目 ⑤高齢者が住み慣れた場所で暮らし続けられる支援の構築										
個別計画	第9期大田市高齢者福祉計画								30ほか	頁	

対象と目的	要支援認定者、事業対象者、介護予防が必要な高齢者に対し、高齢者の認知、運動機能維持改善を目的に通所型の介護予防事業を行い、要介護期間の短縮を図る。										
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 通所型サービスC（短期集中事業） 複合体操教室（自治会単位） 自主活動団体育成補助事業 一般介護予防体操教室 マシントレーニング教室 										

決算額		令和4年度	令和5年度	令和6年度			
総事業費（決算額）		10,215,904 円	10,369,650 円	15,656,120 円			
財源内訳	特定財源	10,215,904 円	10,369,650 円	15,656,120 円			
	一般財源	0 円	0 円	0 円			
予算	R6当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額
	18,392,000	-1,790,000	0	0	16,602,000	15,656,120	0
	不用額	特定財源	細節名	地域支援事業受託金	筋力トレーニング利用者実費徴収金ほか		
945,880		金額	15,131,120	525,000			

事業の実績・成果		前年度（令和5年度）からの改善点等	あり
◆ 施策目標に資する活動			
<ul style="list-style-type: none"> 複合型体操教室（自治会単位） 実施自治会 16か所、実人員244人、延べ2131人 委託事業所 NPO法人健學塾、みとろクリエイト 一般介護体操予防教室 実施回数 1コース20回 2コース実施 実人員42人、延べ649人（1コース定員20人）、委託事業所 NPO法人健學塾 自主活動団体育成補助事業 補助金交付団体数39団体（内新規6団体） 実人員562人、延べ12,783人、実施回数1,280回 内容 体操、ダンス、趣味活動、ハイキング、ものづくり、外出、茶話会など 貯筋塾 実施回数 1コース20回 5コース実施（常盤1、平2、美麻2） 実人員91人、延べ1,327人（1コース定員10人）、委託事業所 NPO法人健學塾、フライクス、リセット リピーター貯筋塾 実施回数40回 実人数32人 延べ964人 			
◆ 前年度からの改善点			
継続したマシントレーニングの場としてリピーター貯筋塾を実施し、参加者の運動意欲向上につながった。			

主要な施策の成果説明書

前年度評価	継続
事務事業No.	50

担当課	民生部	福祉課	高齢者・包括支援係
事務事業名	訪問型介護予防事業		
実施方法	委託		
会計	一般会計	款	3 項 1 目 7
決算書	121	頁	
総合計画	まちづくりのテーマ 第3章 だれもが健康で安心して暮らせるまち		
後期計画掲載頁	64	頁	
施策目標	【1】健康で長生きできる社会の実現		
施策項目	⑤高齢者が住み慣れた場所で暮らし続けられる支援の構築		
個別計画	第9期大町市高齢者福祉計画		33ほか 頁

対象と目的
要支援認定者及び虚弱な高齢者を対象に、訪問による保健指導及び、運動指導、介護者支援を行い、重度化を延伸する。

主な実施内容

- ・訪問指導は看護師・栄養士等が対象者に対し1～2回/月の頻度で訪問を行う。
- ・リハビリ職家屋調査は、身体機能低下に伴い宅内移動が困難となった高齢者宅を理学療法士が訪問し、安全な移動方法の指導の他、住宅改修や福祉用具活用に関するアドバイスを行う。
- ・訪問型C事業は、理学療法士が12週間連続訪問によるリハビリ指導を実施し、身体機能の維持向上を図り、在宅生活が維持できるよう支援を行う。

事業費	決算額		令和4年度	令和5年度	令和6年度		
	総事業費（決算額）		1,014,996 円	216,780 円	94,900 円		
	財源内訳	特定財源	1,014,996 円	216,780 円	94,900 円		
一般財源		0 円	0 円	0 円			
予算	R6当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額
	1,406,000	-1,190,000	0	0	216,000	94,900	0
	不用額	特定財源	細節名	地域支援事業受託金	筋力トレーニング利用者実費徴収金		
121,100		金額	73,900	21,000			

事業の実績・成果 前年度（令和5年度）からの改善点等 あり

◆ 施策目標に資する活動

看護師訪問指導（事業申請者 実人数28人）

	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
訪問	実人数	22	24	24	19	18	23	22	22	25	19	20	20	258
	延べ人数	32	29	36	26	35	46	37	29	38	26	25	25	384
電話	実人数	5	5	3	9	11	7	8	6	9	8	8	6	85
	延べ人数	5	6	3	15	17	13	16	12	19	18	11	8	143

栄養士訪問指導（貯筋塾等教室参加者への栄養指導 実人数48人）

	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
訪問	実人数			1		3	4	1	2	3	3	3	4	24
	延べ人数			1		3	6	1	2	4	4	4	5	30

◆ 事業の成果

看護師による訪問指導を実施した実人数 28人

内、令和6年度 修了者4人（死亡1、施設入所2、訪問看護導入1）の平均訪問回数 5.4回

◆ 前年度からの改善点

栄養士および保健師による後期高齢者健診受診者の個別指導を継続し、通いの場や介護予防教室等への巡回指導に加えて、循環器疾患の危険性が高い者に対する支援まで重層的に行う体制とした。
介護保険サービスの訪問看護との区別を明確にし、対象者は予防的介入を重視した。

主要な施策の成果説明書

前年度評価						継続					
事務事業No.						51					
担当課	民生部	福祉課	高齢者・包括支援係								
事務事業名	介護予防普及啓発事業					実施方法	市が直接実施				
会計	一般会計		款	3	項	1	目	7	決算書	121	頁
総合計画	まちづくりのテーマ 第3章 だれもが健康で安心して暮らせるまち					後期計画掲載頁		64	頁		
	施策目標 【1】健康で長生きできる社会の実現										
	施策項目 ⑤高齢者が住み慣れた場所で暮らし続けられる支援の構築										
個別計画	第9期大町市高齢者福祉計画								30	頁	

対象と目的	<p>通いの場参加者等に対し循環器疾患、オーラルフレイル予防に係る健康教育を実施することにより、心疾患や脳血管疾患等の発症や重症化を予防し、社会保障費を縮減すると共に、健康寿命を延伸し高齢者の生活の質を向上する。</p>										
主な実施内容	<p>高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業を保健センターと連携実施。介護予防普及啓発事業ではポピュレーションアプローチを担当し、通いの場1箇所につき2回巡回を実施した。</p> <p>塩分摂取量測定、野菜摂取量測定等を行い血圧管理を主体的に行えるよう啓発を行うとともに、オーラルフレイルの予防についてフレイルリスクの実態把握と自宅継続できる健口体操を行う。</p>										

決算額		令和4年度	令和5年度	令和6年度			
総事業費（決算額）		1,808,598 円	976,314 円	797,135 円			
財源内訳	特定財源	1,808,598 円	976,314 円	797,135 円			
	一般財源	0 円	0 円	0 円			
予算	R6当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額
	1,027,000	-210,000	0	0	817,000	797,135	0
	不用額	特定財源	細節名				
19,865		金額	地域支援事業受託金	797,135			

事業の実績・成果		前年度（令和5年度）からの改善点等	あり
◆ 施策目標に資する活動			
<p>地区巡回による尿中塩分量測定、野菜摂取量測定、減塩学習会を実施。</p> <p>参加実人数562人（前年比104%）、延べ人数880人（前年比122%）</p> <p>尿中塩分量測定実施数 介入時428人 終了時390人</p> <p>野菜摂取量測定実施数 介入時457人 終了時423人</p> <p>オーラルセルフチェック実施数 介入時450人 終了時416人</p> <p>オーラルセルフチェックによるハイリスク者数（4点以上） 介入時233人（51.8%） 終了時212人（51%）</p>			
◆ 事業の成果			
<p>介入時、終了時共にウロソルトペーパー及びベジチェックを使用し健康教育を行ったことで、自ずと生活の振り返りにつながり、塩分摂取量が減少したと考えられる。</p> <p>塩分摂取量が介入時より減少し、季節に差が無く野菜摂取量を維持できていることは大きな成果である。</p>			
◆ 前年度からの改善点			
<p>野菜だけでなくタンパク質も意識して摂取するようレシピ集を作成した。</p> <p>地域包括支援センターと連携し地域の学習会を進める体制ができた。</p>			

主要な施策の成果説明書

前年度評価										継続		
事務事業No.										52		
担 当 課	民生部			福祉課			高齢者・包括支援係					
事 務 事 業 名	家族介護支援事業						実施方法		市が直接実施			
会 計	一般会計			款	3	項	1	目	7	決算書	123	頁
総 合 計 画	まちづくりのテーマ 第3章 だれもが健康で安心して暮らせるまち						後期計画掲載頁		64		頁	
	施 策 目 標 【1】健康で長生きできる社会の実現											
	施 策 項 目 ⑤高齢者が住み慣れた場所で暮らし続けられる支援の構築											
個 別 計 画	第9期大田市高齢者福祉計画										44	頁
対 象 と 目 的	<p>(1)在宅介護者を対象に、リフレッシュの機会を設け介護者の心身の疲れを癒し元気回復を図る。</p> <p>(2)認知症への理解を深め、共に住み慣れた地域で共生できる環境づくりを推進する。</p>											
主 な 実 施 内 容	<p>(1)家族介護支援事業（在宅介護者リフレッシュ事業） 音楽鑑賞会やヨガ、フラワーアレンジメント、バスツアー、食事会等を南部、北部地域包括支援センターと福祉課高齢者・包括支援係で開催しており、参加者のアンケート結果を参考に毎年企画し、継続参加する者が多い。</p> <p>(2)認知症の啓発事業（認知症サポーター養成講座） 南部、北部地域包括支援センターの認知症地域支援推進員を中心に、養成講座の開催を希望する地域の自治会や団体に講座を開催している。新たに生涯学習課の事業と共催で小・中・高校生も参加する場で講座を開催し若年層への周知、啓発活動に取り組んでいる。</p>											
事 業 費	決算額		令和4年度			令和5年度			令和6年度			
	総事業費（決算額）		443,740 円			331,148 円			402,500 円			
	財源 内訳	特定財源	443,740 円			331,148 円			402,500 円			
一般財源		0 円			0 円			0 円				
予 算	R6当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額					
	849,000	-430,000	0	0	419,000	402,500	0					
	不用額	特定財源	細節名	地域支援事業受託金								
	16,500	金額	402,500									
事業の実績・成果						前年度（令和5年度）からの改善点等			あり			
<p>◆ 施策目標に資する活動</p> <p>(1) 家族介護支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ■在宅介護者リフレッシュ事業（開催7回、延べ参加数130人） 北部包括 4回、南部包括 2回（コンサート、食事会、バス旅行、ヨガ） 市直営包括：1回 フラワーアレンジメント ■認知症サポーター養成講座（開催5回、参加数99人） 対象：社協職員、サークル、ジュニアリーダー研修会（市子ども会育成連絡協議会）参加者 <p>◆ 事業の成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ■在宅介護者リフレッシュ事業参加者アンケートでは、リフレッシュの機会は貴重であり事業継続の希望が多い。ケアマネジャーの協力により介護者が安心して参加できる環境づくりもあり、介護者支援が図られた。 ■認知症サポーター養成講座は、教育委員会生涯学習課と共催で小学校から高校、大学生を中心とする参加者向けに講座を開催し、社協の協力を得て高齢者体験も含めた講座となった。具体的な活動計画を持った仲間同士の参加もあり、今後も関係機関と連携し事業を展開する必要度は高い。 <p>◆ 前年度からの改善点</p> <ul style="list-style-type: none"> ■他課、福祉関係機関等と連携し若年層向けの講座を開催した。 												

主要な施策の成果説明書

前年度評価						継続		
事務事業No.						53		
担 当 課	民生部	福祉課	高齢者・包括支援係					
事 務 事 業 名	成年後見制度支援事業					実施方法	委託	
会 計	一般会計		款	3	項	1	目	7
総 合 計 画	第3章 だれもが健康で安心して暮らせるまち					後期計画掲載頁	64	頁
施 策 目 標	【1】健康で長生きできる社会の実現							
施 策 項 目	⑤高齢者が住み慣れた場所で暮らし続けられる支援の構築							
個 別 計 画	第9期大町市高齢者福祉計画						46	頁

対 象 と 目 的	<p>認知症や知的・精神障害等によって、物事を判断する能力が十分でない人及びその親族を対象に、成年後見制度等の権利擁護を目的とする制度の利用に関する相談や、制度の普及・啓発を実施することで、本人の尊厳を保持し、その人らしく自立した生活が継続できる社会の実現を図る。</p>							
主 な 実 施 内 容	<p>(1) 成年後見支援センター運營業務（広域連携自立圏事業として大町市社会福祉協議会へ業務委託）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成年後見制度に関する相談、支援、普及啓発 ・法人としての成年後見受任、後見支援員の育成 <p>(2) 金銭管理や契約行為に支援が必要な人に対する日常生活自立支援</p> <p>(3) 成年後見制度の申立てを行う親族がない場合の市長申立て</p> <p>(4) 成年後見人等への報酬を支払うことが困難な人に対する費用扶助</p>							

決算額		令和4年度	令和5年度	令和6年度			
総事業費（決算額）		8,941,000 円	8,809,810 円	8,846,160 円			
財源内訳	特定財源	5,766,000 円	5,605,810 円	6,413,000 円			
	一般財源	3,175,000 円	3,204,000 円	2,433,160 円			
予 算	R6当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額
	9,613,000	-400,000	0	0	9,213,000	8,846,160	0
	不用額	特定財源	細節名	広域連携推進事業交付金	北アルプス連携自立圏事業負担金	地域支援事業費受託金	
366,840		金額	1,551,000	4,040,000	822,000		

事業の実績・成果	前年度（令和5年度）からの改善点等	あり
<p>◆ 施策目標に資する活動</p> <p>(1) 成年後見制度の普及・啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・普及啓発研修会の開催 11月18日「やさしくわかる成年後見制度」（44名参加） ・広報紙、パンフレット、ホームページによる制度の説明、相談回答の広報を実施。 <p>(2) 成年後見制度に関する相談・支援（188件）</p> <p>常設相談員による相談・支援（156件）/無料相談会(毎月開催)への相談（32件）</p> <p>〈内訳：認知症高齢者（63件） 知的障がい者（23件） 精神障がい者（48件） その他（54件）〉</p> <p>(3) 法人としての成年後見受任</p> <ul style="list-style-type: none"> ・被後見人等支援件数（延907件） ・新規受任（4件）、終了（4件）、年度末受任中（15件） <p>(4) 金銭管理や契約行為に支援が必要な人の日常生活自立支援</p> <p>年度末契約者31件 〈内訳：認知症高齢者（8件） 知的障がい者（11件） 精神障がい者（12件）〉</p> <p>(5) 成年後見人等への報酬を支払うことが困難な人に対する費用扶助</p> <p>成年後見制度利用支援事業実施要綱に基づく助成（0件）</p> <p>◆ 事業の成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・無料相談会や普及啓発講演会のチラシ、制度案内や北アルプス成年後見支援センターのパンフレットを警察、交番、金融機関へも配布するなど、積極的な広報活動等により周知が進み、相談件数が増加した。 ・北アルプス圏域権利擁護推進ネットワーク協議会の委員会や部会、視察研修等を通して関係者との連携強化が図れ、実務担当基礎研修及び実践力強化研修の開催等により、人材育成の強化と制度利用の促進につながった。 ・後見報酬の助成制度があることで、報酬を支払うことが困難な人にも後見人が選任されている。 <p>◆ 前年度からの改善点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県の権利擁護支援推進会議にて、市民後見人養成研修や成年後見制度利用支援事業、市長申立ての手引き等について協議。 ・北アルプス圏域権利擁護推進ネットワーク協議会の構成団体に、専門職1団体と当事者2団体が加わった。 ・申立費用や報酬を助成する成年後見制度利用支援事業について、首長申立てだけでなく、本人・親族申立ての場合も活用できるよう、大北5市町村で足並みを揃え、令和8年4月からの施行を目指し、実施要綱改正に向けて協議していくこととなった。 		

主要な施策の成果説明書

						前年度評価	継続				
						事務事業No.	54				
担当課	民生部	福祉課	高齢者・包括支援係								
事務事業名	地域自立生活支援事業					実施方法	委託				
会計	一般会計		款	3	項	1	目	7	決算書	123	頁
総合計画	まちづくりのテーマ	第3章 だれもが健康で安心して暮らせるまち					後期計画掲載頁		64	頁	
	施策目標	【1】健康で長生きできる社会の実現									
	施策項目	⑤高齢者が住み慣れた場所で暮らし続けられる支援の構築									
個別計画	第9期大町市高齢者福祉計画								23	ほか	頁

対象と目的	ひとり暮らし高齢者や高齢者のみ世帯、閉じこもりがちな高齢者等、地域での見守りが必要な高齢者を福祉サービス等の活用により、自分が住み慣れた自宅で安心して生活できる支援を行う。また、地域での見守りや、地域活動への参加により、社会との交流機会を維持する。										
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・配食サービス：栄養バランスの取れた食事の配達と安否確認 ・緊急通報システム：本人や家族の希望により機器を設置し、24時間体制で安否確認・緊急時対応を行う。 ・生活支援員派遣事業：介護保険制度で行う家事援助以外の軽易な家事支援（通院介助、雪かき支援等） ・生活支援体制整備推進事業：生活支援コーディネーター（SC：地域支え合い推進員）の配置 										

決算額		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
総事業費（決算額）		29,261,282 円		28,835,444 円		28,564,168 円	
財源内訳	特定財源	29,261,282 円		28,835,444 円		28,564,168 円	
	一般財源	0 円		0 円		0 円	
予算	R6当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額
	31,110,000	-2,000,000	0	0	29,110,000	28,564,168	0
	不用額	特定財源	細節名	地域支援事業受託金	保険者機能強化推進事業費受託金	配食サービス利用者実費徴収金	緊急通報システム利用者実費徴収金ほか
545,832		金額	20,887,168	3,886,000	2,899,100	891,900	

事業の実績・成果			前年度（令和5年度）からの改善点等	
◆ 施策目標に資する活動			なし	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 配食サービス <ul style="list-style-type: none"> ・利用者数69人 配食数7,590食 委託先：特定非営利活動法人キッズウィル ○ 緊急通報システム <ul style="list-style-type: none"> ・利用登録者数60人 委託先：立山化学（株） ○ 生活支援員派遣事業 <ul style="list-style-type: none"> ・利用者数129人 委託先：大町市社会福祉協議会 ○ 生活支援体制整備推進事業 <ul style="list-style-type: none"> ・第2層協議体数：3（中部、北部、南部地区） 会議：各5回程度 ・生活支援コーディネーター：5人（中部、北部、南部、八坂、美麻地区） 				
◆ 事業の成果				
<ul style="list-style-type: none"> ○ 配食サービス <ul style="list-style-type: none"> 高齢者の食生活の改善と見守り対策として有効である。 ○ 緊急通報システム <ul style="list-style-type: none"> 24時間体制での安否確認・緊急時対応が可能であり、高齢者本人や遠方の家族の安心に繋がっている。 ○ 生活支援員派遣事業 <ul style="list-style-type: none"> 親族や近所の方から協力を得られない高齢者宅の雪かきを支援し、外出機会の確保に繋がっている。 ○ 生活支援体制整備推進事業 <ul style="list-style-type: none"> ・中部：サロンでの綿づくりを通じた地域のつながりや見守り体制の構築 ・北部：有線放送によるラジオ体操、くらし支え合い組織のそば作り等による介護予防とつながりの維持 ・南部：そば切り音頭を軸とした介護予防の普及啓発、オレンジカフェとの協働 ・八坂：民間企業と連携し、通いの場「いどばた八坂」活動 ・美麻：ジャンボタクシーによる「お出かけ乗り合い号」の運行 				
◆ 前年度からの改善点				
なし				

主要な施策の成果説明書

						前年度評価	継続				
						事務事業No.	55				
担当課	民生部	福祉課	高齢者・包括支援係								
事務事業名	地域包括ケア実践事業					実施方法	一部委託				
会計	一般会計		款	3	項	1	目	7	決算書	123	頁
総合計画	まちづくりのテーマ	第3章 だれもが健康で安心して暮らせるまち					後期計画掲載頁	64		頁	
	施策目標	【1】健康で長生きできる社会の実現									
	施策項目	⑤高齢者が住み慣れた場所で暮らし続けられる支援の構築									
個別計画	第9期大町市高齢者福祉計画								22ほか	頁	

対象と目的	<p>誰もが住み慣れた地域で、安心して暮らし続けることができるよう、医療と介護の専門職、福祉関係者と地域住民の皆さんが顔の見える関係をつくり、連携しながら役割分担をして、地域全体を支えられる体制づくりを行う。</p>										
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 在宅医療・介護連携の推進（広域連携自立圏事業：北アルプス在宅医療・介護連携支援センターの設置） 地域ケア会議の推進 生活支援体制整備事業 高齢者の社会参加の促進 										

決算額		令和4年度	令和5年度	令和6年度			
総事業費（決算額）		4,546,984 円	1,826,826 円	2,646,842 円			
財源内訳	特定財源	4,546,984 円	1,826,826 円	2,646,842 円			
	一般財源	0 円	0 円	0 円			
予算	R6当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額
	2,873,000	-120,000	0	0	2,753,000	2,646,842	0
	不用額	特定財源	細節名	地域支援事業費受託金	高齢者外出支援事業利用者実費徴収金		
106,158		金額	2,551,042	95,800			

事業の実績・成果		前年度（令和5年度）からの改善点等	あり
◆ 施策目標に資する活動			
□在宅医療介護連携支援事業			
▶会議			
・大北地域の主任介護支援専門員部会参加 2回		・医療と介護の連携の会参加 1回	
・在宅ケアカンファレンス参加 2回		・コミュニティーナースベーシック講座参加	
▶北アルプス在宅医療・介護連携支援センター			
・相談実績 308件、主催研修会 2回（延数計114名参加）			
▶その他			
・救急医療情報キット普及活動			
□介護予防・生活支援			
・買い物サポート事業、高齢者外出支援事業 の実施			
□生活支援体制整備事業			
▶協議体（会議）：中部地区(ワッパの会)1回、北部地域(くらし支え合い友の会)6回、南部地区(社・常盤協議体)各3回			
▶生活支援コーディネーター(2層)の活動件数（会議・活動）			
中部SC(150件)、北部SC(149件)、南部(79件)、八坂SC(39件)、美麻SC(56件)			
▶その他：生活支援サービスガイドブック・別冊通いの場ブック 更新、生活支援サービス等従事者養成研修への協力			

事業の実績・成果

◆ 事業の成果

□在宅医療介護連携

在宅医療と介護を一体的に提供するために、大北地域唯一の在宅療養支援病院である市立大町総合病院に委託することで、医師会や看護・介護等の職能団体等の事業者団体との連携体制が確保できており、相談対応件数は前年度の1.58倍である。

救急医療情報キッドの配布数26名／救急キッド利用者数 2件（7月1件・12月1件）

□生活支援体制整備事業

中部：移動支援の検討や支援、各地域の活動とニーズをつなぐ人材の発掘と養成に取り組んだ。

北部：くらし支え合い友の会の活動による地域の活性化や、新たな集いの場を創出したことで、地域住民の繋がりが住民同士の支え合いに対する意欲向上につながった。

南部：協議体との連携によるイベントの開催(2回)、市内外の団体も巻き込んだ取組や集いの場運営により高齢者の増え、社会参加の機会が増加し、地域づくりにも貢献。

八坂：「いどばた八坂」、八坂支所と協働での「お出かけサロン」を起点とした地域の情報共有や支援活動を展開

美麻：地域の移動資源として運行しているお出かけ乗り合い号は好評につき5年間継続中、介護予防の取組との連携が拡大。

◆ 前年度からの改善点

・地域包括ケア推進会議を開催し、第9期高齢者福祉計画の基本目標である「地域包括ケアの深化・推進」に関わる各事業（在宅医療・介護連携、生活支援体制整備、権利擁護、介護予防事業、認知症総合支援事業など）の取組状況と現状に対する課題を伝え、参加者同士が地域課題の意見交換を行う機会を設けた。

主要な施策の成果説明書

前年度評価						継続					
事務事業No.						56					
担当課	民生部	福祉課	高齢者・包括支援係								
事務事業名	認知症総合支援事業					実施方法	市が直接実施				
会計	一般会計		款	3	項	1	目	7	決算書	123	頁
総合計画	まちづくりのテーマ	第3章 だれもが健康で安心して暮らせるまち					後期計画掲載頁	64	頁		
	施策目標	【1】健康で長生きできる社会の実現									
	施策項目	⑤高齢者が住み慣れた場所で暮らし続けられる支援の構築									
個別計画	第9期大町市高齢者福祉計画								42ほか	頁	

対象と目的	認知症（認知症が疑われる人）本人及び家族が、認知症になっても本人の尊厳を守り、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる地域をつくる。										
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 認知症地域支援（認知症地域支援推進員配置） 認知症に関する相談支援、普及啓発 認知症初期集中支援推進事業（認知症初期集中支援チーム設置） 認知症の早期診断、早期対応に向けた支援体制の整備。初期段階から関わり、適切な医療や介護サービスにつなげるために、訪問等を通じて集中的に支援を行う。 										

決算額		令和4年度	令和5年度	令和6年度			
総事業費（決算額）		4,926,692 円	3,907,781 円	3,701,645 円			
財源内訳	特定財源	4,926,692 円	3,907,781 円	3,701,645 円			
	一般財源	0 円	0 円	0 円			
予算	R6当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額
	4,799,000	-860,000	0	0	3,939,000	3,701,645	0
	不用額	特定財源	細節名	地域支援事業費受託金			
237,355		金額	3,701,645				

事業の実績・成果	前年度（令和5年度）からの改善点等	なし
◆ 施策目標に資する活動		
○ 認知症地域支援 認知症地域支援推進員：4名配置（北部・南部包括に各1名、福祉課2名） （相談支援業務、普及啓発業務、認知症カフェ運営、認知症初期集中支援チームとの連携）		
○ 認知症初期集中支援チーム チーム員：2名配置 認知症の早期診断、早期対応に向けた支援体制の整備。初期段階から関わり、適切な医療や介護サービスにつなげるために、訪問等を通じて集中的に支援を行う。		
◆ 事業の成果		
○ 認知症カフェ 地域住民による認知症カフェ設置数 6箇所 認知症カフェ情報交換会 出席者 13名		
○ 認知症初期集中支援チーム チーム員会議は未開催であるが、ケース会議やサポート医との連携により、医療または介護サービスに繋ぐことができている。各市町村に由来からある相談支援体制の中で解決する事案が多い。		
○ 普及啓発		
・ ほのぼの川柳募集 市民から募集したほのぼの川柳を募集し、市文化祭等での展示や有線放送を通じての啓発活動を実施 応募数 77作品		
・ 認知症啓発映画観賞会 来場者 85名 映画上映に合わせ、認知症にまつわる川柳応募作品入選者表彰式・川柳の掲示を行う		
・ 認知症サポーターステップアップ講座 36名 認知症サポーター養成講座 23名（小学生9名、中学生4名、高校生3名、大人7名）		
◆ 前年度からの改善点 無し		

主要な施策の成果説明書

						前年度評価	継続		
						事務事業No.	57		
担当課	民生部	子育て支援課	子育て支援係						
事務事業名	子育て応援一般経費					実施方法	その他		
会計	一般会計	款	3	項	2	目	1	決算書	125 頁
総合計画	まちづくりのテーマ 第3章 だれもが健康で安心して暮らせるまち					後期計画掲載頁	69 頁		
	施策目標 【3】結婚・出産・子育て支援の充実								
	施策項目 ③子育て支援の充実								
個別計画	子ども・子育て支援事業計画							50	頁

対象と目的	育児家庭を対象に、出産祝い金、育児家庭応援事業、子育て支援ショートステイ事業、おうち子育て応援事業などにより子育て支援を図る。								
-------	---	--	--	--	--	--	--	--	--

主な実施内容	<p>(1) 出産祝い金：次世代を担う児童の誕生を奨励祝福して第1子に5万円、第2子に8万円、第3子以降に10万円を支給</p> <p>(2) 育児家庭応援事業：年度未満3歳となる児を養育する保護者へ、3万円分の地域商品券を交付</p> <p>(3) 子育て支援ショートステイ事業：保護者による養育が一時的に困難となる場合、7日以内で児童福祉施設等で養育する。また、保護者のレスパイトとしても利用できる。</p> <p>(4) おうち子育て応援事業：保育所などを利用せず未就学児を育てている家庭へ、子育て関連用品を送ることによって家庭育児を応援し、子育ての負担感や孤立感を軽減する</p>								
--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業費	決算額		令和4年度	令和5年度	令和6年度		
	総事業費（決算額）		37,326,570 円	16,063,642 円	15,856,717 円		
	財源内訳	特定財源	112,000 円	169,000 円	1,703,000 円		
一般財源		37,214,570 円	15,894,642 円	14,153,717 円			
予算	R6当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額
	13,245,000	2,869,000	0	0	16,114,000	15,856,717	0
	不用額	特定財源	細節名	子ども・子育て支援事業交付金（国庫）	子ども・子育て支援事業交付金（県費）	子ども・子育て応援市町村交付金	
257,283		金額	80,000	80,000	1,543,000		

事業の実績・成果	前年度（令和5年度）からの改善点等	なし
----------	-------------------	----

◆ 施策目標に資する活動																																		
○ 出産祝い金	<ul style="list-style-type: none"> 出産届の提出時に交付申請書の提出を求め、確実な給付に努めている。 <table border="1"> <tr> <td>祝支給人数</td> <td>R4</td> <td>R5</td> <td>R6</td> <td>(人)</td> </tr> <tr> <td>第1子</td> <td>47</td> <td>38</td> <td>46</td> <td></td> </tr> <tr> <td>第2子</td> <td>38</td> <td>36</td> <td>28</td> <td></td> </tr> <tr> <td>第3子以降</td> <td>24</td> <td>26</td> <td>18</td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>109</td> <td>100</td> <td>92</td> <td></td> </tr> </table>									祝支給人数	R4	R5	R6	(人)	第1子	47	38	46		第2子	38	36	28		第3子以降	24	26	18		合計	109	100	92	
祝支給人数	R4	R5	R6	(人)																														
第1子	47	38	46																															
第2子	38	36	28																															
第3子以降	24	26	18																															
合計	109	100	92																															
○ 育児家庭応援事業	<ul style="list-style-type: none"> まちづくり産業課が中心となり、教育委員会、子育て支援課と連携し、移住定住者及び子育て家庭へ応援券を交付することで、利用可能な小売店の拡大につながり、券の付加価値が向上している。 																																	
○ 子育て支援ショートステイ事業	<ul style="list-style-type: none"> 大町市の子育てガイドブックやホームページなどでの事業の案内や、子育て世帯からの育児相談において必要に応じて利用案内をし、適切な利用につなげている。 																																	
◆ 事業の成果																																		
○ 出産祝い金	<ul style="list-style-type: none"> 出生届提出の際、市の独自施策として案内することで、子どもの誕生をともに喜び合う市の姿勢を育児家庭にPRできている。 																																	
○ 育児家庭応援事業	<ul style="list-style-type: none"> 年少児年齢である3歳児は、現在9割以上保育園または認定こども園に入園しているため、入園時の準備品の費用への補助としての意味もあり、家庭への経済的支援にもつながっている。 																																	
○ 児童ショートステイ事業	<ul style="list-style-type: none"> 養育不安のある家庭にとっては、ショートステイ利用は保護者の養育疲れの緩和につながるため、安定的な子育て環境を支援するために役立っている。 																																	
◆ 前年度からの改善点	なし																																	

主要な施策の成果説明書

前年度評価						継続	
事務事業No.						58	
担当課	民生部	子育て支援課	子育て支援係				
事務事業名	児童福祉扶助費				実施方法	その他	
会計	一般会計	款	3	項	2	目	1
総合計画	まちづくりのテーマ 第3章 だれもが健康で安心して暮らせるまち				後期計画掲載頁	69	頁
個別計画	子ども・子育て支援事業計画				43/50 頁		

対象と目的
ひとり親家庭や、障がい児等とその保護者を対象に、経済的支援や児童の生活力向上と集団活動への適応支援などを図る。

主な実施内容

- ・児童扶養手当給付事業：ひとり親家庭の保護者へ手当を給付する。
- ・障害児通所支援事業：障がい児及び発達特性を持つ児童を対象として通所による療育支援（児童発達支援・放課後等デイサービス）と、保育所等訪問支援を行う。
- ・重度心身障害児福祉手当：精神又は身体に障がいのある満20歳未満の児童を監護する保護者に手当を支給する。

事業費	決算額		令和4年度	令和5年度	令和6年度		
	総事業費（決算額）		221,278,163 円	225,426,077 円	220,147,559 円		
	財源内訳	特定財源	129,819,000 円	139,531,000 円	131,226,000 円		
一般財源		91,459,163 円	85,895,077 円	88,921,559 円			
予算	R6当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額
	231,599,000	-10,581,000	0	0	221,018,000	220,147,559	0
	不用額	特定財源	細節名	障害者自立支援給付費負担金	児童扶養手当負担金	特別児童扶養手当事務取扱交付金	
870,441		金額	106,809,000	24,264,000	153,000		

事業の実績・成果

前年度（令和5年度）からの改善点等 なし

- ◆ 施策目標に資する活動
- 児童扶養手当 支給者延べ 1,622人（年度末受給者 126人 支給停止者 26人）
・手当の支払い月 5月、7月、9月、11月、1月、3月（各月とも11日）
 - 重度心身障害児福祉手当 支給者延べ 324人（支給対象者 196人）
 - 障害児通所事業 利用者延べ 1,542人
・障がいのある児童や発達に心配のある児童に対し、生活能力の向上や集団生活の適応、社会との交流促進などの療育を提供する。

年度		R4	R5	R6
児童発達支援	実人数	68	68	40
	延べ人数	576	595	356
放課後等デイサービス	実人数	118	108	100
	延べ人数	1181	1185	1105
保育所等訪問支援	実人数	25	25	27
	延べ人数	93	68	81

- ◆ 事業の成果
- 児童扶養手当の支給により、ひとり親家庭の経済的自立に寄与した。
 - 障害児通所支援事業の実施により、発達に課題のある児童の生活能力向上や集団活動への適応を促進した。
 - 重度心身障害児福祉手当の支給により、障害児を養育する世帯の経済的負担を軽減できた。

◆ 前年度からの改善点
無し

主要な施策の成果説明書

前年度評価						継続					
事務事業No.						59					
担当課	民生部	子育て支援課	子育て支援係								
事務事業名	子育て支援等総合相談事業				実施方法	その他					
会計	一般会計		款	3	項	2	目	1	決算書	127	頁
総合計画	まちづくりのテーマ 第3章 だれもが健康で安心して暮らせるまち				後期計画掲載頁		69			頁	
個別計画	子ども・子育て支援事業計画									53	頁

対象と目的

子育てについて悩みを抱える家庭の身近な相談から、離婚やDVなど主に夫婦関係の悩みについての相談などのほか、ひとり親の自立支援を中心に、ひとり親家庭のサポートなど支援事業を行う。

主な実施内容

(1) 家庭児童相談：家庭児童相談員を2名配置し、子育て関わる相談全般に対応している。
 (2) 女性・男性相談：女性・男性相談員を3名配置し、離婚やDVなどの相談から、支援措置や一時保護、必要に応じて弁護士相談につなげる。
 (3) 母子・父子相談：ひとり親自立支援のため、就職・定着支援やスキルアップのための支援をおこなう。
 (4) 法律相談：相談内容から法的手続きが必要なケースには、弁護士が無料で相談・助言を行う。
 (5) 子ども見守りサポート事業：要保護・要支援児童等の安否確認と定期的な家庭状況の把握を通じ、児の安全を図る。

事業費	決算額		令和4年度	令和5年度	令和6年度		
	総事業費（決算額）		11,184,000 円	14,841,438 円	13,026,996 円		
	財源内訳	特定財源	9,516,000 円	13,026,000 円	9,430,000 円		
一般財源		1,668,000 円	1,815,438 円	3,596,996 円			
予算	R6当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額
	15,294,000	-1,978,000	0	0	13,316,000	130,216,996	0
	不用額	特定財源	細節名	母子家庭等対策支援事業費補助金	児童虐待・DV等支援体制強化事業補助金	ふるさと応援基金繰入金	
-116,900,996		金額	1,162,000	7,268,000	1,000,000		

事業の実績・成果 前年度（令和5年度）からの改善点等 なし

◆ 施策目標に資する活動

- 家庭児童相談員 2人
- 相談件数 615件

項目	心身障害	環境福祉	生学活 等校	(発達障がい等)	家族関係	非行	生活習慣等	その他	計
令和4年度	24	589	332	52	100	2	29	30	1,158
令和5年度	12	235	298	268	135	9	96	130	1,183
令和6年度	15	116	174	127	95	3	35	50	615

・子ども見守りサポート事業

	訪問支援		通所支援		学習支援	
	実利用人数	延べ回数	実利用人数	延べ回数	実利用人数	延べ回数
令和4年度	2	69	9	571	8	538
令和5年度	8	206	15	1,953	12	1,077
令和6年度	4	138	14	1,233	14	938

事業の実績・成果

・母子・父子相談状況

区分	年度	R4年度	R5年度	R6年度
	区分	件数	件数	件数
生活一般	住宅	5	2	4
	医療	1	0	5
	家庭紛争	18	3	11
	配偶者等の暴力	7	1	2
	就職	4	27	37
	結婚	3	1	0
	養育費	10	6	4
	その他	27	23	9
児童	養育	18	12	3
	教育	1	0	1
	非行	0	0	0
	就職	0	0	0
	その他	9	2	6
生活援護	母子福祉資金	8	13	15
	寡婦福祉資金	0	0	0
	児童扶養手当	1	2	0
	生活援護	0	0	0
	公的年金	0	1	0
	税	0	1	0
	経済その他	0	10	9
その他	その他	4	0	0
計		116	104	106

・女性相談状況

(件)

年度 区分	R4年度		R5年度		R6年度	
	面接相談	電話相談	面接相談	電話相談	面接相談	電話相談
人間関係	201	76	126	73	168	96
経済関係	32	4	20	9	12	12
医療関係	29	18	10	5	28	15
住居問題	10	11	7	1	10	5
その他	0	0	0	0	0	0
小計	272	109	163	88	218	128
合計	381		251		346	

・男性相談状況

(件)

年度 区分	R4年度		R5年度		R6年度	
	面接相談	電話相談	面接相談	電話相談	面接相談	電話相談
人間関係	38	30	10	7	46	20
経済関係	0	0	4	1	0	0
医療関係	1	2	0	0	0	5
住居問題	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
計	39	32	14	8	46	25
合計	71		22		71	

◆ 事業の成果

- ・安定した就労に向けたひとり親支援は、家庭の安定と児童の健全育成につながっている。
- ・相談支援により、悩みを抱える家庭への支援と児童の健全育成が図られている。
- ・相談体制を整えることで、安心して子育てできる環境を提供している。

主要な施策の成果説明書

						前年度評価	継続				
						事務事業No.	60				
担当課	民生部	子育て支援課	子育て支援係								
事務事業名	療育事業					実施方法	その他				
会計	一般会計		款	3	項	2	目	1	決算書	127	頁
総合計画	まちづくりのテーマ 第3章 だれもが健康で安心して暮らせるまち					後期計画掲載頁		69	頁		
	施策目標 【3】結婚・出産・子育て支援の充実										
	施策項目 ③子育て支援の充実										
個別計画	子ども・子育て支援事業計画								37.38	頁	

対象と目的	<ul style="list-style-type: none"> 発達に課題のある児童の早期発見と適切な支援により二次的障害を防ぎ、児童の社会的適応性を向上させる。 不登校、ひきこもりなどの子ども・若者の社会参加を支援する。
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 5歳児相談：年中児童及び保護者を対象とし、個々の発達を確認し就学に向けた準備・支援を行う。 巡回相談：発達心理専門相談員等による幼・保・小・中を対象とした巡回相談を実施。 SST（生活技能訓練）教室：小集団での対話やロールプレイを通じてコミュニケーションの経験を積む。 子ども・若者社会参加支援：不登校・ひきこもりの児童等を対象に居場所支援等を行う。

決算額		令和4年度	令和5年度	令和6年度			
総事業費（決算額）		8,344,000 円	6,427,502 円	6,594,493 円			
財源内訳	特定財源	0 円	1,987,000 円	2,794,000 円			
	一般財源	8,344,000 円	4,440,502 円	3,800,493 円			
予算	R6当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額
	8,839,000	-1,900,000	0	0	6,939,000	6,594,493	0
	不用額	特定財源	細節名	地域生活支援事業	地域障害児支援体制強化事業		
344,507	金額	120,000	2,674,000				

事業の実績・成果	前年度（令和5年度）からの改善点等	なし
◆ 施策目標に資する活動		
<ul style="list-style-type: none"> 5歳児発達相談（年中児童及び保護者を対象とした発達相談） <ul style="list-style-type: none"> 対象者 134 人 （平成31年4月2日～令和2年4月1日生まれ） 実施人数 105 人 （実施率 78 % ） 要支援児 32 人 （支援必要率 31 % ） ※要支援児とは、相談の結果、支援が必要と判断された児童 児童発達支援巡回相談（児童心理発達専門相談員による保育園等の巡回相談を実施） <ul style="list-style-type: none"> 発達障がいのある早期発見、早期対応のための指導助言を保育園、幼稚園、学校等において実施 利用者数 952 人 （延べ） （うち スクラムネット 899人、市立大町総合病院 53人） 子ども・若者社会参加支援事業（不登校・ひきこもり状態にある者への居場所支援等。市内3事業所に委託。） <ul style="list-style-type: none"> 利用者数 5 人 ・利用回数 323 回 SST（社会生活技能訓練）教室 利用者延べ 11人 （実人数 1人 ） （放デイ含む） 79人 （実人数 7人 ） 「社会の中で適切に行動する技能（技術）」「人とうまくつきあうための技能（技術）」を学ぶための教室を開催。 		
◆ 事業の成果		
<ul style="list-style-type: none"> 発達に課題のある児童を早期に発見し、適切な療育支援を実施することができた。 SST教室に参加することで、学校などの集団活動が苦手な児童へ対人スキルの経験を積む機会を提供できた。 		
◆ 前年度からの改善点		
無し		

主要な施策の成果説明書

前年度評価						継続					
事務事業No.						61					
担当課	民生部	子育て支援課	子育て支援係								
事務事業名	児童クラブ運営事業					実施方法	その他				
会計	一般会計		款	3	項	2	目	2	決算書	131	頁
総合計画	まちづくりのテーマ 第3章 だれもが健康で安心して暮らせるまち					後期計画掲載頁		69	頁		
総合計画	施策目標 【3】結婚・出産・子育て支援の充実										
総合計画	施策項目 ③子育て支援の充実										
個別計画	子ども・子育て支援事業計画								63	頁	

対象と目的	<p>・小学校に就学している児童であって、保護者が労働等によって不在となる家庭及び適切な保護に欠ける児童の放課後における健全育成と、保護者が労働等に専念できる環境の整備。</p>										
主な実施内容	<p>・大町市立大町東小学校通学区 東小児童クラブ ・大町市立大町西小学校通学区 西小児童クラブ ・大町市立大町南小学校通学区 南小児童クラブ ・大町市立大町北小学校通学区 北小児童クラブ ・大町市立八坂小中学校通学区 八坂児童クラブ ・大町市立美麻小中学校通学区 美麻児童クラブ</p> <p>学校区ごとに設置する児童クラブ（上記6か所）による放課後児童健全育成事業の実施</p>										

事業費	決算額		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	総事業費（決算額）		13,122,231 円		6,359,534 円		6,918,206 円	
	財源内訳	特定財源	10,315,000 円		3,794,000 円		6,053,000 円	
一般財源		2,807,231 円		2,565,534 円		865,206 円		
予算	R6当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額	
	6,532,000	982,000	0	0	7,514,000	6,918,206	0	
	不用額	特定財源	細節名	子ども・子育て支援交付金	児童クラブ登録料			
595,794		金額	5,688,000	365,000				

事業の実績・成果					前年度（令和5年度）からの改善点等			なし				
◆ 施策目標に資する活動												
○ 児童クラブの運営												
・年間開所日数 290日												
・開所時間 平日 午後2時から6時まで 土曜日及び長期休暇 午前8時から午後6時まで												
・各クラブ登録者数 365人												
	東小	西小	南小	北小	八坂	美麻	合計					
登録者	38人	89人	89人	100人	13人	36人	365人					
児童数	113人	232人	228人	237人	42人	70人	922人	※各校の年度末児童数				
登録率	33.6%	38.4%	39.0%	42.2%	31.0%	51.4%	39.6%					
・年間平均利用者数（1日当たり）												
	東小	17.6人	西小	33.1人	南小	26.8人	北小	36.8人	八坂	4.5人	美麻	9.2人
・支援員配置人数 13人（月額支援員3人、時給支援員10人）												
	東小	2人	西小	3人	南小	2人	北小	3人	八坂	1人	美麻	2人
◆ 事業の成果												
・放課後における児童の健全育成及び保護者が労働等に専念できる環境の整備が図られている。												
・放課後留守宅の児童にとって後安心して過ごせる拠り所となっている。												

主要な施策の成果説明書

						前年度評価	継続				
						事務事業No.	62				
担当課	民生部	子育て支援課	児童係								
事務事業名	病児・病後児保育事業					実施方法	その他				
会計	一般会計		款	3	項	2	目	1	決算書	127	頁
総合計画	まちづくりのテーマ	第3章 だれもが健康で安心して暮らせるまち					後期計画掲載頁		70	頁	
	施策目標	【3】結婚・出産・子育て支援の充実									
	施策項目	③子育て支援の充実									
個別計画	子ども・子育て支援事業計画								52	頁	

対象と目的	<p>児童が病気又は病気の回復期にあり、保護者の就労等により保育が困難となる場合に児童を一時的に預かり、その症状に応じて安静に保ちながら保育を行うことで、保護者の子育てと就労等の両立を支援し、児童の健全な育成及び資質の向上に寄与する。</p>										
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・実施場所は、大町総合病院内の1箇所 ・実施時間は、平日（月曜日～金曜日）の8時～18時までの間 ・利用対象者は、満1歳から6歳（小学校就学前）までの児童で、大北圏域に住所がある又は大北圏域に勤め先がある、若しくは、大北圏域の保育所、認定こども園、幼稚園、認可外保育施設に通所している児童（北アルプス連携自立圏事業として実施） ・利用定員は、4名 										

事業費	決算額		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	総事業費（決算額）		9,826,176 円		9,836,829 円		10,124,628 円	
	財源内訳	特定財源	8,399,000 円		8,031,000 円		8,753,900 円	
一般財源		1,427,176 円		1,805,829 円		1,370,728 円		
予算	R6当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額	
	10,628,000	0	0	0	10,628,000	10,124,628	0	
	不用額	特定財源	細節名	子ども・子育て支援交付金（国）	子ども・子育て支援交付金（県）	北アルプス連携自立圏事業負担金	病児・病後児保育利用料（圏域外児）	
503,372		金額	3,481,000	3,481,000	1,785,000	6,900		

事業の実績・成果					前年度（令和5年度）からの改善点等		なし				
◆ 施策目標に資する活動											
民間事業者に委託し、当該事業を実施。											
開設場所	市立大町総合病院内 1箇所										
開設時間	8時～18時まで										
利用定員	4人										
◆ 事業の成果											
利用者延べ人数					利用者実人数						
利用者延数	R2	R3	R4	R5	R6	利用者実数	R2	R3	R4	R5	R6
大町市	22	51	47	78	116	大町	12	30	24	52	49
池田町	0	2	5	6	2	池田町	0	2	2	2	1
松川村	18	13	52	38	84	松川村	7	7	31	26	48
白馬村	0	9	18	30	7	白馬村	0	5	7	8	4
小谷村	0	0	2	0	0	小谷村	0	0	2	0	0
圏域外	0	6	9	6	3	圏域外	0	5	6	4	2
合計	40	81	133	158	212	合計	19	49	72	92	104
◆ 前年度からの改善点											
無し											

主要な施策の成果説明書

						前年度評価	継続				
						事務事業No.	63				
担当課	民生部	子育て支援課	児童係								
事務事業名	保育所管理運営事業					実施方法	市が直接実施				
会計	一般会計		款	3	項	2	目	3	決算書	133	頁
総合計画	まちづくりのテーマ	第3章 だれもが健康で安心して暮らせるまち					後期計画掲載頁		70	頁	
	施策目標	【3】結婚・出産・子育て支援の充実									
	施策項目	③子育て支援の充実									
個別計画	子ども・子育て支援事業計画								54	頁	

対象と目的	<p>小学校就学前の児童（3歳以上児（幼児）及び3歳未満児（乳児）を対象に、保護者の就労等により家庭で保育できない児童の保育を行うことで、健全な心身の発達を図ることを目的とする。</p>										
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・児童福祉法に基づき、保育に欠ける子どもに対する保育の実施 ・市内7保育施設の管理及び運営 										

事業費	決算額		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	総事業費（決算額）		184,709,416 円		165,272,435 円		137,444,344 円	
	財源内訳	特定財源	72,346,000 円		118,811,410 円		89,408,923 円	
一般財源		112,363,416 円		46,461,025 円		48,035,421 円		
予算	R6当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額	
	159,209,000	-16,410,000	0	755,000	143,554,000	137,444,344	0	
	不用額	特定財源	細節名	保育所使用料	保育所給食費（児童・職員）	（国・県）子ども・子育て支援交付金	一時的保育負担金ほか	
6,109,656		金額	19,627,733	17,394,690	10,246,000	42,140,500		

事業の実績・成果	前年度（令和5年度）からの改善点等	あり
----------	-------------------	----

◆ 施策目標に資する活動

（各年度4/1現在）

	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	当初	年度末	当初	年度末	当初	年度末	当初	年度末	当初	年度末	当初	年度末
開園した保育所数	7		7		7		7		6		6	
園児数	415	433	412	418	374	387	344	358	348	367	333	366
内未満児	115	137	117	124	112	121	105	117	102	118	96	124
未満児の割合	27.7%	31.6%	28.4%	29.7%	29.9%	31.3%	30.5%	32.7%	29.3%	32.2%	28.8%	33.9%

◆ 事業の成果

保育士の確保が困難な中、待機児童を出さずに運営することができた。

◆ 前年度からの改善点

保育所に保育支援システムを導入し、欠席連絡、登降園確認、園だよりなどのICT化を推進し、保護者の利便性が向上するとともに、保育士の勤務環境改善につながった。

主要な施策の成果説明書

						前年度評価	継続																																				
担当課						地域振興部	まちづくり産業課	商業労政係																																			
事務事業名						創業支援事業			事務事業No.	64																																	
実施方法						その他																																					
会計						一般会計	款	5	項	1	目	1	決算書	157	頁																												
総合計画						まちづくりのテーマ 第2章 活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち			後期計画掲載頁			52	頁																														
施策目標						【1】商工業の振興による地域経済の活性化																																					
施策項目						②中心市街地の活性化																																					
個別計画																																											
対象と目的						<ul style="list-style-type: none"> 起業希望者に対する起業・創業支援を行い、地域経済の活性化を図る。 子育て世代、介護者、障がい者、若者といった、就労に時間的制約のある求職者若しくは時間にとられずに働きたい求職者に対し、テレワーク等の推進により、それぞれのライフスタイルやライフステージに合わせて安心して働ける就業環境を提供する。 新規学卒者、Uターン希望者等へ就職相談の機会を提供し、市内企業への就業を後押しし、移住・定住の推進を図る。 																																					
主な実施内容						<ul style="list-style-type: none"> 創業支援アドバイザーによる起業・創業相談、経営指導等 関係機関（大町職業安定協会、大北職業訓練校等）への助成 創業支援協議会との連携協力による各種事業の実施 創業セミナー・創業塾の開催、相談窓口の開設、コワーキングスペースの運営、テレワーク事業の推進等 連携自立圏事業として企業説明会（就職面接会）の実施 																																					
事業費						決算額		令和4年度	令和5年度	令和6年度																																	
総事業費（決算額）						16,221,012 円		13,324,522 円	7,760,290 円																																		
財源内訳						特定財源 4,897,500 円		4,361,500 円	1,938,000 円																																		
						一般財源 11,323,512 円		8,963,022 円	5,822,290 円																																		
予算						R6当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額																															
						11,149,000	-3,000,000	0	0	8,149,000	7,760,290	0																															
不用額						特定財源	細節名	北アルプス連携自立圏事業負担金	ふるさと応援基金繰入金																																		
388,710						金額	288,000	1,650,000																																			
事業の実績・成果						前年度（令和5年度）からの改善点等			なし																																		
◆ 施策目標に資する活動						<ul style="list-style-type: none"> ◇創業支援アドバイザーによる支援 創業・起業相談、経営指導等の実施による事業具現化の後押し ◇企業説明会の開催 北アルプス連携自立圏事業として関係機関と連携し、新規就労予定者を対象に地域内企業による説明会を開催 ◇創業支援協議会との連携による創業支援と多様な働き方の提案 セミナー・塾の開催、相談窓口の開設 コワーキングスペースの運営、テレワーク事業の推進 ◇各種助成制度による創業・起業支援 起業支援補助金や融資制度等の活用による創業・起業を支援 																																					
◆ 事業の成果						<ul style="list-style-type: none"> 市創業支援アドバイザーにより、創業・起業相談（随時）、経営指導を実施している <table border="1"> <tr> <td></td> <td>R4</td> <td>R5</td> <td>R6</td> </tr> <tr> <td>アドバイザーへの相談</td> <td>7件</td> <td>9件</td> <td>20件</td> </tr> <tr> <td>商工会議所への相談</td> <td>32件</td> <td>28件</td> <td>52件</td> </tr> <tr> <td>上記相談後の創業件数</td> <td>11件</td> <td>6件</td> <td>13件</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> 新規就労予定者（大学生・高校生等）を対象とした、大北地域にある企業が参加する合同企業説明会をR6.4.30アブロードにおいて開催。 <table border="1"> <tr> <td></td> <td>R4</td> <td>R5</td> <td>R6</td> </tr> <tr> <td>参加者</td> <td>115人</td> <td>94人</td> <td>81人</td> </tr> <tr> <td>うち高校生</td> <td>97人</td> <td>84人</td> <td>71人</td> </tr> <tr> <td>参加企業</td> <td>32社</td> <td>36社</td> <td>42社</td> </tr> </table>							R4	R5	R6	アドバイザーへの相談	7件	9件	20件	商工会議所への相談	32件	28件	52件	上記相談後の創業件数	11件	6件	13件		R4	R5	R6	参加者	115人	94人	81人	うち高校生	97人	84人	71人	参加企業	32社	36社	42社
	R4	R5	R6																																								
アドバイザーへの相談	7件	9件	20件																																								
商工会議所への相談	32件	28件	52件																																								
上記相談後の創業件数	11件	6件	13件																																								
	R4	R5	R6																																								
参加者	115人	94人	81人																																								
うち高校生	97人	84人	71人																																								
参加企業	32社	36社	42社																																								

事業の実績・成果

- 創業支援協議会との連携により、セミナー、創業塾等を開催。また創業相談支援を随時実施

		R4	R5	R6
セミナー	実施回数	1回	2回	1回
	参加人数（のべ）	11人	23人	21人
創業塾	実施回数	5回	5回	5回
	参加人数（のべ）	121人	71人	89人

- 一般財団法人 塩尻市振興公社と業務委託契約を締結し、テレワーク事業を推進した。

		R4	R5	R6
ワーカー登録者数		45人	59人	41人
就業人数		28人	38人	36人

- 起業支援補助金について、令和6年度は0件であったが、相談件数は増加傾向で、補助金を活用せず起業する者もいる。

		R4	R5	R6
交付件数		1件	3件	0件
業種		美容業	美容業×3	

◆ 前年度からの改善点

無し

主要な施策の成果説明書

		前年度評価		継続								
担当課		地域振興部	まちづくり産業課	商業労政係	事務事業No.	65						
事務事業名		中小企業支援事業			実施方法	その他						
会計		一般会計		款	7	項	1	目	1	決算書	179	頁
総合計画	まちづくりのテーマ	第2章 活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち			後期計画掲載頁	51	頁					
	施策目標	【1】商工業の振興による地域経済の活性化										
	施策項目	①中小企業等の支援と創業支援による地域経済の活性化										
個別計画							頁					

対象と目的	<ul style="list-style-type: none"> ・商工会議所の経営指導員による中小企業の健全な経営環境の維持と事業継続のため、商工会議所への支援を行う。 ・中小企業者向け制度融資資金の運用、融資実行時の信用保証料補助及び利子補助を行うことで、中小企業者の資金繰り支援、借入時の負担軽減を図る。
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・商工会議所による経営相談業務等への支援 ・制度融資資金の斡旋及び相談等 ・制度融資資金信用保証料補助及び利子補助事務（景気変動対策経営安定特別資金、新型コロナウイルス感染症対策特別資金ほか）

決算額		令和4年度	令和5年度	令和6年度			
総事業費（決算額）		717,373,142 円	693,264,118 円	691,220,021 円			
財源内訳	特定財源	654,035,454 円	657,649,959 円	652,058,924 円			
	一般財源	63,337,688 円	35,614,159 円	39,161,097 円			
予算	R6当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額
	690,140,000	1,171,000	0	-47,300	691,263,700	691,220,021	0
	不用額	特定財源	細節名	中小企業振興基金利子収入・市制度資金預託金利子	中小企業振興基金繰入金	市制度資金融資預託金元金	制度資金保証料補給金返還金
	43,679		金額	5,339	836,000	650,000,000	1,217,585

事業の実績・成果		前年度（令和5年度）からの改善点等		
◆ 施策目標に資する活動		なし		
<ul style="list-style-type: none"> ◇制度融資資金の斡旋及び融資等の相談・融資制度拡充による市内事業者に対する資金繰り支援 ◇商工会議所経営指導員による市内中小企業者への経営指導等・小規模事業者向け経営改善普及事業、巡回指導、窓口相談、講習会等の開催 ◇地域商品券発行事業・地域経済の活性化、子育て支援等、定住促進に向けた信濃大町キラリ商品券の発行 ◇制度融資資金信用保証料補助及び利子補助・借入時の保証協会信用保証料補助、コロナ特別資金への利子補助（借入後3年間・令和7年度で終了） ◇関係事業者支援事業の実施・プレミアム付大町商品券事業 				
◆ 事業の成果				
<ul style="list-style-type: none"> ・制度融資資金について、経済対策連絡会議における融資動向等の情報を踏まえ、コロナ後の利用を想定し令和4年度に創設した景気変動対策経営安定特別資金の運用期間を延長し、令和6年度は65件の利用があった。 				
		R4	R5	R6
融資件数		94件	82件	110件
	うち景気変動対策	7件	46件	65件
融資額合計		587,990千円	435,510千円	782,160千円
	うち景気変動対策	106,000千円	355,100千円	623,200千円
<ul style="list-style-type: none"> ・会議所と連携を密にとり、会議所による市内中小事業者の相談や経営指導により、事業支援が継続して行われている。 ・市内での消費拡大に向けプレミアム付き商品券の発行することにより、物価高騰で経営状況が厳しい状況にある市内事業者の支援につながった。 				
◆ 前年度からの改善点				
<ul style="list-style-type: none"> ・なし 				

主要な施策の成果説明書

		前年度評価		継続	
担当課		地域振興部	まちづくり産業課	事務事業No.	66
事務事業名		特産品振興係		実施方法	市が直接実施
会計		一般会計	款 7 項 1	目 1	決算書 179 頁
総合計画	まちづくりのテーマ	第2章 活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち			後期計画掲載頁 60 頁
	施策目標	【4】移住・定住促進策等の充実強化			
	施策項目	④信濃大町ブランドの戦略的な展開			
個別計画		信濃大町ブランド戦略			

対象と目的
 他地域の特産品との差別化や、売れる特産品にするために必要なアイデアや改善点を事業者と行政が共有し、効果的な特産品のPRと販路拡大を図り事業を推進する。
 地域資源の付加価値を高め、市場において情報発信力や競争力で優位性を持ち、地域住民が誇りを持つだけでなく、観光客や消費者等に共感・愛着・満足度を与え、「訪れたい」・「住みたい」などの気持ちを誘引する

主な実施内容
 (1) アンテナショップ等を活用した、特産品振興と信濃大町の食を通じた魅力を発信
 (2) 物産展等への参加と、信濃大町サポーター、えんポーターを活用した特産品等のPRと販路拡大
 (3) おおまびょんを活用し、各種イベントへの参加やSNS等での情報の拡散
 (4) 黒部ダムカレーを市のソウルフードとして普及推進し定着を図る

事業費	決算額		令和4年度	令和5年度	令和6年度		
	総事業費（決算額）		14,079,913 円	17,929,320 円	14,812,766 円		
	財源内訳	特定財源	613,991 円	1,101,400 円	1,494,310 円		
一般財源		13,465,922 円	16,827,920 円	13,318,456 円			
予算	R6当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額
	16,789,000	-500,000	0	0	16,289,000	14,812,766	0
	不用額	特定財源	細節名				
1,476,234		金額	信濃大町ブランド認知度向上商品販売金	1,494,310			

事業の実績・成果 前年度（令和5年度）からの改善点等 あり

◆ 施策目標に資する活動

(1) 立川市アンテナショップ「信濃大町アルプスプラザ」の運営

信濃大町の物産を通じた魅力発信 売上総額 20,196千円 前年比 20.7%UP

売上推移 (単位:千円)

	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
全体	13,018	13,236	11,494	16,733	20,196
店舗売上	13,001	12,994	10,994	15,294	17,821
イベント売上	17	242	500	1,439	2,375
店舗運営委託料	5,700	5,700	5,000	5,000	6,000



(2) 特産品振興事業、観光・農産物・特産品等PR、販路拡大事業

◎物産展等への参加 いーずら大町特産館をはじめとした事業者の物産展等への参加支援。

◎信濃大町サポーター事業 登録者 49名

◎信濃大町えんポーター事業 登録者 16団体

◎「おおまちカフェ」事業

「ホットとひと息つけるまち」をテーマに、「おおまちカフェ」事業を展開。

- ・バランスごはんフェア（10/1～12/1）
- ・ビタミンちくわフェア（11/1～1/31）
- ・あったかフェア（2/1～3/1）

◎特産品振興事業者経営支援事業

・8事業者へ工数192時間の作業を支援。



事業の実績・成果

(3) おおまびよん活用 出動回数 62回

OR6.11.16 「おおまびよんファン感謝祭2024」開催。

OR7.1 「ご当地キャラに年賀状を送ろう！」信越支社地区内で最多枚数（701枚）を記録。

◎啓発用グッズ等



<ぬぐいぐるみ>



<アンブレラマーク>



<キーホルダー>



<アクリルスタンド>

(4) 黒部ダムカレーの普及推進（黒部ダムカレー推進協議会事務局）参加19店舗

○「黒部ダムカレーチャレンジ！」大町市プロモーション委員会と共催。

ダム展望レストランで8月の毎週水曜日、市内店舗が週替わりで出店。

○上高地あずさ珈琲プレゼントキャンペーン開催。

○宇奈月カレーマルシェへの参加



◆ 前年度からの改善点

・「カフェのまち大町」をコンセプトに地域産品の掘起しを進め、「おおまちカフェ」事業として本格的に始動しテーマに沿った店舗やメニュー紹介を行える情報発信ツールとして活用。

・ITリテラシーの底上げ及びデジタル社会に適応できる人材の増加を図るべく、DX及び販路開拓・拡大などを支援する専門家の派遣やコンサルティング等による経営及び情報発信支援を実施。

主要な施策の成果説明書

						前年度評価	継続				
						事務事業No.	67				
担当課	地域振興部	まちづくり産業課	商業労政係								
事務事業名	中心市街地活性化事業					実施方法	市が直接実施				
会計	一般会計		款	7	項	1	目	1	決算書	179	頁
総合計画	まちづくりのテーマ	第2章 活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち				後期計画掲載頁	52		頁		
	施策目標	【1】商工業の振興による地域経済の活性化									
	施策項目	②中心市街地の活性化									
個別計画	第4次中心市街地活性化基本計画									頁	

対象と目的	<ul style="list-style-type: none"> 中心市街地活性化基本計画に基づき、実施主体の関係団体との連携により、各種施策を実行し中心市街地の活性化を目指す。 中心市街地振興条例に基づく集客施設への助成により、民間の投資意欲を高め、集客施設等の集約による都市機能の充実により賑わいを創出する。
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 中心市街地活性化基本計画（第4次）に基づく具体的施策の推進 関係団体との連携による各種事業の実施（やまびこまつり、駅前拠点施設運営、荷ぐるま市等） 中心市街地振興条例に基づく事業者支援（建築費・固定資産税等助成） 中小企業振興条例に基づく事業者支援（空き店舗活用事業等） 店舗改修事業補助金による既存店舗等の事業継続支援

事業費	決算額		令和4年度	令和5年度	令和6年度		
	総事業費（決算額）		18,113,176 円	22,665,819 円	10,856,777 円		
	財源内訳	特定財源	0 円	4,000,000 円	0 円		
一般財源		18,113,176 円	18,665,819 円	10,856,777 円			
予算	R6当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額
	15,982,000	3,178,000	0	-61,031	19,098,969	10,856,777	7,678,000
	不用額	特定財源	細節名				
564,192		金額					

事業の実績・成果				前年度（令和5年度）からの改善点等		なし	
◆ 施策目標に資する活動							
◇中心市街地活性化基本計画（第4次）の推進 関係団体との連携による施策・事業の実施							
◇関連条例や要綱に基づく空き店舗活用、店舗改修事業 補助制度の有効活用による空き店舗の解消、事業継続を支援する。							
◇中心市街地振興条例に基づく集客施設の立地促進 中心市街地内へ集客施設等を集約し、都市機能を充実させるとともに、賑わいの創出を図る。							
◆ 事業の成果							
<ul style="list-style-type: none"> 中心市街地活性化基本計画（第4次）の推進のため、駅前拠点施設運営、荷ぐるま市開催（まちづくり協議会）、あめ市やえびすこう（商店街連合会）などを実施し、中心市街地の活性化に努めている。 関連条例や要綱に基づき、空き店舗活用（改修、家賃補助）、店舗改修に助成金を交付している。 							
		R4		R5		R6	
		件数	金額	件数	金額	件数	金額
空き店舗改修補助金		1件	694千円	3件	2,194千円	3件	2,025千円
空き店舗家賃補助		2件	501千円	2件	345千円	3件	612千円
店舗改修		2件	667千円	4件	1,769千円	1件	500千円
◆ 前年度からの改善点							
・なし							

主要な施策の成果説明書

前年度評価	継続
事務事業No.	68
実施方法	市が直接実施
目	3
決算書	77
後期計画掲載頁	59
頁	

担当課	地域振興部	まちづくり産業課	移住定住促進係
事務事業名	定住促進事業		
会計	一般会計	款	2
		項	1
総合計画	まちづくりのテーマ 第2章 活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち		後期計画掲載頁
施策目標	【4】移住・定住促進策等の充実強化		
施策項目	①定住促進ビジョンの推進		
個別計画	第3期定住促進ビジョン		
頁			

対象と目的
 <対象>
 市民並びに本市への移住希望者
 <目的>
 全国的に人口減少が進み、本市においても人口減少が続く中、当市のPRを通し本市への移住を促進し、また、マイホーム助成補助金や商品券交付事業を実施し定住促進を図る。

主な実施内容
 ①定住奨励事業（マイホーム取得助成事業、空き家改修事業、商品券交付事業）
 ②移住相談窓口の充実 ③都市部向け移住セミナー・魅力体験ツアーの実施
 ④結婚支援事業 ⑤空き家バンク・物件情報の提供
 ⑥連携自立圏若者・交流事業

決算額		令和4年度	令和5年度	令和6年度								
総事業費（決算額）		63,895,201 円	64,865,216 円	55,544,620 円								
財源内訳	特定財源	13,746,505 円	18,689,000 円	16,941,600 円								
	一般財源	50,148,696 円	46,176,216 円	38,603,020 円								
予算	R6当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額					
	63,765,000	-7,000,000	0	0	56,765,000	55,544,620	0					
	不用額	特定財源	細節名	金額	UJターン就業・創業移住支援事業補助金	5,050,000	広域連携推進事業交付金	3,846,000	地域少子化対策重点推進補助事業交付金	1,730,000	北アルプス連携自立圏事業負担金ほか	6,315,600

事業の実績・成果 前年度（令和5年度）からの改善点等 あり

◆ 施策目標に資する活動

- 移住セミナー・移住相談会の開催（16回・参加者数349人）
- 大町暮らし魅力体験ツアーの開催
 - ◇北アルプス山麓ですみ家めぐりと食体験（6/1～6/2 9組10人）
 - ◇「農林業×移住」北アルプスの麓で自然と共に暮らす（8/24～8/25 8組10人）
 - ◇ヤマケイツアー信濃大町移住見学会 2回（10/5～10/6 8組13人・10/26～10/27 7組12人）
 - ◇HAKUBA VALLEYで遊び！働き！暮らせる街（1/25～1/26 10組14人）
- 結婚支援事業
 - ◇結婚相談所「大町市ハピネスサポートセンター」の運営（登録者数：男性4名、女性3名）
 - ◇SHINSHU MEET MATCH ー移住×婚活ー（10/12 5人）
- その他
 - ◇しなののおまちワーキングホリデー（受入2名、22日）
 - ◇雪道路上講習「信濃大町雪国デビュタント」（1/9 5人）
 - ◇「北アルプス国際芸術祭2024」移住プロモーション 66人



移住フェアの様子



魅力体験ツアー（交流会の様子）

事業の実績・成果

◆ 事業の成果

主な定住奨励事業の実施状況

- ・マイホーム取得助成 20万円
(加算：市内業者・50歳未満・子ども・居住誘導各5万円、三世代1万、テレビ4万上限) 最大45万円
交付実績：新築38件、購入38件 合計76件 計20,823千円
- ・商品券交付事業(きらり商品券3万円分)
交付実績：Uターン23件、Iターン38件、新婚世帯31件 計2,760千円(精算後2,670千円)
- ・移住推進空き家改修事業補助金(対象経費の1/2、上限30万)
交付実績：10件 計2,795千円
- ・空き家流通促進事業補助金(対象経費の1/3、上限30万(改修)/8万(片付け))
交付実績：2件 計141千円
- ・有料道路利用者負担軽減事業(白馬長野有料道路)
交付実績：82人 計720千円
- ・就業者等移住支援金
交付実績：5件 計8,600千円
- ・結婚新生活支援事業補助金
交付実績：8件 計2,595千円

移住相談窓口の充実

- ・市の移住相談窓口を通じた移住実績 71世帯111人
- ・移住相談件数(移住相談会・窓口・メール・電話等) 528件

都市圏向け移住セミナー・魅力体験ツアーの実施

- ・移住セミナーの開催 16回開催
- ・魅力体験ツアーの開催 5回開催 参加者42組59人

空き家バンク制度の運用

- ・利用状況：物件登録件数8件、利用者登録数40人、成約件数13件

連携自立圏移住交流、若者交流事業

- ・関係人口創出事業「北アルプス地域関わり隊」の開催(「アートに触れる3泊4日」松川村と連携)
- ・「キャリアアップと充実したライフプランセミナー」の開催



雪道路上講習「信濃大町雪国デビュータント」



爺ヶ岳セミナー(爺ヶ岳山頂)

◆ 前年度からの改善点

- ・「HAKUBA VALLEY」の知名度を活かしたツアーやテーマを絞ったツアー・フェアの開催
- ・「北アルプス国際芸術祭2024」に合わせた移住プロモーションの開催

主要な施策の成果説明書

前年度評価						継続			
事務事業No.						69			
担当課	地域振興部	農林水産課	庶務係			実施方法		その他	
事務事業名	農業マーケティング事業					決算書		165頁	
会計	一般会計			款	6項	1目	3	後期計画掲載頁	54頁
総合計画	まちづくりのテーマ 第2章 活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち						後期計画掲載頁		54頁
	施策目標 【2】地域の特性を生かした農林水産業の振興								
	施策項目 ①生産と販売の促進								
個別計画	大町市農業振興計画							30・33頁	

対象と目的	<p>将来の当市の持続的な農業を目指し、輸出を志向する農産物及び農産物を主原料にした加工品の生産者を対象に、新たな輸出促進のための取り組みを支援し、多様な販売システムを確立するとともに、農産物及び地域のブランド力の向上を図り、当市の経済の活性化を目指す。</p>
主な実施内容	<p>輸出事業に意欲的な生産者など幅広い関係者の連携により組織した、大町市農産物等輸出協議会によって、海外における新たな販路や継続した販路の確保、農産物等のブランド化を図るための事業を実施。</p>

事業費	決算額		令和4年度	令和5年度	令和6年度		
	総事業費（決算額）		3,107,220 円	4,586,105 円	5,046,800 円		
	財源内訳	特定財源	0 円	0 円	80,000 円		
一般財源		3,107,220 円	4,586,105 円	4,966,800 円			
予算	R6当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額
	6,208,000	0	0	0	6,208,000	5,046,800	0
	不用額	特定財源	細節名				
1,161,200		金額	海外販路開拓活動支援事業助成金	80,000			

事業の実績・成果	前年度（令和5年度）からの改善点等	あり
----------	-------------------	----

◆ 施策目標に資する活動

- コメ輸出研修会及び懇談会
輸出事業者を招へいし、輸出货量及び取引の更なる拡大に繋げるため実施。
- 有機米研修会の開催
市の主要作物である水稲の有機農法と輸出事業の現状について認識を深めるため、研修会を開催。
一部「有機JAS制度について」
二部「海外での無農薬米」
- 信濃大町産コシヒカリの香港でのPR事業
香港での新たな販路開拓を目指し、PR事業を日本食チェーンレストラン（7店舗）において実施。
期間中コメ販売実績：7店舗合計 7,979kg
- イギリス・ロンドンへの商談等渡航事業
欧州での新たな販路の開拓確保を目指し、コメの生産者自らが商談及び市場調査のため実施。



有機米研修会



自治体国際化協会ロンドン事務所訪問

◆ 事業の成果

- コメの輸出货量が年々増加 (単位：トン)

年度	R元	R2	R3	R4	R5	R6
輸出货量	24	72	72	96	123	162

◆ 前年度からの改善点



- 大町市農産物等輸出協議会において、大町のお米の良さや我々の本気度を伝えるため、未進出のイギリス・ロンドンへの商談等渡航事業を実施。

主要な施策の成果説明書

						前年度評価	継続				
						事務事業No.	70				
担当課	地域振興部	農林水産課	庶務係								
事務事業名	有害鳥獣対策事業					実施方法	その他				
会計	一般会計		款	6	項	1	目	3	決算書	167	頁
総合計画	まちづくりのテーマ	第2章 活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち				後期計画登載頁		54		頁	
	施策目標	【2】地域の特性を生かした農林水産業の振興									
	施策項目	①生産と販売の促進									
個別計画	大町市農業振興計画								36	頁	

対象と目的	サル、シカ、イノシシ、クマ、カラス等の野生鳥獣による農作物被害の防止対策を実施し、農業生産の安定化と遊休荒廃農地の防止を図る。										
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 野生鳥獣の追い払い、侵入防止柵の設置などによる「被害の防除対策」 ○ 藪の刈払いによる緩衝帯の整備等による「生息環境管理対策」 ○ 県特定鳥獣管理計画等に基づく個体数管理、有害鳥獣の捕獲や生息域把握等の「個体数調整対策」 ○ ICTを活用した捕獲、追い払い等の新技術の導入及び実施 ○ モンキーダッグの訓練レベル維持 ○ 猟友会との連携強化と鳥獣被害対策者の育成 										

決算額		令和4年度	令和5年度	令和6年度			
総事業費（決算額）		19,414,450 円	14,781,872 円	15,940,365 円			
財源内訳	特定財源	2,793,425 円	6,843,295 円	2,406,525 円			
	一般財源	16,621,025 円	7,938,577 円	13,533,840 円			
予算	R6当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額
	17,062,000	0	0	-11,080	17,050,920	15,940,365	0
	不用額	特定財源	細節名				
1,110,555		金額	野生鳥獣総合管理対策事業補助金	2,406,525			

事業の実績・成果	前年度（令和5年度）からの改善点等	あり
<p>◆ 施策目標に資する活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 有害鳥獣駆除・個体数調整 <ul style="list-style-type: none"> ニホンザル：143頭 ニホンシカ：200頭 イノシシ：30頭 タヌキ・キツネ・ハクビシン等獣類：104匹 鳥類：92羽 ○ 侵入防止柵設置補助（市単独事業） <ul style="list-style-type: none"> 設置数：23件 設置距離：3,644m 		
<p>◆ 事業の成果</p> <p>サルの位置情報をGPSで把握しながら遠隔操作で捕獲可能な大型捕獲檻を設置するなど、効率的な捕獲に取り組むとともに、小型檻での捕獲も実施し、被害及び出没レベルの維持ができた。また、国庫補助による集落ぐるみでの侵入防止柵の設置、猿害対策協力員やモンキーダッグ等での追い払い、猟友会による捕獲などを総合的に実施し、鳥獣被害対策に取り組んでいる。しかし、侵入防止柵等の対策が不十分な地域の被害や、シカやイノシシによる被害報告も増えていることから、さらに取り組みを進めていく。</p>		
<p>◆ 前年度からの改善点</p> <p>有害鳥獣駆除業務委託の契約内容を捕獲実績に対して支払う方式へ見直し、捕獲意欲が向上し成果へと繋がった。農林水産省の農作物野生鳥獣被害対策アドバイザーへ職員を登録し、国・県との連携強化と事業の横展開が図れた。</p> <p>○研修会講師派遣 4件 ○視察研修受入れ 8件</p>		

主要な施策の成果説明書

				前年度評価	新規
				事務事業No.	71
担当課	地域振興部	農林水産課	農業振興係	実施方法	補助金
事務事業名	農業振興一般経費			目 3	決算書 163 頁
会計	一般会計	款 6	項 1	後期計画掲載頁	54 頁
総合計画	まちづくりのテーマ 第2章 活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち			後期計画掲載頁	54 頁
	【2】地域の特性を生かした農林水産業の振興				
	①生産と販売の促進				
個別計画	大町市農業振興計画				15・17 頁

対象と目的	<ul style="list-style-type: none"> 新規就農者支援による農業者担い手確保。 農業生産のあり方を環境保全を重視したものに転換し、農業が本来有する自然循環機能の維持・増進を図る。
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 50歳未満の青年等就農計画認定者に、経営開始資金（150万円を3年間）、経営発展支援事業（対象経費1千万円以内・75%補助）を交付 環境保全型農業直接支払事業活動組織等へ内容に応じた額を交付（10aあたり） 有機農業12,000円（そば3,000円）、堆肥の施用4,400円、カバークロープ6,000円 リビングマルチ5,400円（麦3,200円）、草生栽培5,000円、不耕起播種3,000円 など

決算額		令和4年度	令和5年度	令和6年度			
総事業費（決算額）		21,721,692 円	28,364,557 円	14,152,417 円			
財源内訳	特定財源	18,379,962 円	24,512,591 円	10,123,438 円			
	一般財源	3,341,730 円	3,851,966 円	4,028,979 円			
予算	R6当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額
	21,772,000	-6,972,000	0	0	14,800,000	14,152,417	0
	不用額	特定財源	細節名	農業次世代人材投資資金	経営開始資金	環境保全型農業直接支払交付金	農業次世代投資推進事業費ほか
647,583		金額	6,677,865	1,500,000	1,892,760	52,813	

事業の実績・成果	前年度（令和5年度）からの改善点等	なし
----------	-------------------	----

◆ 施策目標に資する活動

- 新規就農者交付金制度対象者 6名
 - ・うち継続対象者 6名
 - ・交付金額 8,177,865円



イチゴ農家への営農指導

- 環境保全型農業直接支払事業
 - ・実施団体数 6組織
 - ・実施面積 2,469a
 - ・交付金額 2,523,680円



有機栽培米 圃場確認

- 農地流動化担い手育成奨励金 ・流動化面積 20.6ha ・交付金額 1,291,836円
- 環境保全型農業推進事業補助金 ・交付者数 7者 ・交付金額 194,149円

◆ 事業の成果



- ・新規就農支援については、農業への定着率が高く認定農業者になる方もいて、担い手確保に大いに貢献している。
- ・有機農業等の取組みにより、地球温暖化防止効果や生物多様性保全効果などに貢献している。

主要な施策の成果説明書

					前年度評価	継続					
					事務事業No.	72					
担当課	地域振興部	農林水産課	森林振興係		実施方法	その他					
事務事業名	森林環境譲与税事業				実施方法	その他					
会計	一般会計		款	6	項	3	目	1	決算書	175	頁
総合計画	まちづくりのテーマ	第2章 活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち				後期計画掲載頁	55		頁		
総合計画	施策目標	【2】地域の特性を生かした農林水産業の振興									
総合計画	施策項目	③豊かで多様な森林の育成と地域林業の活性化									
個別計画											

対象と目的	<p>森林環境譲与税を地域の森林等の、森林の整備に関する施策、森林の整備を担うべき人材の育成及び確保、木材利用の促進、森林の有する公益的機能に関する普及啓発等の施策に活用し、森林整備を進める。</p>										
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 森林環境譲与税基金への積み立て 森林経営管理制度実施方針に基づいた森林整備 松くい虫防除自衛支援のための薬剤補助 林業事業者の安全装備等の購入補助 県産間伐材の活用と木質バイオマス燃料を使用するストーブ及びボイラーの普及促進 										

決算額		令和4年度	令和5年度	令和6年度			
総事業費（決算額）		70,163,436 円	64,143,496 円	67,704,334 円			
財源内訳	特定財源	37,983,298 円	31,962,693 円	24,479,142 円			
	一般財源	32,180,138 円	32,180,803 円	43,225,192 円			
予算	R6当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額
	81,910,000	-14,202,000	0	0	67,708,000	67,704,334	0
	不用額	特定財源	細節名	金額			
3,666		森林環境譲与税基金繰入金	24,460,000	森林環境譲与税基金利子収入	19,142		

事業の実績・成果	前年度（令和5年度）からの改善点等	あり
◆ 施策目標に資する活動		
<ul style="list-style-type: none"> 森林環境譲与税を活用し、森林経営管理制度実施方針に基づいた森林整備を実施。 山地保全機能向上のための森林整備 美麻大藤ほか 1.29ha ライフライン整備事業 社曾根原周辺の道路沿いの危被害木の伐採 松くい防除樹幹注入剤補助事業 大田市運動公園周辺 255本 鷹狩山山頂付近の姉妹都市交流地、森林の里親事業植樹地の森林整備 森のエネルギー推進事業補助金 薪ストーブ等設置に係る補助 11件 森林づくり事業補助金 県補助事業の施業者に、事業費の10%を嵩上げ補助 3事業者、5事業に対し補助 		美麻 大藤の施業
◆ 事業の成果		
<ul style="list-style-type: none"> 森林環境譲与税を活用した山地保全（景観）、防災減災対策の森林整備が図られた。 保全松林のアカマツ松枯れ対策のための薬剤樹幹注入作業を地域団体と実施 ライフライン沿いの安全対策のための危被害木の伐採 		樹幹注入作業
◆ 前年度からの改善点		
<ul style="list-style-type: none"> ライフライン沿いの安全確保のための森林整備の実施 姉妹都市交流地、森林の里親事業実施地の森林整備 嵩上げ補助の補助率を5%から10%に拡充 		

主要な施策の成果説明書

前年度評価						継続					
事務事業No.						73					
担当課	地域振興部	農林水産課	農業振興係		実施方法						
事務事業名						補助金					
中山間地域等直接支払事業											
会計	一般会計		款	6	項	1	目	3	決算書	165	頁
総合計画	まちづくりのテーマ 第2章 活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち						後期計画掲載頁		55	頁	
総合計画	施策目標 【2】地域の特性を生かした農林水産業の振興										
総合計画	施策項目 ②農地施策の推進										
個別計画	大町市農業振興計画								29	頁	

対象と目的	<ul style="list-style-type: none"> 農業の生産条件が不利な中山間地域における農地保全、水源涵養、良好な景観形成等の多面的機能の確保と増進を図る。 耕作放棄地の解消と発生防止に努め、将来にわたって持続可能な農業生産活動の継続を目指す。
-------	---

主な実施内容	<p>中山間地域等において、集落等を単位に、農用地を維持管理していくための活動に対し、面積に応じた額を交付する。</p> <p>○ 第5期対策期間 急傾斜地 田1/20以上 畑15°以上 10aあたり (田21,000円 畑11,500円) 緩傾斜地 田1/100~1/20 畑8°~15° 10aあたり (田 8,000円 畑 3,500円)</p>
--------	--

決算額		令和4年度	令和5年度	令和6年度			
総事業費(決算額)		12,193,847 円	12,189,700 円	12,086,496 円			
財源内訳	特定財源	9,102,929 円	9,159,929 円	9,031,464 円			
	一般財源	3,090,918 円	3,029,771 円	3,055,032 円			
予算	R6当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額
	12,140,000	0	0	0	12,140,000	12,086,496	0
	不用額	特定財源	細節名	中山間地域等農業直接支払事業補助金	中山間地域等農業直接支払推進事業補助金		
53,504		金額	8,984,464	47,000			

事業の実績・成果	前年度(令和5年度)からの改善点等	なし
----------	-------------------	----

◆ 施策目標に資する活動

○実施団体数 11集落

大町地区 3集落 320,234㎡ 5,317,131円

清水神明原集落、清水寺海戸集落、宮本集落

八坂地区 7集落 251,247㎡ 4,852,099円

切久保堤集落、切久保平沢集落、生婦平集落、中村集落、梨の木集落、馬落し集落、野平集落

美麻地区 1集落 92,549㎡ 1,810,071円

美麻広域集落



宮本集落現地確認



神明原集落現地確認

◆ 事業の成果

中山間農地の遊休荒廃地化を防ぐうえで、重要な役割を担っている。

事業を実施している11集落において、集落戦略策定済

主要な施策の成果説明書

					前年度評価	継続
					事務事業No.	74
担当課	地域振興部	農林水産課	農業振興係			
事務事業名	多面的機能支払事業				実施方法	補助金
会計	一般会計		款	6	項	1
			目	3	決算書	165
総合計画	まちづくりのテーマ 第2章 活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち				後期計画掲載頁	55
	施策目標 【2】地域の特性を生かした農林水産業の振興					
	施策項目 ②農地施策の推進					
個別計画	大町市農業振興計画					29

対象と目的	<ul style="list-style-type: none"> 農業者等が共同で取組む地域活動や地域資源（農地・水路・農道等）の質的向上に資する活動に対して支援する。 農業が持つ国土の保全、水源の涵養及び自然環境の保全などの多面的機能の維持増進を図る。
-------	---

主な実施内容	<p>各組織の農用地の維持管理、地域住民との共同活動（植栽等）、水路及び農道等の施設の老朽化等に対する補修及び更新に対して、面積に応じた額を交付している。</p> <p>○基本単価 農地維持支払 田3,000円 畑2,000円（10aあたり） 資源向上支払（共同活動・5年未経過）田2,400円 畑1,440円（10aあたり） （共同活動・5年経過）田1,800円 畑1,080円（10aあたり） （長寿命化）田4,400円 畑2,000円（10aあたり）</p>
--------	---

決算額		令和4年度	令和5年度	令和6年度			
総事業費（決算額）		105,870,542 円	105,792,671 円	109,224,983 円			
財源内訳	特定財源	80,209,938 円	79,325,105 円	81,794,581 円			
	一般財源	25,660,604 円	26,467,566 円	27,430,402 円			
予算	R6当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額
	121,351,000	-12,125,000	0	0	109,226,000	109,224,983	0
	不用額	特定財源	細節名	多面的機能支払事業交付金	多面的機能支払推進交付金		
1,017		金額	81,691,581	103,000			

事業の実績・成果

事業の実績・成果		前年度（令和5年度）からの改善点等	なし
◆ 施策目標に資する活動			
○実施団体数	29組織（▲1組織）	大町 1、平 10、常盤 8、社 4、八坂 5(▲1)、美麻 1	
	取組面積	交付額	
農地維持支払	1,589ha	46,448,600円	
資源向上支払（共同）	1,370ha	23,732,164円	合計交付額 108,922,108円
資源向上支払（長寿命化）	1,346ha	38,741,344円	
令和5年度			
実施団体数	30組織	取組面積	交付額
農地維持支払	1,556ha	45,436,000円	
資源向上支払（共同）	1,341ha	23,232,236円	合計交付額 105,543,974円
資源向上支払（長寿命化）	1,296ha	36,875,738円	
令和4年度			
実施団体数	30組織	取組面積	交付額
農地維持支払	1,555ha	45,518,700円	
資源向上支払（共同）	1,339ha	23,261,360円	合計交付額 104,877,084円
資源向上支払（長寿命化）	1,294ha	36,097,024円	
◆ 事業の成果			
当該事業により、活動組織の共同活動及び水路、農道等の地域資源の維持管理が適切に行われ、水源涵養、自然環境の保全、良好な景観形成など農業の持つ多面的機能の維持増進が図られている。			
また、植栽などの共同活動により、地域コミュニティの活性化に繋がっている。			

主要な施策の成果説明書

前年度評価						やり方改善					
事務事業No.						75					
担当課	地域振興部	農林水産課	農業推進支援係								
事務事業名	園芸振興事業					実施方法	補助金				
会計	一般会計		款	6	項	1	目	3	決算書	167	頁
総合計画	まちづくりのテーマ	第2章 活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち					後期計画掲載頁	54	頁		
施策目標	【2】地域の特性を生かした農林水産業の振興										
施策項目	①生産と販売の促進										
個別計画	大田市農業振興計画									13	頁
対象と目的	販売目的で園芸作物の生産拡大に取り組む農業者や団体に対して支援を図ることで、新たな担い手の育成や遊休農地を活用し、地域農業の活性化と持続可能性を高める効果が期待される。										
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 果樹改新植事業 <ul style="list-style-type: none"> 苗木補助 ブルーベリー、ぶどう、りんごわい化樹等改新植を行う経費として補助率1/2以内、限度額 2000円/苗木1本 設備補助 ぶどう又はりんごわい化樹用支柱等の新設に要する経費として補助率1/2以内、限度額 500,000円 園芸生産施設整備事業 園芸作物を栽培するパイプハウスの設置に要する経費として補助率1/2以内、限度額 700,000円 										
事業費	決算額		令和4年度		令和5年度		令和6年度				
	総事業費（決算額）		3,154,788 円		6,297,728 円		4,157,643 円				
	財源内訳	特定財源	9,372 円		3,008,384 円		7,717 円				
		一般財源	3,145,416 円		3,289,344 円		4,149,926 円				
予算	R6当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額				
	5,342,000	0	0	0	5,342,000	4,157,643	0				
	不用額	特定財源	細節名								
	1,184,357		農作物等災害経営支援 利子助成事業補助金	金額	7,717						
事業の実績・成果						前年度（令和5年度）からの改善点等	あり				
◆ 施策目標に資する活動											
○果樹改新植事業											
・りんご苗木	5者	547本	1,145,495 円								
・ぶどう苗木（ワイン）	1者	284本	132,880 円								
・ぶどう苗木（生食）	1者	16本	33,550 円								
・ブルーベリー苗木	1者	11本	10,289 円								
・支柱	4者	63.48a	1,737,071 円								
○園芸生産施設整備事業											
・パイプハウス	1者	680,000 円									
◆ 事業の成果											
○果樹改新植事業											
・りんご、ぶどうの苗木及び設備補助を行い園芸作物の推進、産地化の取組みが前進した。											
○園芸生産施設整備事業											
・ミニトマト用ビニールハウスを設置し園芸作物の推進、産地化の取組みが前進した。											
◆ 前年度からの改善点											
・園芸振興事業について、アスパラガス新植に要するアスパラ生産振興事業を園芸生産振興事業に改正し、市が定める重点品目の新植に対する補助として拡充した。											

主要な施策の成果説明書

		前年度評価		継続								
担当課		地域振興部	産業立地戦略室	産業立地戦略室	事務事業No.	76						
事務事業名		工業振興・企業誘致事業			実施方法	市が直接実施						
会計		一般会計		款	7	項	1	目	2	決算書	181	頁
総合計画	まちづくりのテーマ	第2章 活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち						後期計画掲載頁	52	頁		
	施策目標	【1】商工業の振興による地域経済の活性化										
	施策項目	③企業誘致の推進										
個別計画												

対象と目的

- ・市民や定住希望者に「安定した雇用の場の確保」を実現するため、企業情報を収集し、既存企業の育成支援や市民が働きたいと思う企業の企業誘致活動を実施する。
- ・働く場を確保し、市民及びUターンや移住希望者が安心して住めるまちにし人口の社会減を縮小するとともに、既存企業の発展、新たな企業の立地による経済的波及効果により、地域産業経済の活性化を目指す。

主な実施内容

- ・既存企業の育成、支援
市内製造業景況調査などの実施。情報をもとに各種支援策につなげる。
- ・企業誘致の推進
拠点整備に関する企業情報を収集し、地域特性を活かした戦略的な企業誘致の展開。また、その情報に基づくトップセールスの実施。県事務所の産業立地推進役と連携し産業振興の推進に努めている。

事業費	決算額		令和4年度	令和5年度	令和6年度		
	総事業費（決算額）		478,825 円	1,048,618 円	504,819 円		
	財源内訳	特定財源	0 円	0 円	0 円		
一般財源		478,825 円	1,048,618 円	504,819 円			
予算	R6当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額
	1,062,000	0	0	0	1,062,000	504,819	0
	不用額	特定財源	細節名				
557,181		金額					

事業の実績・成果

前年度（令和5年度）からの改善点等 なし

◆ 施策目標に資する活動

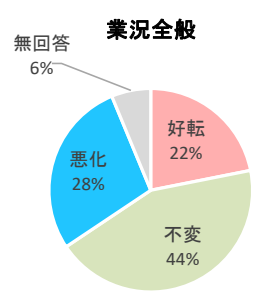
○企業相談業務 66件/年

相談件数推移		(単位：件)		
	R4年度	R5年度	R6年度	
企業相談	79	58	66	

○市内製造業等景況調査 2回/年
令和6年11月、市内製造業の45社に調査票を送付 → 回答率71.1%

【業況】令和6年3月末と比較した令和6年9月末の状況
景況感DI〔好転企業割合 - 悪化企業割合〕△6.3%
比較 R6上期 △0.4ポイント下降
対前年同時期 △3.2ポイント下降

前年同時期（DI△3.1%）より 3.2ポイント下降。長引くエネルギー・原材料価格等物価高騰による収益率に低下がみられ、3期連続でマイナス水準となる。堅調なインバウンド需要等により、観光関連は好調または改善が見られるものの、原材料価格の高騰や賃上げ等に伴う経費の増加に加え、消費者の節約志向も影響し、マ



◆ 事業の成果

・企業誘致は企業側の立地意向がなければ成立しないことから短期間で成果が上がるものではないが、これまでの企業支援や企業誘致活動により、企業進出や設備投資における支援が図られ実を結んでいる。

◆ 前年度からの改善点

無し

主要な施策の成果説明書

		前年度評価		継続		
担当課		地域振興部	産業立地戦略室	産業立地戦略室	事務事業No.	77
事務事業名		工場等誘致振興助成事業			実施方法	市が直接実施
会計		一般会計		款	7	項
				目	2	決算書
				183		頁
総合計画	まちづくりのテーマ	第2章 活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち			後期計画掲載頁	52
	施策目標	【1】商工業の振興による地域経済の活性化				
	施策項目	③企業誘致の推進				
個別計画						
		頁				

対象と目的	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や移住希望者に「安定した雇用の場の確保」を実現するため、企業情報を収集し、既存企業の育成支援や市民が働きたいと思う企業の企業誘致活動を実施する。 ・働く場を確保し、市民及びIUターンや移住希望者が安心して住めるまちを目指し人口の社会減を縮小するとともに、既存企業の発展、新たな企業の立地による経済的波及効果により、地域産業経済の活性化を目標とする。 				
	<p>主な実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大町市工場等誘致振興条例に基づき、雇用を伴う設備投資（新設・移設・増設）及び固定資産税相当額に対して助成金を支給する。 ・工場等誘致振興助成事業助成金の交付にあたり、申請書や完了報告書の受理、また、大町市工場等誘致振興審議会への諮問により、助成金の交付決定または助成金額の確定について、審査・答申を行う。 				

事業費	決算額		令和4年度	令和5年度	令和6年度		
	総事業費（決算額）		328,169,800 円	314,473,600 円	87,632,300 円		
	財源内訳	特定財源	0 円	0 円	0 円		
一般財源		328,169,800 円	314,473,600 円	87,632,300 円			
予算	R6当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額
	120,867,000	-16,366,000	50,000,000	0	154,501,000	137,632,300	16,860,000
	不用額	特定財源	細節名				
	8,700		金額				

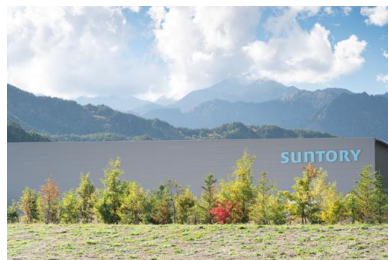
事業の実績・成果	前年度（令和5年度）からの改善点等	なし
----------	-------------------	----

◆ 施策目標に資する活動

- 大町市工場等誘致振興審議会開催 3回/年
 審議案件：助成事業の指定に関する事項2件（増設2件）
 助成事業の確定に関する事項1件（増設1件）
- 大町市工場等誘致振興条例に基づく助成金
 投下固定資産分の助成 増設1社
 固定資産税相当額の助成 4社

◆ 事業の成果

- 増設企業数 1社



- ◆ 前年度からの改善点
なし

主要な施策の成果説明書

				前年度評価	継続						
				事務事業No.	78						
担当課	地域振興部	観光文化課	観光企画係								
事務事業名	観光資源活用事業			実施方法	負担金						
会計	一般会計		款	7	項	1	目	3	決算書	183	頁
総合計画	まちづくりのテーマ	第2章 活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち			後期計画掲載頁	57				頁	
	施策目標	【3】観光を主体に国内外からひとを呼び込む交流の促進									
	施策項目	①魅力ある観光地づくりの推進									
個別計画	観光振興計画										頁

対象と目的	<ul style="list-style-type: none"> 観光文化課所管施設の適切な維持管理、温泉資源の環境整備に向けた支援 各施設の管理・清掃業務を委託し、適正な維持管理・環境美化等に努める。また、関係団体への支援により温泉資源の環境整備を図る。 										
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 観光施設の維持管理等 公衆トイレの維持管理（光熱水費、修繕、汲取り、清掃、浄化槽点検等）、流鏝馬会館管理運営業務 照明機材を活用したイベント開催：歴史的資源のライトアップイベント開催（若一王子神社、霊松寺） 扇沢周辺駐車場における観光混雑の分散化に向けた取組み 関係団体への活動支援（負担金・補助金） 市温泉地連絡協議会、大北温泉協会、SDGs学習旅行誘致協議会、旧酒の博物館活用事業補助ほか 										

決算額		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
総事業費（決算額）		26,155,539 円		29,577,175 円		23,170,483 円	
財源内訳	特定財源	4,434,000 円		2,762,709 円		582,168 円	
	一般財源	21,721,539 円		26,814,466 円		22,588,315 円	
予算	R6当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額
	24,467,000	-1,235,000	0	178,100	23,410,100	23,170,483	0
	不用額	特定財源	細節名	貸地料	観光施設光熱水使用料	駅前観光案内所建物使用料	
239,617		金額	306,507	256,771	18,890		

事業の実績・成果		前年度（令和5年度）からの改善点等	
<p>◆ 施策目標に資する活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 流鏝馬会館入場者数 14,093人（令和5年3,806人、対前年比370.3%） ○ 観光施設維持管理 <ul style="list-style-type: none"> ・点検清掃業務 公衆トイレ5カ所（七倉ダム下、七倉登山補導所横、餓鬼岳登山口、柏原新道登山口、高瀬ダム天端、木崎湖キャンプ場） 駐車場4カ所（扇沢市営駐車場、七倉ダム下駐車場、七倉広場市営駐車場、柏原新道駐車場） 浄化槽2カ所（扇沢総合案内センター、七倉登山補導所横） ・市営駐車場等誘導整理業務（扇沢市営駐車場、七倉広場市営駐車場） ○ ライトアップイベントの開催 北アルプス国際芸術祭2024の開催に合わせ、歴史的建造物である若一王子神社および霊松寺において夜間ライトアップを実施するとともに、霊松寺における日中の作品展でもライトアップを実施。 ○ 扇沢周辺駐車場における観光混雑の分散化に向けた取組み AIを活用したシステム等を用いた車両等属性データの把握・数値化、混雑状況の可視化と情報発信 ・カメラ設置箇所：扇沢有料駐車場、扇沢市営第1駐車場、扇沢市営第2駐車場 <p>◆ 事業の成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ○SDGs学習旅行誘致協議会 商談会:9回 旅行会社招聘:4回60名 SDGsガイド研修:3回8名 市内中学生インター- :3回270名 学習旅行等受入：13件1,660人 市民見学会：4回73人 川に学ぶ全国大会：9月実施500人 ○ライトアップイベント ・若一王子神社10/12～14（3日間）650人 霊松寺10/26～11/4（9日間）2,042人 ○扇沢周辺駐車場における観光混雑の分散化 R5より本格稼働を開始し、加えてR6において車両属性データの数値化を実現したことから、次年度以降はデータ分析を除き、リアルタイムでの混雑状況表示に注力していく。 <p>◆ 前年度からの改善点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SDGs学習旅行推進協議会では元気づくり支援金を活用し、教育旅行旅行会社の若手担当者を招聘することで、実体験を通じて、今後の学習旅行誘致につなげる取組みを行うことができた。 ・芸術祭の開催期間に合わせてライトアップを実施し、若一王子神社では初の試みとなった。 		あり	

主要な施策の成果説明書

前年度評価						やり方改善					
事務事業No.						79					
担 当 課	地域振興部	観光文化課	観光企画係								
事 務 事 業 名	2次交通対策事業				実施方法	委託					
会 計	一般会計		款	7	項	1	目	3	決算書	185	頁
総合計画	まちづくりのテーマ	第2章 活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち				後期計画掲載頁	57		頁		
	施策目標	【3】観光を主体に国内外からひとを呼び込む交流の促進									
	施策項目	①魅力ある観光地づくりの推進									
個別計画	観光振興計画										頁

対象と目的	<p>来訪者に対し、市内に点在する観光施設への移動手段を整備し、利便性の向上と誘客の促進を図る。</p> <p>市内の観光施設をはじめ、広域的な観光周遊を担う2次交通を整備し、地域全体としての誘客促進と観光消費額の増大による経済活性化を目指していく。</p>										
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・周遊バス（信濃大町ぐるりん号）の運行 ・大系線ゆう浪漫委員会特別事業（信州まつもと空港シャトル便）運行支援 ・芸術祭周遊バスの運行支援 										

決算額		令和4年度	令和5年度	令和6年度			
総事業費（決算額）		17,549,291 円	11,028,684 円	17,103,429 円			
財源内訳	特定財源	8,730,000 円	0 円	3,600,000 円			
	一般財源	8,819,291 円	11,028,684 円	13,503,429 円			
予算	R6当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額
	16,133,000	0	0	2,803,140	18,936,140	17,103,429	0
	不用額	特定財源	細節名				
1,832,711		金額	地域発元気づくり支援金	3,600,000			

事業の実績・成果	前年度（令和5年度）からの改善点等	あり
◆ 施策目標に資する活動		
○ 周遊バス「信濃大町ぐるりん号」運行		
<ul style="list-style-type: none"> ・運行期間 4/27～5/6、7/13～9/8の一部平日と土日祝（34日間、11便/日） ・利用運賃 大人200円/回、500円/1日券 小人100円/回、200円/1日券 		
○ 大系線ゆう浪漫委員会特別事業（松本空港シャトル便）運行支援		
<p>信州まつもと空港を利用して安曇野や北アルプス地域への来訪者の利便性の向上と観光客誘客促進。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運行期間 全日 ・利用運賃 信州松本空港⇄信濃大町駅前及び大町温泉郷 大人2,500円/回、幼児無料 		
○ 周遊バス「アートバス」		
<ul style="list-style-type: none"> ・運行期間 9/13～11/4の水曜日を除く46日間 ・利用運賃 小学生以上2,500円/回 ・利用形態 3コース（A：仁科三湖・美麻、B：ダム・源流、C：東山・常盤）午前・午後の2回運行 		
◆ 事業の成果		
○ 周遊バス「信濃大町ぐるりん号」利用実績		
<p>令和5年度：1,356人（32.3人/日）、令和6年度：1,207人（35.5人/日）</p> <p>北アルプス国際芸術祭の開催前までの期間に運行。R5より8日短い運行だが1日平均では上回った。</p> <p>「信濃大町ぐるりん号」という名称が浸透しており、次年度においても継承していきたい。</p>		
○ 大系線ゆう浪漫委員会特別事業（信州まつもと空港シャトル便）運行実績		
令和6年度：584便 1,160人（内、大町市内停留所利用者267人）		
○ 周遊バス「アートバス」		
<p>乗車人数 Aコース：675人 Bコース：420人 Cコース：760人</p> <p>乗車率は、期間終了日が近づくにつれて増加傾向となった。</p>		
◆ 前年度からの改善点		
<p>周遊バス「信濃大町ぐるりん号」の運行期間を減らし、芸術祭期間は元気づくり支援機を活用しながら「アートバス」を運行することで利便性を高めた。</p>		

主要な施策の成果説明書

前年度評価						継続					
事務事業No.						80					
担当課	地域振興部	観光文化課	観光企画係								
事務事業名	仁科三湖振興事業				実施方法	指定管理					
会計	一般会計		款	7	項	1	目	3	決算書	185	頁
総合計画	まちづくりのテーマ	第2章 活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち				後期計画掲載頁	57		頁		
	施策目標	【3】観光を主体に国内外からひとを呼び込む交流の促進									
	施策項目	①魅力ある観光地づくりの推進									
個別計画	観光振興計画										頁

対象と目的	<p>仁科三湖周辺観光施設の維持管理と環境整備により、周辺環境を保全するとともに観光振興を図る。</p> <p>観光施設の適切な維持管理に向けて、中・長期的な視点から改修・更新を計画的に実施する。</p>										
主な実施内容	<p>観光施設・温泉管の維持管理、修繕等</p> <ul style="list-style-type: none"> 大町市アミューズメントハウス「ゆ〜ぶる木崎湖」の指定管理による維持管理 大町市アミューズメントハウス「ゆ〜ぶる木崎湖」の修繕等 仁科三湖環境整備への支援 レジャーボートや釣り船、カヌーやSUPなど多種ボートが航行する木崎湖の安全会議 										

決算額		令和4年度	令和5年度	令和6年度			
総事業費（決算額）		66,481,242 円	48,009,998 円	39,529,099 円			
財源内訳	特定財源	21,883,000 円	219,238 円	0 円			
	一般財源	44,598,242 円	47,790,760 円	39,529,099 円			
予算	R6当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額
	48,061,000	-8,198,000	0	0	39,863,000	39,529,099	0
	不用額	特定財源	細節名				
333,901		金額					

事業の実績・成果		前年度（令和5年度）からの改善点等	あり
◆ 施策目標に資する活動			
○ アミューズメントハウスの維持管理（施設管理、施設運営、緊急時対応、自主事業）			
<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者による維持管理 指定管理者：木崎湖温泉開発(株)、指定管理期間：R2.4～R7.3 施設維持に係る修繕 			
○ 仁科三湖環境整備等への支援			
仁科三湖周辺環境整備に向けた関係団体への支援			
◆ 事業の成果			
○ 大町市アミューズメントハウス利用実績等			
<ul style="list-style-type: none"> 利用実績 令和4年度：30,981人、令和5年度：34,000人、令和6年度：34,579人 施設維持に係る修繕等 令和6年度 ゆ〜ぶる木崎湖照明修繕 281,600円 令和6年度 ゆ〜ぶる木崎湖床暖房用ポンプ修繕 369,600円 			
○ 仁科三湖環境整備等への支援			
<ul style="list-style-type: none"> 仁科三湖を美しくする会（7自治会、2漁協が美化清掃活動等を実施） 仁科三湖環境整備事業（中綱湖） 			
◆ 前年度からの改善点			
<ul style="list-style-type: none"> 木崎湖水上安全会議の開催 仁科三湖のうち、木崎湖は船外機付きボートが使われるなど様々な種類のボートが運用されていることから、漁協をはじめボート等事業者等との協議を行いながら調整が必要となっている。令和6年2月から事業者らとの打ち合わせを継続しており、令和7年3月以降は、水上利用者が集まる「コアチーム会議」において、これまでの地元漁協との取り決めや一部地域で実施されてきた協定等を集約し、新たな湖上でのローカルルールの設定を目指していく予定。 			

主要な施策の成果説明書

前年度評価					継続	
事務事業No.					81	
担当課	地域振興部	観光文化課	観光企画係			
事務事業名	広域観光推進事業				実施方法	負担金
会計	一般会計		款	7	項	1
			目	3		決算書
総合計画	まちづくりのテーマ 第2章 活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち				後期計画掲載頁	57
	施策目標 【3】観光を主体に国内外からひとを呼び込む交流の促進					
	施策項目 ①魅力ある観光地づくりの推進					
個別計画	観光振興計画					頁

対象と目的	関係団体が実施する各種事業（プロモーション、キャンペーン、情報発信、受入体制整備、二次交通対策等）を支援し、広域的な周遊観光の推進に取り組む。
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 委託事業（北アルプス連携自立圏地域間産業連関表作成業務） 関係団体が実施する広域的な観光事業への支援：日本アルプス観光連盟（日本アルプスエリアでの連携誘致）、大系線ゆう浪漫委員会（大北+安曇野エリアでの誘致・受入れ連携）、信州まつもと空港地元利用促進協議会（空港を活用した連携誘致）、HAKUBA VALLEY TOURISM（小谷・白馬と連携し、インバウンドに特化した誘致・受入れ連携）ほか

決算額		令和4年度	令和5年度	令和6年度			
総事業費（決算額）		17,600,448 円	14,948,845 円	15,746,131 円			
財源内訳	特定財源	2,838,000 円	1,710,000 円	0 円			
	一般財源	14,762,448 円	13,238,845 円	15,746,131 円			
予算	R6当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額
	16,710,000	0	0	0	16,710,000	15,746,131	0
	不用額	特定財源	細節名				
963,869		金額					

事業の実績・成果		前年度（令和5年度）からの改善点等	あり
◆ 施策目標に資する活動			
○ 関係団体への支援（負担金） 広域的な観光事業を行う関係団体への支援を通じ、周遊観光と誘客を促進する。			
◆ 事業の成果			
○ 広域的観光関係団体支援			
<ul style="list-style-type: none"> 大系線ゆう浪漫委員会 広域パンフ1万部（主に首都圏430ヶ所、JR増刷7万部）、誘客キャンペーン2回、WEB特集タイアップ：9月3日～24日（計22日間）32,558PV おもてなしイベント：168回 HAKUBA VALLEY TOURISM 海外旅行エージェント商談会開催10社 sns累計 5,200万PV以上 ウェイボのみ100万PV以上 海外旅行博への出展 2回 GPS動態調査 フォトコンテスト他 信州まつもと空港地元利用促進観光プロモーション業務 誘客キャンペーン11回、メディア発信（ラジオ番組12回、CM113本、Youtube配信約19万回再生） 長野県観光機構、まつもと空港地元利用促進協議会、北アルプス日本海広域連携会議 長野県国際観光推進協議会、立山黒部観光宣伝協議会、北アルプス三市村観光連絡会 ほか 			
◆ 前年度からの改善点			
<ul style="list-style-type: none"> 負担金に関しては、次年度以降各団体の市町村負担額の減額や組織あり方について検討を依頼した。 大系線ゆう浪漫委員会やまつもと空港地元利用促進協議会等において、SNSや動画配信等を活用し、効果的なプロモーションの実施に努めた。 			

主要な施策の成果説明書

前年度評価						継続					
事務事業No.						82					
担当課	地域振興部	観光文化課	観光企画係								
事務事業名	山岳観光推進事業					実施方法	委託				
会計	一般会計		款	7	項	1	目	3	決算書	187	頁
総合計画	まちづくりのテーマ	第2章 活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち					後期計画掲載頁	57	頁		
	施策目標	【3】観光を主体に国内外からひとを呼び込む交流の促進									
	施策項目	①魅力ある観光地づくりの推進									
個別計画	観光振興計画										頁

対象と目的	山岳関係者との連携により、登山環境を整備（登山道等の整備、高瀬渓谷への誘客、登山口駐車場の整備、扇沢総合案内センターの開設等）し、山岳観光を推進する。										
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 登山道の整備 登山関係団体への支援 裏銀座登山バスの運行 扇沢総合案内センター（トロバス記念館）の運営 										

決算額		令和4年度	令和5年度	令和6年度			
総事業費（決算額）		39,329,599 円	9,845,773 円	11,673,148 円			
財源内訳	特定財源	33,878,000 円	5,307,830 円	8,305,620 円			
	一般財源	5,451,599 円	4,537,943 円	3,367,528 円			
予算	R6当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額
	11,732,000	1,972,000	0	-1,196,150	12,507,850	11,673,148	0
	不用額	特定財源	細節名	扇沢総合案内センター使用料	ふるさと応援募金線入金	新高瀬川発電所管理用道路通行負担金	高瀬ダム公衆電話料
834,702		金額	192,000	8,000,000	110,000	3,620	

事業の実績・成果	前年度（令和5年度）からの改善点等	あり
◆ 施策目標に資する活動		
○ 登山環境の整備 <ul style="list-style-type: none"> 登山案内標柱の作成・設置 登山関係団体への支援 登山道整備 調査への支援 山岳観光の推進に向けた関係団体への支援（負担金・補助金） 		
○ 裏銀座登山バスの運行 <ul style="list-style-type: none"> 信濃大町駅から七倉までをつなぐ登山バスを運行 		
○ 扇沢総合案内センター（トロバス記念館）の運営 <ul style="list-style-type: none"> 専任職員による観光案内や適正な施設の維持管理 		
◆ 事業の成果		
○ 登山環境の整備 <ul style="list-style-type: none"> 登山案内標柱の作成・設置 1路線 登山道の整備・調査 山小屋60日、案内人組合30日 登山関係団体への支援 8路線（うち、6路線へ整備謝礼支給、7路線へ登山道改修補助交付） 山小屋利用者（宿泊・日帰り） R4：27,034人、R5：36,669人、R6：32,859人 		
○ 裏銀座登山バスの運行 <ul style="list-style-type: none"> 運行期間 7月13日から10月14日までの72日間（8便/日） 利用者数 1,708人 		
○ 扇沢総合案内センター（トロバス記念館）の運営 <ul style="list-style-type: none"> 利用者 R4：9,814人、R5：12,632人、R6：16,827人 		
◆ 前年度からの改善点 <ul style="list-style-type: none"> 七倉・葛温泉方面への登山者利便性向上を目的とした「裏銀座登山バス」の情報発信強化 市担当者をはじめ市観光協会、山小屋事業者や登山案内人組合と連携し、SNSを活用してリアルタイムでの情報共有を行っている。 各山小屋と緊密に連絡を取り合いながら、山岳観光の振興に取り組んでいる。 		

主要な施策の成果説明書

						前年度評価	やり方改善
						事務事業No.	83
担 当 課	地域振興部	観光文化課	観光企画係				
事務事業名	滞在型観光推進事業					実施方法	負担金
会 計	一般会計			款	7	項	1
						目	3
						決算書	189
						後期計画掲載頁	57
総合計画	まちづくりのテーマ 第2章 活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち						頁
施 策 目 標	【3】観光を主体に国内外からひとを呼び込む交流の促進						
施 策 項 目	①魅力ある観光地づくりの推進						
個 別 計 画	観光振興計画						頁

対象と目的	市観光協会など観光関係者と連携し、国内外に向けたプロモーションや情報発信をはじめ、市内の主要なイベント等への支援を通じ、外貨の獲得、おもてなしの心で観光客を迎える魅力ある観光地づくりを進め、滞在型観光への転換と基幹産業となる宿泊観光業の活性化を図る。
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 各種観光プロモーションや情報発信 観光関連団体への支援 観光に精通した人材の登用による観光振興 訪日外国人の急激な増加による「オーバーツーリズム」対策

決算額		令和4年度	令和5年度	令和6年度			
総事業費（決算額）		194,640,821 円	66,922,146 円	60,380,783 円			
財源内訳	特定財源	93,671,000 円	4,978,490 円	4,871,310 円			
	一般財源	100,969,821 円	61,943,656 円	55,509,473 円			
予算	R6当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額
	62,679,000	0	0	-786,600	61,892,400	60,380,783	0
	不用額	特定財源	細節名	ふるさと応援基金	宣伝用カラー名刺台紙販売金	観光案内所利用負担金	
	1,511,617	金額	4,417,000	18,600	435,710		

事業の実績・成果		前年度（令和5年度）からの改善点等	あり
<p>◆ 施策目標に資する活動</p> <ul style="list-style-type: none"> 各種観光プロモーションや情報発信 観光関連団体を通じた効果的なプロモーションの実施 観光関連団体への支援 観光関連団体による滞在型観光の推進に向けた事業への支援 観光に精通した人材の登用による観光振興 <p>◆ 事業の成果</p> <ul style="list-style-type: none"> 各種観光プロモーションや情報発信 信濃大町なびによる情報発信・周知啓発（観光協会）、SNSを活用したプロモーション（プロモーション委員会）等 観光関連団体への支援 観光協会、プロモーション委員会、冬の観光宣伝協議会、雪まつり実行委員会等（負担金・補助金） 観光に精通した人材の登用による観光振興 観光振興アドバイザーによる事業の進捗管理 冬の観光宣伝協議会と連携した市内スキー場シャトルバスの運行時間を改善 <ul style="list-style-type: none"> ①信濃大町～日向山～爺ガ岳～鹿島槍：時間調整した結果、インバウンドの利用者が増えた。 令和4年度：6,635人 令和5年度：9,081人 令和6年度：14,691人 ②オーバーツーリズム対策「ぐるっとバス」の運行 宿泊者向けバス：1,535人 日本人 36% アジア人 38% 欧米人 26% 夕食シャトル：108人 日本人 42% アジア人 43% 欧米人 15% <p>◆ 前年度からの改善点</p> <p>急増する訪日外国人への対応として、観光庁の「オーバーツーリズムの未然防止・抑制による持続可能な観光推進事業」を活用し、白馬方面とのアクセス向上に向けた実証実験を実施するとともに、白馬エリアの訪日外国人を対象としたアンケート調査を行い、次年度以降の取組を検討するための手がかりとした。</p>			

主要な施策の成果説明書

前年度評価						やり方改善					
事務事業No.						84					
担当課	地域振興部	観光文化課	国際芸術祭推進係								
事務事業名	芸術文化振興事業					実施方法	負担金				
会計	一般会計		款	2	項	1	目	13	決算書	99	頁
総合計画	まちづくりのテーマ 第1章 ふるさとに誇りを持つひとを育むまち					後期計画掲載頁		49	頁		
	施策目標 【3】芸術・文化・スポーツに親しむ機会の充実										
	施策項目 ③地域の芸術文化の創造										
個別計画											頁

対象と目的	<ul style="list-style-type: none"> 国内外からアーティストを招聘し、地域資源を活用した芸術創作活動を支援するアーティスト・イン・レジデンスを積極的に展開し、市の新たな魅力の創造や交流を通じて、市民が身近に芸術文化に触れる機会を創造するとともに、シビックプライドの醸成を図る。 トリエンナーレとして国内外から数十組のアーティストが参加する北アルプス国際芸術祭を開催することにより、既存観光が訴求してこなかったターゲット層への強い発信による国内外からの新たな誘客を図るとともに、訪れた観光客と市民との交流の促進により将来的な「関係人口」の創出を目指す。
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> トリエンナーレとしての北アルプス国際芸術祭の開催 地域固有の芸術文化資源等の創出と発信 国内外からアーティストを招聘し、滞在制作、ワークショップ及び作品展示等の実施 市民とアーティストの交流及び市民芸術文化活動の振興

決算額		令和4年度	令和5年度	令和6年度				
総事業費（決算額）		22,150,535 円	53,976,390 円	130,853,484 円				
財源内訳	特定財源	4,956,535 円	11,928,892 円	64,697,766 円				
	一般財源	17,194,000 円	42,047,498 円	66,155,718 円				
予算	R6当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額	
	131,397,000	1,000	0	0	131,398,000	130,853,484	0	
	不用額	特定財源	細節名	金額	ふるさと応援基金繰入金	地方債	芸術文化振興基金繰入金	ふるさと寄附金ほか
	544,516			33,124,000	29,000,000	2,000,000	573,766	

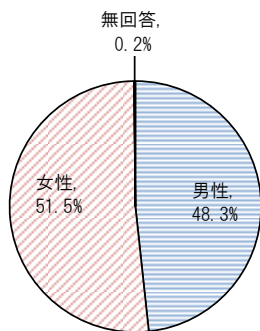
事業の実績・成果	前年度（令和5年度）からの改善点等	あり
----------	-------------------	----

◆ 施策目標に資する活動及び事業の成果

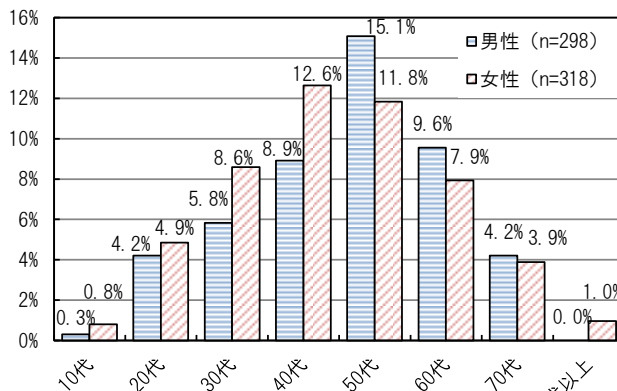
○北アルプス国際芸術祭2024

- 会期 2024年9月13日（金）～11月4日（月・祝） 53日間のうち毎週水曜日を定休日とし46日間実施
- 出展作品 11の国と地域から37組のアーティストによる作品・パフォーマンス
- 延べ来場者数 180,626人 ■来場者数（推計） 49,031人
- パスポート販売実績 パスポート：14,110枚 35,546,456円 個別鑑賞券ほか 7,285,500円
- 広報実績 新聞・雑誌・テレビ・ラジオ・CM・WEB 816本
- ボランティアサポーター 登録者数：1,329人 活動参加延べ人数：2,639人
- 連携事業 タイアップ事業：ザワメキアート展・プチ復活！信濃大町スイーツプロジェクト
パートナーシップ事業：34事業
- 美術館連携 27施設

■来場者の性別・年代



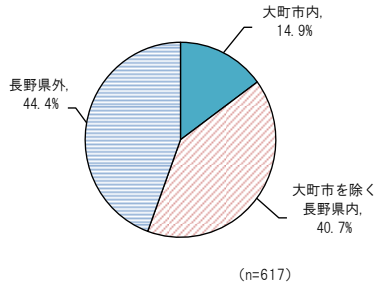
(n=617)



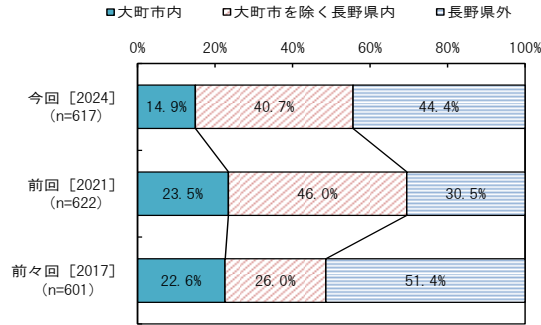
(注) 年代無回答 (n=2) の集計結果は表示していない

事業の実績・成果

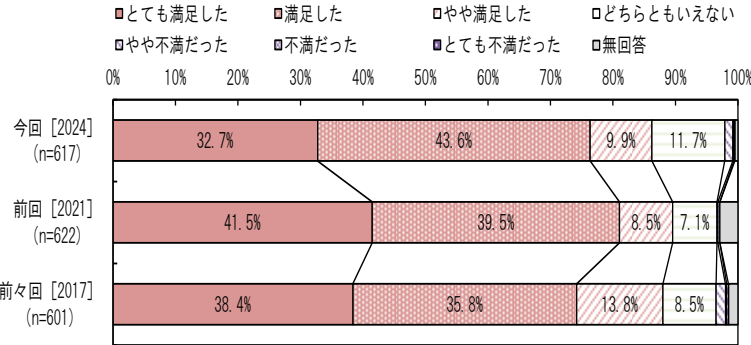
■来場者の居住地



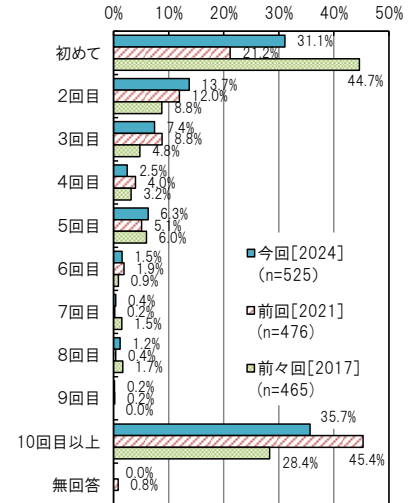
■来場者の居住地過去の比較



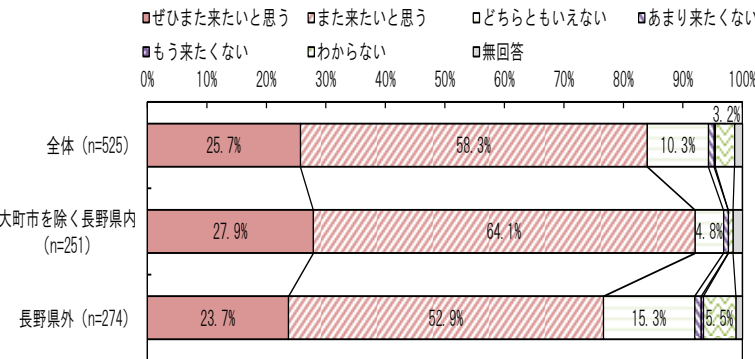
■芸術祭の満足度



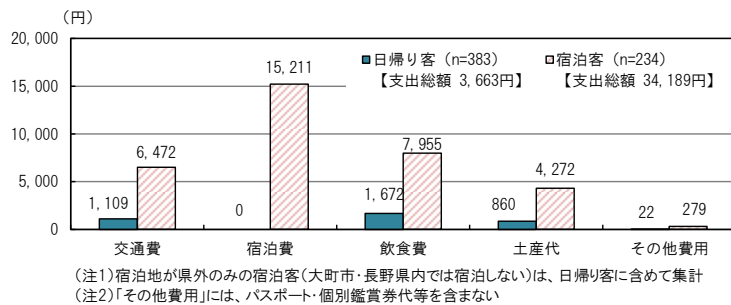
■大町市を訪れた回数（大町市民を除く）



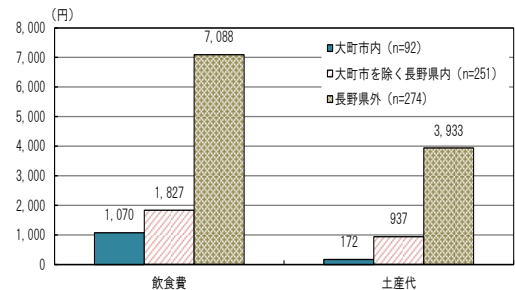
■大町市への再訪意向



■旅行日程別に見た平均消費額



■居住地別にみた平均消費額



■経済効果の分析

- ◇長野県内における経済波及効果 6.8億円 (前回4.0億円)
- ◇市内の観光消費額 3.2億円 (前回2.1億円)
- ◇日帰客一人当たり消費額 市内：3,175円 県内：3,663円 (前回 市内：3,503円 県内：4,489円)
- ◇宿泊客一人当たり消費額 市内：23,975円 県内：34,189円 (前回 市内：22,679円 県内：28,452円)

■前年度からの改善点

- ◇会期中の定休日の設定や運営時間の前倒し
- ◇サイト運営を必要最低限の人員体制としたほか、これまでに職員へ委嘱したアート担当、エリア担当は事務局にて実施
- ◇事前学習と対話型鑑賞による「子どものためのアートスタディツアー」の開催

主要な施策の成果説明書

						前年度評価	継続				
						事務事業No.	85				
担当課	建設水道部	建設課	計画係								
事務事業名	おたんじょ桜事業					実施方法	市が直接実施				
会計	一般会計		款	8	項	4	目	1	決算書	201	頁
総合計画	まちづくりのテーマ 第4章 豊かな自然を守り快適に生活できるまち					後期計画掲載頁	78		頁		
	施策目標 【2】暮らしやすい都市基盤の整備										
	施策項目 ②魅力あるまちの形成に向けた都市計画の推進										
個別計画											

対象と目的	<p>市民を挙げて次代を担う児童の出生を祝い、これを記念して桜の植樹を進め、さくらの里づくりを目指すとともに桜の名所の形成を図ることで、児童の健全育成と健康で文化的な都市環境の整備を図る。</p>										
主な実施内容	<p>○記念植樹会（毎年10月下旬～11月上旬 実行委員会主催）</p> <ul style="list-style-type: none"> 各小学校へ入学した市内の小学1年生児童を対象（植樹1本/1クラス） 樹種：オオヤマザクラ・本数：7～10本/年 <p>○桜維持管理業務（※国営公園を除く植樹箇所）</p> <ul style="list-style-type: none"> 草刈り、施肥、灌水、害虫駆除、生育調査他 										

事業費	決算額		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	総事業費（決算額）		1,284,206 円		1,676,637 円		1,392,105 円	
	財源内訳	特定財源	0 円		0 円		0 円	
一般財源		1,284,206 円		1,676,637 円		1,392,105 円		
予算	R6当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額	
	1,779,000	0	0	-88,000	1,691,000	1,392,105	0	
	不用額	特定財源	細節名					
298,895		金額						

事業の実績・成果	前年度（令和5年度）からの改善点等	なし
----------	-------------------	----

◆ 施策目標に資する活動

- 実行委員会 総会
令和6年10月2日（水） 市役所
・植樹会開催（案）について
・来年度以降の植樹会開催について
・実行委員6名出席（14名）（市議会、小学校、自治会、育成会他）



実行委員会総会

- 記念植樹 高瀬渓谷緑地公園
令和6年11月5日（火） 高瀬渓谷緑地公園
・オオヤマザクラの記念植樹 8本
・市内6小学校、市外1学校 8クラス
※11/2に予定していた児童を招いての植樹会は、荒天のため中止。
植樹は事務局が実施のうえ、役員・児童へは写真を添えて報告した。



記念植樹

◆ 事業の成果

- ・第1回の記念植樹から25年間で都市公園をはじめとする8か所の公共用地の中に417本の桜を植樹し、それぞれの場所において、まとまった桜の形成が図られている。
- ・今後の事業の方向性について、検討会議による協議を行い、今後事業の方向性を見直ししていくことで合意した。

主要な施策の成果説明書

						前年度評価	継続				
						事務事業No.	86				
担当課	建設水道部	建設課	計画係								
事務事業名	コンパクトシティ形成事業					実施方法	委託				
会計	一般会計		款	8	項	4	目	2	決算書	201	頁
総合計画	まちづくりのテーマ 第4章 豊かな自然を守り快適に生活できるまち					後期計画掲載頁		78	頁		
	施策目標 【2】暮らしやすい都市基盤の整備										
	施策項目 ②魅力あるまちの形成に向けた都市計画の推進										
個別計画	都市計画マスタープラン								48	頁	

対象と目的
 20年後の都市の姿を展望し、将来のまちのあるべき姿やまちづくりの基本的な方針を示し、本計画を用途地域や都市計画道路等の都市計画の決定や計画見直しの際の根拠とするとともに、具体的なまちづくり施策の事業化にあたっての指針として、関連する分野別計画の策定や見直しを実施していく。

主な実施内容
○大町市景観計画策定業務の運営
 ①特性と課題 ②目標と方針 ③届出等に基づく景観形成 ④届出以外に関する事項 ⑤景観形成の推進方策
 【計画策定のプロセス】
 ・検討委員会、住民懇談会、パブリックコメント、景観条例の策定ほか ・R8年4月 計画の発効（予定）
○都市計画基礎調査業務
 都市計画法第6条第1項の規定により、都市計画区域において都市計画に関連する事項の現況及び将来の見通しを概ね5年ごとに調査。県からの委託を受け実施。

決算額		令和4年度	令和5年度	令和6年度			
総事業費（決算額）		1,307,034 円	10,290,329 円	12,719,854 円			
財源内訳	特定財源	0 円	2,250,000 円	5,047,000 円			
	一般財源	1,307,034 円	8,040,329 円	7,672,854 円			
予算	R6当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額
	13,200,000	0	0	0	13,200,000	12,719,854	0
	不用額	特定財源	細節名	金額	金額		
480,146		景観改善推進事業補助金	2,175,000	2,872,000			
		都市計画基礎調査事業委託					

事業の実績・成果 前年度（令和5年度）からの改善点等 あり

◆ 施策目標に資する活動

急速な少子高齢化が進行する中、一定の人口密度に支えられてきた医療、福祉、商業などの生活サービスの提供が困難となりかねない状況下、問題解決のため、より具体的な施策を進めるべく令和4年度に「立地適正化計画」及び「緑の基本計画」を公表し、また都市計画の最上位計画であり、将来のまちのあるべき姿やまちづくりの基本的な方向性を示す「都市計画マスタープラン」を改定し、令和6年4月に公表した。

暮らしやすいまちづくり形成に向け、令和5年度からは、景観計画策定に取組み、住環境の向上など良好な景観形成を図ることを目的に作業を進める。



検討委員会

◆ 事業の成果

- ・将来像と基本方針の設定
- ・立地適正化計画における誘導区域の設定
- ・防災指針の策定
- ・緑の基本計画における緑地重点地区の設定
- ・分野別の整備方針（土地利用・道路交通・防災・環境・景観形成）
- ・地区別構想（大町・平・常盤・社・八坂・美麻）



住民懇談会

◆ 前年度からの改善点

景観計画の策定とあわせ、景観法に基づく届出制度に関する審査基準を明確にし、届出者に分かりやすく示すためのガイドラインの作成に新たに取り組むこととした。

主要な施策の成果説明書

前年度評価		継続	
事務事業No.		87	
担当課	建設水道部	建設課	計画係
事務事業名	まちなかの緑地整備事業		実施方法
会 計	一般会計	款 8 項 4	目 3 決算書 203 頁
総合計画	まちづくりのテーマ 第4章 豊かな自然を守り快適に生活できるまち		後期計画掲載頁 79 頁
総合計画	施策目標 【2】暮らしやすい都市基盤の整備		
総合計画	施策項目 ⑥潤いのある公園・緑地の整備促進		
個別計画	緑の基本計画		24 頁

対象と目的
 中心市街地の空き地等を公園的な憩いの空間へ整備するため市民団体等への支援や、ポケットパークなど公共用地を活用し、緑化整備を実施することで、中心市街地の賑わいや回遊性を創出し、住みやすく歩きたくなるまちの形成を図る。

主な実施内容
 公共用地 ポケットパーク等 11か所の維持管理・緑地の整備・親水施設の設置（ポケットパーク改修）
 (1) 植栽イベント 5月駅前周辺マリーゴールド1,500株
 (2) ワークショップの開催 5月バタフライガーデン植付・11月バタフライガーデン剪定と管理
 (3) 市内小学生によるポケットパークへの植栽
 (4) 修景施設の設置工事 1箇所
 (5) フラワーコンテナの設置 96基456株（小中学校と連携し中央通りの回遊性を創出）

決算額		令和4年度	令和5年度	令和6年度			
総事業費（決算額）		2,589,751 円	2,824,245 円	2,754,291 円			
財源内訳	特定財源	0 円	0 円	46,000 円			
	一般財源	2,589,751 円	2,824,245 円	2,708,291 円			
予算	R6当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額
	2,830,000	0	0	0	2,830,000	2,754,291	0
	不用額	特定財源	細節名				
75,709		金額	各種講座等参加費	46,000			

事業の実績・成果 前年度（令和5年度）からの改善点等 **あり**

◆ 施策目標に資する活動

- ・都市公園内の図書館横花壇をフィールドに、緑化の推進と維持管理を含めて市民も一緒になってバタフライガーデンを作りあげるため、園芸研究家講師を招き、複数回のワークショップを開催し、植栽から維持管理方法まで学ぶことで、緑化の機運を高めた。
- ・八日町ポケットパークに水場の快適性を高めるための修景施設を設置
- ・市内各小中学校によるフラワーコンテナの花苗植付と市街地中央通り（駅前～大黒町）へ植付けたコンテナを設置したことで親子でのまち歩きへ導いた。
- ・市民団体と協働によるポケットパークの植栽管理
- ・下仲町PPの水辺を活用し、魚の放流等を行うことで回遊性へと繋がった。



八日町ポケットパーク修景施設

◆ 事業の成果

- ・市民で構成される緑化団体によるポケットパークの植栽管理等の実施
- ・フラワーコンテナ設置による、本通り商店街の緑化活動への意識向上
- ・八日町・下仲町ポケットパークを中心に施設の設置や魚放流等の企画により、まちなかの回遊性を創出
- ・様々な緑化活動により、市民を巻きこみながら、緑化意識の向上を図った。



ワークショップ

◆ 前年度からの改善点

- ・芸術祭と連携した、フラワーコンテナ等の緑化活動の取り組み



下仲町ポケットパーク（魚の放流）

主要な施策の成果説明書

					前年度評価	継続					
					事務事業No.	88					
担当課	建設水道部	建設課	維持管理係								
事務事業名	雪害対策事業				実施方法	委託					
会計	一般会計		款	8	項	2	目	4	決算書	199	頁
総合計画	まちづくりのテーマ 第4章 豊かな自然を守り快適に生活できるまち				後期計画掲載頁		80			頁	
	施策目標 【2】暮らしやすい都市基盤の整備										
	施策項目 ⑦安全で快適な道路整備・維持管理										
個別計画											

対象と目的	<ul style="list-style-type: none"> 市道(幹線道路、歩道を含む生活道路)の除排雪及び凍結防止剤散布 除排雪及び凍結防止剤散布による安全・安心な交通確保 										
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 市道867kmの内除雪延長424km (大町地区326km 美麻地区48km 八坂地区50km) 市道・国道の歩道除雪延長47km (大町地区 43km 美麻地区 4km) 除雪委託業者69者 (業者46社 自治会23者) 業者等への貸与する除雪機械の購入 (除雪ドーザ8 t級1台) 										

事業費	決算額		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	総事業費(決算額)		220,288,479 円		318,489,785 円		401,783,209 円	
	財源内訳	特定財源	23,035,000 円		58,962,000 円		52,530,000 円	
一般財源		197,253,479 円		259,527,785 円		349,253,209 円		
予算	R6当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額	
	142,730,000	259,287,000	0	0	402,017,000	401,783,209	0	
	不用額	特定財源	細節名	社会資本整備総合交付金(除雪)	社会資本整備総合交付金(除雪機械)			
233,791		金額	43,100,000	9,430,000				

事業の実績・成果

前年度(令和5年度)からの改善点等 あり

◆ 施策目標に資する活動

除排雪及び凍結防止剤散布委託料等調

項目	地区	R04	R05	R06
業者数	大町	57	57	57
	美麻	8	8	8
	八坂	4	4	4
	計	69	69	69
	前年対比	-1.43%	0.00%	0.00%
除雪延長(km)	大町	368.5	368.5	368.5
	美麻	51.7	51.7	51.7
	八坂	50.1	50.1	50.1
	計	470.3	470.3	470.3
	前年対比	0.00%	0.00%	0.00%
委託料(千円)	大町	156,217	183,711	287,822
	美麻	39,771	44,607	80,282
	八坂	5,044	8,283	8,168
	計	201,032	236,601	376,272
	前年対比	-57.06%	17.69%	59.03%

除雪機貸与台数(事業者・自治会)

除雪ドーザ/ロータリー	ロータリー除雪車(大)	ロータリー除雪車(小)	ハンドガイド式ロータリー除雪車	凍結防止剤散布車
27	2	2	29	2

◆ 前年度からの改善点

- 除雪機械の増強 : 除雪ドーザ8 t級1台増(社資本 防災・安全(雪寒)交付金事業)

主要な施策の成果説明書

						前年度評価	継続				
						事務事業No.	89				
担当課	建設水道部	建設課	維持管理係								
事務事業名	公園管理事業					実施方法	委託				
会計	一般会計		款	8	項	4	目	3	決算書	201	頁
総合計画	まちづくりのテーマ	第4章 豊かな自然を守り快適に生活できるまち					後期計画掲載頁		79	頁	
	施策目標	【2】暮らしやすい都市基盤の整備									
	施策項目	⑥潤いのある公園・緑地の整備促進									
個別計画	公園施設長寿命化計画									頁	
対象と目的	<ul style="list-style-type: none"> 市内公園のうち12公園の維持管理 都市公園(6箇所)：大町公園、西公園、高瀬渓谷緑地公園、大町文化公園、駅前広場公園、やしろ公園 その他公園(6箇所)：青島公園、木崎湖園地、市民の森、八日町PP、五日町PP、山下PP 公園利用者に利便や快適性を与え、安全に公園を利用していただくための適切な維持管理された公園 公園の維持管理を適切に行うことにより、市民が安心して使用ができ、やすらぎと潤い(憩い)をあたえる公園 										
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 公園施設長寿命化計画に基づく、遊具、建物等の計画的な更新 有資格者による遊具の点検、巡回パトロールによる日常点検、植栽帯等の施設の維持管理の実施 市民ボランティア団体との協働による美化活動等の推進 防犯カメラ等を利用した防犯対策の強化 										

決算額		令和4年度	令和5年度	令和6年度			
総事業費(決算額)		30,531,553 円	49,410,716 円	49,370,518 円			
財源内訳	特定財源	0 円	16,220,816 円	14,179,846 円			
	一般財源	30,531,553 円	33,189,900 円	35,190,672 円			
予算	R6当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額
	44,239,000	0	15,000,000	913,000	60,152,000	49,370,518	10,105,000
	不用額	特定財源	細節名	繰越明許費都市公園安全・安心対策事業	都市公園安全・安心対策事業	公園使用料ほか	北アルプス山麓仁科の里整備基金
676,482	金額	7,500,000	2,400,000	279,846	4,000,000		

事業の実績・成果		前年度(令和5年度)からの改善点等	なし
◆ 施策目標に資する活動			
<ul style="list-style-type: none"> 公園遊具、建物等の施設の維持修繕 <ul style="list-style-type: none"> 文化公園ほか6公園のベンチほか24施設の修繕 公園遊具の定期点検 <ul style="list-style-type: none"> 年1回：有資格者による点検の実施、月1回：職員による点検の実施 公園植栽帯の管理 <ul style="list-style-type: none"> 4月から11月まで8公園について、造園業者に植栽帯の管理委託 他の公園については、職員による直営作業又は手数料等により対応 			
◆ 事業の成果			
<ul style="list-style-type: none"> 大町市公園施設長寿命化計画の策定(R5.10月)、大町市都市公園台帳の作成の実施 老朽化し破損した公園遊具、建物等の24施設について修繕工事を実施し、健全で安全な施設となった。 駅前広場公園においては、コロナ禍の終息に伴い公園を使用した催しや、キッチンカー等の利用により、今後も市民が公園に足を運び利用する機会が多くなると見込まれる。 			

主要な施策の成果説明書

						前年度評価	継続				
						事務事業No.	90				
担当課	建設水道部	建設課	建設係								
事務事業名	道路維持管理事業					実施方法	その他				
会計	一般会計		款	8	項	2	目	2	決算書	195	頁
総合計画	まちづくりのテーマ 第4章 豊かな自然を守り快適に生活できるまち					後期計画掲載頁		80	頁		
	施策目標 【2】暮らしやすい都市基盤の整備										
	施策項目 ⑦安全で快適な道路整備・維持管理										
個別計画	「舗装長寿命化修繕計画」、「橋梁長寿命化修繕計画」、「トンネル等長寿命化修繕計画」										

対象と目的
 幹線道路及び生活道路（総延長約866km）の安全で快適な移動の確保と防災・減災機能の維持、及び舗装、道路施設等の延命化を図る。

主な実施内容
 幹線道路については、「舗装長寿命化修繕計画」に基づき計画的に修繕を実施する。また、比較的交通量の少ない生活道路については、日常点検や地域要望等を踏まえ、道路施設（路面排水施設等）を含め緊急度等に応じ修繕を実施する。
 橋梁やトンネル等の重要構造物については、「橋梁・トンネル等長寿命化修繕計画」に基づき計画的に延命予防補修を実施するとともに、5年サイクルの全箇所点検（橋梁332、トンネル等7）及び長寿命化計画の見直しを図る。

決算額		令和4年度	令和5年度	令和6年度			
総事業費（決算額）		247,554,800 円	215,784,148 円	246,029,830 円			
財源内訳	特定財源	115,417,341 円	125,317,881 円	143,877,530 円			
	一般財源	132,137,459 円	90,466,267 円	102,152,300 円			
予算	R6当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額
	204,123,000	-500,000	53,105,000	2,148,616	258,876,616	246,029,830	0
	不用額	特定財源	細節名	道路メンテナンス事業補助金（繰越分含む）	過疎対策事業債	北アルプス山麓仁科の里基金繰入金	道路使用料、社会資本整備総合交付金
12,846,786		金額	24,303,000	53,000,000	42,000,000	24,574,530	

事業の実績・成果 前年度（令和5年度）からの改善点等 なし

◆ 施策目標に資する活動

- 舗装修繕工事（幹線道路）
 泉36号線（泉）ほか6路線 L=1,272m
- 舗装及び道路施設小規模修繕
 N=125箇所
- 橋梁修繕事業（重要構造物）
 H-13-2橋（猫鼻）予防補修工事 1式
 大出橋（野口）予防補修設計 1式
 ・ 令和5年度からの繰越路線
 片岡2号橋（片岡）ほか2橋 予防補修工事 1式
 トンネル定期点検及び長寿命化修繕計画策定業務 1式

◆ 事業の成果

泉36号線舗装修繕工事



施工前



施工後

主要な施策の成果説明書

						前年度評価	継続				
						事務事業No.	91				
担当課	建設水道部	建設課	建設係								
事務事業名	交通安全施設整備事業					実施方法	その他				
会計	一般会計		款	8	項	2	目	2	決算書	195	頁
総合計画	まちづくりのテーマ 第4章 豊かな自然を守り快適に生活できるまち					後期計画掲載頁		80	頁		
総合計画	施策目標 【2】暮らしやすい都市基盤の整備										
総合計画	施策項目 ⑦安全で快適な道路整備・維持管理										
個別計画	「大町市通学路交通安全プログラム」										

対象と目的	幹線道路、生活道路（主に通学路）の安心・安全な歩行者・自転車通行空間の確保									
主な実施内容	<p>通学路については、大町市通学路安全推進会議（教育委員会、小学校、警察、道路管理者）による合同点検及び「大町市通学路交通安全プログラム」の見直し（年1回）を踏まえ、計画的に歩道整備を推進するとともに、ガードボスの設置やグリーンベルト・路面標示の再塗装、危険なブロック塀の撤去補助等の交通安全施設整備を実施</p> <p>その他の路線については、日常点検や地域要望等を踏まえ、緊急度等に応じ各種交通安全施設整備を実施</p>									

決算額		令和4年度	令和5年度	令和6年度			
総事業費（決算額）		22,671,871 円	62,368,449 円	23,505,214 円			
財源内訳	特定財源	0 円	46,500,000 円	20,500,000 円			
	一般財源	22,671,871 円	15,868,449 円	3,005,214 円			
予算	R6当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額
	47,902,000	-8,300,000	0	-2,148,616	37,453,384	23,505,214	9,500,000
	不用額	特定財源	細節名				
4,448,170		金額	北アルプス山麓仁科の里整備基金繰入金				
		20,500,000					

事業の実績・成果	前年度（令和5年度）からの改善点等	なし
----------	-------------------	----

◆ 施策目標に資する活動

○交通安全施設整備

神栄町三日町線（神栄町） 歩車道境界ブロック修繕 n=50箇所
 市内一円 区画線更新 L=1,140m
 野口源汲線ほか（野口ほか） 歩車共存道路整備工事 A=300㎡

○交通安全施設修繕

N=28箇所

◆ 事業の成果

歩車共存道路整備工事



施工前



施工後

主要な施策の成果説明書

前年度評価						継続		
事務事業No.						92		
担当課	建設水道部	建設課	建設係			実施方法		その他
事務事業名	道路新設改良事業					後期計画掲載頁		80
会計	一般会計		款	8	項	2	目	3
総合計画	まちづくりのテーマ 第4章 豊かな自然を守り快適に生活できるまち					決算書	197	頁
総合計画	施策目標 【2】暮らしやすい都市基盤の整備					後期計画掲載頁	80	頁
総合計画	施策項目 ⑦安全で快適な道路整備・維持管理							
個別計画	「狭あい道路整備促進計画」							

対象と目的	幹線道路・生活道路の安全で快適な移動の確保と防災・減災機能の向上、及び円滑な道路ネットワークを構築する。
主な実施内容	「狭あい道路整備促進計画」及び日常点検、地域要望等を踏まえ、計画的に道路拡幅改良事業を実施する。

決算額		令和4年度	令和5年度	令和6年度			
総事業費（決算額）		64,272,706 円	30,072,317 円	23,316,092 円			
財源内訳	特定財源	32,706,000 円	20,859,000 円	14,100,000 円			
	一般財源	31,566,706 円	9,213,317 円	9,216,092 円			
予算	R6当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額
	63,005,000	-17,000,000	3,500,000	0	49,505,000	23,316,092	22,310,000
	不用額	特定財源	細節名				
3,878,908		金額	過疎対策事業債		14,100,000		

事業の実績・成果	前年度（令和5年度）からの改善点等	なし
----------	-------------------	----

◆ 施策目標に資する活動

○道路改良工事（R7年度へ繰越）

王子裏いものし原線（俵町） W=5.0m L=78m

○道路改良委託

王子裏いものし原線（俵町） 路線測量 L=180m

一宇田1号線（青貝） 路線測量 L=140m

上-25号線（上一） 用地測量 L=16m

宮本1号線（宮本） 路線測量 L=210m

◆ 事業の成果

王子裏いものし原線道路改良工事



施工前



施工後

主要な施策の成果説明書

						前年度評価	継続				
						事務事業No.	93				
担当課	建設水道部	建設課	建設係								
事務事業名	仁科三湖周辺整備事業					実施方法	その他				
会計	一般会計		款	8	項	4	目	3	決算書	203	頁
総合計画	まちづくりのテーマ 第4章 豊かな自然を守り快適に生活できるまち					後期計画掲載頁		78	頁		
	施策目標 【2】暮らしやすい都市基盤の整備										
	施策項目 ②魅力あるまちの形成に向けた都市計画の推進										
個別計画											

対象と目的	木崎湖周遊ルート整備構想及び地域要望に基づき、木崎湖北端の農地沿線の道路拡幅と休憩スポット整備により、観光的利活用の推進とともに営農及び生活道路の安全性の向上を図る。									
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 道路拡幅改良事業 市道東西海ノ口下線 W=3.0m (待避所W=4.5m) L=516m 休憩スポット整備事業 市道東西海ノ口下線沿線 1箇所 A=900㎡ 									

事業費	決算額		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	総事業費(決算額)		10,879,000 円		19,756,000 円		13,299,000 円	
	財源内訳	特定財源	10,800,000 円		19,756,000 円		11,000,000 円	
一般財源		79,000 円		0 円		2,299,000 円		
予算	R6当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額	
	22,000,000	-1,500,000	0	-458,000	20,042,000	13,299,000	6,000,000	
	不用額	特定財源	細節名					
743,000		金額	11,000,000					

事業の実績・成果	前年度(令和5年度)からの改善点等	なし
----------	-------------------	----

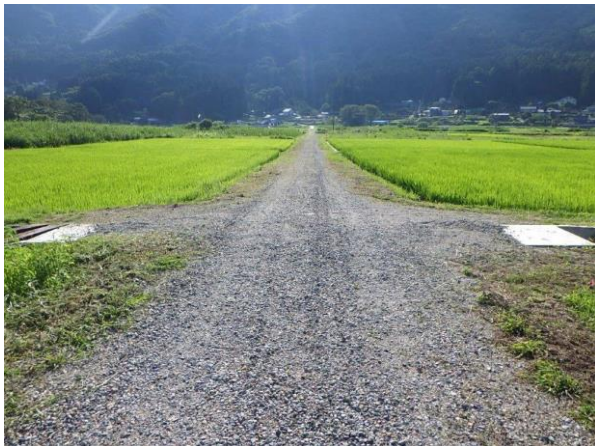
◆ 施策目標に資する活動

○ 道路拡幅改良工事

東西海ノ口下線(海ノ口) W=3.0~4.5m L=412.9m

◆ 事業の成果

東西海ノ口下線道路拡幅改良工事



施工前



施工後

主要な施策の成果説明書

						前年度評価	継続				
						事務事業No.	94				
担当課	建設水道部	建設課	農地整備係								
事務事業名	農業用施設管理事業					実施方法	委託				
会計	一般会計		款	6	項	2	目	1	決算書	173	頁
総合計画	まちづくりのテーマ 第4章 豊かな自然を守り快適に生活できるまち					後期計画掲載頁		75	頁		
	施策目標 【1】自然と共生した環境の創造										
	施策項目 ①自然環境の保全と共生										
個別計画											

対象と目的

整備された市内における農地において耕作に従事をする農業者については、種まきから収穫までの通常作業に加え、水稲などにおいては、日々の灌水作業など大きな負担となっている。また、全国的にも高齢化が進んでおり、担い手不足も拍車をかけている。

本事業については、これら農業者の作業に係る負担の軽減と生産効率を上げるため、老朽化し、通常の機能を果たしていない農業用施設の改修や改築を行い、また、小規模な区画の農地を大きくし、農業経営の安定化を図る。

主な実施内容

- ・農業用施設工事
- ・緊急修繕工事
- ・県営上原地区ほ場整備事業 負担金事業
(全体事業費10億円 負担割合：国55%、県27.5%、市10%、地元7.5%)

決算額		令和4年度	令和5年度	令和6年度			
総事業費(決算額)		63,237,405 円	96,165,915 円	78,645,366 円			
財源内訳	特定財源	45,886,000 円	71,337,100 円	42,871,392 円			
	一般財源	17,351,405 円	24,828,815 円	35,773,974 円			
予算	R6当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額
	68,355,000	-11,930,000	24,000,000	0	80,425,000	78,645,366	0
	不用額	特定財源	細節名	土地改良事業負担金	水路使用料	北アルプス山麓仁科の里整備基金	農業施設改良事業債
1,779,634		金額	13,852,460	818,932	13,500,000	14,700,000	

事業の実績・成果 前年度(令和5年度)からの改善点等 なし

◆ 施策目標に資する活動

○ 農業用施設改修工事

第5次総合計画の中の、環境に配慮した工業用水や農業用水等の確保・支援として、自治会、農家組合、土地改良区などの要望及び降雨等の自然災害の影響により被害を受けた農業施設の改修工事を実施

【着工前】



【しゅん工】



令和5年度 農業基盤整備促進事業 二重地区暗渠排水工事

◆ 事業の成果

- 県営事業により、上原地区でのほ場田再編事業に取り組み、第5次総合計画記載の農地・施設の機能保全及び基盤整備事業を促進した
- 農業基盤整備促進事業により、二重地区で圃場整備後の暗渠排水工の整備を行った
- 老朽化した農業用水路網の効率的な維持保全として、農業用施設改修工事や緊急修繕工事といった老朽化水路の改修要望、自然災害に伴う緊急修繕に対応した

◆ 前年度からの改善点

無し

主要な施策の成果説明書

前年度評価						継続	
事務事業No.						95	
担当課	建設水道部	建設課	農地整備係			実施方法	
事務事業名						水路維持改良事業	
会計						目	1
一般会計						決算書	頁
款						8	項
						3	
後期計画掲載頁						73	頁
総計						73	
まちづくりのテーマ						第3章 だれもが健康で安心して暮らせるまち	
施策目標						【4】市民生活の安全の確保	
施策項目						②災害に強いまちづくりの推進	
個別計画							

対象と目的
 市が管理する山腹上流部より流れ出る普通河川や市街地を流れる小水路については、農地の他住宅が点在をする市街地を流れ、下流部において、雨水渠などの大きめの水路に集まり、(一)級河川へと流れ出ている。これらの水路が、老朽化や豪雨などの影響により溢水を起こしてしまうと、下流域の宅地や農地に侵入することとなり、市民の財産や生命を守るためにも、日頃より老朽化した水路の修繕や改築を行い、豪雨など市民を脅かす災害に備える

主な実施内容
 ・市が管理する河川及び市街地における水路の改修・修繕工事を実施する
 水路改良工事 6箇所
 水路修繕工事 16箇所

決算額		令和4年度	令和5年度	令和6年度			
総事業費(決算額)		20,449,100 円	16,797,910 円	17,158,268 円			
財源内訳	特定財源	0 円	10,000,000 円	0 円			
	一般財源	20,449,100 円	6,797,910 円	17,158,268 円			
予算	R6当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額
	19,083,000	0	0	0	19,083,000	17,158,268	0
	不用額	特定財源	細節名				
1,924,732		金額					

事業の実績・成果 前年度(令和5年度)からの改善点等 なし

◆ 施策目標に資する活動

○水路改良工事 実施【令和6年度 水路維持改良事業 水路改良工事 市道大新田6号線】
 着工前 しゅん工



◆ 事業の成果

○水路改良工事6箇所実施
 第5次総合計画の災害に強いまちづくりの推進及び生活道路の整備や安全の確保として、水路の更新を実施し、浸水被害の低減・解消が図られた

◆ 前年度からの改善点

- ・材料などの選定時、能力が同等で経済的に比較を行い、安価な材料(例:ポリパイプ)を採用
- ・維持管理を低減するため、水路の土砂上げや草刈りなど土地改良区職員と協力して作業を実施

主要な施策の成果説明書

						前年度評価	継続				
						事務事業No.	96				
担当課	建設水道部	建設課	建築住宅係								
事務事業名	住宅・建築物耐震化推進事業					実施方法	補助金				
会計	一般会計		款	8	項	4	目	4	決算書	203	頁
総合計画	まちづくりのテーマ 第3章 だれもが健康で安心して暮らせるまち					後期計画掲載頁		73	頁		
	施策目標 【4】 市民生活の安全の確保										
	施策項目 ②災害に強いまちづくりの推進										
個別計画	耐震改修促進計画										

対象と目的	<ul style="list-style-type: none"> ・昭和56年以前に建設された住宅・建築物の耐震診断 ・所有者が行う耐震改修工事に要する費用に対し、補助金を交付する。 ・耐震化することにより、市民の生命及び財産を守る。 ・耐震化することにより、震災による被害を最小限にする。 										
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・住宅耐震診断 昭和56年以前に建設した木造在来工法の住宅の耐震診断 所有者負担なし 診断件数 51件 ・住宅耐震改修 診断の結果、耐震改修が必要と判断された住宅の耐震補強工事又は除却工事への補助 耐震補強補助件数 9件、除却補助件数 13件 ・ブロック塀等撤去 避難路等に面する危険なブロック塀等の撤去工事への補助 撤去補助件数 3件 										

事業費	決算額		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	総事業費（決算額）		5,692,000 円		9,134,000 円		22,695,000 円	
	財源内訳	特定財源	4,041,750 円		6,767,750 円		16,941,000 円	
一般財源		1,650,250 円		2,366,250 円		5,754,000 円		
予算	R6当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額	
	10,000,000	12,630,000	0	65,000	22,695,000	22,695,000	0	
	不用額	特定財源	細節名	住宅・建築物耐震改修等事業補助金(国)	住宅・建築物耐震改修促進事業補助(県)			
0		金額	11,346,000	5,595,000				

事業の実績・成果						前年度（令和5年度）からの改善点等					なし
◆ 施策目標に資する活動											
<ul style="list-style-type: none"> ○ 市ホームページ、広報紙（4月号）による補助事業案内 ○ 広報誌（8月号）によるブロック塀などの安全点検案内 ○ 耐震事業制度案内チラシ 窓口配布 ○ 耐震事業制度案内通知 固定資産税納入通知書に同封（10,000件） ○ 耐震診断結果の報告時に補助金制度の説明を実施 											
◆ 事業の成果											
項目 \ 年度	H16~27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6	合計
住宅耐震診断	219	6	9	20	18	17	20	15	23	51	398
住宅耐震改修(補強)	36	2	2	5	7	4	6	4	2	9	77
住宅耐震改修(除却)									7	13	20
ブロック塀等撤去								7	3	3	13
○ 令和6年度より耐震改修補助事業に追加された、除却補助によって住宅耐震改修の件数が増加した。											
◆ 前年度からの改善点 無し											

主要な施策の成果説明書

						前年度評価	継続				
						事務事業No.	97				
担当課	建設水道部	建設課	建築住宅係								
事務事業名	ゼロカーボン住宅推進リフォーム支援事業					実施方法	補助金				
会計	一般会計		款	8	項	4	目	4	決算書	205	頁
総合計画	まちづくりのテーマ 第4章 豊かな自然を守り快適に生活できるまち					後期計画掲載頁		84	頁		
	施策目標 【3】 快適な生活環境の形成										
	施策項目 ④住宅環境の向上										
個別計画											
対象と目的	<p>持続可能な地域内循環に寄与する脱炭素社会の実現及び健康で快適かつ災害に強い住まいづくりを目指し、家庭部門における二酸化炭素排出量の削減を図るため、市民が市内の建設事業者に依頼して行う「ゼロカーボン推進工事」及び「防災減災外構工事」に要する費用に対し、補助金を交付する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 住宅のゼロカーボン推進を図るリフォーム工事を支援することで、家庭部門における二酸化炭素排出量の削減を図る。 住宅の防災減災につながる外構工事を支援することで、災害に強い住まいづくりを目指す。 住宅の性能向上等を図るリフォーム工事を支援することで、市内経済の活性化に寄与する。 										
主な実施内容	<p>「ゼロカーボン推進工事」（省エネルギー型、環境負荷低減型、防災型）、及び「防災減災外構工事」を、市内の建設事業者に依頼して行う場合、その経費の一部を補助する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ゼロカーボン推進工事 補助率：20%、限度額：200千円（居住誘導区域内は300千円） 防災減災外構工事 補助率：20%、限度額：200千円（居住誘導区域内は300千円） <p>※補助金最大合計額：400千円（居住誘導区域内は600千円）</p>										

事業費	決算額		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	総事業費（決算額）		円		30,036,000 円		25,193,000 円	
	財源内訳	特定財源	円		4,233,000 円		1,164,000 円	
一般財源		0 円		25,803,000 円		24,029,000 円		
予算	R6当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額	
	25,000,000	5,000,000	0	393,000	30,393,000	25,193,000	5,000,000	
	不用額	特定財源	細節名	重点支援地方創生臨時交付金				
200,000		金額	1,164,000					

事業の実績・成果					前年度（令和5年度）からの改善点等		なし		
◆ 施策目標に資する活動									
○ 市ホームページ、広報紙（4月号）による補助事業案内									
◆ 事業の成果									
安心・安全住宅支援事業	年度	交付件数	交付額累計	平均交付額	補助対象額累計	平均対象額	効果倍率	受付終了日	
	R2	167 件	28,629 千円	171,431 円	198,391,301 円	1,187,971 円	6.93 倍	通年	
	R3	137 件	24,770 千円	180,802 円	176,685,087 円	1,289,672 円	7.13 倍	通年	
	R4	150 件	24,949 千円	166,326 円	173,056,860 円	1,153,712 円	6.94 倍	R4.2.10	
計	454 件	78,348 千円	172,572 円	548,133,248 円	1,207,341 円	7.00 倍			
ゼロカーボン住宅推進力向上事業	年度	交付件数	交付額累計	平均交付額	補助対象額累計	平均対象額	効果倍率	受付終了日	
	R5	153 件	30,036 千円	196,313 円	199,144,844 円	1,301,600 円	6.63 倍	R5.11.1	
	R6	121 件	25,193 千円	208,206 円	169,923,555 円	1,404,326 円	6.74 倍	R6.8.21	
	R7								
計	274 件	55,229 千円	201,565 円	369,068,399 円	1,346,964 円	6.69 倍			
○ゼロカーボン住宅推進リフォーム支援事業類型別状況									
種別	主たる工事内容				R5	R6	R7	合計	割合(%)
省エネ型	断熱材の敷設・葺替え・塗装による断熱化・窓・ガラの断熱化				71	56		127	46.4
	高効率給湯器・高断熱浴槽の設置				46	39		85	31.0
	節水型洋式トイレ・まきストーブ、ソーラー発電、暖房ボイラーの設置				20	13		33	12.0
防災型	壁・柱・基礎等の補強工事				0	0		0	0.0
	屋根の葺き替え（防災瓦・軽量化）、防火・落雪防止対策				0	0		0	0.0
環境負荷低減型	下水道接続及び下水道接続に伴う設備改修工事				9	10		19	6.9
	合併浄化槽設置に伴う水洗化及び機械設備改修工事				1	0		1	0.4
防災減災外構工事				6 (8)	3 (8)		9 (16)	3.3	
計				153	121		274	100.0	
◆ 前年度からの改善点									
無し									

主要な施策の成果説明書

前年度評価	継続
事務事業No.	98

担当課	建設水道部	建設課	建築住宅係	実施方法	市が直接実施
事務事業名	住宅管理費			目	1
会計	一般会計	款	8	項	5
総合計画	まちづくりのテーマ 第4章 豊かな自然を守り快適に生活できるまち			後期計画掲載頁	84
個別計画	公営住宅等長寿命化計画			決算書	205
施策目標	【3】快適な生活環境の形成			頁	
施策項目	④住宅環境の向上			頁	

対象と目的	<ul style="list-style-type: none"> ・市営住宅 住宅に困窮する低所得者に低廉な家賃で賃貸する。 ・雇用促進住宅 勤労者に住宅を賃貸する。 ・生活の安定と社会福祉の増進に寄与する。 ・勤労者の生活及び就業の安定を図る。 ・適切な維持管理を行う。 ・大町市公営住宅等長寿命化計画に基づく住宅の整理統合、施設改修等を計画的に実施する。
-------	---

主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・用途廃止団地（大原2号、借馬団地）における入居者移転事務 ・公営住宅ストック改善事業事務（大新田団地等改修工事に向けた設備改修設計） ・譲渡予定の戸建て住宅に関する入居者への意向調査、用地測量、建物表題登記、不動産鑑定 ・外部塗装及び給湯器等設備修繕など機能維持修繕 ・除草及び樹木伐採や排水管路点検清掃など維持管理 ・入居者募集及び入退居手続き、入居者相談対応等事務
--------	--

事業費	決算額		令和4年度	令和5年度	令和6年度		
	総事業費（決算額）		68,925,168 円	109,608,237 円	34,644,808 円		
	財源内訳	特定財源	68,925,168 円	109,608,237 円	34,644,808 円		
一般財源		0 円	0 円	0 円			
予算	R6当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額
	44,144,000	-7,237,000	0	-51,920	36,855,080	34,644,808	0
	不用額	特定財源	細節名	金額	用地測量等業務費負担金	市営住宅使用料	雇用促進住宅使用料
2,210,272			1,273,891		2,015,000	27,843,000	3,512,917

事業の実績・成果	前年度（令和5年度）からの改善点等	なし
----------	-------------------	----

◆ 施策目標に資する活動

○ 用途廃止に向けての入居者移転等状況

団地名	管理戸数	廃止戸数	用途廃止予定時期	移転等戸数							R6末入居戸数	R6末入居率
				H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6		
大原2号	90戸	90戸	令和4年度末	3戸	13戸	7戸	21戸	4戸	0戸	0戸	4戸	4.44%
借馬	180戸	109戸	令和7年度末	3戸	20戸	12戸	7戸	7戸	6戸	5戸	36戸	33.03%

○ 住宅性能向上への取組み（リフォーム工事）

工事名 大新田団地等改修工事（令和7年度工事、令和6年度改修設計）
 施工団地 大新田団地 6棟 10戸(3DK)
 借馬団地 2棟 2戸(5DK、2DK)、中原団地 1棟 1戸(3DK)
 施工内容 ユニットバス、ガス給湯器、換気扇、洗面化粧台、手すり等の設置
 事業費 31,200千円



ユニットバス



洗面化粧台



換気扇

○ 雇用促進住宅の入居状況

	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6
入居戸数	46戸	51戸	63戸	67戸	69戸	73戸	75戸	72戸	76戸	78戸	75戸	72戸
入居率	57.5%	63.8%	78.8%	83.8%	86.3%	91.3%	93.8%	90.0%	95.0%	97.5%	93.8%	90.0%

※管理戸数80戸

◆ 前年度からの改善点

無し

主要な施策の成果説明書

		前年度評価		継続	
担 当 課	建設水道部	上下水道課	施設係・経理係	事務事業No.	100
事務事業名	温泉供給事業			実施方法	その他
会 計	一般会計	款	7	項	1
目	4	決算書		頁	
総合計画	まちづくりのテーマ 第4章 豊かな自然を守り快適に生活できるまち			後期計画掲載頁	76
施 策 目 標	【1】自然と共生した環境の創造				
施 策 項 目	③安定した温泉の供給				
個 別 計 画					

対象と目的

温泉利用者が、将来にわたって常時安心して利用できる安定供給体制の維持と事業運営の継続による重要な資源である温泉を有効活用し、市の観光振興と市民福祉の向上を目的としている。

主な実施内容

- ・上原地区の利用者へ毎分40.5リットル、高瀬分譲地の利用者へ毎分145.5リットルの温泉を供給する。
- ・温泉の安定供給を維持するため、施設の日常点検等を通じ適切な管理を行う。
- ・温泉事業の基となる源泉の保全と自家発電設備等の施設更新を行う。

事業費	決算額		令和4年度	令和5年度	令和6年度		
	総事業費（決算額）			52,337,319 円	60,619,422 円	57,706,230 円	
財源内訳	特定財源			50,995,250 円	59,449,950 円	34,300,000 円	
	一般財源			1,342,069 円	1,169,472 円	23,406,230 円	
予算	R6当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額
	61,403,000	-2,000,000	0	0	59,403,000	57,706,230	0
	不用額	特定財源	細節名				
	1,696,770		温泉配湯管整備事業債				
		金額	34,300,000				

事業の実績・成果

前年度（令和5年度）からの改善点等

なし

◆ 施策目標に資する活動

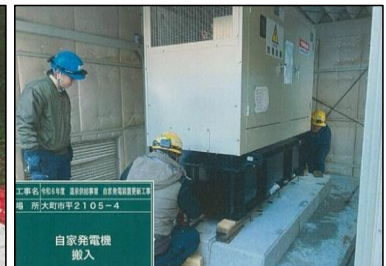
利用者に安定して温泉を供給するため、施設の日常点検を通じて施設の状況を把握し、必要に応じて修繕を実施するとともに、施設の計画的な更新に努めた。

自家発電設備更新工事

- ① 施設の維持管理
 - ・施設の日常点検 年間240日
 - ・電気計装設備点検 年1回
- ② 温泉供給の安定化
 - ・平成の湯源泉自家発電設備更新工事 1基
 - ・新第二源泉揚湯ポンプ購入 1基
 - ・温泉給湯管布設工事 1件
 - ・配湯管漏湯緊急修繕工事 1件
 - ・流量管理装置修繕工事 1件



(既存撤去)



(搬入)

配湯管修繕工事



(修繕前)



(修繕後)

◆ 事業の成果

- ・上原地区温泉供給量
契約口数27口 40.5ℓ/分
- ・高瀬分譲地温泉供給量
契約口数97口 145.5ℓ/分
- ・温泉郷配湯管更新率
91.6%

主要な施策の成果説明書

						前年度評価	継続			
						事務事業No.	104			
担当課	建設水道部	上下水道課	施設係							
事務事業名	合併処理浄化槽設置推進事業					実施方法	補助金			
会計	一般会計		款	4	項	2	目	1	決算書	頁
総合計画	まちづくりのテーマ	第4章 豊かな自然を守り快適に生活できるまち				後期計画掲載頁	84	頁		
	施策目標	【3】快適な生活環境の形成								
	施策項目	⑤下水道の整備と水洗化の促進								
個別計画	大町市生活排水処理基本計画（第2期）									頁

対象と目的	個別処理区域（下水道処理区域外）における市民及び事業所を対象に、浄化槽の設置及び管理に関わる経費の補助を行い、水洗化による生活環境の改善及び快適性維持や公共用水域の水質保全を目的としている。
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 浄化槽設置事業補助金交付（下水道区域外の建物に設置する浄化槽費用の一部を助成） 浄化槽管理事業補助金交付（浄化槽管理組合員のうち保守点検事業申込者に対し、保守点検費用上限2万円助成）

事業費	決算額		令和4年度	令和5年度	令和6年度		
	総事業費（決算額）		50,586,076 円	51,283,927 円	60,640,947 円		
	財源内訳	特定財源	9,353,000 円	4,998,000 円	8,635,000 円		
一般財源		41,233,076 円	46,285,927 円	52,005,947 円			
予算	R6当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額
	62,143,000	-1,000,000	0	0	61,143,000	60,640,947	0
	不用額	特定財源	細節名	循環型社会形成推進交付金（国庫補助金）	合併処理浄化槽整備事業補助金（県補助金）	浄化槽管理組合事務費負担金	
502,053		金額	1,988,000	5,184,000	1,463,000		

事業の実績・成果	前年度（令和5年度）からの改善点等	なし
----------	-------------------	----

◆ 施策目標に資する活動

○健全な下水道事業の推進施策

浄化槽設置・管理基数

	R2	R3	R4	R5	R6
浄化槽設置事業	32基	36基	21基	21基	30基
浄化槽管理事業	1,676基	1,694基	1,709基	1,704基	1,714基

浄化槽法定検査

	R2	R3	R4	R5	R6
受検数	2,577基	2,620基	2,658基	2,699基	2,722基
受検率	82.8%	83.6%	84.8%	86.6%	86.8%

○水洗化の促進施策

浄化槽整備率

	R2	R3	R4	R5	R6
計画人口	6,731人	6,633人	6,469人	6,211人	6,095人
供用開始人口	5,290人	5,255人	5,129人	4,822人	4,868人
整備率	78.59%	79.23%	79.29%	77.63%	79.86%

◆ 事業の成果

・浄化槽設置補助事業

設置基数については昨年実績から9基増えたことから、浄化槽設置の需要の増加がうかがえた。事業所から住宅まで幅広く補助金交付がなされ、浄化槽設置による環境保全の向上が図られた。

・浄化槽管理基数

空き家や高齢化世帯の増加に伴い浄化槽を休止する世帯が増える傾向にあることから、管理基数について伸び悩む傾向にある。

・浄化槽法定検査受検率の向上

H29年度以前は3割の受検率であったが、県や県浄化槽協会が検査体制を強化したことから、8割以上の受検率を確保し、県平均を上回っている。今後も適正な指導・啓発活動を通じ、更なる受検率の向上に努める。

◆ 前年度からの改善点

無し

主要な施策の成果説明書

						前年度評価	継続				
						事務事業No.	106				
担当課	教育委員会	学校教育課	学校教育係			実施方法	市が直接実施				
事務事業名	コミュニティ・スクール推進事業					実施方法	市が直接実施				
会計	一般会計		款	10	項	1	目	2	決算書	217	頁
総合計画	まちづくりのテーマ	第1章 ふるさとに誇りを持つひとを育むまち					後期計画掲載頁	41		頁	
総合計画	施策目標	【1】心豊かにたくましく生きる子どもの育成									
総合計画	施策項目	⑤地域とともにある学校づくり									
個別計画											
対象と目的	<p>「よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創る」という、新学習指導要領の目標を学校と地域が共有し、未来の創り手となる、大町市の子供たちのために必要な資質・能力を育む「社会に開かれた教育課程」の実現に向けて、互いに連携・協働のもとに学校づくり・地域づくりを進め、一体となって子供たちの成長を支えていく取組の充実を目指す。</p>										
主な実施内容	<p>(1) 学校運営協議会と地域学校協働活動を持続可能とするため、協議会長、地域コーディネーター、ボランティア等を含む研修を実施する。(計3回実施) (2) 学校運営協議会が形骸化しないように、運営会議形態についてチェックシートによる課題の可視化などの支援を行う。 (3) 学校支援ボランティア代表者会を中核にネットワークづくりを進め、地域住民等が学校の教育活動支援や地域学校協働活動の充実に取り組む。 (4) コミュニティスクールと地域学校協働活動の一体的な取組事例等について、情報発信を行う。</p>										
事業費	決算額		令和4年度		令和5年度		令和6年度				
	総事業費(決算額)		1,954,761 円		1,664,184 円		1,838,223 円				
	財源内訳	特定財源	0 円		0 円		0 円				
		一般財源	1,954,761 円		1,664,184 円		1,838,223 円				
予算	R6当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額				
	2,112,000	0	0	0	2,112,000	1,838,223	0				
	不用額	特定財源	細節名								
	273,777		金額								
事業の実績・成果						前年度(令和5年度)からの改善点等			なし		
<p>◆ 施策目標に資する活動</p> <p>○ 学校運営協議会開催</p> <p>大町東小学校 4回(5月9日、9月6日、12月16日、2月26日) 大町西小学校 3回(5月20日、12月16日、2月25日) 大町南小学校 4回(5月15日、9月9日、12月11日、2月13日) 大町北小学校 4回(5月8日、10月25日、12月18日、2月12日) 大町中学校 4回(5月28日、9月10日、12月18日、2月27日) 八坂小中学校 4回(5月20日、9月11日、12月17日、2月21日) 美麻小中学校 4回(4月19日、8月21日、12月6日、2月13日)</p> <p>※ 主な協議内容</p> <p>第1回: 学校運営方針、計画協議 第2回: 学校課題への意見交換 第3回: 学校評価 第4回: 学校運営の反省、振り返り、次年度への展望</p> <p>○ 学校支援コーディネータ活動報償算定時間</p> <p>総活動時間合計: 約630時間 8名配置(各校1名、大町中のみ2名体制) 学校と地域をつなぐコーディネーターとして、学校への様々な支援活動や協力活動の取組を展開</p> <p>○ 地域学校協働活動取組み事例</p> <p>東小: 読み聞かせ、下校時見守り、イベント参加、放課後子ども教室運営等 西小: 下校時見守りボランティア活動、放課後子どもスマイルスペース運営等 南小: 学校花壇管理「きれいに咲いた南小の下段with寿会」等 北小: 「北小カフェ」、「いっしょに帰ろうDay」等 大町中: カルチャースクール実施、農福連携事業(トウガラシ栽培、有機米栽培)等 八坂小中: ガードレール磨き、郷土ふれあい体験学習等 美麻小中: 「水・土・里プロジェクト」、「歯皮加工 鹿革コンテスト」、「6代目花豆株式会社」等</p> <p>◆ 事業の成果</p> <p>地域の住民、保護者、地域の団体など幅広い地域住民等の参画を得て、地域全体で子どもたちの学びや成長を支えるとともに、「学校を核とした地域づくり」を目指して、学校と地域が相互のパートナーとして連携・協働して行う様々な活動により、地域に開かれた特色ある学校運営が図られた。</p>											

主要な施策の成果説明書

前年度評価										継続				
事務事業No.										107				
担当課		教育委員会		学校教育課		学校教育係		実施方法		市が直接実施				
事務事業名		ICT活用推進事業								実施方法		市が直接実施		
会計		一般会計				款	10	項	1	目	2	決算書	217	頁
総合計画		まちづくりのテーマ 第1章 ふるさとに誇りを持つひとを育むまち								後期計画掲載頁		40	頁	
施策目標		【1】心豊かにたくましく生きる子どもの育成												
施策項目		②時代の変化に対応した教育の推進												
個別計画												頁		
対象と目的		「個別最適な学び」と「協働の学び」の一体的な充実など、教育の資質を向上させるため「GIGAスクール構想」の推進を図り、児童生徒が、情報化社会の進展に対応できるよう情報環境の整備を図り、学校教育において基礎的な情報活用能力の育成を図るとともに、情報モラルの徹底を図る。												
主な実施内容		<ul style="list-style-type: none"> 情報教育研究委員会におけるICTを活用した授業研究や情報交換等 ICTを活用した授業を円滑に進めるためのICT支援員の配置 デジタル教科書の活用 クラウドを活用したAI型ドリル学習等の実施 ICT機器を使った学習支援ソフトの活用 												
事業費		決算額		令和4年度		令和5年度		令和6年度						
		総事業費（決算額）		23,449,012 円		23,995,028 円		26,395,561 円						
		財源内訳	特定財源		2,924,000 円		3,904,000 円		2,000,000 円					
			一般財源		20,525,012 円		20,091,028 円		24,395,561 円					
予算		R6当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額						
		27,118,000	330,000	0	0	27,448,000	26,395,561	0						
		不用額	特定財源	細節名	ふるさと応援基金									
		1,052,439	金額	2,000,000										
事業の実績・成果					前年度（令和5年度）からの改善点等					なし				
<p>◆ 施策目標に資する活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ICT活用支援員による授業支援（2名、1,712時間） （国が定めているICT支援員の配置基準は4校に1人） ○ デジタル教科書を用いたICT教育の実践 ○ 情報教育研究委員会（研究会：3回開催） ○ 小学校 高学年では授業においてデジタル教科書・デジタルドリルを利用した学習や児童会活動への活用 ○ 中学校 授業や生徒会活動において積極的にICT機器を活用 <p>◆ 事業の成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 全国学力・学習状況調査の実施において、児童生徒質問紙調査をオンラインで実施 ○ 学びの保障・充実のための学習者用デジタル教科書実証事業の活用 （英語・算数・数学のデジタル教科書） ○ 学校より要望のある教師用デジタル教科書の導入 （算数・国語・数学・理科・社会） <p>◆ 前年度からの改善点</p> <p>無し</p>														

主要な施策の成果説明書

前年度評価						継続					
事務事業No.						108					
担 当 課	教育委員会	学校教育課	学校教育係								
事 務 事 業 名	小学校教育振興一般経費					実施方法	市が直接実施				
会 計	一般会計		款	10	項	2	目	2	決算書	221	頁
総合計画	まちづくりのテーマ 第1章 ふるさとに誇りを持つひとを育むまち					後期計画掲載頁		40		頁	
	施策目標 【1】心豊かにたくましく生きる子どもの育成										
	施策項目 ①基礎的な学力・体力の向上										
個別計画											

対象と目的	<p>小学校の教育教材の整備や学校図書 の充実、児童の基礎学力の定着と学力・体力の向上、多様な教育的ニーズのある児童への支援体制の確立、さらに不登校等の悩みを抱える児童への支援など豊かな心と健やかな体を育む教育を推進するため、学習指導要領の「生きる力」を育むという理念のもと、知識や技能の習得とともに思考力・判断力・表現力などの育成に向けた取り組みを進める。</p>										
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 学校医、心の教室相談員及び学習支援員、ALT、図書館司書等の配置 学校図書、指導書及び理科教育備品等の教育教材用品の整備 校務系パソコン、電子黒板等の教育用情報機器の管理運用 										

決算額		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
総事業費（決算額）		64,019,319 円		65,249,568 円		39,981,476 円	
財源内訳	特定財源	1,430,000 円		4,482,000 円		7,173,103 円	
	一般財源	62,589,319 円		60,767,568 円		32,808,373 円	
予算	R6当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額
	42,264,000	-1,200,000	0	0	41,064,000	39,981,476	0
	不用額	特定財源	細節名	理科教育設備費等補助金	学校教育等寄附金	ふるさと応援基金	
1,082,524		金額	160,000	13,103	7,000,000		

事業の実績・成果			前年度（令和5年度）からの改善点等	
◆ 施策目標に資する活動			なし	
<p>○心の教室相談員及び学習支援員等を配置し、増加傾向にある障がい等様々な課題を抱えている児童の教育環境を確保し、学校生活を支える。</p> <p>○国際化社会に対応できる人を育てるため、ALTを派遣して英語活動を実施する。</p> <p>○知識を詰め込むだけでなく、野外学習や社会科見学等を通じ様々な体験を積くことによって「生きる力」を育む。</p>				
◆ 事業の成果				
<p>○理科設備整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 大町西小学校：センサー式酸素・二酸化炭素測定器1組、簡易検流計3組 大町北小学校：生物顕微鏡1組、電気実験器1組、小学生用おんさ4組、燃焼実験器3組 <p>○不登校児童数は17名であり 令和5年度から10名の減少。 小学校17名の内7名が新規であった。 指導の結果、児童数17名の内5名は登校できるようになった。</p> <p>○児童図書購入費 1,798,082円</p>				
◆ 前年度からの改善点 無し				

主要な施策の成果説明書

						前年度評価	継続				
						事務事業No.	109				
担 当 課	教育委員会	学校教育課	学校教育係								
事 務 事 業 名	中学校教育振興一般経費					実施方法	市が直接実施				
会 計	一般会計		款	10	項	3	目	2	決算書	225	頁
総合計画	まちづくりのテーマ 第1章 ふるさとに誇りを持つひとを育むまち					後期計画掲載頁		41		頁	
	施策目標 【1】心豊かにたくましく生きる子どもの育成										
	施策項目 ④豊かな心と健やかな体を育む教育の推進										
個別計画											

対象と目的	生徒の基礎学力の定着と学力・体力の向上、多様な教育的ニーズのある生徒への支援体制の確立、生徒の情報活用基礎能力の習得など時代の変化に対応した教育の推進、さらに不登校生徒の学校復帰に向けた指導援助等による豊かな心と健やかな体を育む教育を推進するため、学習指導要領の「生きる力」を育むという理念のもと、知識や技能の習得とともに思考力・判断力・表現力などの育成に向けた取り組みを進める。										
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 学校医、心の教室相談員及び学力向上支援員、ALT、図書館司書等の配置 学校図書、指導書及び理科教育備品等の教育教材用品の整備 校務系パソコン、電子黒板等の教育用情報機器の管理運用 										

決算額		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
総事業費（決算額）		39,366,833 円		25,488,099 円		28,878,569 円	
財源内訳	特定財源	1,096,000 円		3,526,000 円		7,482,000 円	
	一般財源	38,270,833 円		21,962,099 円		21,396,569 円	
予算	R6当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額
	27,932,000	2,302,000	0	0	30,234,000	28,878,569	0
	不用額	特定財源	細節名	理科教育設備費等補助金	部活動指導員配置事業補助金	ふるさと応援基金	
1,355,431		金額	182,000	300,000	7,000,000		

事業の実績・成果			前年度（令和5年度）からの改善点等	
◆ 施策目標に資する活動			なし	
<p>○心の教室相談員や学力向上支援員等を配置し、増加傾向にある中1ギャップなどによる不登校傾向の生徒をはじめ様々な課題を抱えている生徒達の教育環境を確保し、学校生活を支える。</p> <p>○ALTによるネイティブな外国語の授業より、国際化に対応した深い学びの実践。</p> <p>○知識を詰め込むだけでなく、野外学習や社会科見学等を通じ様々な体験を積むことによって「生きる力」を育む。</p>				
◆ 事業の成果				
<p>○理科設備備品</p> <ul style="list-style-type: none"> 大町中学校：デジタル顕微鏡カメラ1組、月と金星の運動と見え方モデル6組、デジタル・オシロスコープ1組 <p>○不登校生徒数は42名であり、令和5年度から24名の減少。 中学校42名の内7名が新規であった。 指導の結果、生徒数42名の内2名は登校できるようになった。</p> <p>○生徒図書購入費 1,608,828円</p>				
◆ 前年度からの改善点				
無し				

主要な施策の成果説明書

						前年度評価	新規				
						事務事業No.	110				
担 当 課	教育委員会	学校教育課	学校再編係								
事 務 事 業 名	小学校再編環境整備事業					実施方法	市が直接実施				
会 計	一般会計		款	10	項	2	目	3	決算書	221	頁
総合計画	まちづくりのテーマ 第1章 ふるさとに誇りを持つひとを育むまち					後期計画掲載頁		40		頁	
	施策目標 【1】心豊かにたくましく生きる子どもの育成										
	施策項目 ②時代の変化に対応した教育の推進										
個別計画	大町市学校再編基本計画										

対象と目的

少子化社会の著しい進行に伴い、児童に良好な学習環境を将来にわたり維持していくため、平成30年度に「少子化社会における義務教育のあり方検討委員会」を設置するとともに、令和2年6月には通学区域再編審議会を設置し、協議を進めた。結果、旧市内の4小学校を2小学校に再編することとした。

主な実施内容

【ハード事業】
 大町北部小学校（旧第一中学校）
 ・ 小学校に変更するための改修工事（令和7年12月 完成予定） ・ 改修工事監理業務
 大町南部小学校（現大町南小学校）
 ・ 劣化度調査 ・ トイレ洋式化工事実施設計

【ソフト事業】
 ・ 小学校再編準備委員会 ・ 校務等調整委員会 ・ 校歌検討有識者会議

事業費		決算額		令和4年度	令和5年度	令和6年度	
総事業費（決算額）				0 円	37,981,900 円	173,681,500 円	
財源内訳	特定財源			0 円	33,000,000 円	170,168,000 円	
	一般財源			0 円	4,981,900 円	3,513,500 円	
予算	R6当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額
	427,744,000	5,814,000	0	0	433,558,000	173,681,500	258,755,000
	不用額	特定財源	細節名	金額			
1,121,500		公立学校整備事業補助金	42,768,000	学校再編環境整備事業債	116,400,000	公共施設等整備基金	11,000,000

事業の実績・成果 前年度（令和5年度）からの改善点等 なし

◆ 施策目標に資する活動

- 小学校再編準備委員会…R6年度 2回開催（延べ47名出席）
 - ・ 通学方法に関する保護者説明会 … R6.9～10 計5回開催（延べ133名出席）
 - ・ スクールバス試乗会 … R7.3.23開催（延べ97名参加）
- 校歌検討有識者会議…R6年度 3回開催（延べ26名出席）
- 校務等調整委員会…R6年度 1回開催（17名出席）

◆ 事業の成果

[校章デザイン]…一般公募を実施し、小学校再編準備委員会にて数点に絞り込み、教育委員会において選定



大町北部小学校



大町南部小学校

[スクールバス試乗会]…通学方法を検討する中で、対象見込みの児童・保護者に向け、想定ルートを運行した。



大新田町

コスコ大町南店前

小西山

曾根原

◆ 前年度からの改善点

新規事業

主要な施策の成果説明書

						前年度評価	継続				
						事務事業No.	111				
担当課	教育委員会	生涯学習課	生涯学習・青少年係								
事務事業名	エネルギー博物館運営費助成事業					実施方法	補助金				
会計	一般会計		款	10	項	4	目	1	決算書	227	頁
総合計画	まちづくりのテーマ	第1章 ふるさとに誇りを持つひとを育むまち					後期計画掲載頁	46		頁	
	施策目標	【2】生きがいに満ちた生涯学習の機会の提供									
	施策項目	④自由に学び成果を生かす学習環境の整備と連携態勢の構築									
個別計画	第5次生涯学習推進プラン								20	頁	

対象と目的	エネルギー博物館の安定した運営維持を図ることで、科学的思考を喚起する貴重な学び場の社会教育施設として、いつでも・どこでも・だれもが・なんでも、学べる環境を整え生涯学習の推進を図る。										
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 運営費補助 11,350千円 プラネタリウム保守点検 280千円 AEDリース 60千円 施設修繕 2,070千円（展示室屋根修繕、高圧受電設備ケーブル・ヒューズ交換） 										

決算額		令和4年度	令和5年度	令和6年度			
総事業費（決算額）		12,721,841 円	14,000,000 円	13,760,000 円			
財源内訳	特定財源	0 円	0 円	0 円			
	一般財源	12,721,841 円	14,000,000 円	13,760,000 円			
予算	R6当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額
	13,760,000	0	0	0	13,760,000	13,760,000	0
	不用額	特定財源	細節名				
0		金額					

事業の実績・成果	前年度（令和5年度）からの改善点等	あり
<p>◆ 施策目標に資する活動</p> <p>○大町エネルギー博物館は、近隣では珍しいエネルギーを中心とした博物館であり、展示・体験・解説などを通じて入館者の科学的思考を喚起する貴重な学びの場の社会教育施設である。いつでも・どこでも・だれもが・なんでも学べる機会の提供ができるよう運営費補助を行い、生涯学習の推進を図っている。</p> <p><参考></p> <p>エネルギー博物館の主な事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大町少年少女発明クラブ（14名・19回開催） ・記憶の旅Project作品上映・一中歴史写真展の開催 ・「山からの宇宙」～大西浩次・星景写真展～ ・第10回講演会『市民科学』はみんなの科学 講師：長野工業高等専門学校リハビリアート教育院 大西浩次教授 		
<p>◆ 事業の成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運営費補助により、エネルギーを通じた科学的な分野を学べる社会教育施設として安定した施設運営がされている。 ・北アルプス国際芸術祭のパスポート持参入場特典（入場料の割引）や、記念展・講演会等を開催したことにより、入館者が前年比1,484人増の8,273人。 		
<p>◆ 前年度からの改善点</p> <p>長年据え置いてきた入館料を見直し、令和6年度から100円増額した。 （大人400円 → 500円 中学生300円 → 400円）</p>		

主要な施策の成果説明書

前年度評価	継続
事務事業No.	112
実施方法	補助金
目 1	決算書 227 頁
後期計画掲載頁	46 頁
個別計画	第5次生涯学習推進プラン 20 頁

担当課	教育委員会	生涯学習課	生涯学習・青少年係
事務事業名	公民館分館整備助成事業		
会計	一般会計	款 10 項 4	目 1
総合計画	まちづくりのテーマ 第1章 ふるさとに誇りを持つひとを育むまち		
施策目標	【2】生きがいに満ちた生涯学習の機会の提供		
施策項目	④自由に学び成果を生かす学習環境の整備と連携態勢の構築		
個別計画	第5次生涯学習推進プラン		

対象と目的

地域の公民館や集会所の施設整備に対する補助を行うことにより、コミュニティ活動の拠点づくりの整備を図るとともに、地域活動等の活性化につなげる。

主な実施内容

- ・集会所の新築、全面改築、既設建物の購入（経費の1/3以内）【限度額あり】
- ・集会所の増築（10㎡以上）、部分改築、大規模修繕、消防法による指導がある改善（100万円以上の1/3以内）【限度額あり】
- ・集会所の排水設備工事（経費の1/3以内）【限度額あり】
- ・ふれあい広場など地域の施設整備（経費の1/3以内）【限度額あり】
- ・集会所の新築などに伴う敷地購入で融資を受けた額の利子補給（金額の上限、期間の上限あり）

決算額		令和4年度	令和5年度	令和6年度			
総事業費（決算額）		1,095,000 円	7,988,000 円	3,533,000 円			
財源内訳	特定財源	0 円	0 円	2,000,000 円			
	一般財源	1,095,000 円	7,988,000 円	1,533,000 円			
予算	R6当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額
	3,533,000	0	0	0	3,533,000	3,533,000	0
	不用額	特定財源	細節名				
0		金額	ふるさと応援基金				
			2,000,000				

事業の実績・成果 前年度（令和5年度）からの改善点等 なし

◆ 施策目標に資する活動

【大新田町公民館改修工事】

- 東中原町公民館屋根塗装工事 353千円
- 二重公民館大会議室床張替工事 394千円
- 大新田町公民館改修工事（屋根塗装・トイレ改修・大会議室床張替え） 2,786千円



トイレ改修前



トイレ改修後

◆ 事業の成果

自治会や地区の活動拠点となる施設が整備されることにより、地域の活動の継続・発展が見込まれる。



大会議室改修前



大会議室改修後

◆ 前年度からの改善点

主要な施策の成果説明書

前年度評価	新規
事務事業No.	113
実施方法	補助金
目 2	決算書 229 頁
後期計画掲載頁	42 頁
個別計画	24 頁


担当課	教育委員会	生涯学習課	生涯学習・青少年係
事務事業名	補導見守り・環境整備事業		
会計	一般会計	款	10 項 4
総合計画	まちづくりのテーマ 第1章 ふるさとに誇りを持つひとを育むまち		
施策目標	【1】心豊かにたくましく生きる子どもの育成		
施策項目	⑦地域で育む教育の推進		
個別計画	第5次生涯学習推進プラン		24 頁

対象と目的
教育委員会が委嘱した青少年補導委員による補導活動をとおり、青少年の健全育成を図るとともに「地域の子どもは地域で育てる」という機運の醸成を図る。

- 主な実施内容**
- ・市内環境浄化（ごみ拾い）、街頭見守り活動の実施
 - ・小中PTA、学校職員との合同見守り活動の実施
 - ・市内の店舗チェック活動及び聞き取り調査活動の実施
 - ・あいさつ運動（春、秋）、信州あいさつ運動の実施
 - ・夏休み中の街頭見守り活動の実施
 - ・列車内のマナーアップ活動の実施（信濃大町駅～穂高駅）
 - ・青少年センターだより「わかくさ」の発行（年3回・各戸回覧）

事業費	決算額		令和4年度	令和5年度	令和6年度		
	総事業費（決算額）		1,851,642 円	793,864 円	723,722 円		
	財源内訳	特定財源	0 円	0 円	0 円		
一般財源		1,851,642 円	793,864 円	723,722 円			
予算	R6当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額
	728,000	0	0	0	728,000	723,722	0
	不用額	特定財源	細節名				
4,278		金額					

事業の実績・成果 前年度（令和5年度）からの改善点等 **あり**

- ◆ 施策目標に資する活動
- 補導委員数 68人
 - 街頭見守り活動等の実施
 - ・14班編成で約2時間の活動
 - ・実施回数42回
 - その他の活動の実施
 - ・列車内のマナーアップ活動（信濃大町駅～穂高駅）
 - ・あいさつ運動（春・秋）
 - ・信州あいさつ運動（大町岳陽高校）
 - ・夏休み中の街頭見守り活動
 - 青少年センターだより「わかくさ」の発行（年3回・各戸回覧）
- 青少年センターだより
- 

◆ 事業の成果
班ごとによるきめ細やかな街頭見守り活動等を実施することにより、犯罪抑止の効果だけでなく、いつでも子ども達を地域全体で見守っているという思いが伝わることにより、安心・安全な地域づくりにつながった。また、巡回見守り活動を通じて積極的に声かけ等を行うことで「地域の子どもは地域で育てる」という機運の醸成を図ることができた。

- ◆ 前年度からの改善点
委員の負担軽減のため、巡回数を4回から3回に減らし、巡回範囲や内容を見直した。
- 

あいさつ運動（西小）



街頭補導（王子神社）

主要な施策の成果説明書

						前年度評価	継続				
						事務事業No.	114				
担当課	教育委員会	生涯学習課	生涯学習・青少年係								
事務事業名	青少年育成事業					実施方法	補助金				
会計	一般会計		款	10	項	4	目	2	決算書	229	頁
総合計画	まちづくりのテーマ	第1章 ふるさとに誇りを持つひとを育むまち					後期計画掲載頁	42		頁	
	施策目標	【1】心豊かにたくましく生きる子どもの育成									
	施策項目	⑦地域で育む教育の推進									
個別計画	第5次生涯学習推進プラン								24	頁	

対象と目的	次代を担う子どもたちの健全育成活動を通して、地域全体で子どもたちを育てる意識の醸成を図る。									
主な実施内容	<p>大田市青少年育成市民会議の事務局として「地域の子どもは地域で育てる」を合言葉に、市民運動として地域全体で子ども達を育む機運の醸成を図るため、春・秋の「あいさつ運動」、毎年8月に開催する「大田市青少年育成市民大会」、地域子育てセミナー、家庭教育懇談会などを開催。</p> <p>また、子ども会や育成会の活動支援として、低廉な利用料でバスを使用できる「子ども体験学習号」の運行を実施。</p>									

決算額		令和4年度	令和5年度	令和6年度			
総事業費（決算額）		2,878,805 円	3,438,802 円	3,273,352 円			
財源内訳	特定財源	0 円	2,297,500 円	2,073,700 円			
	一般財源	2,878,805 円	1,141,302 円	1,199,652 円			
予算	R6当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額
	3,720,000	0	0	0	3,720,000	3,273,352	0
	不用額	特定財源	細節名	放課後子ども総合プラン推進事業補助金	ふるさと応援基金繰入金	子ども体験学習号利用料	
446,648		金額	302,000	1,748,000	23,700		

事業の実績・成果	前年度（令和5年度）からの改善点等	なし
----------	-------------------	----

◆ 施策目標に資する活動

- 子ども体験学習号
 - ・利用件数 9件
 - ・利用人数 237人

- 第40回青少年育成市民大会
 - ・開催日 8月24日（土）
 - ・参加者 152人



青少年育成市民大会分科会の様子



家庭教育懇談会の様子（社地区）

◆ 事業の成果

青少年育成市民大会を開催し、式典において青少年の健全育成に貢献された個人、団体の皆さんの表彰が行われました。その後、4つの分科会に分かれて、子ども達が抱える問題や課題について学び、意見交換するなかで問題共有を図りながら、地域全体で子ども達を見守る連帯感の醸成を図る機会となった。

《分科会の主題》

- ・第1分科会「家庭と地域で育む子どもの生きる力」
- ・第2分科会「『信州こどもカフェ』等の子どもの居場所と地域社会の関わり」
- ・第3分科会「子どもたちを未来へ導く力：情報社会で生き抜く力を育む」
- ・第4分科会「育ちをはぐくむ乳幼児期からの支援のあり方」



秋のあいさつ運動の様子（北小）

主要な施策の成果説明書

						前年度評価	継続				
						事務事業No.	115				
担当課	教育委員会	生涯学習課	文化財係								
事務事業名	文化財保護一般経費					実施方法	市が直接実施				
会計	一般会計		款	10	項	4	目	6	決算書	241	頁
総合計画	まちづくりのテーマ 第1章 ふるさとに誇りを持つひとを育むまち					後期計画掲載頁		48		頁	
個別計画	第5次生涯学習推進プラン							14		頁	

対象と目的	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史ある、有形・無形の貴重な文化財が適切に保護・保存・継承されるよう、県他関係機関、所有者他関係団体等と連携し、文化財保護事業に取り組む。 ・文化財や地域の歴史・文化・自然等に関する学習機会を提供することにより、地域の財産として再発見し、郷土への愛着、誇りや文化財保護意識の醸成を促進する。 ・文化財等の調査・研究・情報発信を進め、地域の特徴的なコンテンツとして地域住民自らの手による積極的な利活用を支援することにより、地域観光の振興を図る。
-------	--

主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・文化財の保護・保存・継承 文化財所有者等が行う保存修理、保護活用等に対する支援や天然記念物等の環境整備 ・文化財保護意識等の醸成 文化財に関する講座、観察会や特別展の開催 ・文化財の調査と活用 未指定文化財等の調査と研究、地域振興のための活用方策の検討・実施 <ul style="list-style-type: none"> ①本通り周辺の歴史的建造物の国の有形文化財登録に向けた調査を実施。歴史的建造物を核として、町並み、のみ堰などの特徴的な水の景観、古道を巡るまち歩き等の散策路を紹介。 ②木舟城研究会による登城路整備、看板設置及び情報発信と観光協会穴場ツアーの開催。 など
--------	---

決算額		令和4年度	令和5年度	令和6年度			
総事業費（決算額）		4,648,507 円	4,519,298 円	5,760,181 円			
財源内訳	特定財源	109,000 円	180,000 円	109,000 円			
	一般財源	4,539,507 円	4,339,298 円	5,651,181 円			
予算	R6当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額
	5,207,000	759,000	0	0	5,966,000	5,760,181	0
	不用額	特定財源	細節名	文化財保護事業補助金			
205,819		金額	109,000				

事業の実績・成果	前年度（令和5年度）からの改善点等	あり
----------	-------------------	----

<p>◆ 施策目標に資する活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 国有形文化財の登録 令和6年12月3日登録 旧櫻井家住宅店舗兼主屋 第20-0663号 旧櫻井家住宅土蔵 第20-0664号 ○ 文化財調査：信州大学受託研究 本通り周辺の歴史的建造物等の調査 市内土蔵建築構造調査 ○ 指定文化財保護事業への支援 下條家関守門修繕 若一王子神社：社叢危険木伐採・剪定 流鏝馬行事 ○ 指定文化財の管理、環境整備、保全 覚音寺千手観音立像等管理 居谷里湿原草地化防止 ほか 盛蓮寺現地説明看板修繕 湯俣噴湯丘保全看板作成 文化財パトロールの実施 ○ 文化財保護啓発・普及活動 文化財講座の開催 7回 参加者延137人 居谷里湿原自然観察会 参加者90人 文化財特別展開催 大町市文化祭、社地区文化祭 ○ 文化財関係団体等活動支援 木舟城研究会他 ○ 地域観光の振興 観光協会穴場ツアー（木舟城：雨天中止） <p>◆ 事業の成果 地域の歴史文化の学習・再発見、歴史的建造物の多様な活用促進など、地域振興を図るための様々な取り組みが始まっている。</p> <p>◆ 前年度からの改善点 今年度も従前のとおり、他係等と連携し、事業を効果的に実施している。</p>	<p>国登録有形文化財 旧櫻井家住宅 店舗兼主屋</p>  <p>国登録有形文化財 旧櫻井家住宅 土蔵</p>  <p>文化財講座 仁科領東の備え 大野田城に登る (美麻公民館共催)</p>  <p>文化財講座 県宝指定記念 山の神遺跡と出土品 (常盤公民館共催)</p> 
--	---

主要な施策の成果説明書

						前年度評価	継続				
担 当 課	教育委員会	生涯学習課	人権教育担当			事務事業No.	116				
事務事業名	人権教育推進事業					実施方法	その他				
会 計	一般会計		款	10	項	4	目	1	決算書	227	頁
総合計画	まちづくりのテーマ 第5章 市民の参画と協働でつくるまち					後期計画掲載頁	99		頁		
	施策目標 【2】多様性に満ちた共生社会の実現										
	施策項目 ①人権教育・啓発の推進										
個別計画	人権教育及び人権啓発に関する基本方針										

対象と目的
 全市民（地域、学校、企業）に対して、人権教育を通じて市民一人ひとりが人権問題を自分自身の問題としてとらえ、学校、地域、職場、企業が一体となった人権教育に総合的に取り組むことが出来るよう、地域全体で人権意識を培い、人権尊重の精神を高め、一人ひとりを大切にした人権教育の推進を図る。

主な実施内容

- 人権教育推進協議会、企業人権教育推進協議会での研修実施
- 学校人権教育研究委員会による各学校での活動、人権教育指定校の公開授業（2校）の開催
- 市内6地区で児童生徒と地域住民が合同で人権課題を学ぶ「人権を考える市民の集い」の開催
- 人権作品集「ヒューマンライツ」の作成及び作品集を使った啓発事業
- 市内小中高の実践記録集の作成とこれを参考にした人権教育

決算額		令和4年度	令和5年度	令和6年度			
総事業費（決算額）		1,929,978 円	799,334 円	903,191 円			
財源内訳	特定財源	0 円	0 円	0 円			
	一般財源	1,929,978 円	799,334 円	903,191 円			
予算	R6当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額
	986,000	0	0	0	986,000	903,191	0
	不用額	特定財源	細節名				
	82,809	金額					

事業の実績・成果	前年度（令和5年度）からの改善点等	あり		
<p>◆ 施策目標に資する活動</p> <p>(1) 学校人権教育</p> <ul style="list-style-type: none"> ①市内小中学校のうち指定校2校による人権教育研究、実践の促進 ②市内幼保小中高校の教職員研修会の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・教職員研修会の開催 5/21 16人参加 ・公開授業 11/13 2校（大町東小31人、八坂小中26人参加） ③各学校ごとの人権教育講演会等の実施 ④人権教育作品集（作文、ポスター）募集、作品展示 <ul style="list-style-type: none"> ・作文ポスター作品集「ヒューマンライツ 47号」2月発行 作文44点、ポスター30点 ⑤学校人権教育実践録の発刊（3月） <p>(2) 社会人権教育</p> <ul style="list-style-type: none"> ①関係団体（人権教育推進協議会、企業人権教育推進協議会）に関わる研修、研修会案内 ②三団体合同現地視察研修 10/10 5人参加 千曲市「長野県立歴史館」・須坂市「長野刑務所」 ③「人権を考える市民の集い」6地区で開催 総計1,291名 平地区(北小) 6/27（一般78人、小学校128人） 大町地区(大町中) 7/2（一般11人、中学校466人） 八坂地区(八坂小中) 8/30（一般55人、小中学校96人） 美麻地区(美麻小中) 9/12（一般24人、小中学校87人） 常盤地区(南小) 10/22（一般28人、小学校182人） 社地区(東小) 11/8（一般16人、小学校120人） <p>(3) 人権・同和教育推進懇談会事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ①人権教育研修、交流事業の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・映画会及び交流研修会 11/25 29人参加 ・人権教育講演会の実施 10/1 21人参加 				
<p>◆ 事業の成果</p> <ul style="list-style-type: none"> 同和教育に関しては2回の講演会を開催することでネットと経由した昨今の部落差別問題の実態を伝えることができた。 LGBTQに関しては大町市は県下でも早い時期から取り組んできたが前講師は市内6地区を一巡したことで新しい講師を招聘することになった。 「人権を考える市民の集い」の開催により人権意識の高揚が図られており、回数は変わっても継続して人権課題の解決のために必要な施策を展開したい。 			 <p>人権を考える市民の集い（東小）</p>  <p>三団体合同現地視察研修</p>	
<p>◆ 前年度からの改善点</p> <ul style="list-style-type: none"> 人権に関して小学生から高齢者まで幅広い世代で理解し、人権意識が高められる講師の選任を工夫した。 				

主要な施策の成果説明書

前年度評価						継続					
事務事業No.						117					
担 当 課	教育委員会	生涯学習課	大町公民館								
事 務 事 業 名	大町公民館活動費					実施方法	市が直接実施				
会 計	一般会計		款	10	項	4	目	3	決算書	231	頁
総合計画	まちづくりのテーマ	第1章 ふるさとに誇りを持つひとを育むまち					後期計画掲載頁	45	頁		
	施策目標	【2】生きがいに満ちた生涯学習の機会の提供									
	施策項目	②社会教育の充実と活性化									
個別計画	第7期社会教育計画							10	頁		

対象と目的	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館事業の充実を図り、地域づくりの拠点としての機能を発揮する。また、住民の地域における課題や思いや住民が主体的に行動する力を育むことを目的とする。 ・活動にあたっては、幼児から高齢者までの幅広い年齢層を対象とする。 ・住民の地域課題や要求課題等を踏まえたうえで企画した事業を通じ、暮らしの質を高め住みよい地域をつくる。
主な実施内容	公民館分館事業助成、分館講座の開設支援、文化事業（文化祭の開催・囲碁将棋の普及）、体育事業（市民運動会・球技大会の開催）、各種講座の開設など

決算額		令和4年度	令和5年度	令和6年度			
総事業費（決算額）		2,174,305 円	2,526,179 円	2,126,926 円			
財源内訳	特定財源	0 円	169,000 円	0 円			
	一般財源	2,174,305 円	2,357,179 円	2,126,926 円			
予算	R6当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額
	2,687,000	0	0	-30,400	2,656,600	2,126,926	0
	不用額	特定財源	細節名				
529,674		金額					

事業の実績・成果	前年度（令和5年度）からの改善点等	あり
◆ 施策目標に資する活動		
<p>体育事業</p> <p>大町地区市民運動会：150名 2分館・オープン参加</p> <p>大町地区球技大会：ソフトバレーボール（5チーム）、ソフトボール（6チーム）、マレットゴルフ（6チーム）</p> <p>文化事業</p> <p>北アルプス囲碁・将棋大会：7月21日（日）、1月12日（日） 夏季大会25名、新春大会34名</p> <p>大町市文化祭：11月2・3・4日 42団体 出展数3,047点 来場者数25,000名</p> <p>各種講座の開催</p> <p>すくすく広場（15回、26組）、外国人のための日本語講座（40回、延200名）</p> <p>菊づくり講座（6回、4名）、デジタル一眼レフカメラ講座（4回、8名）</p> <p>陶芸講座（7回、23名）、陶芸かぶと講座（1回、7名）</p> <p>木彫講座（6回、5名）、仏教講座（5回、延150名）、古典講座（1回、19名）</p> <p>分館事業</p> <p>分館事業補助金：34分館</p> <p>分館講座講師謝礼：6件</p> <p>各種団体事務</p> <p>大町地区子ども会育成協議会：魚つかみ大会（240名）、ラフティング体験（43名）</p> <p>北アルプス国際芸術祭を体験しよう！（28名）</p>		
◆ 事業の成果		
<ul style="list-style-type: none"> ・市民運動会は昨年度より参加分館が減少したが、オープン参加を取り入れながら地域住民の交流を図ることができた。 ・文化祭では、消防フェスタを同会場で行ったことや、ホールでのイベントを行ったことにより、参加者の集客につながった。 ・育成会事業では、平地区の子供たちとの交流を図ることができた。 		
◆ 前年度からの改善点		
<ul style="list-style-type: none"> ・市民運動会でオープン参加チームを新設したことにより、分館として参加しない市民が参加できるようにした。 		

主要な施策の成果説明書

前年度評価										継続			
事務事業No.										118			
担 当 課	教育委員会	生涯学習課	文化会館							実施方法	市が直接実施		
事 務 事 業 名	文化会館公演事業								目	5	決算書	241	頁
会 計	一般会計		款	10	項	4	目	5	決算書	241	頁		
総合計画	まちづくりのテーマ	第1章 ふるさとに誇りを持つひとを育むまち						後期計画掲載頁	48	頁			
	施策目標	【3】芸術・文化・スポーツに親しむ機会の充実											
	施策項目	①芸術文化の振興											
個別計画	第5次生涯学習推進プラン									34	頁		
対象と目的	大町市民を対象としているが、同規模の文化ホールが近隣市町村にないことから、広域的な利用についても対象としている。舞台芸術に触れる機会の少ない市民が、気楽に楽しく芸術文化に触れあうことができるように、文化会館を中心とした継続的な芸術文化活動を促進すると共に、優れた舞台芸術の鑑賞機会を提供する。												
主な実施内容	ミュージカル、落語、クラシックコンサート、映画等の公演の開催 市民文化芸術活動の発表の場の提供。市民文化団体のステージ利用に関する育成												
事業費	決算額		令和4年度			令和5年度			令和6年度				
	総事業費（決算額）		23,325,919 円			20,322,650 円			14,087,561 円				
	財源内訳	特定財源	0 円			5,963,824 円			2,548,235 円				
		一般財源	23,325,919 円			14,358,826 円			11,539,326 円				
予算	RG当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額						
	26,307,000	-6,921,000	0	-3,366,739	16,019,261	14,087,561	0						
	1,931,700	特定財源	細節名	入場料収入	物品販売手数料								
			金額	2,541,500	6,735								
事業の実績・成果							前年度（令和5年度）からの改善点等		あり				
◆ 施策目標に資する活動													
自主事業													
信濃大町寄席													
ワンコインコンサート 3回						バックヤード寄席							
三浦一馬五重奏団「熱狂のタンゴ」						信濃大町美術展							
なつかシネマ 2回						セイジオザワスクリーンコンサート							
いつか思い出すかもしれない日のダンス						ふぁみりーシネマ「FLY！」							
ちっちゃなコンサート													
自主文化事業													
ミュージックサマー													
DANCE LIVE 2024													
市民芸能SHOW													
ハーモニーコンサート													
共催事業													
大町市少年少女合唱団定期演奏会													
はばたきの集い													
◆ 事業の成果													
コロナ以降来場者がだんだん増えてきていると感じる。													
「ワンコインコンサート」や「なつかシネマ」「バックヤード寄席」など、小規模イベントの開催により文化会館という施設が身近に感じていただく機会になっている。今後も市民にとって身近な施設として愛されるような事業を行っていきたい。													
◆ 前年度からの改善点													
「いつか思い出すかもしれない日のダンス」を開催し、市民が自ら舞台を創作し、発表する場を設けた。今後も市民参加型の事業も積極的に行っていきたい。													

主要な施策の成果説明書

				前年度評価		継続					
担 当 課	教育委員会	生涯学習課	平公民館	事務事業No.		119					
事 務 事 業 名	平公民館活動費			実施方法		市が直接実施					
会 計	一般会計		款	10	項	4	目	3	決算書	233	頁
総合計画	まちづくりのテーマ 第1章 ふるさとに誇りを持つひとを育むまち			後期計画掲載頁		45		頁			
	施策目標 【2】生きがいに満ちた生涯学習の機会の提供										
	施策項目 ③多様な分野の学習活動の促進										
個別計画	第5次生涯学習推進プラン										

対象と目的	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民、自治会等を対象に生涯学習の機会の提供や地域づくりの支援を各事業を通して行っていく
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民参加による運動会・市民スポーツ祭等の体育事業を実施 ・住民の関心・要望や地域課題に取り組む講座を解説 ・住民の自主的学習活動を支援するためにサークル体験を実施 ・自治会・育成会・社会福祉等の地域活動の支援およびこれらとの共済により事業を実施

事業費	決算額		令和4年度	令和5年度	令和6年度		
	総事業費（決算額）		885,534 円	978,798 円	746,271 円		
	財源内訳	特定財源	0 円	94,575 円	0 円		
一般財源		885,534 円	884,223 円	746,271 円			
予算	R6当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額
	1,182,000	0	0	0	1,182,000	746,271	0
	不用額	特定財源	細節名				
435,729		金額					

事業の実績・成果		前年度（令和5年度）からの改善点等	あり
◆ 施策目標に資する活動			
○平地区球技大会 令和6年6月2日（平運動場、B&G体育館）ソフトボールの部・ソフトバレーの部開催 約100名参加			
○平地区少年少女球技大会 令和6年7月7日（平公民館講堂）小学生スマイルボウリング大会開催 約70名参加			
○平地区運動交流会 令和6年9月1日（平公民館講堂、平運動場）台風接近のため中止			
○平地区マレットゴルフ大会 令和6年10月6日（借馬マレットゴルフ場）約20名参加			
○平地区市民ゴルフ大会 令和6年10月27日（日向山高原ゴルフコース）会場施設一部使用不可のため中止			
○スマイルボウリング大会 令和7年3月22日（平公民館講堂）約50名参加			
平地区球技大会	少年少女球技大会	マレットゴルフ大会	平地区育成会
			
ソフトバレーの部	スマイルボウリング		冬季体験事業
◆ 事業の成果			
・台風接近や会場設備の問題で実施できない事業もあったが、多くの方に公民館活動に参加してもらい、楽しんでいただけたと思う。			
◆ 前年度からの改善点			
・自治会離れや過疎化により、分館ごとで出場するイベントの開催が難しいため、個人参加型のイベントを多めに計画した。			
・参加者全員に賞品を用意して参加者数の増加や、役員の負担軽減のため、事務局の運営のみで行えるような運営方針を目指した。			

主要な施策の成果説明書

前年度評価	継続
事務事業No.	120
実施方法	市が直接実施
目	2
決算書	161
後期計画掲載頁	45
頁	

担当課	教育委員会	生涯学習課	女性未来館ピュア
事務事業名	女性未来館ピュア運営事業		
会計	一般会計	款	5 項 1
総合計画	第1章 ふるさとに誇りを持つひとを育むまち		
施策目標	【2】生きがいに満ちた生涯学習の機会の提供		
施策項目	③多様な分野の学習活動の促進		
個別計画			
頁			

対象と目的	<p>就業前及び新規就業者、中途採用希望者を含む女性労働者、勤労家庭の女性を対象に円滑な就業の促進のための協力、資質の向上を図るために援助を行う。</p> <p>また、女性の権利や女性に関わる課題に対して、先進的な取り組みの情報提供を行い、意識の向上を積極的に推進する。</p>
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 主に女性を中心とした各種講座や講演会及び自主サークルなどが円滑に運営・活動できる管理体制を図る。 女性が安心して就業できる環境を整備するため、託児ボランティア活動団体の人材育成の実施を図る。

決算額		令和4年度	令和5年度	令和6年度			
総事業費（決算額）		1,899,897 円	273,000 円	340,194 円			
財源内訳	特定財源	0 円	0 円	0 円			
	一般財源	1,899,897 円	273,000 円	340,194 円			
予算	R6当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額
	575,000	0	0	0	575,000	340,194	0
	不用額	特定財源	細節名				
234,806		金額					

事業の実績・成果	前年度（令和5年度）からの改善点等	あり
----------	-------------------	----

◆ 施策目標に資する活動



女性講座 木舟城見学



女性講座 四季資料館見学



1日体験会 裁縫・キルト



保育サポーター講座



仁科三湖自然と歴史講座



英語であそぼ！講座



夏休みボッチャ体験講座



背骨コンディショニング講座

◆ 事業の成果 ピュアフェスタの開催（女性未来館ピュア主催 利用者の1年間の成果発表会・11月）



ピュアフェスタ演奏



ピュアフェスタ展示



利用者の会による館内清掃



利用者の会パネル展示

◆ 前年度からの改善点

新規講座、並びに1日体験会を増やし、利用者の便宜を図った。公民館利用者にサークルの活動を知っていただくために、各サークルの紹介パネルを設置し、参加者の増加につながるよう工夫をした。

主要な施策の成果説明書

					前年度評価	継続					
担 当 課	教育委員会	生涯学習課	常盤公民館		事務事業No.	121					
事務事業名	常盤公民館活動費				実施方法	市が直接実施					
会 計	一般会計		款	10	項	4	目	3	決算書	233	頁
総合計画	まちづくりのテーマ 第1章 ふるさとに誇りを持つひとを育むまち				後期計画掲載頁		45			頁	
	施策目標 【2】生きがいに満ちた生涯学習の機会の提供										
	施策項目 ②社会教育の充実と活性化										
個別計画	第5次生涯学習推進プラン										

対象と目的	<p>地域住民や自治会等を対象に、生涯学習の機会を提供し、人づくり・つながりづくり・地域づくりの支援を行うことを目的とし、地域住民にとって最も身近な学習拠点として、ニーズに応じた各種講座を開催するとともに、体育事業及び文化事業を通じて地域のコミュニティ力の醸成を図り、生活の質を高め住みよい地域をつくる。</p>										
主な実施内容	<p>(1) 体育事業（常盤地区球技大会、卓球・ソフトバレー大会ほか） (2) 文化事業（常盤囲碁・将棋・マージャン大会、サークル活動発表展示会） (3) 講座（親子教室「ともだち広場」、そば打ち、スマホほか） (4) 補助事業（分館事業補助金）</p>										

事業費	決算額		令和4年度	令和5年度	令和6年度		
	総事業費（決算額）		554,583 円	720,340 円	648,128 円		
	財源内訳	特定財源	0 円	100,880 円	0 円		
一般財源		554,583 円	619,460 円	648,128 円			
予算	R6当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額
	871,000	0	0	0	871,000	648,128	0
	不用額	特定財源	細節名				
222,872		金額					

事業の実績・成果		前年度（令和5年度）からの改善点等	あり
◆ 施策目標に資する活動			
◇ 文化事業		 <p>敬老会</p>	
<ul style="list-style-type: none"> 常盤地区敬老会 令和6年6月9日 参加者約140人（スタッフ等含む） 常盤公民館サークル活動発表展示会 令和7年2月15日～20日 来館者609人 常盤囲碁・将棋・マージャン大会 令和7年3月2日 参加者約40人 		 <p>ともだち広場・クリスマス会</p>	
◇ 体育事業		 <p>腰痛予防改善エクササイズ</p>	
<ul style="list-style-type: none"> 常盤地区球技大会 令和6年6月9日 参加者約70人 常盤地区ゲートボール大会 令和6年10月24日 参加者約35人 常盤卓球・ソフトバレー大会 令和7年2月23日 参加者約35人 			
◇ 講座			
<ul style="list-style-type: none"> 親子教室「ともだち広場」 6月12日～2月26日（全16回） 親子27組 延べ558人 スマホ撮影テクニック&編集教室 10月22日～11月19日（全5回） 延べ31人 秋の味覚、新そばを楽しもう！「そば打ち教室」 10月31日～11月21日（全4回） 延べ14人 腰痛予防改善エクササイズ 1月27日～3月13日（全6回） 延べ166人 初心者のためのスマートフォン講座 2月27日～3月13日（全3回） 延べ37人 		ほか	

事業の実績・成果

◆ 事業の成果

各地区の自治会活動が縮小傾向にある中、様々な公民館活動を行うことで、地域住民の交流する機会や地域住民の生活の質の向上に貢献することができた。

◆ 前年度からの改善点

令和5年度に「常盤地区運動会あり方検討委員会」を開催し、従来の運動会を廃止、令和6年度より新たに「常盤地区運動大会（競技種目ポッチャ）」を開催予定であったが、大型台風の影響で直前に中止となった。

主要な施策の成果説明書

前年度評価						継続					
事務事業No.						122					
担 当 課	教育委員会	生涯学習課	社公民館								
事 務 事 業 名	社公民館活動費					実施方法	市が直接実施				
会 計	一般会計		款	10	項	4	目	3	決算書	235	頁
総合計画	まちづくりのテーマ 第1章 ふるさとに誇りを持つひとを育むまち					後期計画掲載頁		42	頁		
	施策目標 【1】心豊かにたくましく生きる子どもの育成										
	施策項目 ⑦地域で育む教育の推進										
個別計画	第5次生涯学習推進プラン										

対象と目的	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民、自治会等を対象とする。 ・住民へ生涯学習の機会の提供、地域づくりの支援 地域づくりの拠点施設として、公民館事業の充実を図り、地域住民の生涯学習意識の高揚を図り、地域づくりを支援する。
主な実施内容	(1) 講座（親子教室「なかよし広場」、体力upエクササイズ講座ほか） (2) 体育事業（社地区球技大会、社地区子ども球技大会、社地区運動会、元旦マラソン） (3) 文化事業（社地区文化祭） (4) 補助事業（分館事業補助金）

決算額		令和4年度	令和5年度	令和6年度			
総事業費（決算額）		652,931 円	725,091 円	707,868 円			
財源内訳	特定財源	0 円	0 円	0 円			
	一般財源	652,931 円	725,091 円	707,868 円			
予算	R6当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額
	937,000	0	0	0	937,000	707,868	0
	不用額	特定財源	細節名				
229,132		金額					

事業の実績・成果	前年度（令和5年度）からの改善点等	あり		
◆ 施策目標に資する活動 <ul style="list-style-type: none"> ○体育事業 <ul style="list-style-type: none"> 社地区球技大会 5月19日～ ソフトバレー20名、ゲートボール30名、ソフトボール雨天中止 社地区親睦運動会 台風の影響により中止 友好杯ゲートボール大会 10月9日 20名 元旦マラソン 1月1日 79名 ○文化事業 <ul style="list-style-type: none"> 社地区文化祭 11月1日～5日 延べ240人来館 ○公民館講座 <ul style="list-style-type: none"> 体力UPエクササイズ講座 10月13日～11月24日（毎週金曜日全6回）、延べ138名参加 手作りクリスマスリース講座 11月12日 16名参加 そば打ち講座 12月17日,24日 延べ9名参加 初心者のためのスマートフォン講座（全3回） 2月25日～3月11日 延39名参加 ○子育て支援講座 <ul style="list-style-type: none"> 親子教室「なかよし広場」6月～2月（全17回）親子19組 延418名参加 ○公民館運営審議会 3月21日開催 ○各種団体事務及び主催事業、役員会等の開催 <ul style="list-style-type: none"> 集いinやしろ（敬老会と合同開催） 10月12日 主催：社地区支え合い協議体・南部地域包括支援センター 				
◆ 事業の成果 <ul style="list-style-type: none"> ○体育事業は競技だけでなく、レクリエーション的な要素も取り入れているため、参加者相互のコミュニケーションが図られた。 ○敬老会と合同開催の集いinやしろは高齢者だけでなく、各世代から沢山の参加者があり、3世代交流が図られている。 ○各種講座は、地域住民の意見を聞きながら内容を決定しているため、地域のニーズにあったものとなっている。 ○子育て支援講座は、内容を充実させ参加者の満足度の向上を図った。 				
◆ 前年度からの改善点 <ul style="list-style-type: none"> ○新たな講座を開催したり、各事業の内容を見直すなどし、参加者の満足度をより向上させることに努めた。 				

事業の実績・成果



元旦マラソン



スマートフォン講座



手作りクリスマスリース講座





なかよし広場

主要な施策の成果説明書

						前年度評価	継続				
						事務事業No.	123				
担当課	教育委員会	生涯学習課	八坂公民館			実施方法	市が直接実施				
事務事業名	山村留学支援事業					後期計画掲載頁	42	頁			
会計	一般会計		款	10	項	1	目	2	決算書	217	頁
総合計画	まちづくりのテーマ 第1章 ふるさとに誇りを持つひとを育むまち					後期計画掲載頁	42	頁			
	施策目標 【1】心豊かにたくましく生きる子どもの育成										
	施策項目 ⑦地域で育む教育の推進										
個別計画											

対象と目的	山村留学の積極的な受入により、複式学級の回避を図るほか、多方面の教育効果の向上に努め、地元小中学生と留学生相互の健全な成長を助長する。 また、保護者や地域住民との都市との交流を促進し、地域活性化につなげる。									
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 山村留学の事業主体「公益財団法人育てる会」への補助金 山村留学受入農家への助成交付 地元生による山村留学体験の実施 									

決算額		令和4年度	令和5年度	令和6年度			
総事業費（決算額）		21,955,000 円	21,955,000 円	21,950,000 円			
財源内訳	特定財源	16,000,000 円	16,846,000 円	16,908,000 円			
	一般財源	5,955,000 円	5,109,000 円	5,042,000 円			
予算	R6当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額
	21,986,000	0	0	0	21,986,000	21,950,000	0
	不用額	特定財源	細節名	金額			
36,000		過疎地域自立促進特別事業	16,000,000	ふるさと応援基金	908,000		

事業の実績・成果	前年度（令和5年度）からの改善点等	あり
<p>◆ 施策目標に資する活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ○（公財）育てる会への支援 <ul style="list-style-type: none"> ・補助金17,100,000円 ・山村留学児童生徒数 27名 【内訳】 <ul style="list-style-type: none"> 八坂前期：9名 八坂後期：6名 美麻前期：6名 美麻後期：6名 ○ 八坂・美麻山村留学推進協への支援 <ul style="list-style-type: none"> ・補助金4,800,000円 ・受入農家戸数 7戸 【内訳】 <ul style="list-style-type: none"> 八坂地区：4戸 美麻地区：3戸 ・受入農家支援 	 <p>旧市内の小中学生4・5・6年生対象の育てる会自然体験学習</p>  <p>八坂・美麻前期5・6年生山村留学センター通学合宿</p>	
<p>◆ 事業の成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山村留学生の受入れにより、児童生徒数が増加し複式学級の回避等、発展につながっている。 ・特色のある教育の実施や相互交流により、児童生徒の健全な成長を助長している。 ・山村留学があることで、保護者が地域行事への参加や地域住民との交流により地域の活性化に寄与している。 		
<p>◆ 前年度からの改善点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山村留学推進協議会の中に部会を設け、八坂・美麻自治会の会議のうちに受入れ農家の拡充に向け積極的に説明会を行い、地域住民から情報を収集する中で受入れ農家の拡大に努めている。 		


主要な施策の成果説明書

前年度評価						継続					
事務事業No.						124					
担当課	教育委員会	生涯学習課	八坂公民館			実施方法		市が直接実施			
事務事業名	八坂公民館活動費					実施方法		市が直接実施			
会計	一般会計		款	10	項	4	目	3	決算書	237	頁
総合計画	まちづくりのテーマ	第1章 ふるさとに誇りを持つひとを育むまち					後期計画掲載頁		45	頁	
	施策目標	【2】生きがいに満ちた生涯学習の機会の提供									
	施策項目	②社会教育の充実と活性化									
個別計画	第5次生涯学習推進プラン										頁
対象と目的	地域社会のニーズに対応した質の高い公民館事業をし、地域コミュニティの活性を図るとともに、自主グループ等の育成と支援を行う。										
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ○体育事業（マレットゴルフ大会・体操教室・レクリエーションスポーツ大会） ○文化事業（文化祭、郷土ふれあい体験学習等） ○学級講座（親子教室・高齢者学級・地域文化伝承） ○その他（子ども育成会事業・図書の貸し出し事業・サークル活動支援・分館活動支援） 										
事業費	決算額		令和4年度		令和5年度		令和6年度				
	総事業費（決算額）		1,019,826 円		1,026,985 円		1,124,683 円				
	財源内訳	特定財源	0 円		0 円		0 円				
		一般財源	1,019,826 円		1,026,985 円		1,124,683 円				
予算	R6当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額				
	1,485,000	-94,000	0	0	1,391,000	1,124,683	0				
	不用額	特定財源	細節名								
	266,317		金額								
事業の実績・成果						前年度（令和5年度）からの改善点等		なし			
<p>◆ 施策目標に資する活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 体育事業 <ul style="list-style-type: none"> ・ ふれあい運動会 ・ 盆球技大会 ・ 体操教室 ・ レクリエーションスポーツ大会 ○ 文化事業 <ul style="list-style-type: none"> ・ 八坂地区文化祭 ・ 親子教室 ・ 子育てセミナー ・ 郷土かる大会 ・ 八坂美麻育てる会スキー交流会 ・ 八坂塾（竹細工、コケ玉づくり、文化財巡り、創作人形づくり、そば打ち、猫つぐらづくり） 						 <p>（盆球技大会 マレットゴルフ）</p>		 <p>（すこやか広場）</p>			
<p>◆ 事業の成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 公民館事業の実施により、地域住民の交流する機会が創設され、自治会活動の向上や地域活性化に寄与している。 											
<p>◆ 前年度からの改善点</p> <p>無し</p>											

主要な施策の成果説明書

						前年度評価	継続								
担当課						教育委員会	生涯学習課	美麻公民館							
事務事業名						美麻公民館活動費			実施方法	市が直接実施					
会計						一般会計	款	10	項	4	目	3	決算書	237	頁
総合計画	まちづくりのテーマ						第1章 ふるさとに誇りを持つひとを育むまち			後期計画掲載頁			45	頁	
	施策目標						【2】生きがいに満ちた生涯学習の機会の提供								
	施策項目						②社会教育の充実と活性化								
個別計画						第5次生涯学習推進プラン								頁	
対象と目的 地域づくりの拠点施設として、地域住民や自治会等を対象に、生涯学習の機会の提供など公民館事業の充実を図り、地域づくりを支援する。															
主な実施内容 <ul style="list-style-type: none"> ・ 体育事業（小中学校・地区運動会、夏季球技大会） ・ 文化事業（小中学校・地区文化祭、元気アップ講座、高齢者・熟年学級、通学合宿・自然体験教室、各種講座、介護予防教室共催） ・ 分館事業補助 															

決算額		令和4年度	令和5年度	令和6年度			
総事業費（決算額）		1,802,958 円	1,244,246 円	1,122,573 円			
財源内訳	特定財源	0 円	0 円	0 円			
	一般財源	1,802,958 円	1,244,246 円	1,122,573 円			
予算	R6当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額
	1,612,000	0	0	0	1,612,000	1,122,573	0
	不用額	特定財源	細節名				
489,427		金額					

事業の実績・成果	前年度（令和5年度）からの改善点等	あり		
◆ 施策目標に資する活動 ◇ 体育事業 ・ 美麻小中学校・美麻地区運動会 令和6年6月1日 約400人参加 ・ 美麻地区夏季球技大会（ソフトバレーボール、グラウンドゴルフ） 令和6年8月18日 69人参加 ◇ 文化事業 ・ 元気アップ講座（地区住民対象）令和6年4月29日 29人参加 （美麻小中学生対象） 4月30日 98人参加 ・ 通学合宿・自然体験教室 令和6年6月19日～23日 13人参加 （美麻小中地元生のみの数値） ・ 高齢者・熟年学級 令和6年6月～12月 延べ75人参加 ・ 夏休みお手伝いし隊 令和6年7月23・24日 延べ36人参加 ・ 子ども体験活動（ラフティング） 令和6年8月2日 延べ33人参加 ・ 美麻イワナつかみ体験 令和6年8月5日 延べ48人参加 ・ 第37回梨の木祭・美麻地区文化祭 令和6年9月27・28日 約500人参加 ・ 木彫り教室 令和6年11月～12月 延べ39人参加 ・ 山留センター・八坂公民館・美麻公民館合同スキー活動 令和7年2月 延べ8人参加（美麻小中地元生のみの数値） ・ 美麻地区地域子育てセミナー（親子料理教室） 令和7年3月1日 12人参加				
 <p>美麻小中学校・美麻地区運動会</p>				
◆ 事業の成果 当公民館は、コロナ対策緩和以降、開催方法・内容を見直し事業を展開。区内の子どもたちや山村留学生、特認校生、地区住民等の“学び、交流、親睦、笑顔の場”になるよう実施した。				
◆ 前年度からの改善点 コロナ対策緩和以降、住民意識の変化を感じることもあるため、従来からの形式にとらわれず、やり方・内容等を再考し工夫して開催した。				

主要な施策の成果説明書

前年度評価						やり方改善					
事務事業No.						126					
担当課	教育委員会	生涯学習課	図書館								
事務事業名	図書資料購入事業					実施方法	その他				
会計	一般会計		款	10	項	4	目	4	決算書	239	頁
総合計画	まちづくりのテーマ	第1章 ふるさとに誇りを持つひとを育むまち					後期計画掲載頁	49	頁		
	施策目標	【3】芸術・文化・スポーツに親しむ機会の充実									
	施策項目	③地域の芸術文化の創造									
個別計画	第5次生涯学習推進プラン										

対象と目的	<p>市民が必要とする資料を選定及び購入することにより、図書館の役割を強化し、利用者の増加や図書館活動の質的向上を図ることを目的とする。 知の拠点として、住民の「知りたい」、「学びたい」に応えられるよう、求める情報をいつでも提供できる環境づくりに努め、住民が自ら調べ、考え、行動できる手助けをする。</p>
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 市民のニーズに適合した資料の選定及び購入 市民のリクエスト本の購入 図書館ならではの専門的な知識を得るための資料の購入 図書資料の収集、整理・資料の修理

事業費	決算額		令和4年度	令和5年度	令和6年度		
	総事業費（決算額）		8,257,335 円	7,439,504 円	7,401,655 円		
	財源内訳	特定財源	0 円	3,000,000 円	0 円		
一般財源		8,257,335 円	4,439,504 円	7,401,655 円			
予算	R6当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額
	7,444,000	0	0	0	7,444,000	7,401,655	0
	不用額	特定財源	細節名				
42,345		金額					

事業の実績・成果		前年度（令和5年度）からの改善点等	あり
◆ 施策目標に資する活動			
<p>蔵書購入数 3,588冊 一般書 2,004冊 児童書 1,029冊 郷土資料 14冊 雑誌 538冊 AV資料 3点</p> <p>（図書購入リクエスト対応数 362冊）</p>			
◆ 事業の成果			
<p>市民のニーズに適合した選書や各種講座による情報提供の継続、また学校や公民館といった施設への配本事業により、普段図書館に来ることのない市民に対しても読書の機会を提供した。大町市及び北アルプス圏域で人口が減少している中、当図書館では一定程度の利用者確保し続けている。</p> <p>また、近隣図書館の蔵書や新着図書をチェックすることで、利用者へ提供できる情報を補完しあえるような選書を心掛け、市外からの利用も一定数見込むことができている。</p>			
◆ 前年度からの改善点			
<p>より見やすいイベントチラシの作成やフェイスブックの充実により図書館を身近に感じられるよう創意工夫を行った。また令和7年度導入する図書館システムの中で、図書館利用者が電子機器を用いて、蔵書検索等ができる図書館利用者ポータル機能を向上させ、スマホで図書貸出しができるよう調整した。このことにより、利用者が今まで以上に図書館を有意義に使えるようになってきている。</p>			

主要な施策の成果説明書

						前年度評価	やり方改善				
						事務事業No.	127				
担当課	教育委員会	スポーツ課	スポーツ推進係								
事務事業名	体育大会運営事業					実施方法	その他				
会計	一般会計		款	10	項	5	目	1	決算書	245	頁
総合計画	まちづくりのテーマ	第1章 ふるさとに誇りを持つひとを育むまち					後期計画掲載頁		49	頁	
	施策目標	【3】芸術・文化・スポーツに親しむ機会の充実									
	施策項目	⑤スポーツの振興									
個別計画	第2期大町市スポーツ推進計画								27	頁	
対象と目的	市民及び各競技団体を対象に、スポーツ大会の開催と交流の促進を行う。										
主な実施内容	(主)市民スポーツ祭(夏季)、(主)大北スポーツ競技会、(主)市民登山、(主)B&G少年武道大会、(主)木崎湖カップカヌー大会、大町アルプスマラソン、大北駅伝大会、県縦断駅伝大会、 県市町村対抗駅伝大会 各種大会負担金										

決算額		令和4年度	令和5年度	令和6年度			
総事業費(決算額)		3,915,710 円	3,818,194 円	3,951,366 円			
財源内訳	特定財源	0 円	0 円	0 円			
	一般財源	3,915,710 円	3,818,194 円	3,951,366 円			
予算	R6当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額
	4,143,000	0	0	0	4,143,000	3,951,366	0
	不用額	特定財源	細節名				
191,634		金額					

事業の実績・成果	前年度(令和5年度)からの改善点等	あり
<p>◆ 施策目標に資する活動</p> <p>○スポーツ大会</p> <ul style="list-style-type: none"> 市民スポーツ祭 夏季大会：15競技 995人参加 冬季大会：3競技 167人 アルプスマラソン 申込2,575人 出走2,261人 大北スポーツ競技会 10競技 678人参加 B&G会長杯少年武道大会(剣道) 25人参加 木崎湖カップカヌー大会 26人参加 市民登山(鹿島槍ヶ岳) 7人参加 <p>○スポーツ大会(負担金) 3,128,499円</p> <ul style="list-style-type: none"> 県高校駅伝競走大会 大北スポーツ競技会 おおまびょんカップサッカー大会 大町アルプスマラソン 大北駅伝大会 県縦断駅伝大会 県市町村対抗駅伝大会 		
<p>◆ 事業の成果</p> <ul style="list-style-type: none"> 例年通りの大会を開催できており、参加人数もおおむね例年どおりで推移している。 アルプスマラソンについては、収支が赤字となり急遽補助金を増額し交付決定としたものの無事完了となった。 冬季のスポーツ祭については十分な積雪により無事に開催できた。併せて、昨年は出場がなかったスノーボード種目についても3名が出場し、市民がウィンタースポーツに触れる貴重な機会となった。 		
<p>◆ 前年度からの改善点</p> <ul style="list-style-type: none"> 市民スポーツ祭の冬季大会について、これまで自治会体育部長を経由して申し込む必要があった手法を改め、スポーツ課に直接申し込む方法に簡略化し、分館対抗も廃止した。特に混乱なく完了したため今後も同様とする。 改善と言えるかどうかは判断が分かれるところであるが、県高校駅伝及び北信越高校駅伝大会について今年度をもって大町市での開催が最後となった。長年大町市からはそれぞれ40万円と20万円の負担金を拠出していた事業でもあり、一定の歴史がある事業ではあったものの、近年は近隣住民から度々なる交通規制等に対する負担の声も聞こえるなど、大町市としては一定の負担が伴う事業でもあった。 		

主要な施策の成果説明書

前年度評価						やり方改善					
事務事業No.						128					
担 当 課	教育委員会	スポーツ課	スポーツ推進係								
事 務 事 業 名	スポーツ振興事業					実施方法	その他				
会 計	一般会計		款	10	項	5	目	1	決算書	247	頁
総合計画	まちづくりのテーマ 第1章 ふるさとに誇りを持つひとを育むまち					後期計画掲載頁		49	頁		
	施策目標 【3】芸術・文化・スポーツに親しむ機会の充実										
	施策項目 ⑤スポーツの振興										
個別計画	第2期大町市スポーツ推進計画								26	頁	

対象と目的
 幼児期から高齢者までの市民が、健康で生き生きと活力あふれる生活を送ることができるように、個人や団体スポーツ活動の充実を図る。
 また、スポーツの振興により仲間づくりや地域コミュニティの活性化を図る。

主な実施内容
 【教室等の開催】運動あそび教室、トレーニング講座、ママさんフリータイム広場、ボディバランス教室ほか
 【団体活動支援のための補助】大町市スポーツ協会
 【スポーツ振興のための補助】全国大会等大会出場事業、認定スポーツクラブ活動事業ほか
 【松本山雅FCとの連携】保育園等での巡回指導、ホームタウンデー等でのPR、パブリックビューイング
 【その他】JFAこころのプロジェクト

決算額		令和4年度	令和5年度	令和6年度			
総事業費（決算額）		13,341,560 円	13,868,231 円	14,204,906 円			
財源内訳	特定財源	2,000,000 円	2,361,688 円	1,485,843 円			
	一般財源	11,341,560 円	11,506,543 円	12,719,063 円			
予算	R6当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額
	15,969,000	-500,000	0	0	15,469,000	14,204,906	0
	不用額	特定財源	細節名	金額			
1,264,094		ふるさと応援基金繰入金	1,000,000	スポーツ教室参加者保険料	485,843		

事業の実績・成果

前年度（令和5年度）からの改善点等

あり

◆ 施策目標に資する活動

○スポーツ教室等

- ・パーソナルトレーナーによるトレーニング講座（全26回 461人）
- ・ボディバランス教室（全9回 167人）
- ・ママさんフリータイム広場（全7回 48人）
- ・運動あそび教室（全20回 484人）
- ・巡回運動あそび教室（全70回 811人）
- ・小学生スキー教室（全1回 41人）
- ・冬のママさんフリータイム（全4回 21人）
- ・B&G少年少女海洋教室（全3回 65人）
- ・水中運動教室（全4回 50人）



○補助金

- ・大町市スポーツ協会補助金 8,106,296円
 （大町市スポーツ振興事業補助金交付要綱に基づく交付）
- ・スポーツ普及事業（2件）193,000円
- ・競技力向上事業（1件）95,000円
- ・認定スポーツクラブ活動事業（6件）2,030,500円
- ・全国大会等大会出場事業（24件）712,100円

◆ 事業の成果

社会人（働いている人）をターゲットにしたボディバランス教室は、これまで固定化していた講師のうち一部について、新たな講師を依頼するなど、アンケート結果や参加者層に応じて内容を改良した。
 市民登山についても日帰り爺力岳と設定したことで、いままで一泊では参加できなかった主婦層の参加が増えた。

◆ 前年度からの改善点

児童向け教室の一部（巡回運動あそび教室）を外部委託化したことで、保育園等との連絡調整がスムーズになり、展開回数も増加した。これにより参加人数も増加しており、直営実施時に比して児童がより専門的な知識に基づいた運動指導を受けられる総時間数が増えた。

主要な施策の成果説明書

前年度評価						継続					
事務事業No.						129					
担当課	教育委員会	スポーツ課	スポーツ推進係								
事務事業名	体育施設整備事業					実施方法	その他				
会計	一般会計		款	10	項	5	目	2	決算書	247	頁
総合計画	まちづくりのテーマ	第1章 ふるさとに誇りを持つひとを育むまち					後期計画掲載頁	49	頁		
	施策目標	【3】芸術・文化・スポーツに親しむ機会の充実									
	施策項目	⑤スポーツの振興									
個別計画	第2期大町市スポーツ推進計画							32	頁		

対象と目的	生涯スポーツの推進のために、必要な施設整備を順次実施する。 地域住民が最も恩恵を受ける「定期的利用」が多い施設を対象として今後の設備投資を行う。	
主な実施内容	○工事 運動公園 第一屋内運動場 照明設備LED化工事 運動公園 全天候庭球場 照明設備LED化工事	

決算額		令和4年度	令和5年度	令和6年度			
総事業費（決算額）		4,100,817 円	9,418,870 円	8,800,000 円			
財源内訳	特定財源	0 円	8,300,000 円	7,900,000 円			
	一般財源	4,100,817 円	1,118,870 円	900,000 円			
予算	R6当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額
	39,700,000	-4,100,000	0	700,000	36,300,000	8,800,000	27,500,000
	不用額	特定財源	細節名	脱炭素化推進事業債			
0		金額	7,900,000				

事業の実績・成果	前年度（令和5年度）からの改善点等	なし
◆ 施策目標に資する活動		
○工事		
・大町運動公園 第一屋内運動場 照明設備LED化工事		
・大町運動公園 全天候庭球場 照明設備LED化工事 資材調達に不測の期間を要したことなどを理由として明許繰越		
◆ 事業の成果		
○工事		
水銀灯が生産停止となり、代替するマルチハライド電球も受注生産に切り替わり、単価は大幅に上昇。納期も長くなり不具合が生じていたが、当工事によりそれらの不安は解消。光熱費を抑えつつ、照度を大幅に上昇することができたことに加え、柔軟な点灯・消灯が可能となり利用者の利便性も向上。		

主要な施策の成果説明書

		前年度評価		新規	
担当課		教育委員会	国民スポーツ大会準備室	国民スポーツ課	
事務事業名		国民スポーツ大会施設整備事業		事務事業No.	130
実施方法		市が直接実施			
会計	一般会計	款	10	項	5
目	2	決算書	247	頁	
総合計画	まちづくりのテーマ	第1章 ふるさとに誇りを持つひとを育むまち		後期計画掲載頁	49
総合計画	施策目標	【3】芸術・文化・スポーツに親しむ機会の充実			
総合計画	施策項目	⑤スポーツの振興			
個別計画	第2期大町市スポーツ推進計画				25

対象と目的
 令和10年度開催予定の「信州やまなみ国民スポーツ大会」開催に向けた必要な施設整備及び改修を順次実施する。
 市民のスポーツへの関心を高め、さらなるスポーツ活動の普及、促進に寄与するとともに、多くの市民が大会に関わりが持てるよう様々な分野の団体等に参加いただき準備（実行）委員会を組織し、大会に向け準備を進めていく。

主な実施内容
 ○報償費
 中央競技団体正規視察員報償
 ○旅費
 先催県（SAGA2024大会スポーツクライミング競技）視察旅費
 ○工事請負費
 陸上競技場及びサッカー場管理棟解体・設置工事（2年契約）
 共用倉庫建設工事

決算額		令和4年度	令和5年度	令和6年度			
総事業費（決算額）		0円	0円	64,197,930円			
財源内訳	特定財源	0円	0円	57,000,000円			
	一般財源	0円	0円	7,197,930円			
予算	R6当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額
	0	223,213,000	0	0	223,213,000	64,197,930	159,000,000
	不用額	特定財源	細節名	社会資本整備総合交付金	体育施設整備事業債		
15,070		金額	31,900,000	25,100,000			

事業の実績・成果 前年度（令和5年度）からの改善点等 なし

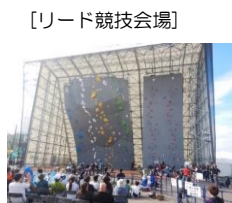
◆ 施策目標に資する活動

- 報償費
 - 中央競技団体正規視察員（スポーツクライミング競技）報償費
 視察員 中央競技団体2名
 説明者 長野県山岳協会3名
 長野県国スポ準備室5名
 大町市国スポ準備室4名
- 旅費
 - 先催県（SAGA2024大会スポーツクライミング競技）視察
 会場地：佐賀県多久市
 九州クライミングベースSAGA
 視察者：国スポ準備室職員2名
- 工事
 - 陸上競技場及びサッカー場管理棟解体・設置工事
 - 共用倉庫設置工事

◆ 事業の成果

- 工事

2ヶ年契約の工事（工期：R6.9～R7.9）であるが、R6年度は旧管理棟の解体が終了。予定通り工程が進んでいる。また、スポーツクライミング競技においては、2回目の正規視察を受け、旧大町北高校跡地が会場地内定。現地視察により、本大会の雰囲気を感じ、会場づくりの参考となった。



主要な施策の成果説明書

前年度評価						継続		
事務事業No.						131		
担 当 課	山岳博物館	山岳博物館	山岳博物館			実施方法		市が直接実施
事 務 事 業 名	山岳博物館教育普及事業							
会 計	一般会計		款	10	項	6	目	1
総 計							決算書	251
後 期 計 画 登 載 頁								46
施 策 目 標	【2】生きがいに満ちた生涯学習の機会の提供							
施 策 項 目	③多様な分野の学習活動の促進							
個 別 計 画	第5次生涯学習推進プラン							

対象と目的
 地域の総合博物館という基本的な性格をもち、市民、市内学生および大町市を訪れる観光客を対象として、山岳文化都市としての情報発信や生涯学習の機会を提供し、山岳に関わる文化や自然科学の継承および教育普及事業を推進する。

主な実施内容
 ①企画展：「大町の少年が世界を駆ける」展、「日本人とエベレスト」展、「小学校の生き物探索記」展
 ②講演会：「長野県におけるイワナとその増殖について」
 ③発行物：広報誌『山と博物館』、『研究紀要』、『企画展解説書』など。
 ④学習会・イベント：「ふぞくえんまつり」、「セミのぬげがらを探せ！ in大町」、「河原の石ころをさがそう」、「山のサイエンスカフェ in さんぱく 2024」など。
 ⑤学社連携・融合：学校連携授業「市の様子」・「土地のつくり」・「人の体のつくりと運動」・「きょう土を開く」・「人の体のつくり・ライチョウのくらし」、青木湖キャンプ自然観察、就労(職業)体験学習、異業種体験学習、博物館(学芸員)実習など。

決算額		令和4年度	令和5年度	令和6年度			
総事業費(決算額)		4,346,135 円	3,095,389 円	3,320,609 円			
財源内訳	特定財源	48,800 円	217,200 円	63,100 円			
	一般財源	4,297,335 円	2,878,189 円	3,257,509 円			
予算	R6当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額
	3,580,000	0	0	0	3,580,000	3,320,609	0
	不用額	特定財源	細節名				
259,391		金額	企画展解説書販売金				
			63,100				

事業の実績・成果

前年度(令和5年度)からの改善点等

あり

◆ 施策目標に資する活動

- 常設展示：1,027点(収蔵資料 87,225点 + 197ケース)
- 企画展『大町の少年が世界を駆ける～山岳ランナー上田瑠偉10年の軌跡～』展
 8月10日～10月14日 観覧者 8,426人
 ミュージアムガイド 2回 参加者 40人
 トレラン体験会 1回 参加者 16人
 鷹狩山トレッキング 1回 参加者 5人
- 企画展『日本人とエベレスト～その聖性から大衆化まで～』展
 -北アルプス国際芸術祭2024パートナーシップ事業-
 10月19日～12月1日 観覧者 3,232人
 講演シンポジウム 1回 参加者 49人
- 企画展『小学生の生き物探索記』展 3月9日～5月10日 観覧者 4,095人
 ミュージアムガイド 2回 参加者 27人 講座 1回 参加者
- 講座『山のサイエンスカフェ in さんぱく 2024』
 3月8日 2回 参加者 28人
- 観察会・講演会への講師派遣 41回 参加者 1,007人



◆ 事業の成果

- 企画展・特別展示については、年間3回開催し、日頃の調査・研究活動の成果として反映させた。

◆ 前年度からの改善点

- QRコードを活用した多言語での音声ガイドシステムについて、本格的に稼働させた。
 また、付属園で展示する植物の紹介をはじめ、企画展の解説にも導入した。

主要な施策の成果説明書

前年度評価						継続		
事務事業No.						132		
担当課	山岳博物館	山岳博物館	山岳博物館	実施方法		市が直接実施		
事務事業名	山岳博物館調査研究事業							
会計	一般会計	款	10	項	6	目	1	
総合計画	まちづくりのテーマ 第1章 ふるさとに誇りを持つひとを育むまち					後期計画掲載頁	45	
総合計画	施策目標 【2】生きがいに満ちた生涯学習の機会の提供							
総合計画	施策項目 ③多様な分野の学習活動の促進							
個別計画	第5次生涯学習推進プラン							

対象と目的	<ul style="list-style-type: none"> ・ 博物科単独での実施のほか大学や研究機関と連携して、北アルプスおよびその山麓地域における自然や文化をテーマとした調査、研究活動を推進する。その成果は、市民ならびに博物館を活用される観覧者を対象とした教育普及活動に反映させる。
-------	---

主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ①企画展示事業：「学校の生きもの探索記」展、さんばく研究最前線 ②講演会：山のサイエンスカフェ in さんばく2025 ③発行物：市立大町山岳博物館研究紀要第10号 ④研究発表：所属学会・研究会等
--------	---

決算額		令和4年度	令和5年度	令和6年度			
総事業費（決算額）		349,252 円	127,015 円	114,530 円			
財源内訳	特定財源	0 円	0 円	0 円			
	一般財源	349,252 円	127,015 円	114,530 円			
予算	R6当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額
	152,000	0	0	0	152,000	114,530	0
	不用額	特定財源	細節名				
37,470		金額					

事業の実績・成果	前年度（令和5年度）からの改善点等	なし
----------	-------------------	----

◆ 施策目標に資する活動

主な調査研究項目

- (1) ミヤマオダマキの生活史および結実特性（研究紀要で報告）
- (2) 高瀬川流域の降積雪量の変動（研究紀要で報告）
- (3) 大町市周辺に露出する大町テフラ層（研究紀要で報告）
- (4) 農具川における国内外来種カネヒラの移入（研究紀要で報告）
- (5) 大町市内に現存する立山信仰の関する史料（研究紀要で報告）
- (6) 市内小学校に生息している生き物調査（企画展で公開）



◆ 事業の成果

上記は、当館研究紀要や企画展解説書で発表した。そのほか、研究会や雑誌などに博物館の調査研究を下記の通り発表した。

- (1) 令和元年台風（Hagibis）後の千曲川氾濫原における植物相の回復状況Ⅲ（長野県植物研究会誌）
- (2) 学校登山 信州の教育と登山（地域文化）
- (3) 北アルプスを巡る道一針ノ木峠周辺の山岳文化史－（山岳文化）
- (4) 播隆石像を背負い上げた上條嘉門次の資料（ばんりゅう）

主要な施策の成果説明書

前年度評価						継続				
事務事業No.						133				
担当課	山岳博物館	山岳博物館	山岳博物館	実施方法		市が直接実施				
事務事業名	動植物飼育栽培繁殖事業									
会計	一般会計	款	10	項	6	目	1	決算書	253	頁
総合計画	まちづくりのテーマ 第1章 ふるさとに誇りを持つひとを育むまち					後期計画掲載頁		49	頁	
	施策目標 【3】芸術・文化・スポーツに親しむ機会の充実									
	施策項目 ④山岳文化の振興と活用									
個別計画	第5次生涯学習推進プラン									

対象と目的	<ul style="list-style-type: none"> 市民ならびに観覧者を対象として、貴重な野生動植物を保護し、飼育・繁殖および栽培、調査研究を行いながら、北アルプスに生息する生物の生体展示を行う。 博物館本館の展示と連携した野生動植物の飼育・栽培および繁殖・増殖を行い、山岳博物館としての機能の充実を図る。
-------	--

主な実施内容	<p>博物館内の展示だけでは伝えきれない生体展示としての動物や植物の実物の姿をご覧いただき、大町市の象徴ともいえる高山環境への興味関心を高めるとともに、その保全や保護を通して生物多様性や気候変動による環境変化などについて考える機会を提供するほか、それらを用いた調査研究や教育普及活動を実施する。</p>
--------	---

決算額		令和4年度	令和5年度	令和6年度			
総事業費（決算額）		4,608,861 円	1,716,532 円	1,912,013 円			
財源内訳	特定財源	234,000 円	132,000 円	0 円			
	一般財源	4,374,861 円	1,584,532 円	1,912,013 円			
予算	R6当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額
	2,307,000	0	0	0	2,307,000	1,912,013	0
	不用額	特定財源	細節名				
394,987		金額					

事業の実績・成果	前年度（令和5年度）からの改善点等	あり
----------	-------------------	----

◆ 施策目標に資する活動
 飼育動物：哺乳類3種 5個体 ・鳥類5種 18個体
 フリーディングローン ニホンカモシカ貸出2個体
 内訳：埼玉こども動物自然公園・長野市茶臼山動物園

栽培植物： 76種 コマクサ・ミズバショウほか

教育普及事業
 付属園まつり 5月1日～6日 延べ1,701人参加
 クイズラリー 5日 372人
 ライチョウガイド 5日 1,302人
 動物観察ツアー 2日 ・植物観察ツアー 1日
 おおまびよんと遊ぼう 2日 73人


◆ 前年度からの改善点
 高山植物展示エリアの拡充。



主要な施策の成果説明書

前年度評価						継続							
事務事業No.						134							
担当課	山岳博物館		山岳博物館		山岳博物館		実施方法		市が直接実施				
事務事業名						ライチョウ飼育事業							
会計			一般会計		款	10	項	6	目	1	決算書	253	頁
総合計画	まちづくりのテーマ						第1章 ふるさとに誇りを持つひとを育むまち		後期計画掲載頁		49	頁	
	施策目標						【3】芸術・文化・スポーツに親しむ機会の充実						
	施策項目						④山岳文化の振興と活用						
個別計画						第5次生涯学習推進プラン							頁
対象と目的	<ul style="list-style-type: none"> 環境省のニホンライチョウ保護増殖事業の一環として、ニホンライチョウの生息域外および域内保全事業に寄与するために、増殖技術の確立を目指す。 ニホンライチョウの増殖技術の向上に役立てるためや、ニホンライチョウとの比較展示を行うために、近縁であるスバルバルライチョウの飼育についても実施する。 ニホンライチョウおよびスバルバルライチョウに関わる調査研究および教育普及事業を推進する。 												
主な実施内容	<p>ニホンライチョウ 中央アルプスへの野生復帰事業（山岳博物館で孵化・成長させた5個体を放鳥）</p> <p>このほか、ニホンライチョウ、スバルバルライチョウの展示公開による教育普及活動の実施（ふそくえんまつりなど）。</p>												

決算額		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
総事業費（決算額）		4,230,545 円		1,838,010 円		2,112,017 円	
財源内訳	特定財源	3,000,000 円		1,838,010 円		2,112,017 円	
	一般財源	1,230,545 円		0 円		0 円	
予算	R6当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額
	2,679,000	0	0	0	2,679,000	2,112,017	0
	不用額	特定財源	細節名	金額	金額		
566,983		ふるさと応援基金繰入金	1,530,017	582,000			

事業の実績・成果		前年度（令和5年度）からの改善点等	あり
◆ 施策目標に資する活動			
ニホンライチョウ			
<p>環境省主導の中央アルプス野生復帰事業への協力として、ニホンライチョウ（以下、ライチョウ）の人工繁殖と、孵化した個体への野生型腸内細菌叢の構築およびアメリカ原虫への軽度感染等を行うことで、野生復帰可能な個体の創出に取り組み、令和6年9月に中央アルプスへの野生復帰を実施した。本年度野生復帰した雛は、当館の5羽および那須どうぶつ王国の2羽の計7羽となった。</p>			
			
◆ 事業の成果			
<p>本年度は、環境省主導の中央アルプスにおけるライチョウの野生復帰事業に参画し、その事業の一環として人工繁殖した雛に対して以下の取り組みを行った。野生ライチョウの糞便からつくられた野生型腸内細菌が含まれる菌末を給餌することで、繁殖させた雛に対して野生型腸内細菌叢の定着を試みた。併せて、腸内細菌の定着を促すため、高山植物の給餌をした。他にも、野生下のライチョウが高率で感染しているアメリカ原虫に軽度に感染させ、免疫を獲得させた。野生復帰当日までに8羽の雛が成長した。成長した雛については全羽が野生復帰可能な個体として認められ、中央アルプスへの移送が行われたが、移送中に3羽が死亡し、当館から放鳥に至った羽数は雄1羽、雌4羽の計5羽となった。</p>			
◆ 前年度からの改善点			
<p>これまで一般鳥類の飼育にあたる職員は、衛生上その日、ライチョウ飼育を兼ねることはできないとしてきたが、6年度は着替えをすることを条件にライチョウ舎内への立ち入り可とし効率化を図った。</p>			

国民健康保険特別会計（事業勘定）決算対前年度比較

歳入

（単位：円）

款	項	令和6年度 収入済額	令和5年度 収入済額	前年度差額	増減率 (%)
1	国民健康保険税	458,572,481	471,373,359	-12,800,878	-2.7
	1 国民健康保険税	458,572,481	471,373,359	-12,800,878	-2.7
2	使用料及び手数料	307,700	344,848	-37,148	-10.8
	1 手数料	307,700	344,848	-37,148	-10.8
3	国庫支出金	14,000	87,000	-73,000	-83.9
	1 国庫補助金	14,000	87,000	-73,000	-83.9
4	県支出金	2,039,968,249	2,174,029,400	-134,061,151	-6.2
	1 県補助金	2,039,968,249	2,174,029,400	-134,061,151	-6.2
5	財産収入	117,424	124,668	-7,244	-5.8
	1 財産運用収入	117,424	124,668	-7,244	-5.8
6	繰入金	218,079,126	226,941,676	-8,862,550	-3.9
	1 他会計繰入金	218,079,126	226,941,676	-8,862,550	-3.9
	2 基金繰入金	0	0	0	-
7	繰越金	25,609,396	16,845,514	8,763,882	52.0
	1 繰越金	25,609,396	16,845,514	8,763,882	52.0
8	諸収入	25,185,180	26,633,683	-1,448,503	-5.4
	1 延滞金及び加算金	2,642,788	3,745,420	-1,102,632	-29.4
	2 預金利子	0	0	0	-
	3 貸付金元利収入	662,511	0	662,511	皆増
	4 雑入	21,879,881	22,888,263	-1,008,382	-4.4
合計		2,767,853,556	2,916,380,148	-148,526,592	-5.1

歳出

(単位：円)

款 項		令和6年度 支出済額	令和5年度 支出済額	前年度差額	増減率 (%)
1	総務費	28,370,593	20,267,586	8,103,007	40.0
	1 総務管理費	11,468,844	9,344,413	2,124,431	22.7
	2 徴税費	16,820,149	10,674,373	6,145,776	57.6
	3 運営協議会費	81,600	248,800	-167,200	-67.2
2	保険給付費	1,979,183,869	2,131,195,756	-152,011,887	-7.1
	1 療養諸費	1,708,736,512	1,832,693,388	-123,956,876	-6.8
	2 高額療養諸費	264,245,467	290,019,048	-25,773,581	-8.9
	3 移送費	0	0	0	-
	4 出産育児諸費	5,001,890	7,144,520	-2,142,630	-30.0
	5 葬祭諸費	1,200,000	1,290,000	-90,000	-7.0
	6 傷病手当諸費	0	48,800	-48,800	皆減
3	国民健康保険事業費納付金	627,504,441	654,175,783	-26,671,342	-4.1
	1 医療給付費分	396,145,536	422,557,156	-26,411,620	-6.3
	2 後期高齢者支援金等分	171,737,845	173,048,413	-1,310,568	-0.8
	3 介護納付金分	59,621,060	58,570,214	1,050,846	1.8
4	共同事業拠出金	0	0	0	-
	1 共同事業拠出金	0	0	0	-
5	財政安定化基金拠出金	0	0	0	-
	1 財政安定化基金拠出金	0	0	0	-
6	保健事業費	35,464,161	34,869,374	594,787	1.7
	1 特定健康診査等事業費	21,718,039	20,626,195	1,091,844	5.3
	2 保健事業費	13,746,122	14,243,179	-497,057	-3.5
7	基金積立金	117,424	124,668	-7,244	-5.8
	1 基金積立金	117,424	124,668	-7,244	-5.8
8	公債費	0	0	0	-
	1 公債費	0	0	0	-
9	諸支出金	49,180,835	50,137,585	-956,750	-1.9
	1 償還金及び還付加算金	21,723,324	26,766,585	-5,043,261	-18.8
	2 繰出金	26,795,000	23,371,000	3,424,000	14.7
	3 貸付金	662,511	0	662,511	皆増
10	予備費	0	0	0	-
	1 予備費	0	0	0	-
	合計	2,719,821,323	2,890,770,752	-170,949,429	-5.9

国民健康保険特別会計（八坂診療所直診勘定）決算対前年度比較

歳入

（単位：円）

款 項	令和6年度収入済額	令和5年度収入済額	前年度差額	増減率(%)
1 診療収入	13,319,769	17,387,510	-4,067,741	-23.4
1 外来収入	12,336,687	16,313,633	-3,976,946	-24.4
2 その他の診療収入	983,082	1,073,877	-90,795	-8.5
2 使用料及び手数料	114,060	85,800	28,260	32.9
1 手数料	114,060	85,800	28,260	32.9
3 繰入金	105,288,000	82,086,000	23,202,000	28.3
1 他会計繰入金	95,006,000	72,404,000	22,602,000	31.2
2 事業勘定繰入金	10,282,000	9,682,000	600,000	6.2
4 繰越金	7,174,120	4,718,386	2,455,734	52.0
1 繰越金	7,174,120	4,718,386	2,455,734	52.0
5 諸収入	19,838	19,650	188	1.0
1 雑入	19,838	19,650	188	1.0
6 県支出金	14,672,000	0	14,672,000	皆増
1 県補助金	14,672,000	0	14,672,000	皆増
合計	140,587,787	104,277,696	36,310,091	34.8

歳出

（単位：円）

款 項	令和6年度支出済額	令和5年度支出済額	前年度差額	増減率(%)
1 総務費	118,838,449	90,656,407	28,182,042	31.1
1 施設管理費	118,838,449	90,656,407	28,182,042	31.1
2 医業費	11,792,913	6,466,819	5,326,094	82.4
1 医業費	11,792,913	6,466,819	5,326,094	82.4
3 予備費	0	0	0	-
1 予備費	0	0	0	-
合計	130,631,362	97,123,226	33,508,136	34.5

国民健康保険特別会計（美麻診療所直診勘定）決算対前年度比較

歳入

（単位：円）

款 項	令和6年度収入済額	令和5年度収入済額	前年度差額	増減率(%)
1 診療収入	21,712,363	22,252,455	-540,092	-2.4
1 外来収入	18,732,318	18,576,270	156,048	0.8
2 その他の診療収入	2,980,045	3,676,185	-696,140	-18.9
2 使用料及び手数料	237,385	229,285	8,100	3.5
1 手数料	237,385	229,285	8,100	3.5
3 繰入金	26,558,000	21,279,000	5,279,000	24.8
1 他会計繰入金	14,165,000	9,138,000	5,027,000	55.0
2 事業勘定繰入金	12,393,000	12,141,000	252,000	2.1
4 繰越金	4,138,676	4,977,307	-838,631	-16.8
1 繰越金	4,138,676	4,977,307	-838,631	-16.8
5 諸収入	139,190	69,125	70,065	101.4
1 雑入	139,190	69,125	70,065	101.4
合計	52,785,614	48,807,172	3,978,442	8.2

歳出

（単位：円）

款 項	令和6年度支出済額	令和5年度支出済額	前年度差額	増減率(%)
1 総務費	35,742,962	35,382,024	360,938	1.0
1 施設管理費	35,742,962	35,382,024	360,938	1.0
2 医業費	11,844,444	9,286,472	2,557,972	27.5
1 医業費	11,844,444	9,286,472	2,557,972	27.5
3 予備費	0	0	0	-
1 予備費	0	0	0	-
合計	47,587,406	44,668,496	2,918,910	6.5

主要な施策の成果説明書

前年度評価	継続
事務事業No.	32
実施方法	市が直接実施
目 1	決算書 21 頁
後期計画掲載頁	63 頁

担当課	民生部	市民課	国保・年金係
事務事業名	特定健診・保健指導事業		
会計	国保特別会計	款 6 項 1	目 1
総合計画	まちづくりのテーマ 第3章 だれもが健康で安心して暮らせるまち		
施策目標	【1】健康で長生きできる社会の実現		
施策項目	④健康づくりの推進		
個別計画	大町市健康増進計画		

対象と目的

特定健診は生活習慣病に着目した健診であり、生活習慣病を発症するリスクの高い者を明確にし、保健指導により生活習慣の改善に向けた働きかけをすることを目的とする。

被保険者の生活習慣病発病予防・重症化予防を充実させるとともに、医療費を抑制し、国保財政の健全運営を図る。

主な実施内容

- 国民健康保険加入者に健康診査（血圧測定、身体測定、血液検査、検尿、診察）を実施（40歳から74歳までは自己負担なし、18歳から39歳までは自己負担2,000円で実施）
- 特定保健指導及びそれ以外の保健指導の実施
- 健診結果報告会の実施、主な実施内容入力
- 未受診者への受診勧奨

決算額		令和4年度	令和5年度	令和6年度			
総事業費（決算額）		20,027,821 円	20,626,195 円	21,718,039 円			
財源内訳	特定財源	20,027,821 円	20,626,195 円	21,718,039 円			
	一般財源	0 円	0 円	0 円			
予算	R6当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額
	25,238,000	-3,447,000	0	505,536	22,296,536	21,718,039	0
	不用額	特定財源	細節名	金額	保険者協力支援分	特定健康診査等負担金	保健事業徴収金
578,497		金額	14,141,539		7,328,000	248,500	

事業の実績・成果 前年度（令和5年度）からの改善点等 あり

◆ 施策目標に資する活動

○特定健診受診者数（暫定値）（人）

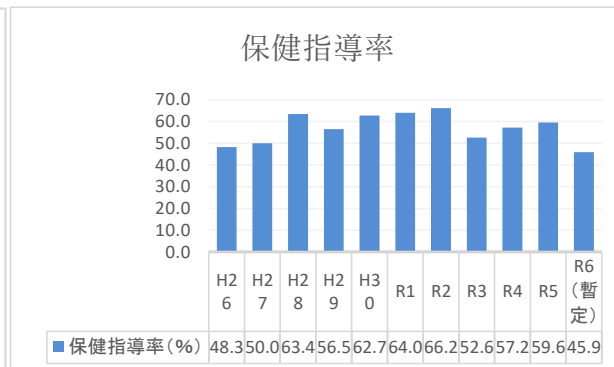
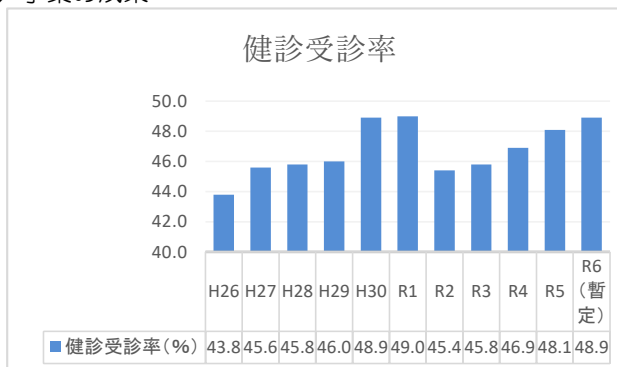
種類	5年度	6年度	比較
特定健診	1,150	1,190	40
検査結果代行業務	221	201	▲ 20
職場健診受診者	47	47	0
人間ドック受診者	510	540	30
計	1,928	1,978	50

○特定保健指導実施者数（暫定値）（人）

区分	5年度	6年度
実施者数	164	102
対象者数	201	222

※確定値は、10月発表

◆ 事業の成果



◆ 前年度からの改善点

未受診者への受診勧奨通知の作成を委託業務により実施。レセプトデータを活用し特定健診対象者の生活習慣病や健診受診状況を判断し、セグメントに分け、対象者の状況にあった受診勧奨通知を発送し、受診を促した。また、職員による訪問や電話での受診勧奨を強化し実施した。